

第4章 調査結果の分析

第4章 データの分析

4.1 データの分析

調査結果の一次集計として単純集計と、属性や関連する質問項目間のクロス集計を行ない経年変化の分析を行うとともに、経年変化のとりまとめとして、グラフを追加作成した。

また、集計結果に基づき、「原子力・放射線・エネルギーに対するイメージと知識」「原子力・放射線・エネルギーについての関心」「現状の原子力広報の効果」「環境・原子力・放射線に対するリスク認知」「原子力に対するベネフィット認知」等の観点から考察した(第5章 考察)

世論調査結果

調査概要

<2012年11月>

- 調査地域 : 全国
- 調査対象者 : 15～79歳男女個人
- サンプリング : 住宅地図データベースから世帯を抽出し、個人を割当
- 調査方法 : 個別訪問留置調査
- サンプル数 : 1200人
- 実査期間 : 2012年10月31日(水)～11月12日(月)

I 章 属性、社会的価値観など

1. 性別

	(%)	
	男性	女性
全体(N=1200)	49.3	50.7

2. 年代

	(%)						
	10代*	20代	30代	40代	50代	60代	70代
全体(N=1200)	6.3	15.1	17.8	15.3	18.4	15.7	11.3

*10代は15-19歳

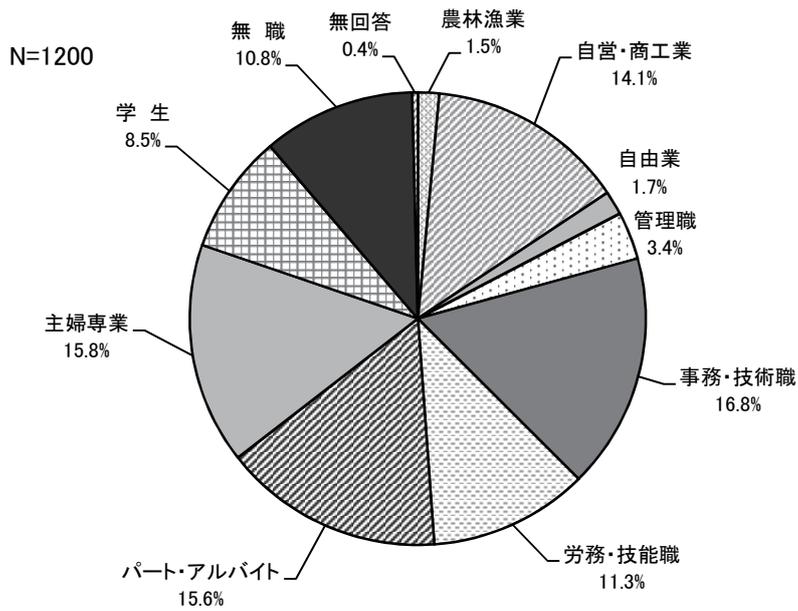
3. 居住地

全体(N=1200)			
東日本	北海道	4.5	原発立地県
	青森県	1.0	原発立地県
	岩手県	1.0	非立地県
	宮城県	2.0	原発立地県
	秋田県	1.0	非立地県
	山形県	1.0	非立地県
	福島県	1.5	原発立地県
	茨城県	2.0	原発立地県
	栃木県	2.0	非立地県
	群馬県	1.0	非立地県
	埼玉県	6.5	非立地県
	千葉県	5.0	非立地県
	東京都	10.0	非立地県
	神奈川県	6.5	非立地県
	新潟県	2.0	原発立地県
	富山県	0.5	非立地県
	山梨県	1.0	非立地県
長野県	1.5	非立地県	
静岡県	3.0	原発立地県	

原発立地県	22.0
原発非立地県	78.0

(%)			
西日本	石川県	1.0	原発立地県
	福井県	1.0	原発立地県
	愛知県	5.5	非立地県
	三重県	1.5	非立地県
	岐阜県	2.0	非立地県
	滋賀県	1.5	非立地県
	京都府	2.0	非立地県
	大阪府	6.5	非立地県
	兵庫県	4.0	非立地県
	奈良県	1.5	非立地県
	和歌山県	0.5	非立地県
	鳥取県	0.5	非立地県
	島根県	0.5	原発立地県
	岡山県	1.5	非立地県
	広島県	2.5	非立地県
	山口県	1.0	非立地県
	徳島県	1.0	非立地県
	香川県	0.5	非立地県
	愛媛県	1.0	原発立地県
	高知県	0.5	非立地県
	福岡県	3.5	非立地県
	佐賀県	1.0	原発立地県
	長崎県	1.0	非立地県
	熊本県	1.5	非立地県
	大分県	1.0	非立地県
	宮崎県	0.5	非立地県
	鹿児島県	1.5	原発立地県
	沖縄県	1.0	非立地県

4. 職業



5. 未既婚

(%)

	既婚	未婚	離死別	無回答
全体(N=1200)	69.1	22.9	8.0	-

6. 学歴

(%)

	短大卒以下	大学卒以上	無回答
全体(N=1200)	75.5	23.9	0.6

7. 子どもの有無

(%)

	子ども無	子ども有	その他	無回答
全体(N=1200)	26.7	64.1	8.3	1.0

●社会的価値観～科学技術、環境などに対する考え方

「科学技術、環境」などに対する考え方であてはまるという回答が多い項目は、「どんな科学技術を利用したとしてもリスクはゼロにはできない」(51.1%)、「少くらしい生活が不便でも省エネルギーは実践されるべき」(45.5%)、「夏はクールビズに積極的に協力すべき」(44.2%)がトップ3。

反対に、あてはまるという回答が少ない項目は、「ローリスク・ローリターンよりハイリスク・ハイリターンの方がよい」(1.4%)、「高度な技術も科学技術で完全に制御できる」(2.6%)、「便利な生活には、ある程度の破壊も仕方がない」(8.9%)であった。

前回とほぼ同様の傾向である。

問19. 科学技術、環境などに対する、あなたご自身のお考えについてお伺いします。
次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

全体 N=1200

	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	11年 11月	10年 9月	08年 10月	07年 10月	07年 1月
物事の判断は直感的・感覚的だ	9.5							9.8	10.1	8.5	8.5	8.4
精神的な豊かさの方が物質的豊かさより大切	31.3							34.4	32.4	34.1	34.5	32.5
便利な生活には、ある程度の破壊も仕方がない	8.9							9.3	8.9	5.9	6.5	6.1
ローリスク・ローリターンよりハイリスク・ハイリターンの方がよい	1.4							1.5	1.4	2.0	2.0	2.3
ゴミ処理や原子力発電などの問題は専門家による委員会での決定されるべき	10.8							13.5	13.1	13.8	11.4	14.0
住民にとって重要な選択をするときは住民投票で決定されるべき	36.5							37.0	36.3	41.4	41.3	40.2
少くらしい生活が不便でも、省エネルギーは実践されるべき	45.5							47.6	42.5	48.0	47.8	49.3
夏はクールビズに積極的に協力すべき	44.2							47.8	38.3	40.3	40.6	44.4
科学技術が発展することで、人は豊かになる	13.8							13.1	14.3	11.4	10.0	10.7
高度な技術も科学技術で完全に制御できる	2.6							2.8	2.5	3.1	2.0	3.0
どんな科学技術を利用したとしてもリスクはゼロにはできない	51.1							51.8	45.5	47.4	47.8	45.7
新しい技術導入に事故はつきもの	11.8							9.3	10.2	10.0	11.2	9.8
その他	0.9							0.5	0.3	0.2	0.3	0.4
あてはまるものはない	10.3							9.0	13.3	12.4	11.8	14.8

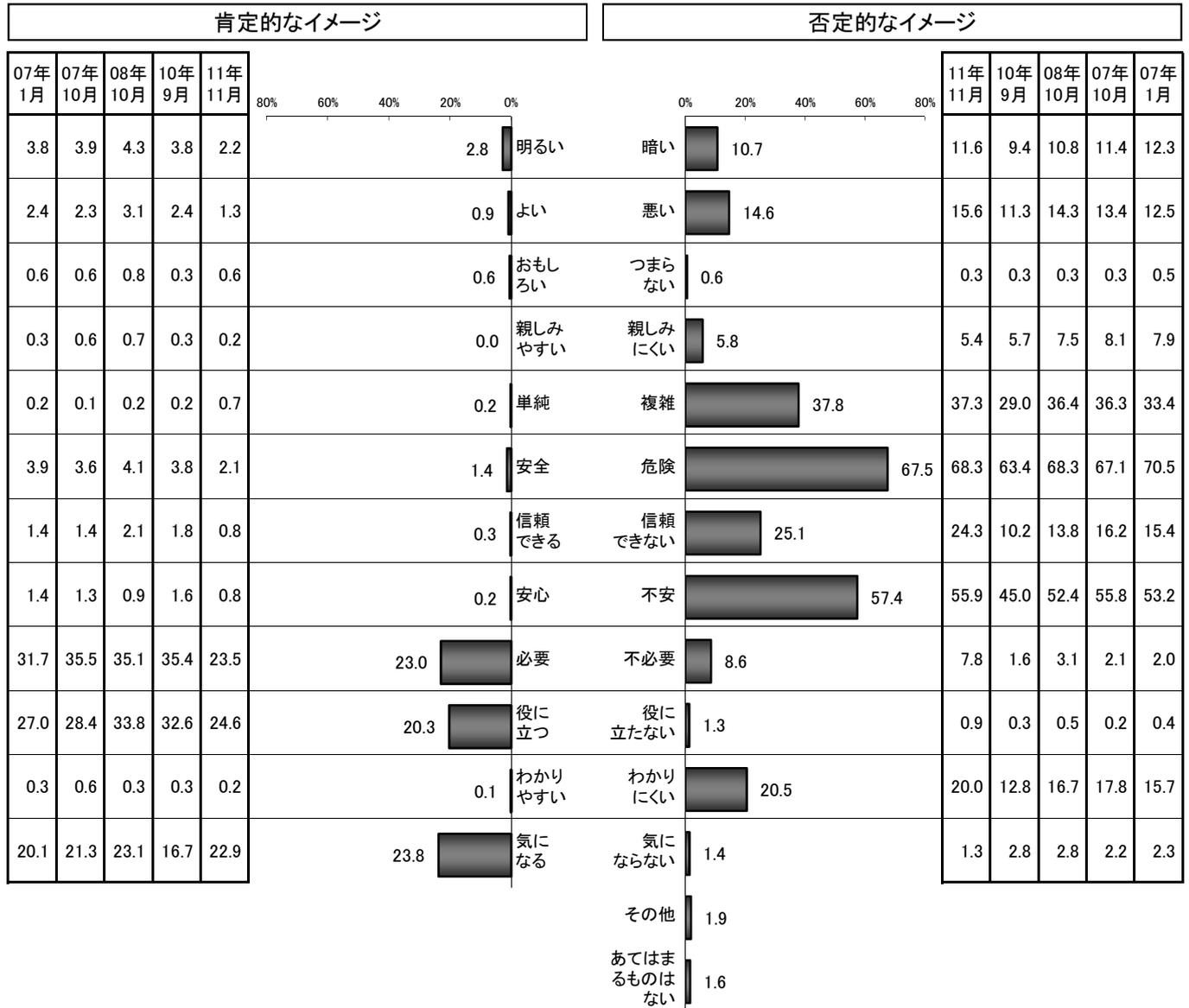
Ⅱ章 原子力・放射線・エネルギーに対する イメージと知識

●原子力・放射線・エネルギーに対するイメージと知識～原子力のイメージ

「原子力」という言葉から思い浮かぶイメージを尋ねたところ、全体として肯定的なイメージより否定的なイメージの反応が高く、「危険」(67.5%)、「不安」(57.4%)、「複雑」(37.8%)に回答が集中。一方、肯定的なイメージは、「気になる」(23.8%)、「必要」(23.0%)、「役に立つ」(20.3%)という回答が多く、他の項目はきわめて低い反応水準にある。肯定的／否定的イメージとも上位3項目は前回と同様。

問4. あなたは「原子力」という言葉を聞いたときに、どのようなイメージを思い浮かべますか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

全体 N=1200

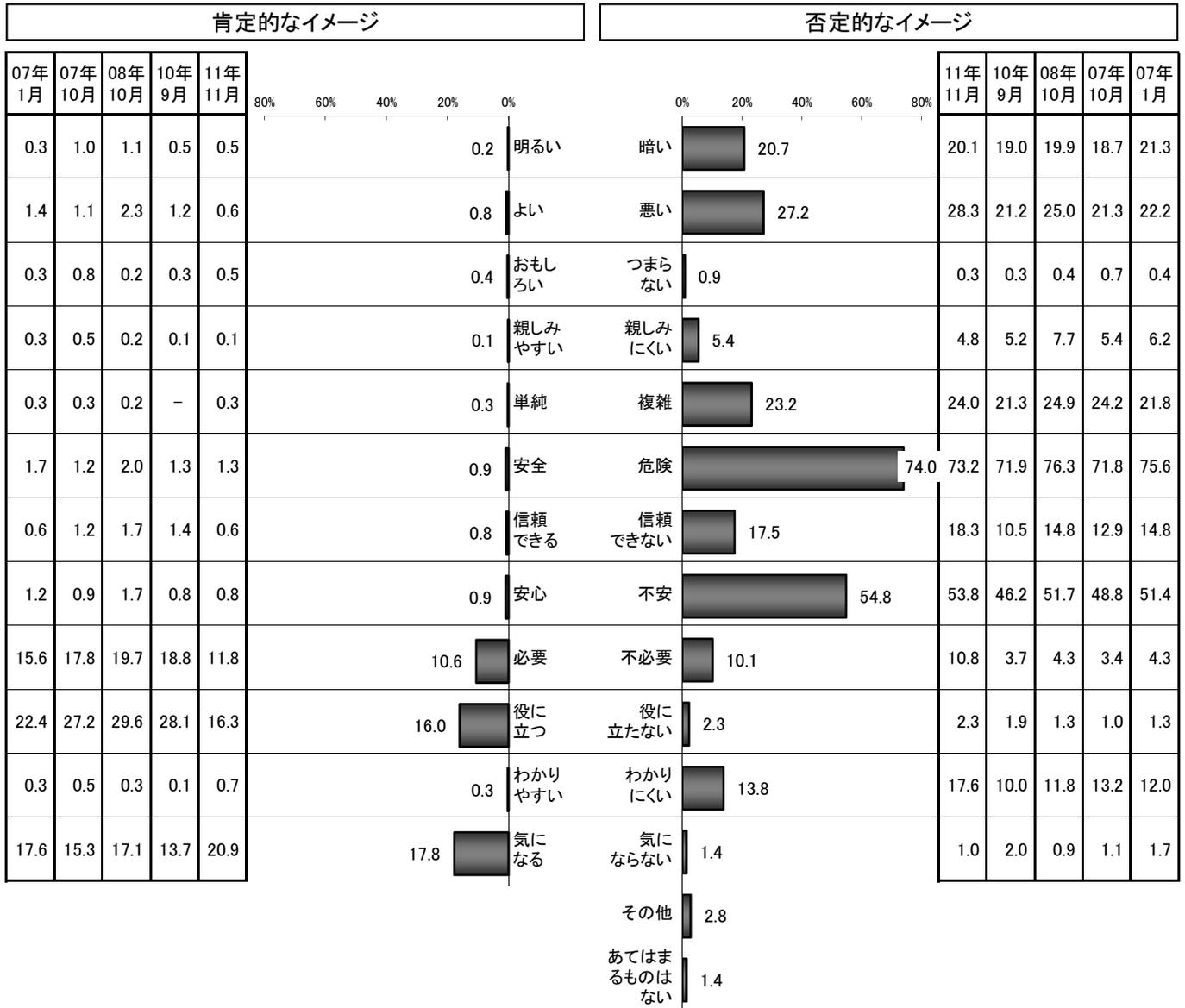


●原子力・放射線・エネルギーに対するイメージと知識～放射線のイメージ

「放射線」という言葉から思い浮かぶイメージを尋ねたところ、全体として肯定的なイメージよりも否定的なイメージの反応が高く、「危険」(74.0%)、「不安」(54.8%)という回答が突出している。一方、肯定的なイメージでは「気になる」(17.8%)、「役に立つ」(16.0%)、「必要」(10.6%)という回答が高い。肯定的／否定的イメージともに、前回と同傾向である。

問5. あなたは「放射線」という言葉を聞いたときに、どのようなイメージを思い浮かべますか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

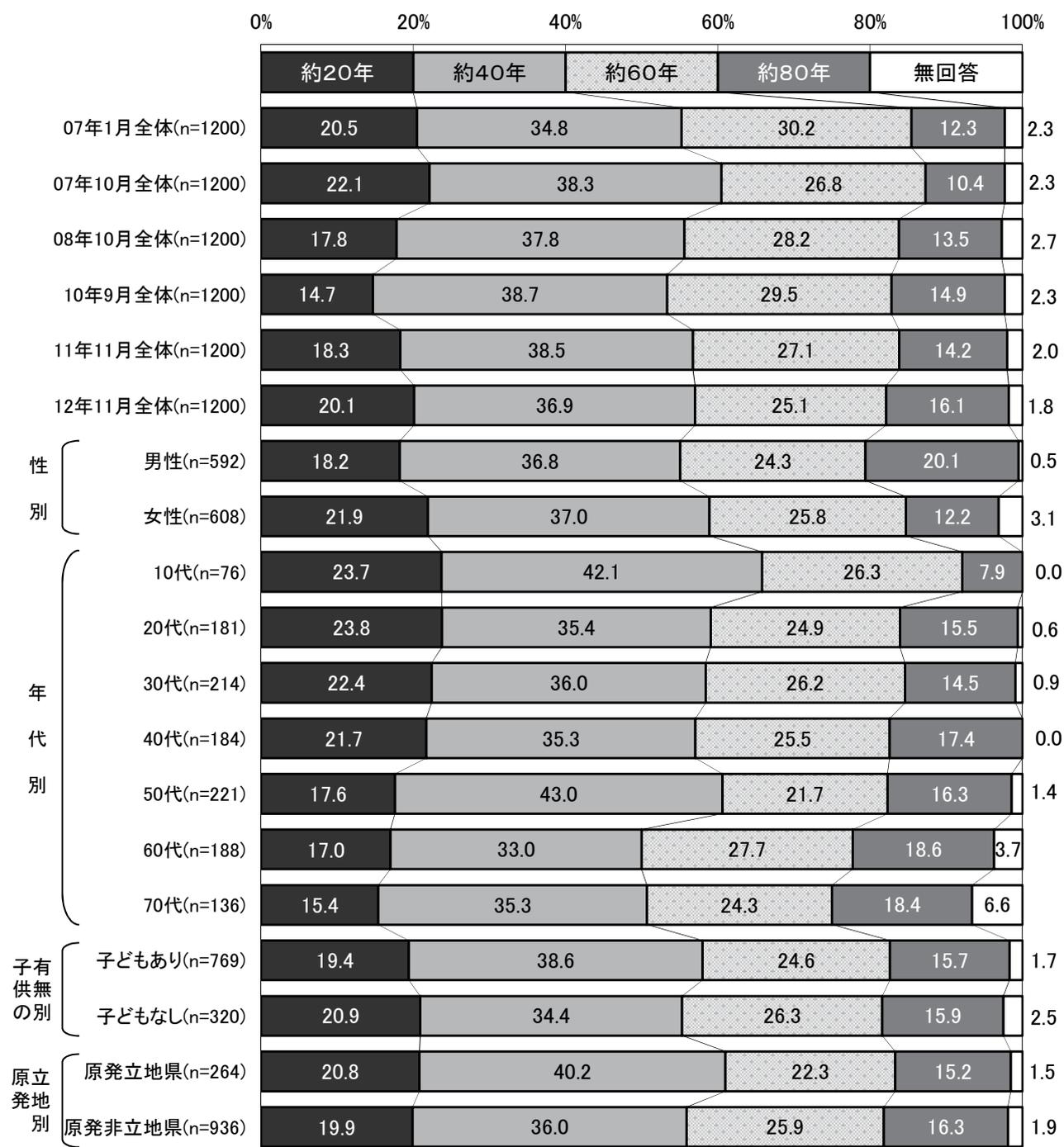
全体 N=1200



●原子力・放射線・エネルギーに対するイメージと知識～エネルギーに関する知識①

石油の可採年数を尋ねたところ、正答である「約40年」が36.9%で最も高く、「約60年」(25.1%)、「約20年」(20.1%)、「約80年」(16.1%)の順。
 年代別で見ると、10代と50代の正答率が高く、4割を超えている。
 また原発立地別では、原発立地県の正答率が約4割と高めになっている。

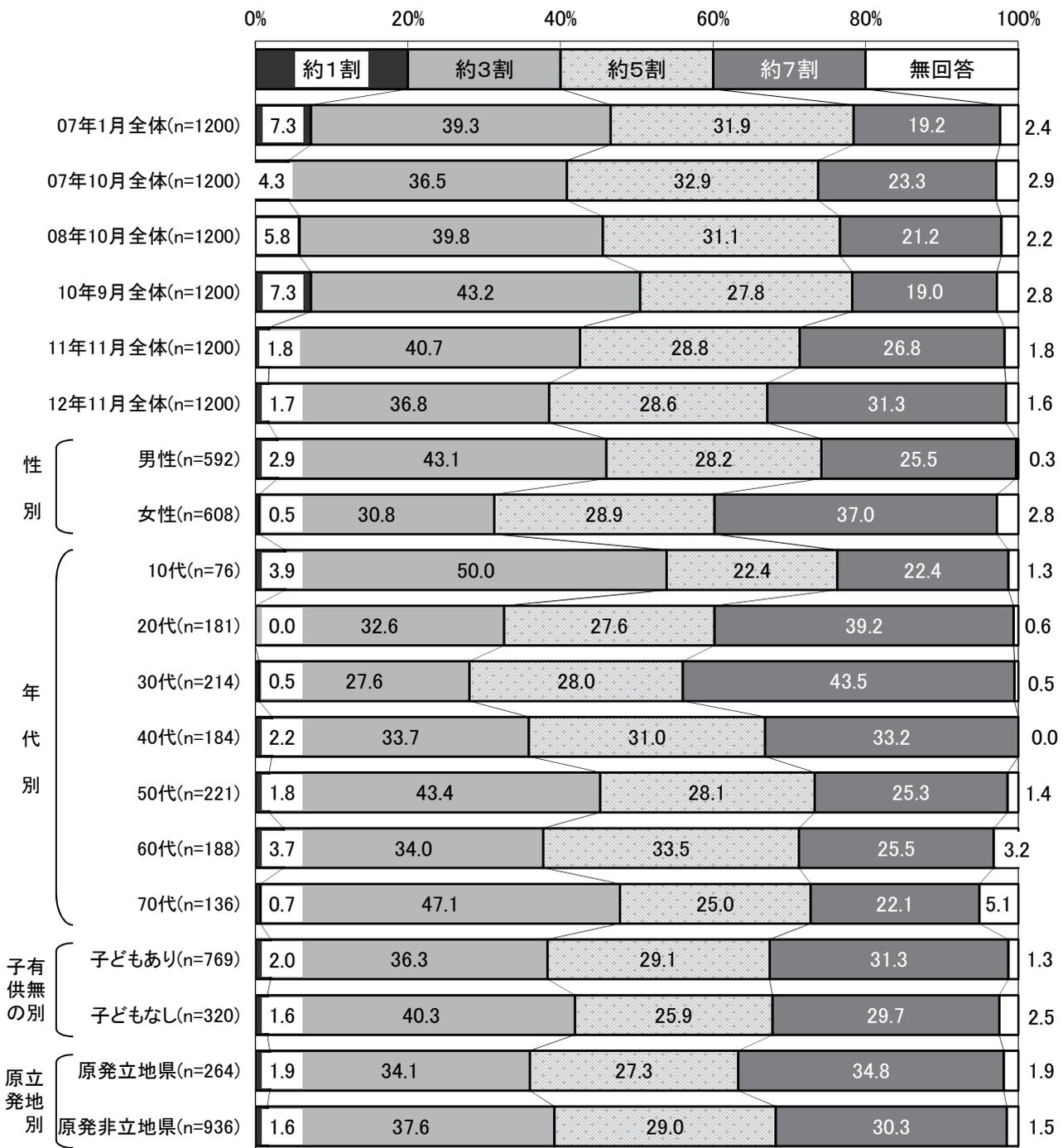
問1. あなたは石油の可採年数はどのくらいだと思いますか。(○は1つだけ)



●原子力・放射線・エネルギーに対するイメージと知識～原子力に関する知識

震災前に日本の発電電力量の約何割を原子力が担っていたと思うか尋ねた。
 「約3割」が36.8%で最も高く、「約7割」(31.3%)、「約5割」(28.6%)、「約1割」(1.7%)の順。
 前回に比べて、正答の「約3割」はやや減少、「約7割」が5ポイント近く増加している。
 性別で見ると、「約3割」と正答したのは女性(30.8%)より男性(43.1%)で多く、10ポイント以上の差。
 年代別で見ると、「約3割」の回答は10代で5割と最も高い。また50代、70代も4割台の高い正答率。

問3. あなたは東日本大震災以前に日本の発電電力量の約何割を原子力が担っていたと思いますか。
 (○は1つだけ)



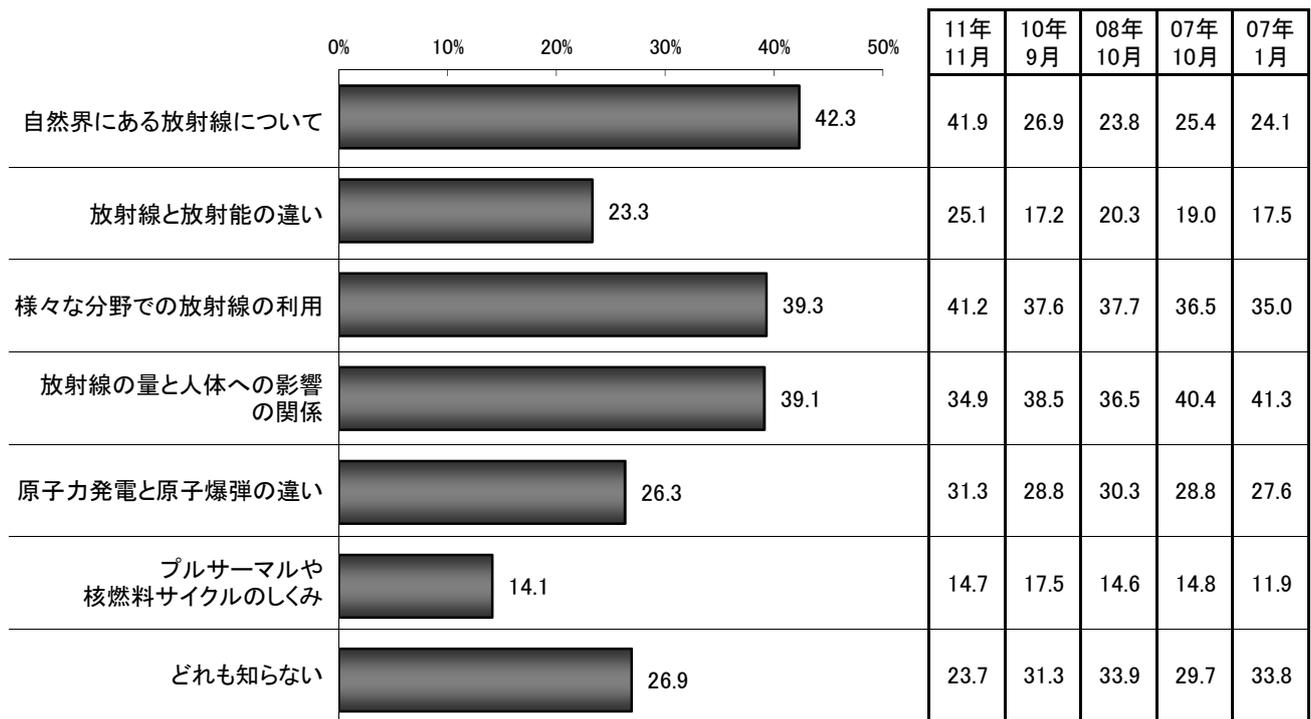
* 10年9月までの質問文は、「あなたは日本の発電電力量の約何割を原子力が担っていると思いますか」として聴取

●原子力・放射線・エネルギーに対するイメージと知識～放射線に関する知識

原子力・放射線・エネルギーについての認知率が高い項目は、「自然界にある放射線について」(42.3%)、「様々な分野での放射線の利用」(39.3%)、「放射線の量と人体への影響の関係」(39.1%)。トップ3の項目は前回と同様。
前回に比べて「原子力発電と原子爆弾の違い」は5ポイント減少している。

問6. 以下にあげる事柄について、あなたをご存知のものはどれですか。
ご存知のものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

全体 N=1200



Ⅲ章 原子力・放射線・エネルギーについての関心

●原子力・放射線・エネルギー分野への関心～原子力やエネルギーへの関心①

原子力やエネルギーの分野について関心のあることを尋ねた。
 突出して関心が高い項目は「地球温暖化」(52.1%)。次いで「日本のエネルギー事情」(41.6%)、「太陽光発電の開発状況」(39.9%)、「放射線による人体の影響」(37.3%)。
 前回に比べて、全体的に減少している項目が多くみられる。

問7-1. 原子力やエネルギーの分野において、あなたが関心のあることはどれですか。
 次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

全体 N=1200

	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	11年 11月	10年 9月	08年 10月	07年 10月	07年 1月	
石油や石炭など化石資源の消費								20.7	22.3	23.3	24.1	23.3	13.3
地球温暖化								52.1	55.8	62.8	64.7	65.3	60.1
世界のエネルギー事情								23.4	27.0	25.9	25.3	23.1	25.3
日本のエネルギー事情								41.6	41.0	36.1	39.1	35.4	35.9
太陽光発電の開発状況								39.9	44.2	37.8	38.9	32.9	35.5
風力発電の開発状況								27.5	29.8	21.9	23.8	25.0	25.3
バイオマス発電の開発状況								12.4	15.5	8.6	9.9	9.2	7.8
核分裂のしぐみ								4.0	5.3	3.3	4.0	4.9	4.3
原子力発電の安全性								22.2	23.8	24.3	25.5	25.8	25.6
プルサーマル・核燃料サイクル								6.4	7.3	10.6	9.8	9.6	10.1
放射線による人体の影響								37.3	40.5	32.0	32.3	31.7	32.8
放射線の工業利用								4.8	5.0	5.1	5.0	6.3	5.9
放射線の医療利用								28.5	29.8	36.0	36.2	33.9	35.9
放射線の農業利用								5.7	5.8	5.2	5.3	4.8	6.1
核不拡散								6.8	7.4	8.3	8.3	9.8	10.2
高速増殖炉「もんじゅ」のしぐみ								6.3	5.0	7.6	5.6	4.8	4.0
「もんじゅ」の安全性								9.8	8.4	10.9	11.8	11.8	10.9
核燃料の製造加工								3.1	4.2	3.4	4.0	4.3	3.2
省エネルギー								20.2	24.0	28.1	30.9	30.0	30.2
放射性廃棄物の処分								29.0	32.8	23.3	27.4	30.3	28.5
使用済燃料の貯蔵								18.9	18.1	14.5	16.8	16.3	18.0
原子力施設のリスク(事故・トラブルなど)								29.0	32.4	/	/	/	/
その他								0.3	0.8	0.2	0.3	0.3	0.4
特にない／わからない								14.1	11.2	14.8	14.8	14.6	19.3

* 07年1月の選択肢は「化石資源の消費」、07年10月は「石油や石炭など化石資源の消費」に変更

* 07年1月、07年10月の選択肢は「高速増殖炉のしぐみ」、08年10月からは「高速増殖炉「もんじゅ」のしぐみ」に変更

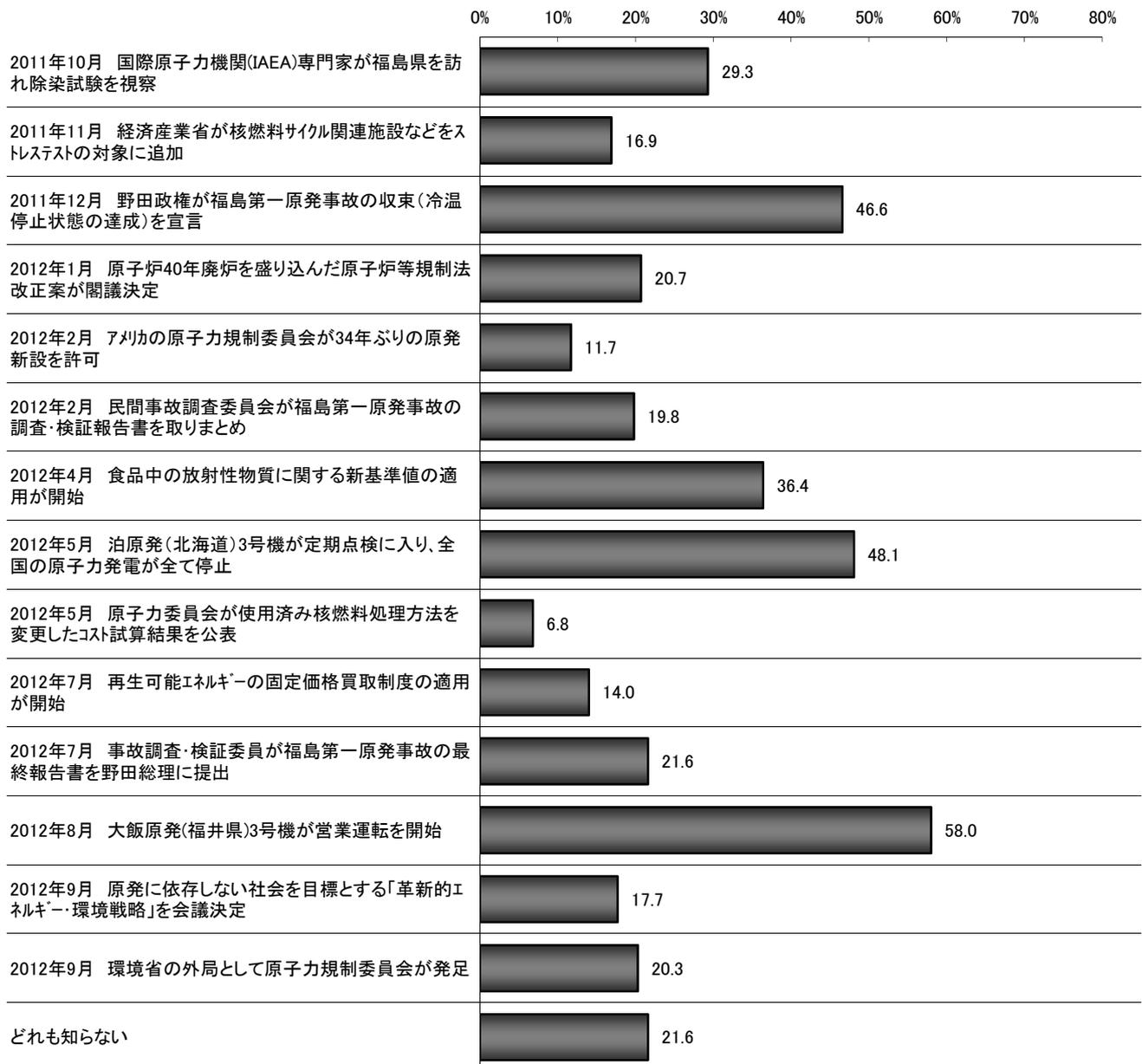
* 「原子力施設のリスク(事故・トラブルなど)」は、11年11月から追加

●原子力・放射線・エネルギー分野への関心～原子力やエネルギーへの関心②

2011年10月～2012年9月に発信された、原子力やエネルギーにまつわる国内外のニュースの認知を尋ねた。特に認知の高い項目は「2012年8月 大飯原発(福井県)3号機が営業運転を開始」(58.0%)。次いで「2012年5月 泊原発(北海道)3号機が定期点検に入り、全国の原子力発電が全て停止」(48.1%)、「2011年12月 野田政権が福島第一原発事故の収束(冷温停止状態の達成)を宣言」(46.6%)、「2012年4月 食品中の放射性物質に関する新基準値の適用が開始」(36.4%)と続く。

問20. 次にあげる原子力やエネルギーにまつわるニュースをご存知でしたか。ご存知のものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

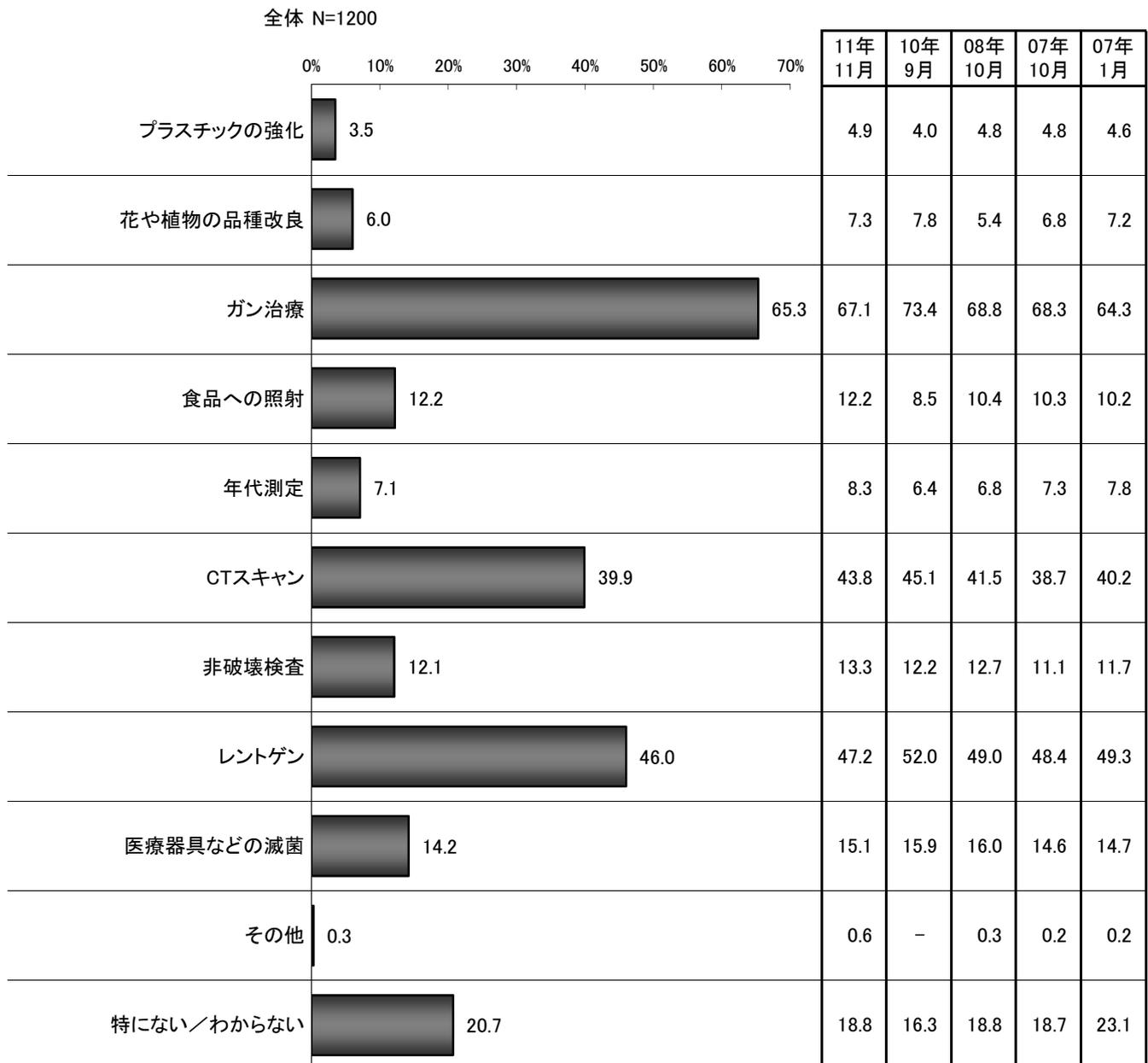
全体 N=1200



●原子力・放射線・エネルギー分野への関心～放射線利用への関心

放射線利用の分野について関心のあることを尋ねた。
 突出して関心が高い項目は「ガン治療」(65.3%)、次いで「レントゲン」(46.0%)、「CTスキャン」(39.9%)が続く。
 上位3項目とも前回と同順位で、医療以外の分野についての関心は今回も低めである。
 全体的に、前回と比べて減少した項目が多い。

問7-2. 放射線利用の分野において、あなたが関心のあることはどれですか。
 次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)



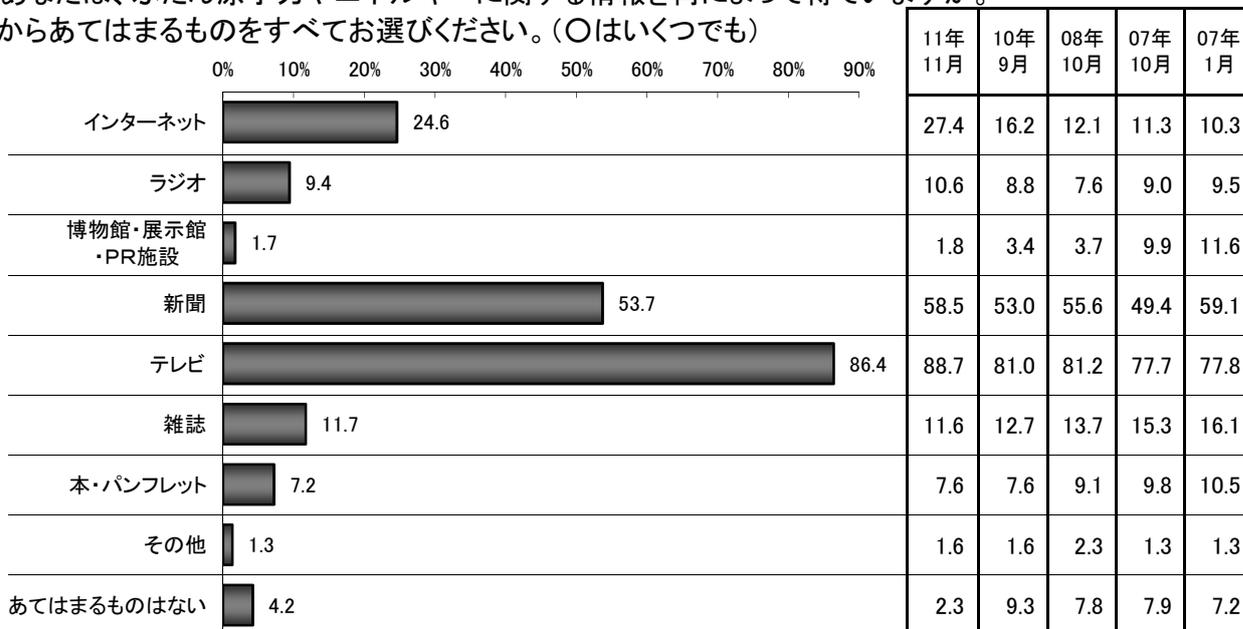
IV章 原子力広報評価

●原子力広報評価～原子力やエネルギーに関する情報源①

原子力やエネルギーに関する日頃の情報源を訪ねたところ、「テレビ」(86.4%)、「新聞」(53.7%)が主な情報源。前回と同様の傾向であるが、「新聞」は前回より5ポイント近く減少している。年代別でみると、「インターネット」は男性と10～40代の年代で高くなっている。「新聞」は50～70代、「ラジオ」「雑誌」は60～70代で多く挙がっている。

問8-1. あなたは、ふだん原子力やエネルギーに関する情報を何によって得ていますか。

次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)



	インターネット	ラジオ	博物館・展示館・PR施設	新聞	テレビ	雑誌	本・パンフレット	その他	あてはまるもの	
全体 (N=1200)	24.6	9.4	1.7	53.7	86.4	11.7	7.2	1.3	4.2	
性別	男性 (n=592)	32.6	12.0	2.4	56.6	83.4	15.0	8.8	1.0	3.7
	女性 (n=608)	16.8	6.9	1.0	50.8	89.3	8.4	5.6	1.5	4.6
年代別	10代 (n=76)	32.9	2.6	1.3	18.4	81.6	3.9	7.9	10.5	6.6
	20代 (n=181)	30.4	5.0	1.1	27.6	81.2	3.3	3.9	1.1	7.2
	30代 (n=214)	35.5	5.6	-	32.7	82.7	4.2	8.4	1.4	5.1
	40代 (n=184)	33.2	6.5	2.2	56.5	87.0	14.1	7.6	-	3.8
	50代 (n=221)	21.3	9.5	1.8	69.7	89.6	16.3	7.2	-	1.4
	60代 (n=188)	12.2	17.0	2.7	79.8	91.0	18.1	8.5	0.5	1.1
	70代 (n=136)	5.9	18.4	2.9	75.0	89.7	19.1	6.6	0.7	6.6
子供有無別	子どもあり (n=769)	28.0	7.0	1.6	50.1	85.8	9.9	6.2	1.3	3.8
	子どもなし (n=320)	19.4	14.4	2.2	65.0	89.1	16.6	8.8	0.6	3.8
立地別	原発立地県 (n=264)	20.8	8.7	2.3	51.1	89.8	10.6	9.8	1.5	3.8
	原発非立地県 (n=936)	25.6	9.6	1.5	54.4	85.5	12.0	6.4	1.2	4.3

* 網掛けは全体値より5ポイント以上高いセグメントを示す

* 07年10月までの選択肢は「国や電力会社などのPR施設」、08年10月からは「博物館・展示館・PR施設」に変更

●原子力広報評価～原子力やエネルギーに関する情報源②

原子力やエネルギーに関する有益性に関する情報と、事故やトラブルなどに関する情報の入手経路を尋ねた。有益性に関する情報、事故やトラブルなどに関する情報とも、「テレビ・ラジオなどのアナウンサー」が最も高く、次いで「評論家」「専門家」の順。
前回と比較してどちらの項目もスコアは減少傾向。特に有益性に関する情報では「専門家」が、事故やトラブルなどに関する情報では「政府関係者」「専門家」「原子力関係者」「新聞・雑誌などの記者」が5ポイント以上減少している。

問8-2. あなたは、この1年間に原子力やエネルギーに関して「有益性に関する情報」をどのような人の発言から得ましたか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。
(○はいくつでも)

問8-3. あなたは、この1年間に原子力やエネルギーに関して「事故やトラブルなどに関する情報」をどのような人の発言から得ましたか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。
(○はいくつでも)

※ テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネットなどのメディアから得る、もしくは直接聞かかはいません。

有益性に関する情報				事故やトラブルなどに関する情報							
07年 10月	08年 10月	10年 9月	11年 11月	%		%		11年 11月	10年 9月	08年 10月	07年 10月
8.8	5.1	5.8	23.3	18.8	政府関係者	25.4		36.0	3.3	4.1	8.7
19.3	13.0	16.8	43.5	36.6	専門家 (大学教員・研究者)	38.0		46.3	11.4	11.2	17.5
20.8	20.3	23.1	45.2	43.0	評論家 (キャスターなども含む)	54.0		55.8	23.7	24.8	28.3
10.9	9.4	9.8	21.1	16.8	原子力関係者 (電力会社・メーカー)	20.9		31.1	3.8	4.1	6.8
1.1	0.8	0.6	1.0	0.9	自治体職員	1.8		1.9	0.4	0.6	1.1
2.2	1.8	1.8	2.0	2.6	小・中・高等学校の教員	2.3		2.1	2.0	1.8	2.3
42.3	43.4	44.9	53.8	57.1	テレビ・ラジオなどの アナウンサー	73.8		75.8	54.2	59.3	64.5
25.8	21.9	20.0	29.1	27.5	新聞・雑誌などの記者	35.6		40.6	25.1	30.3	35.8
3.1	2.3	1.9	3.1	1.8	オピニオンリーダー (身近な知識人)	1.8		2.9	1.3	2.4	2.7
5.3	3.1	1.8	8.9	9.7	政治家	10.8		13.2	2.3	2.8	5.0
			8.5	7.9	知人や友人	9.9		11.8			
			8.2	7.3	家族や親戚	8.2		10.8			
0.8	1.3	1.5	0.7	0.6	その他	0.4		0.7	0.9	0.6	0.5
34.1	35.9	34.0	11.4	12.8	あてはまるものはない/この 1年間に情報は得ていない	5.0		2.8	29.9	25.8	18.0

全体 N=1200

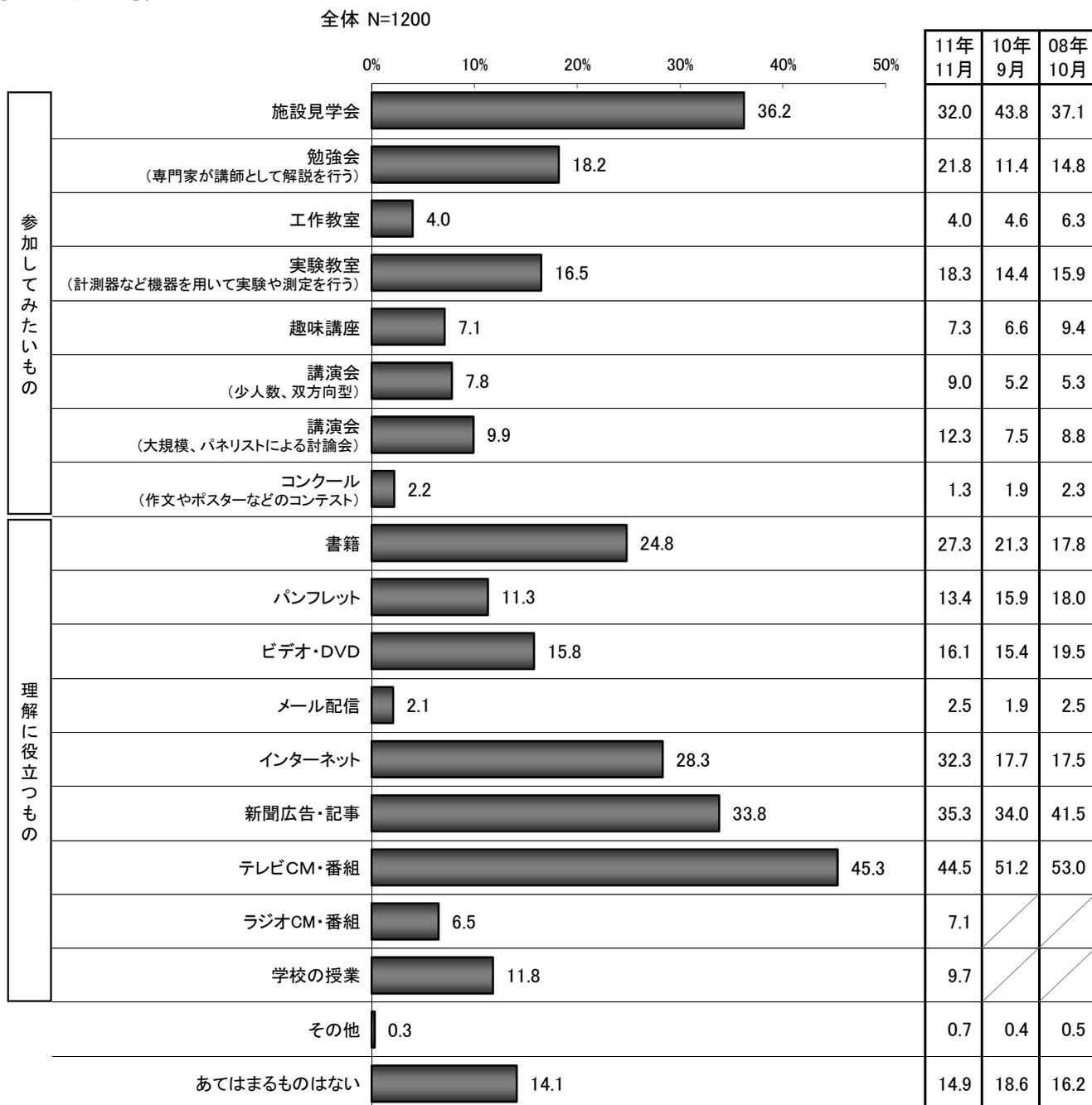
- * 07年10月は、全ての選択肢に「の発言」を付けた表記で聴取
- * 07年10月は、「テレビ」は「TV」の表記で聴取
- * 「知人や友人」「家族や親戚」は11年11月から追加
- * 10年9月までの質問文は、「原子力やエネルギーに関する「よい情報(安全性、有益性に関する情報)」を～」「原子力やエネルギーに関する「悪い情報(トラブルなどに関する情報)」を～」として聴取

●原子力広報評価

～原子力やエネルギーに関するイベント・施設・情報源で参加してみたいもの・理解に役立つもの

原子力やエネルギーに関するイベント・施設・情報源の中で参加してみたいもの、理解に役立つものを尋ねたところ、参加してみたいものでは「施設見学会」(36.2%)、「勉強会」(18.2%)、「実験教室」(16.5%)の順。理解に役立つものでは、「テレビCM・番組」(45.3%)、「新聞広告・記事」(33.8%)、「インターネット」(28.3%)の順。前回とほぼ同様の傾向であるが、微減した項目が多くみられる。

問9-1. 以下に挙げている「原子力やエネルギーに関するイベント・施設・情報源」の中で、参加してみたいもの、理解に役立つものはどれですか。あてはまるものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)



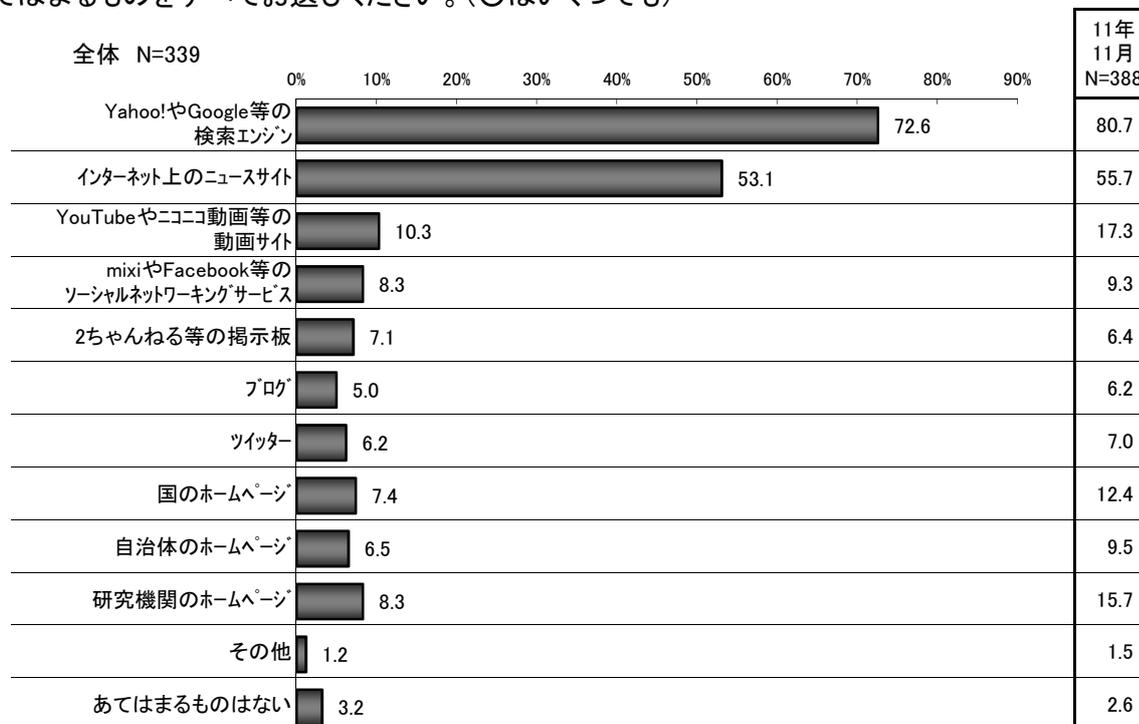
*「インターネット」は、10年9月まで「ホームページ」として聴取
*「ラジオCM・番組」「学校の授業」は、11年11月から追加

●原子力広報評価～原子力・エネルギーに関する理解に役立つ情報源としての閲覧サイト

原子力やエネルギーに関する理解に役立つ情報源として、具体的にどのサイトを閲覧しているか尋ねたところ、「Yahoo!やGoogle等の検索エンジン」(72.6%)がトップ、次いで「インターネット上のニュースサイト」(53.1%)。前回に比べて、「検索エンジン」「動画サイト」「国のHP」「研究機関のHP」では5ポイント以上の減少。年代別にみると、10代は「ニュース」「動画」「SNS」「ブログ」「ツイッター」、30代は「検索エンジン」、40代は「動画」「自治体」、60代は「自治体」「研究機関」のサイトが、それぞれ他の年代に比べて高い反応率。

問9-2.【問9-1で「13インターネット」とお答えの方に】

原子力やエネルギーに関する理解に役立つ情報源として、具体的にどのサイトを閲覧していますか。あてはまるものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)



	検索エンジン	インターネット上の動画サイト	YouTubeやニコニコ動画等の動画サイト	mixiやFacebook等のSNS	2ちゃんねる等の掲示板	ブログ	ツイッター	国のホームページ	自治体のホームページ	研究機関のホームページ	その他	あてはまるものはない	
全体 (N=339)	72.6	53.1	10.3	8.3	7.1	5.0	6.2	7.4	6.5	8.3	1.2	3.2	
性別	男性 (n=188)	69.1	55.3	14.9	6.4	8.5	5.3	4.8	7.4	4.8	10.6	2.1	2.1
	女性 (n=151)	76.8	50.3	4.6	10.6	5.3	4.6	7.9	7.3	8.6	5.3	-	4.6
年代別	10代 (n=34)	61.8	58.8	20.6	20.6	8.8	14.7	23.5	8.8	2.9	2.9	-	5.9
	20代 (n=78)	76.9	44.9	7.7	12.8	9.0	2.6	10.3	3.8	5.1	3.8	-	2.6
	30代 (n=71)	80.3	56.3	5.6	4.2	7.0	2.8	-	9.9	7.0	9.9	-	1.4
	40代 (n=56)	76.8	55.4	21.4	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	12.5	7.1	7.1	1.8
	50代 (n=69)	66.7	50.7	7.2	4.3	1.4	2.9	-	5.8	1.4	10.1	-	5.8
	60代 (n=26)	57.7	57.7	-	3.8	11.5	3.8	3.8	11.5	11.5	19.2	-	3.8
	70代 (n=5)	80.0	80.0	20.0	-	20.0	20.0	-	20.0	20.0	20.0	-	-
子供有無別	子どもあり (n=251)	69.3	53.8	10.8	8.8	6.8	4.8	6.8	6.0	5.6	7.6	1.6	3.6
	子どもなし (n=66)	77.3	53.0	6.1	4.5	6.1	4.5	4.5	13.6	9.1	12.1	-	3.0
立地別	原発立地県 (n=79)	69.6	54.4	13.9	3.8	6.3	7.6	3.8	11.4	10.1	11.4	-	2.5
	原発非立地県 (n=260)	73.5	52.7	9.2	9.6	7.3	4.2	6.9	6.2	5.4	7.3	1.5	3.5

* 網掛けは全体値より5ポイント以上高いセグメントを示す

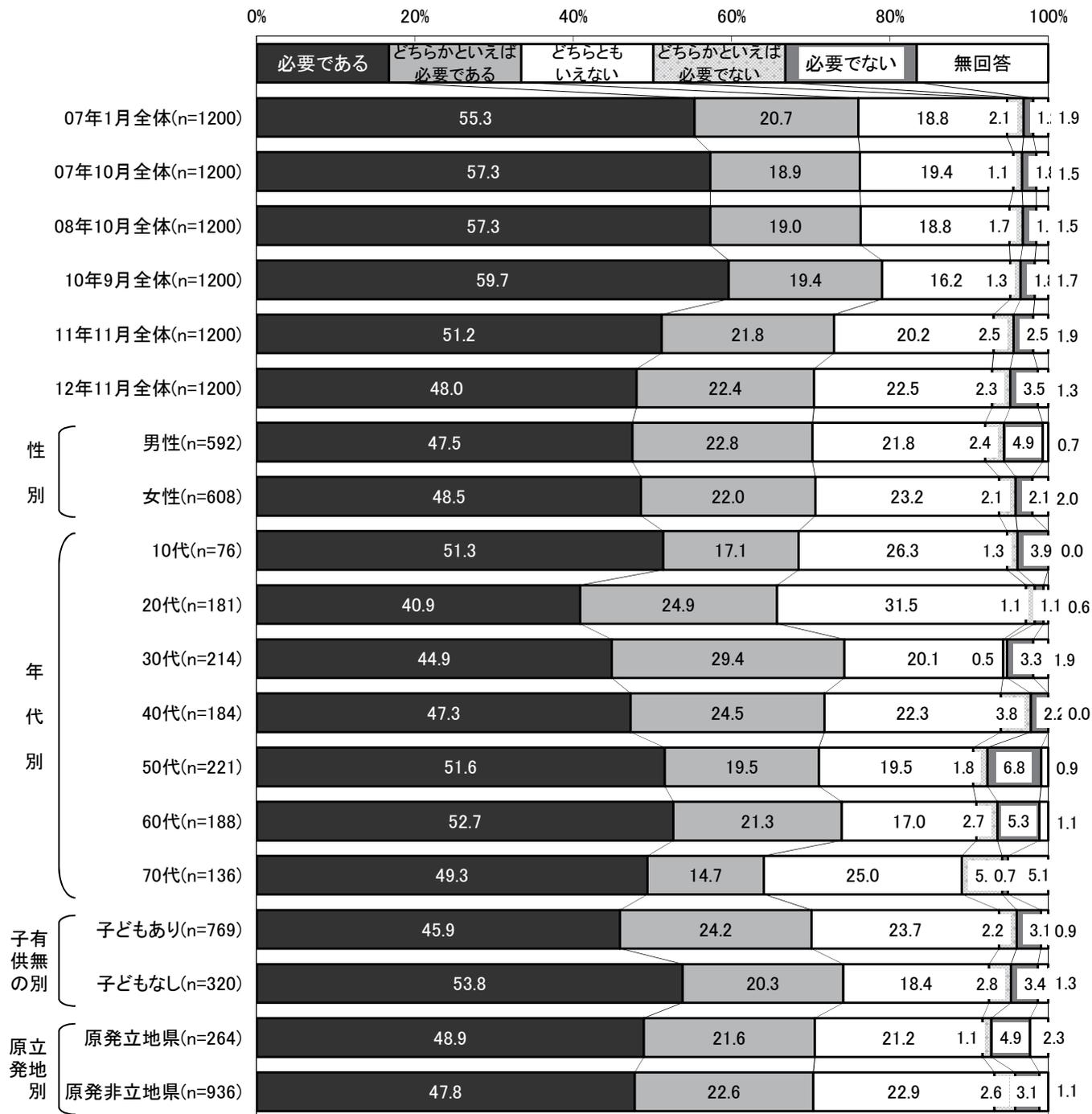
* 「70代」はサンプル数が少ない(N=5)ので注意

●原子力広報評価～知識普及啓発活動のあり方①

「世界唯一の被爆国として、原子力技術を平和利用に限ること、原子力利用の安全を確保することについて、もっと訴えていくこと」に対し、「必要である」という回答は48.0%、「どちらかといえば必要である」は22.4%で、この考え方に肯定的な回答(「必要である」+「どちらかといえば必要である」)は70.4%で、前回とほぼ同様の反応。
年代別にみると、「必要である」という回答は20代で他の年代より低くなっている。
子供の有無別では、「必要である」とする回答は子どもあり(45.9%)より子どもなし(53.8%)で多く、約8ポイント高い。

問10-e. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)

【世界唯一の被爆国として、原子力技術を平和利用に限ること、原子力利用の安全を確保することについて、もっと訴えていくこと】



* 07年1月の選択肢は「そう思う/どちらかといえばそう思う」、07年10月は「必要である/どちらかといえば必要である」

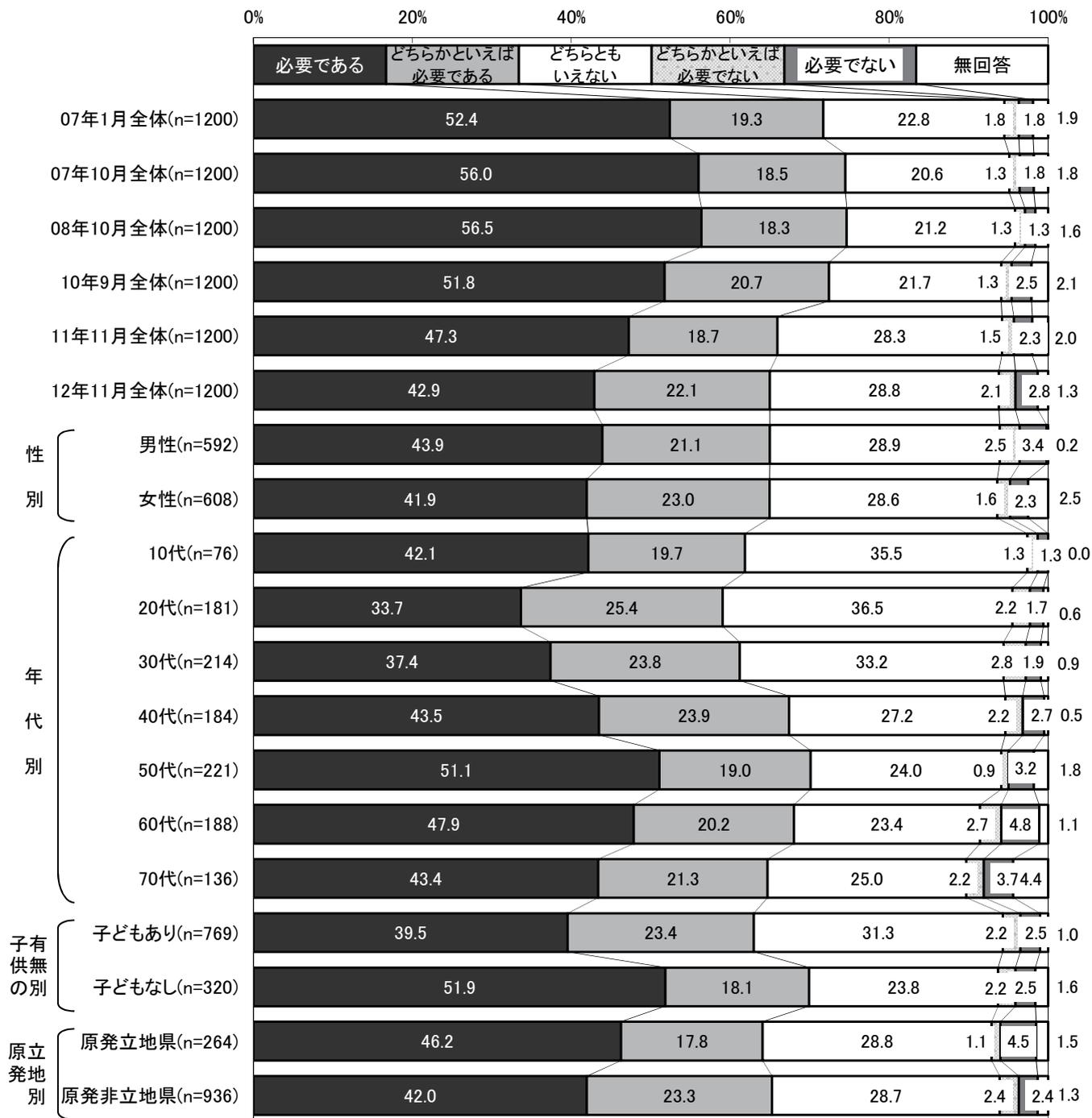
* 質問文「もっと訴えていくこと」は、10年9月まで「もっとアピールすること」として聴取

●原子力広報評価～知識普及啓発活動のあり方②

「原子力の平和利用を広報する組織は、原子力の軍事利用の反対をもっと訴えていくこと」に対し、「必要である」という回答は42.9%、「どちらかといえば必要である」は22.1%。この考え方に肯定的な回答（「必要である」+「どちらかといえば必要である」）は65.0%で前回とほぼ同様。
年代別にみると、「必要である」という回答は20代で3割強と低い一方、50代では5割超と、年代によって差が大きい。子供の有無別にみると、「必要である」という回答は子どもなしで51.9%と高く、子どもありを約12ポイント上回る。

問10-f. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。（○はそれぞれ1つずつ）

【原子力の平和利用を広報する組織は、原子力の軍事利用の反対をもっと訴えていくこと】

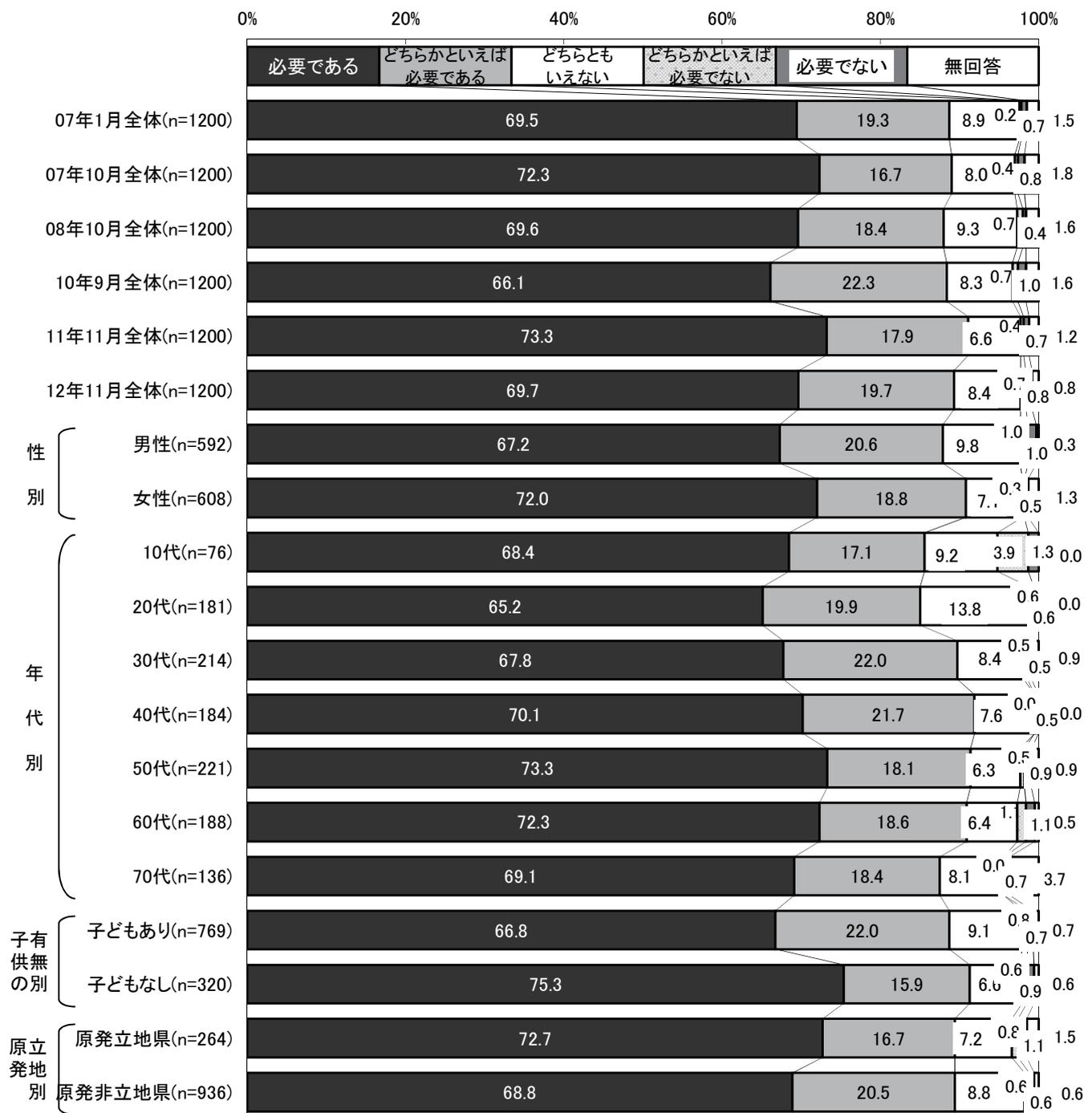


* 07年1月の選択肢は「そう思う／どちらかといえばそう思う」、07年10月は「必要である／どちらかといえば必要である」

●原子力広報評価～知識普及啓発活動のあり方③

「(原子力に関して)できるだけたくさんの情報が国民に届くようにすること」に対し、「必要である」という回答は69.7%、「どちらかといえば必要である」は19.7%で、肯定的な回答(「必要である」+「どちらかといえば必要である」)は89.4%。水準は前回とほぼ同様。
 年代別で見ると、50代(73.3%)、60代(72.3%)、40代(70.1%)の順となっている。
 子供の有無別で見ると、「必要である」という回答は子どもなしで75.3%と高めの反応率。

問10-g. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
 あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)
 【できるだけたくさんの情報が国民に届くようにすること】

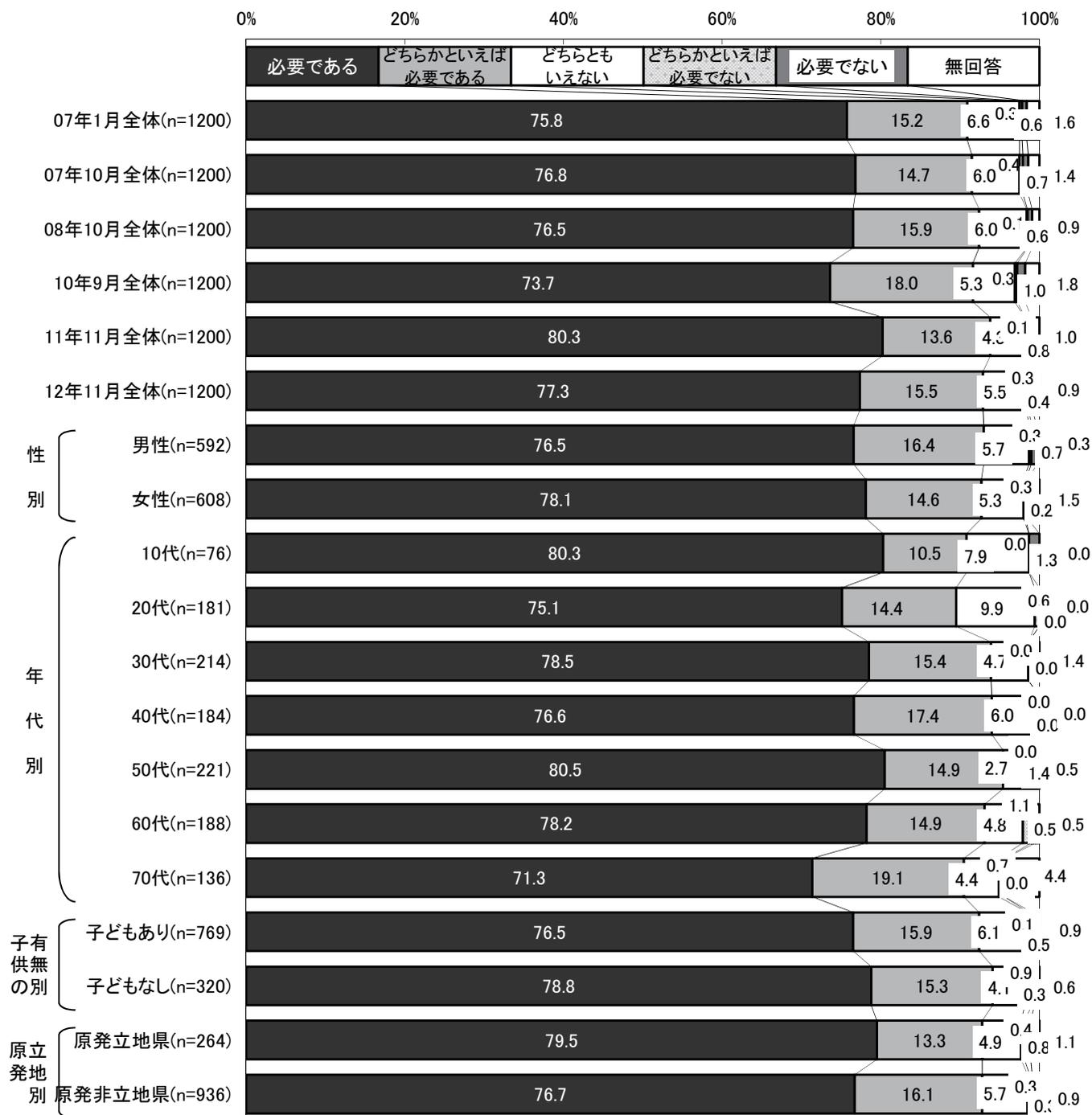


* 07年1月の選択肢は「そう思う/どちらかといえばそう思う」、07年10月は「必要である/どちらかといえば必要である」

●原子力広報評価～知識普及啓発活動のあり方④

「(原子力に関して)わかりやすく情報を伝えること」に対し、「必要である」という回答は77.3%、「どちらかといえば必要である」は15.5%。この考え方に肯定的な回答(「必要である」+「どちらかといえば必要である」)は92.8%で前回とほぼ同様の水準。
年代別でみると、10代と50代で「必要である」の回答が8割を超える反応率となっている。

問10-h. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)
【わかりやすく情報を伝えること】



* 07年1月の選択肢は「そう思う/どちらかといえばそう思う」、07年10月は「必要である/どちらかといえば必要である」

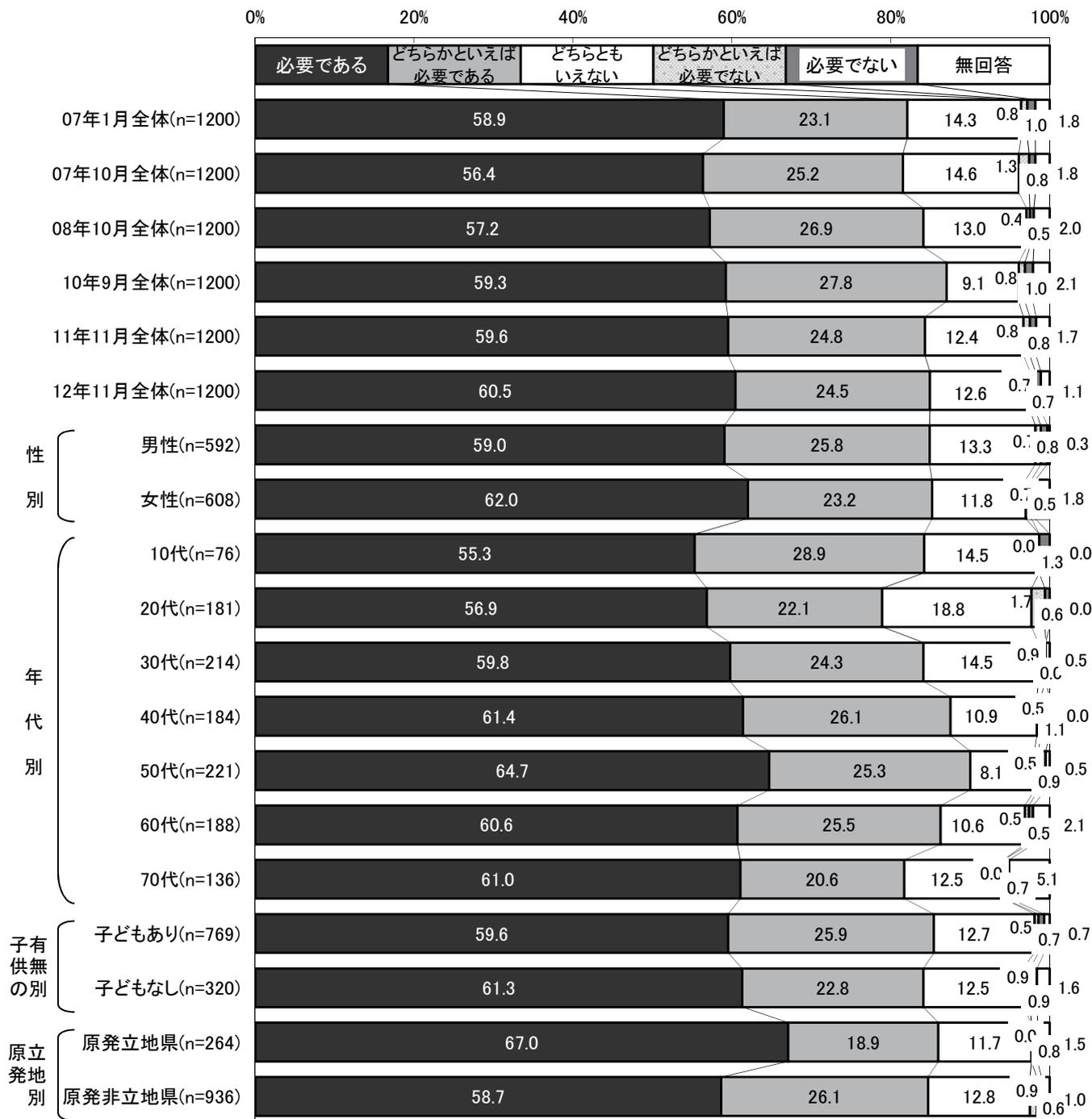
●原子力広報評価～知識普及啓発活動のあり方⑤

「(原子力に関して)学校の授業で教えること」に対し、「必要である」という回答は60.5%、「どちらかといえば必要である」は24.5%で、この考え方に肯定的な回答(「必要である」+「どちらかといえば必要である」)は85.0%。前回と同水準のスコア。

年代別で見ると、「必要である」という回答は10代から50代にかけて年代が上がっていくにつれて高くなる傾向。原発立地別で見ると、「必要である」という回答は立地県で67.0%と高く、非立地県を約8ポイント上回っている。

問10-i. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)

【学校の授業で教えること】

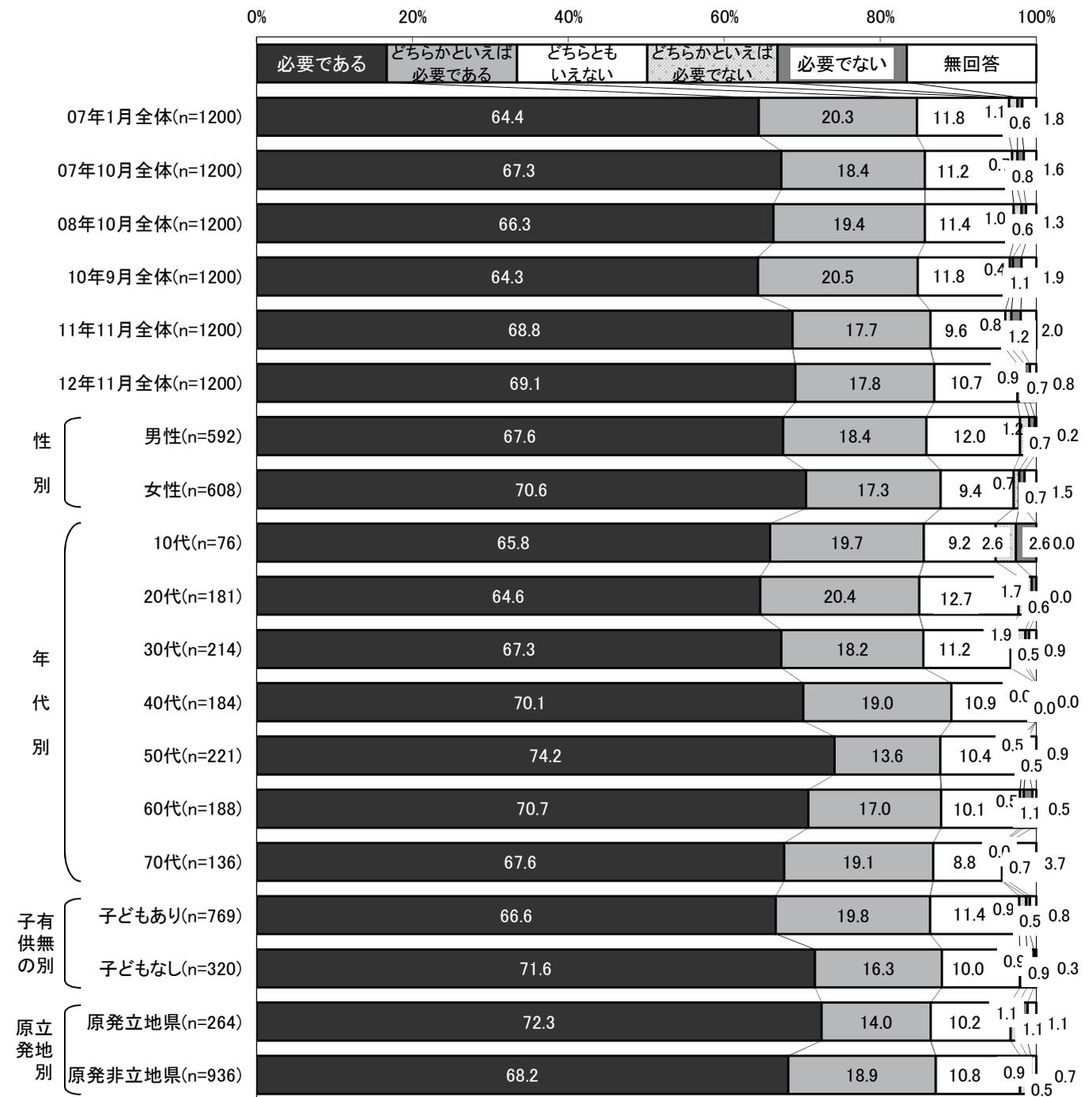


* 07年1月の選択肢は「そう思う/どちらかといえばそう思う」、07年10月は「必要である/どちらかといえば必要である」

●原子力広報評価～知識普及啓発活動のあり方⑥

「(原子力に関して)些細なことでも隠さず伝えること」に対し、「必要である」という回答は69.1%、「どちらかといえば必要である」は17.8%で、この考え方に肯定的な回答(「必要である」+「どちらかといえば必要である」)は86.9%。前回と比較して、ほぼ同様の水準。
年代別で見ると、「必要である」という回答は50代(74.2%)が最も高く、全体より約5ポイント高い。

問10-j. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)
【些細なことでも隠さず伝えること】

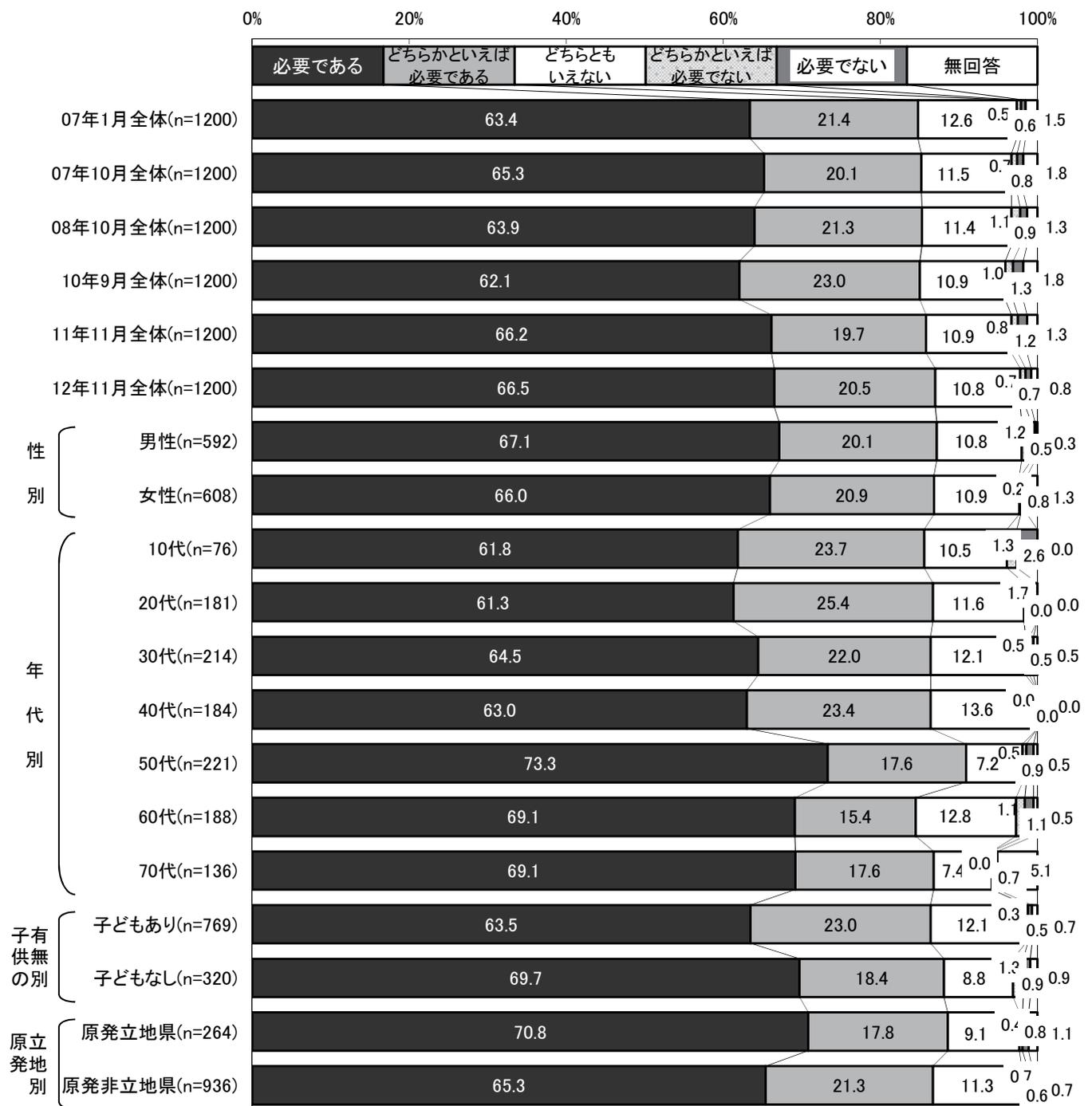


* 07年1月の選択肢は「そう思う/どちらかといえばそう思う」、07年10月は「必要である/どちらかといえば必要である」

●原子力広報評価～知識普及啓発活動のあり方⑦

「(原子力に関して)都合の悪いことでも情報を外部(マスコミや国民など)に伝えること」に対し、「必要である」という回答は66.5%、「どちらかといえば必要である」は20.5%で、この考え方に肯定的な回答(「必要である」+「どちらかといえば必要である」)は87.0%。前回とほぼ同水準のスコア。
年代別でみると、「必要である」という回答は10～20代で低め。一方50代では全体を約7ポイント上回る高い反応率。

問10-k. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)
【都合の悪いことでも情報を外部(マスコミや国民など)に伝えること】



* 07年1月の選択肢は「そう思う/どちらかといえばそう思う」、07年10月は「必要である/どちらかといえば必要である」

●原子力広報評価～原子力やエネルギーに関する情報についての所感

原子力やエネルギーに関する情報について感じることを自由に記入してもらった結果は以下の通り。

問25. 原子力やエネルギー、放射線、またこれらに関する情報源、情報発信の手段などに対するお考えがあればお書き下さい。(ご自由に)

回答内容
物が便利になると、人の欲求が増えていくものです。だから、少しずつ日本全体が変わっていくことを願っています。殺人事件などが少しずつ無くなれば、日本は平和とは言えません。(男性、16歳、宮崎)
わかりやすくして下さい。(男性、17歳、福島)
わかりやすく報道してほしい。(男性、18歳、神奈川)
正確な情報を隠さず公開して欲しい。テレビも時間を使って放送して欲しい。(男性、18歳、山梨)
政府はもっと情報を公開すべき。(男性、18歳、兵庫)
隠ぺい体質が多い。(男性、20歳、東京)
インターネットに発信する。(男性、20歳、東京)
もっと公開すべき。(男性、20歳、大分)
国で考えてやって下さい。(男性、21歳、広島)
テレビなどの大手メディアはもっと多くの情報を公開すべきである。(男性、21歳、熊本)
隠さず情報を流す。(男性、23歳、千葉)
福島原発の事故が特別なものではなく、全国的にどこでも起こりうることを、日本国民が認識し、安全に関する国、自治体の適切な情報公開が望ましい。(男性、23歳、神奈川)
そもそもわからない人に話すなら、誰もがわかるように話すべき。(男性、26歳、青森)
社会生活に伴う、放射線利用による受益とリスクに関する情報提供をもっと日常の中で、テレビやラジオ等で流すべき。(男性、28歳、兵庫)
安全に関する情報が具体的に信用できない。(男性、29歳、愛知)
原子力のエネルギーは、必要だと思う。そこで働く人もいる。(男性、29歳、秋田)
原発はいらん。原発が存在すること自体が悪でしかない。いくら安全といっても本当に安全なものはない。国民のほとんどが原発はいらないと思っているのに、維持しようとする自治体、政治家はバカだ。(男性、29歳、静岡)
地デジのデータの中にもりこむ。(男性、30歳、福井)
安全を第一に考える。原子力発電は止める。(男性、30歳、京都)
日本人はもっと自然科学全般について理解を深める必要がある。(男性、32歳、新潟)
不用意に原子力など反対するメディアを良くないと思う。メリットをきちんと伝えていった方が良く思う。(男性、34歳、東京)
全ての情報を出す必要はないが、責任を持つ人がしっかり「責任」を果たして欲しい。(男性、35歳、福岡)
食品だけでなく、被災地周辺や近県に関する風評被害を抑えることに、もっと力を尽くすべきだと思います。(男性、35歳、山形)
東京電力は事故内容について全て情報公開すべき。(男性、36歳、神奈川)
女川原発で福島で起きた事故の放射能を確認したと聞きましたが、宮城県内の影響、本当のことを教えてほしい。国会は解散などで盛りあがっているが、復興する気があるのか？大変な人たちはまだ沢山いる。あの震災も風化するのかと思う。(男性、36歳、宮城)
情報が部分的だったり偏ったりするのは当たり前。個々人で情報を精査すべき。情報源、情報発信の手段に望むことは現状で特にない。エネルギー、原子力、現状で不備、不具合があるなら変えれば良い。利権がらみで現状を変えないのは良くない。(男性、36歳、東京)
技術開発にお金がかかるが、自然エネルギー利用にこれからも取り組んでいくべき。(男性、36歳、東京)
線量等は、デジタル放送でいつでもチェックできると便利(目安が良い)。(男性、37歳、東京)
TVCM枠が短く、理解しやすい手段だと思われる。(男性、37歳、千葉)
専門家、政治家など意見がわかれている。利益などを度外視して正確な情報を教えて欲しい。(男性、37歳、兵庫)
地熱発電が、温泉地に影響が出るというテレビを見た。地熱発電は、ノーリスクだと思っていたのでビックリした。エネルギー開発はもっと地元の意見を聞くとともに、情報を発信して欲しい。(男性、37歳、沖縄)
もっと、わかりやすい情報の公開。(男性、37歳、愛媛)
より正確な情報を、公開して欲しい。(男性、37歳、長野)
地域での、または自治体での講演会等を実施すべき。それも子供達や老人に分かりやすく。(男性、37歳、新潟)
真実は組織以外には伝わらない。(男性、38歳、東京)
テレビからの正確な情報。(男性、38歳、神奈川)
東京電力が情報をもっと早く出し、専門家が早くに一般市民にわかりやすくテレビ等で伝えるべき。(男性、38歳、大阪)
断片的でなく、総合的な見地で伝えてほしい。済んだことの反省は必要だが、それよりもこれからどうするのかに重きを置くべき。(男性、39歳、千葉)
フラットに情報を発信して欲しい。(男性、39歳、岐阜)
・事故当時のビデオなど、一部公開ではなく、全部公開し、それに対しそれぞれの専門家がそれぞれの見解を示して欲しい。判断はこちらである。
・いろいろ発表されるが、原発に対し不信感しかなく、もっと正確な情報を開示していただきたい。(男性、39歳、長野)

●原子力広報評価～原子力やエネルギーに関する情報についての所感

原子力やエネルギーに関する情報について感じることを自由に記入してもらった結果は以下の通り。

問25. 原子力やエネルギー、放射線、またこれらに関する情報源、情報発信の手段などに対するお考えがあればお書き下さい。(ご自由に)

回答内容
全ての情報を国民に公開して欲しい。(男性, 39歳, 神奈川)
国民に対して、すべてを公表した方が良いと思います。(男性, 39歳, 東京)
「3.11」の震災による原発事故直後、テレビなどで連日「大丈夫」「安全」「心配ない」と言い続けた専門家を見て、マスメディアに対する信頼もなくなった。自然に入ってくる情報より、自分で探し、調べて入手する情報のほうが信じられると思うようになった。(男性, 40歳, 山口)
政府、マスコミはウソつき過ぎ。(男性, 40歳, 新潟)
発電事故に関する情報公開。(男性, 41歳, 愛知)
情報公開は全てのことについて行ってほしい。(男性, 42歳, 神奈川)
CMの量を多くする。テレビでも、もっと発信をする。(男性, 43歳, 神奈川)
この現代に電力は必要不可欠。ただ今までのような無駄遣いはやはりよくない。家での節電は良い事だけれど店の照明が暗いのは正直購買意欲が沸かなかった。ある程度の電力は必要。でもCO2が増え、地球の温暖化は問題。自然エネルギーを利用しながらもどうしても原子力には頼らざるを得ないと思う。原子力反対とかデモをしている人達は代替案もなく偽善的に感じられる。またそれを偽善者ぶって放送するマスコミも問題!!(男性, 44歳, 千葉)
情報公開(男性, 45歳, 東京)
報道に関してオープンにして欲しい。(男性, 45歳, 京都)
日本だけは、こういう災害が起こった時に情報を隠蔽する国ではないと思っていたが、日本も、他の共産国と同様なんだと感じた。(男性, 45歳, 千葉)
テレビ、ラジオなどでもっとやって欲しい。(男性, 46歳, 北海道)
情報が正しく伝えられない。(男性, 46歳, 静岡)
国だけに任せるのではなく、専門家や第三者的な立場の人々の機関を作り、そこから、国民に情報を発し、もっと国民の意見を取り入れて問題を決めたり、解決してゆくべきでは。具体的には難しい事だが、今の政治家任せではどんどん先送りされてしまう(何事に対しても同じだから)。(男性, 48歳, 兵庫)
原発に関しては、東電は民間の一企業であり、収束に向けて力不足だと思う。不安。(男性, 49歳, 埼玉)
集会を沢山開く。(男性, 49歳, 福井)
全ての情報を公開し、テレビ等で詳しく報告する。(男性, 50歳, 埼玉)
政府は、都合のいいことしか公表しない。(男性, 50歳, 新潟)
放射能は、とても危険だと思っています。また、放射能廃棄物の処理方法も決まっていない中で、原発が稼働しているのはとても愚かな話に思えます。マスコミにはもっと原発の危険性を報道して欲しいと思います。(男性, 52歳, 新潟)
地元の復興支援が、あまりにも不備に思える。事業資金の件は、あまりにも不公平に思う。この頃、現地の様子情報が少ない。(男性, 53歳, 兵庫)
日常生活の中で一番、情報が入りやすいのはTVや新聞で、時間が経つと忘れてしまいます。特に見聞きするのは、マイナス面ばかり。もっと短時間でも、私達に関心を持つような情報を発信して下さい。私を含めて、無関心な人が多いので、わかりやすい情報が欲しいです。(男性, 53歳, 兵庫)
最近ではニュースにもならない。忘れてはいけないと言いながらテレビから消えつつある。我々は問合せ先も知らずに一方的にテレビや新聞で見ただけになっている。これでは何も変わらないのではと思う。(男性, 54歳, 山梨)
わかりやすい説明。(男性, 54歳, 千葉)
何か事故があった場合、国民にわかりやすく、情報をいち早く流してほしい。(男性, 55歳, 埼玉)
あまった電力を蓄えることができる電池の必要性!(男性, 55歳, 茨城)
十分に公開すること。(男性, 55歳, 富山)
・関係機関(省庁)が多すぎて、やっていることがバラバラな気がする。 ・原子力はエネルギー政策をもう一度よく考え、決めて行って欲しい。すぐにゼロにするとと言っても、実質問題として無理。我々国民も原子力をゼロにするのであれば、相応の不便さも覚悟しなくてはならないと思います(生活を変えないで、安全だけ求めてもダメ)。(男性, 55歳, 長野)
新聞、テレビ等のメディアは、正確な情報と、広告主に左右されない皆の意見を出してほしい。(男性, 56歳, 北海道)
わかりやすいTV番組の放送を流してもらいたい。(男性, 56歳, 大分)
原子力発電は、全て無くするのが最良。(男性, 56歳, 和歌山)
事実の報道ができる機関を設置。解析力のある担当者をテレビに出していただき、国民に伝える。(男性, 56歳, 山形)
原子力は上手にコントロールして利用すべきです。避難されている方たちの多くは自宅に帰れる程になっていると思います。いたずらに不自由を強いている行政、マスコミは、それこそ人権侵害に近いものがあります。ホルミシス効果もある位ですから。(男性, 56歳, 熊本)
政府、自治体、公共機関が積極的に情報を公開し提供していくこと。(男性, 57歳, 愛知)
電力、エネルギーの供給が今の半分になった時、日本経済が崩壊しても、人類は滅びない。今のままのエネルギー供給を続けたら、経済は保っていても、将来自然が壊れて、人類が減るかもしれない。(男性, 57歳, 福岡)

●原子力広報評価～原子力やエネルギーに関する情報についての所感

原子力やエネルギーに関する情報について感じることを自由に記入してもらった結果は以下の通り。

問25. 原子力やエネルギー、放射線、またこれらに関する情報源、情報発信の手段などに対するお考えがあればお書き下さい。(ご自由に)

回答内容
日々の生活の中で耳、目からは情報が入るが、だからといって、どうしよう、こうしようといった具体的なことは現実無理である。ただ、見守るだけである。(男性、58歳、東京)
小さなことでもテレビ、新聞で取り上げて欲しい。(男性、58歳、大阪)
新聞、マスコミによる情報。(男性、58歳、埼玉)
技術的には防げた人災事故と言われるに至っては、全市町村単位で、モニタリングポストと、食品検査機器の常設化で気象庁のアメダスクらいの観測体制が必要。事故が起こった時に、拡散予報がリアルタイムで次々に出てくれば、間違った方向へ避難しなくてもよくなる。(男性、58歳、新潟)
TVなので定期的に特番として放送してもらいたい。(男性、58歳、福岡)
メディアの活用は情報発信の手段として有効と考える。中でも空中戦ともいえる、ソーシャルメディアの活用、TVの商業活用(知名度の高いゲストを選ぶ)、E-mail等、同時に大勢の人に情報伝達できる。(男性、58歳、熊本)
安全第一のエネルギー政策にして欲しいです。(男性、59歳、東京)
日常的にテレビ、ラジオ、新聞等で、気軽に専門的なことでも国民一人ひとりに知らせてほしいです。(男性、60歳、北海道)
情報は隠さず知らせて欲しい。総理は自分が口を出すのではなく、専門の者に任せるべき。そして自分が責任を取るぐらいの気持ちが必要(村山総理のように)。(男性、60歳、茨城)
原発は日本国にとって必要。(男性、60歳、福島)
原発事故に対しては現政権の方が正直に思える。政権に入れぬ共産党や民社党はもつと正直とは思ふ。しかし、自民党はほとんどの方が信用できない。すぐ大企業側に寄っていく。独立した権限を持つ強力な機関を作るべき。(男性、60歳、埼玉)
信頼できると思う情報源がないので、第三機関的信息発信源を作って欲しい。(男性、61歳、北海道)
マスコミの正確な報道。(男性、61歳、東京)
人間の知識、能力で最終処理できないものを扱うべきではない。(男性、62歳、神奈川)
何を信じていいかわからない。(男性、62歳、大阪)
共有する認識が必要では(国、企業、人)。(男性、62歳、北海道)
NHK、ニュース等において、放送して欲しい。(男性、63歳、栃木)
今すぐに原発を止めること(全部なくすこと)はできないと思います。できる限り急ぐ必要はあると思いますけれど。(男性、63歳、静岡)
情報公開が不明確。正確性がない。(男性、64歳、三重)
今回の事故のように、流出した放射性物質を完全に制御できる技術のない者が、原発を扱う資格があるのか？(男性、64歳、静岡)
一定期間の秘密事項があっても、「〇〇年後の全面公開」を義務付けて、歴史的にも記録を抹消しないことを願う。科学のプラス/マイナスは常にあり、それを選択するのはその時代に生きた人間達が判断し、将来を決めて行けると良いのだがな。(男性、64歳、静岡)
マスコミが騒ぎすぎ。(男性、64歳、東京)
汚染された土地を何年経過すれば元通りになるのか？100年は必要だと思うが、それに対する東電、国の対応は…？国会で好き勝手に言ってないで、議員が現地を半年くらい冬に生活してみればわかるはずだ！(男性、65歳、埼玉)
新エネルギーや省エネ技術に関する啓蒙、助成。(男性、65歳、兵庫)
電力会社正し、電力量をおいていないように感じる。(男性、67歳、東京)
莫大な資金で運用されるテーマだけに、あらゆる反対情報も全て公開し、誰も自由にその情報が手に入れられるシステムを構築すべきである。特に、学術関係者や団体に於いては、正反対の意見や情報を発信する立場を閉ざしてはならないと思う。(男性、67歳、大分)
原子力発電所内に国、自治体の方が、常時入って見守っていく(事務所を設ける)。(男性、67歳、島根)
国民に対する安全策を実行して欲しい。(男性、68歳、愛知)
原子力や、放射線については、単純でないだけにわかりにくく、理解できないことが多い。(男性、68歳、埼玉)
乳児、幼児への放射線の影響。(男性、69歳、徳島)
今後日本は自然エネルギー源を多く利用して、発電コストをできるだけ抑えて安全第一で原子力発電に変わる対策を考えてほしい。(男性、70歳、福井)
国を信頼できるように、また信頼されるように全力で頑張してほしい。(男性、71歳、神奈川)
専門用語が沢山あり理解が難しい時もあるので、もっとわかり易い説明がなされると良い。情報がバラバラな時もあるから、ただ民衆に不安を与えるような報道だけは避けていただきたい。(男性、72歳、埼玉)
原子力を制御するのはとても難しい…廃棄物の問題もある…。(男性、72歳、石川)
日本の専門家は知識がないように思う。米国や他国の専門家の意見を導入すべき。(男性、73歳、兵庫)
NHKで一日数回毎日情報を発信するのはどうですか？色々なチャンネルだと、いつどこで発信しているかわからないから。(男性、74歳、東京)
原発がなくとも電力は足りている。(男性、74歳、愛知)

●原子力広報評価～原子力やエネルギーに関する情報についての所感

原子力やエネルギーに関する情報について感じることを自由に記入してもらった結果は以下の通り。

問25. 原子力やエネルギー、放射線、またこれらに関する情報源、情報発信の手段などに対するお考えがあればお書き下さい。(ご自由に)

回答内容
安全に関する情報は、すみやかに包み隠さず公表すべきである。(男性, 76歳, 兵庫)
全面公開すること。(男性, 77歳, 宮城)
TV、新聞等で情報を知る。(男性, 77歳, 岩手)
餅屋は餅屋、お願い一番と思う。(男性, 77歳, 愛知)
情報を正確に公開する事。(男性, 79歳, 広島)
学校での授業で、もっと多く詳しくやってほしい。(女性, 15歳, 神奈川)
学生は、テレビを見る人も少ないし、新聞にも経済にも興味のない人が多いと思う。そういう人達に、どうやって情報を伝えていくかが大事だと思う。(女性, 15歳, 鹿児島)
自分達に不利な情報は、伝えないのではなく、全てをはっきりと国民に示して欲しい。(女性, 15歳, 長野)
テレビのニュースでしつこいくらいに原発などのニュースをやり、情報をもっと公開すべき。(女性, 18歳, 東京)
もっと正しい情報を正確に国民に届けるべきだと思う。(女性, 19歳, 熊本)
不利な情報も公開してほしいと思う。(女性, 22歳, 神奈川)
テレビでよくやっているが難しく、あまりちゃんと見ようという気にはなれない。(女性, 25歳, 鹿児島)
海外からの見方も逆に取り込んでみたい。(女性, 26歳, 埼玉)
情報を隠さずきちんと公開してほしい。(女性, 26歳, 岩手)
様々な生活環境があるのでテレビやラジオ、新聞のような意識して見なきゃいけないものよりも、メール配信(携帯やパソコンなど)するとか、より身近なところからの発信があればと思う。(女性, 27歳, 北海道)
情報がほとんどない。(女性, 28歳, 神奈川)
頭ごなしに原子力がダメと決めない方が良いと思う。放射線に対しても誤解が多く、パニックになったので知識をつけるべきだと思います。(女性, 28歳, 神奈川)
マスコミによる風評被害がすごく気になります。テレビで言うことにもっと責任を持って欲しい。専門の方がちゃんとした情報を訴え続けて欲しい。(女性, 32歳, 大阪)
何かあれば柏市や携帯の防災速報というアプリから情報が届くので、とても便利になったと思う。(女性, 34歳, 千葉)
あらゆる情報源から、わかりやすい情報をどんどん届けてほしいです。インターネットや携帯電話の普及で、新聞をとってない家庭もあるので、ネットや携帯ニュースでも詳しい情報を届けてほしいです。(女性, 34歳, 神奈川)
時の経過と共に報道などで目にする機会が減っているように感じます。もっと増やすべき。(女性, 34歳, 東京)
スーパーで置いてある福島県産の野菜は、いまだに人気がないような気がします。もっともって安全性を伝えていかないといけないと思います。人気アイドルを広告に使ったりして…。(女性, 35歳, 神奈川)
後から後から今までの嘘が出てきてとても信用できない。福島出身の友達がいる、実家に戻りたいのに戻れない状態。早く安心して戻るよう環境が元に戻って欲しい。そして正確な情報が国民全員に伝わるようにして欲しい。(女性, 35歳, 大阪)
たいてい重要な情報はTVやネットではなく、口コミのように人から人へ伝わるのでそれをうまく活用できれば…。(女性, 35歳, 奈良)
細かいこと等も、ネット等にすぐ書き込みをすれば、見た人は少しでも安心ができると思う。(女性, 36歳, 東京)
原子力は、発電所を作っても、使わなくなった核の処理がしっかりと安全になくなるような処理を開発しないと(埋めるだけではだめ)、いけないと思う。作ったものは責任を持って安全に処理してもらいたい。(女性, 36歳, 静岡)
マスコミは片寄った意見を言わず、公正な立場で物を言うべきだと思う。(女性, 37歳, 福岡)
・現在、福島第一原発で、事故の収束に向けて体を張って活躍してくれている方達の声を、もっと聞くべきだと思う。 ・風評被害にあわれている方達の声も、どんな小さいことでもいいから、どんな被害にあっているのか、積極的に聞き、1人1人の人が“自分が同じ立場なら”と、考えるべきだと思う(実際、スポーツの遠征で来ていた、福島出身の人に“福島県民と言っただけで変な顔をされる”“避けられる”等、直接声を聞いた)。(女性, 37歳, 広島)
私たちの生活をおびやかす事故などの情報は、正しく迅速に発信してほしい。(女性, 38歳, 東京)
情報発信については、正しく確実に正確に、国民全員がわかるように伝えてほしい。(女性, 39歳, 神奈川)
よくわからない部分が多すぎるので他人事になってしまう。学校や地域で情報源になるような場を設けてもいいと思う。(女性, 40歳, 大阪)
中立の立場の人の意見をわかりやすい言葉で発信して欲しい。(女性, 41歳, 埼玉)
誰もが(子供からお年寄りまで)わかるような、原子力・原発についてわかる番組を、TVで放映して欲しい。順序を追って週刊子供ニュースの原子力特集・特番のように、CMでもいつやるかはっきり何度も放映し、人の目につくようにして、関心を持たせ、皆が正しい知識を身につけられると良いと思います。それによって、風評被害も和らぐでしょう。(女性, 41歳, 埼玉)
子供達が大人になった時に、日本で安全で安心して暮らしていけるように、エネルギー開発をして欲しいです。(女性, 41歳, 広島)
様々な人が自由に発言、報告ができる機関があればいいと思う。大学や研究者、専門知識者が、直接政府に意見できるサイトを作り、政府はそれに対し誠実に対応、意見交換をしなくてはならない等。(女性, 41歳, 大阪)

●原子力広報評価～原子力やエネルギーに関する情報についての所感

原子力やエネルギーに関する情報について感じることを自由に記入してもらった結果は以下の通り。

問25. 原子力やエネルギー、放射線、またこれらに関する情報源、情報発信の手段などに対するお考えがあればお書き下さい。(ご自由に)

回答内容
専門家、国、電力会社が一つになり、専門家を中心とする組織を確立する。情報は隠さず、わかりやすく、国民に伝えるべきだと思う。(女性、42歳、東京)
防災無線のように一家に一台あったら良いと思う。(女性、42歳、愛知)
こういう時でも電力会社の人達が、高給をもらっているのがおかしいと思う。結局、自分の利益が第一なんだと思う。(女性、42歳、福岡)
色々な考えや情報があり、正直どれが正しいのかよくわからない。信頼できる機関がない感じがする。(女性、42歳、神奈川)
マスコミの報道にも偏りがあるので、より正確な情報が伝わるように日頃から報道してもらいたい。(女性、43歳、福岡)
エネルギー問題について…今、原発廃止の声が大きくなってきています。福島のことを考えると、当然のことなのかもしれませんが。原発がなくても大丈夫なのであれば、それに越したことはないでしょう。実際全ての原発が停止しても、どこでも電気は需給できていました。電力が足りないと言われていた東京電力が、他の電力会社に電気を融通しているのもちょっと？不思議でした。私達にはわからない、いろ～んなことが裏であるようで嫌です。
テレビ等からの情報や、新聞の記事等も、正直難しく、よく理解できないまま終わりにしてしまうこともあります。現時点で原発を全て廃止した場合、国民の生活がどう変わるのか、その状態に対応して行けるのか、わかりやすい言葉できちんとした説明をしても良いのではないかと思います。不便な状態になるのも覚悟で、一度シミュレーションをしてみても国民一人一人に考えてもらい、答えを出してもらいたいのではないかと思います(くれぐれも、裏のない状態で)。(女性、44歳、新潟)
くもりのないメディア情報。(女性、45歳、東京)
状況を毎月テレビで発表。インターネットでいつでも検索できるようにする。(女性、46歳、神奈川)
テレビで嘘偽りなく情報公開をする。(女性、46歳、東京)
専門的なことはわからないので、国民にわかりやすく説明してくれたらと思う。(女性、47歳、青森)
原子力や放射線に詳しくないけど、テレビなどの情報で早く詳しく事故とか安全なのかわかりやすく発表して欲しい。(女性、47歳、三重)
情報がたくさんありすぎ、どれが本当かよく分からない。(女性、47歳、埼玉)
情報発信者または団体、国は国民に全ての情報を開示すべき。(女性、48歳、千葉)
どんな情報でも隠さずすべてオープンに！(女性、48歳、奈良)
地区の回覧板や情報(公報)に載せる。(女性、49歳、福岡)
インターネット(女性、50歳、神奈川)
今休止している他の原子力発電所を使わないと今後電力不足になる。(女性、50歳、岐阜)
ツイッターが普及してからデマが多くなったように感じる。ネットを利用するよりもテレビや動画サイトの方がわかりやすいし、信頼できる。(女性、51歳、大阪)
情報公開をきちんとやって欲しい。放射能物質による健康への影響をもっと説明して欲しい。(女性、51歳、東京)
月一回、施設の状態をコメントする。全施設。(女性、51歳、山形)
NHKを使って天気予報のようにある程度決まった時間に情報を発信して欲しい。(女性、52歳、大阪)
マスコミの発信する情報は公正であるとか限らないことを認識しながら見ていかなくてはならない。(女性、52歳、東京)
我が家は今テレビがありません。3/11の時も3/13の時もよくわからず、母からや主人の電話でとても動揺しました。高齢者など、いろいろな人がいます。早く正しくわかり易い情報がすべての人に行きわたるような手段をお願いします。(女性、53歳、神奈川)
スピーディーの公表など国民のことを第一に考え、状況に応じた情報提供をするべきだと思う。(女性、53歳、大阪)
・遠い将来、原子力というエネルギーが必要になる可能性があるかも知れないので、研究は続けていくべきと思うが、人の生活圏に近接していない所を限定して(地球規模-IAEAのような機関)行って欲しい。ただ、テロや国家間の力関係で優位性が決まる危険もあるので、難しいことは明らか！
・現在、日本国内で原発がなくても何とかやっていけると思うし、CO2削減が本当にどうしても必要な事なのかが懐疑的と考えている。藻等を使ったバイオ燃料の研究に資金投入する事はできないのかと思う。ただ、環境を破壊しないよう、省エネを追求し、退廃的でない生き方をすべきと思う。(女性、53歳、神奈川)
あとになって報告されては不安が募ります。明確に報告してほしいです。(女性、54歳、埼玉)
これまでエネルギーを自由に使いすぎたので、できる限り節電していきたい。(女性、54歳、東京)
ジャーナリスト(?)青山さんという方は実際に原発(福島)へ行かれて目で見て様々なことをテレビを通して情報をくださるのでとても信頼しています。政府の対応はスピーディーにしても早く公開して安全な場所へ避難できるようにして欲しいかったです。政府にとって不利であっても国民に本当のことを伝えるべきです。(女性、54歳、三重)
世界No.1(今はNo.2?)の、スーパーコンピューター“京”に、全て正しいデータを入力して、その結果を全て発表して欲しい(スピードも使うこと)。何の為に多額の税金を使って、“京”を作ったのか？こういう時に使わなくて、いつ使うつもりなのか？(女性、55歳、東京)
原子力の情報が政治への情報に変化しつつある。もっと現地への詳細な情報発信を…。(女性、56歳、東京)

●原子力広報評価～原子力やエネルギーに関する情報についての所感

原子力やエネルギーに関する情報について感じることを自由に記入してもらった結果は以下の通り。

問25. 原子力やエネルギー、放射線、またこれらに関する情報源、情報発信の手段などに対するお考えがあればお書き下さい。(ご自由に)

回答内容
福島で働いている人の意見をもっと公開すべきだと思う。現地の人が一番よく知っているから。(女性, 56歳, 栃木)
安全性や、色々な影響を、わかりやすく説明して欲しい。(女性, 56歳, 広島)
原子力でなくなれば、近隣諸国との外交的な危機の可能性もあると聞いている(核の抑止力)。外交力の強化も合わせて必要かと思えます。(女性, 56歳, 兵庫)
専門家や学者や講師たちのいうことが信頼できない。(女性, 57歳, 宮城)
原子力エネルギーは将来は封印されるべきと思いますが、それに代わるエネルギーの確保がまず必要な訳で、発電・蓄電の技術の発展がなければ、何も終わらないと思う。将来は各戸が自分の電力は自分で発電し、貯え、余ると他へ送電するという循環が成立していると思う。この方面の科学者、技術者のガンバリを希望します。(女性, 57歳, 岡山)
高齢者や子供たちにも関心が向くように伝達手段を工夫して欲しい。(女性, 60歳, 大阪)
私達がこの問題を知るのにはテレビ、新聞がほとんどなので正確にできるだけ伝えて欲しい。(女性, 60歳, 大阪)
・放射性廃棄物を深い地層に埋没することは、未来の日本に住む人々に絶対に悪影響ではないと言えるのか。 ・放射能の恐ろしさを世界で一番知っている日本が、想定外の津波と言いつつ、原子力発電所の事故を、仕方なかったように言っている責任は、非常に大きいと思う。 ・事故が起これば、人類の存亡の危機！他のエネルギーを開発すべきだと思う。(女性, 60歳, 山口)
生活が不便でも、原子力等はやめ、自然のものを使うべきだと思う。(女性, 62歳, 神奈川)
平和なことに使用されていけば賛成です。(女性, 62歳, 京都)
信じられる情報を期待しています。(女性, 62歳, 福岡)
今まで原子力発電は安全で事故なんて起きないと思っていましたが、福島の事故で恐ろしさを知りました。絶対安心と聞いていたのですが、絶対はないのだと思いました。二度と事故がない事を祈るしかないです。(女性, 62歳, 広島)
福島のことがあり、テレビ、新聞などを積極的に見るようになりました。今は大間が気になっています。30km圏内に入りますので。(女性, 63歳, 北海道)
使用済み核燃料の処分が確立されていない現在、原子力発電の稼働はすべきではない。(女性, 63歳, 福井)
石炭は外国で(20年分位まだあると聞いた)。石炭火力発電をもっと増やせばよい。(女性, 64歳, 長崎)
原子力、エネルギー、放射線など3.11がなければ何も考えられなかったことです。自分とは程遠いところに存在していた言葉のように思われます。テレビ、新聞などによって知り、改めて考えさせられました。(女性, 66歳, 神奈川)
きちんと専門の方がマスコミ等でははっきり説明してくれればいいけど、テレビ等で見ているというんな方が話している、どれが本当かなと戸惑います。私たちは60代半ばですが、孫達を見ると、この子達の先を考えると不安。(女性, 66歳, 岩手)
日本のような地震多発国では、原子力発電から徐々に脱却し自然エネルギーに変えていくべきである。(女性, 67歳, 埼玉)
町会の回覧、広告板(女性, 67歳, 東京)
生活が良くなると、エネルギー源が大量にいるので、原子力は必要だと思います。想定外の事故を予想して、安全対策を十分に行ってもらいたい。(女性, 67歳, 鹿児島)
情報の開示。しっかり調べる。(女性, 68歳, 埼玉)
医療に利用されている放射線は、信頼というより、なくてはならないものだと思いますが、対反して心配、不安も大です。本題とは少々かけ離れるかもしれませんが、大地震がもとで起きた、福島第一原子力発電所事故と、東京電力(株)からのその場限りのような単純な説明を鵜呑みにした政府官僚のいい加減な弁明の繰り返し、一日に何度となく連日のようにテレビで放映されるのを、うんざりする程見せられました。そして、農家の方々の中には、半信半疑の気持ちで、一生懸命野菜やお米を育てられました。…が、その結果、汚染されているから使用不可能…の一言で終わりました。きっと悔しさと恨めしさで逆に涙も出なかったかもしれませんね。
現在も、福島産米という名前だけで、消費者側に嫌がられると聞きました。はっきり言って、輸入されている米、野菜、魚、肉、粉類等にも、すごい農薬残留物が沢山あるのに、国内生産品をこれだけ拒否するのは不公平だと思いませんか。それもこれも全て、東電と政府に責任があることなのに、とても理解しかねます。(女性, 69歳, 大阪)
原子力でのエネルギーが安いと言われていたのが、廃棄物の処分のコストが加算されていないのでは。すべてが解決してのコストだと思います。現在処分が完璧でない限りコストは不透明ではないでしょうか。(女性, 70歳, 東京)
東電福島第一原発事故は、現在考えられる最悪のもので、全ての原発に当てはめるのはどうかと思う。マグニチュード9クラスの地震は、数百年に1度発生する位ではないか。現在の基準で、安全と思われる原発は、稼働すべきと思う。(女性, 70歳, 広島)
テレビ、新聞等で詳しく説明して頂ければ、今後若い人達にも安心させられると思います。年配者には特にありがたいです。(女性, 70歳, 福岡)
古い先短い我々の年代は何が起きようとあきらめがつくが、今後の若い世代の人々は大変だと思う。実情を自覚する若者が増えてほしい。(女性, 71歳, 神奈川)
安全に。(女性, 71歳, 富山)

●原子力広報評価～原子力やエネルギーに関する情報についての所感

原子力やエネルギーに関する情報について感じることを自由に記入してもらった結果は以下の通り。

問25. 原子力やエネルギー、放射線、またこれらに関する情報源、情報発信の手段などに対するお考えがあればお書き下さい。(ご自由に)

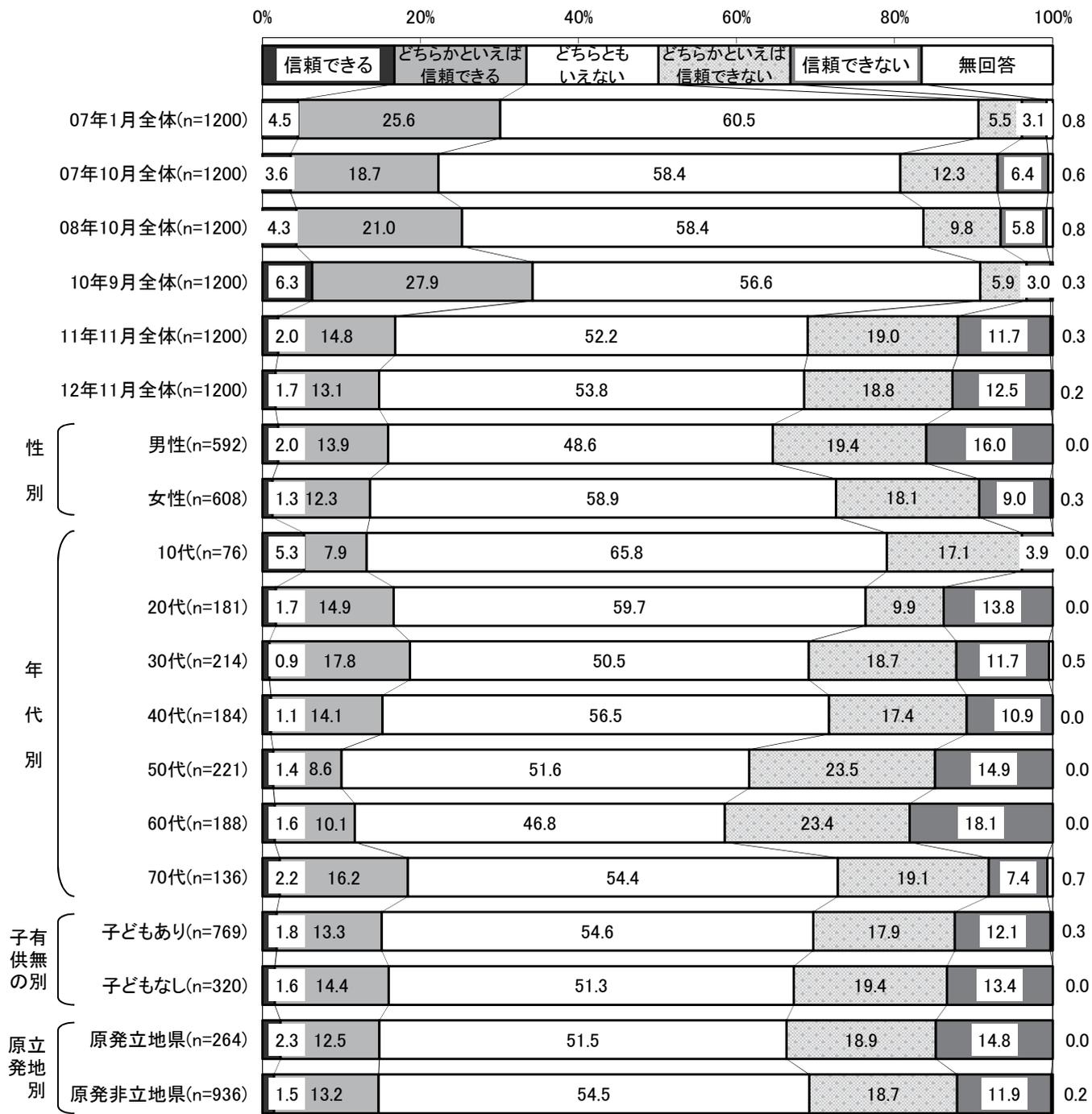
回答内容
福島県に居住している者としてかつて原子力発電の安全性をうのみにしていました。安全神話が崩れた以上55基もの原発を設置してきた国のあり方に深い疑念を持ちました。再生エネルギーとして太陽光発電を取り入れてみました。総エネルギーに対して僅かではありますが、もっと利用すべきです。被爆の実態についてはあまり報道がありませんが私たちの子孫にその負荷を残すことはなりません。30年50年と不安が残ります。(女性, 72歳, 福 島)
・つつましい暮らしに心を入れ替える。エネルギーを大切に。 ・必要最低限。細めに電気のスイッチを切る習慣が大切。(女性, 72歳, 大 分)
原子力はいらないと思う。いろいろな手があると思うが(困難、不便etc)。(女性, 73歳, 千 葉)
水や食物の汚染、健康被害、長期に残る環境汚染等。(女性, 75歳, 兵 庫)
冷静にお知らせください。(女性, 76歳, 埼 玉)
新聞、テレビが最も日常的です。庶民にわかりやすく反復して取り上げるのが良い。(女性, 77歳, 徳 島)
マスコミを通じて簡単なわかりやすい正確な情報提供が必要。(女性, 78歳, 鳥 取)
原子力発電の建設にかかる、直接建設費、設置地域に対する補償、使用済み燃料の廃棄処分費等にかかる、莫大な費用を、新しいエネルギーの開発費に廻すべきだと思います。(女性, 79歳, 兵 庫)

V章 原子力に対する信頼について

●原子力に対する信頼～原子力に携わる専門家に対する信頼①

原子力に携わる専門家や原子力関係者を信頼できると思うか尋ねた。信頼できる(「信頼できる」(1.7%)+「どちらかといえば信頼できる」(13.1%))という回答は14.8%であるのに対し、信頼できない(「信頼できない」(12.5%)+「どちらかといえば信頼できない」(18.8%))という回答は31.3%と否定派が上回る。一方、「どちらともいえない」という態度保留者が53.8%と多数を占めている。前回と比べてほぼ同様の傾向。年代別にみると、50～60代では否定派の割合が高く、ほぼ4割を占めている。また、10代では「どちらともいえない」とする回答が6割半ばを占めている。

問11-1. あなたは、原子力に携わる専門家や原子力関係者を信頼できると思いますか。(○は1つだけ)



●原子力に対する信頼～原子力に携わる専門家に対する信頼②

原子力に携わる専門家や原子力関係者を信頼できると思うか、についての回答理由を尋ねたところ、「信頼できる」と回答した理由は、「専門的な知識を持っている人だから」(59.9%)、「事故の経験を踏まえて安全対策を講じることができるから」(36.2%)、「信頼したいから」(34.5%)がトップ3。「どちらともいえない」理由としては、「情報公開が十分されていないから」(53.4%)、「大きな事故が起きたから」(40.9%)。「信頼できない」理由は、「情報公開が十分されていないから」(76.0%)、「管理体制や安全対策が不十分だから」(57.3%)、「信頼できないから」(56.5%)、「大きな事故が起きたから」(46.7%)の順。

問11-2. あなたが、問11-1でそう答えた理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

N→	全体 1200	専門家を信頼できるかどうか			11年 11月 1200	10年 9月 1200
		信頼 できる 177	どちらとも いえない 646	信頼 できない 375		
情報公開が十分されているから	2.3	7.9	1.5	0.8	2.7	5.6
情報公開が十分されていないから	53.7	7.9	53.4	76.0	55.4	34.9
事故の経験を踏まえて安全対策を講じることができるから	7.4	36.2	3.3	1.1	6.3	
大きな事故が起きたから	38.9	15.8	40.9	46.7	35.8	
管理体制や安全対策が十分だから	0.8	3.4	0.3	0.3	1.5	5.7
管理体制や安全対策が不十分だから	38.8	7.9	36.7	57.3	39.8	17.3
専門的な知識を持っている人だから	11.2	59.9	4.2	0.3	13.3	17.0
専門家にも間違いはあるから	27.1	13.0	27.6	33.1	27.4	20.5
信頼したいから	8.1	34.5	5.4	0.3	9.8	20.1
信頼できないから	27.3	1.1	17.5	56.5	27.0	10.8
その他	2.8	1.1	3.3	2.9	4.6	3.4

(%)

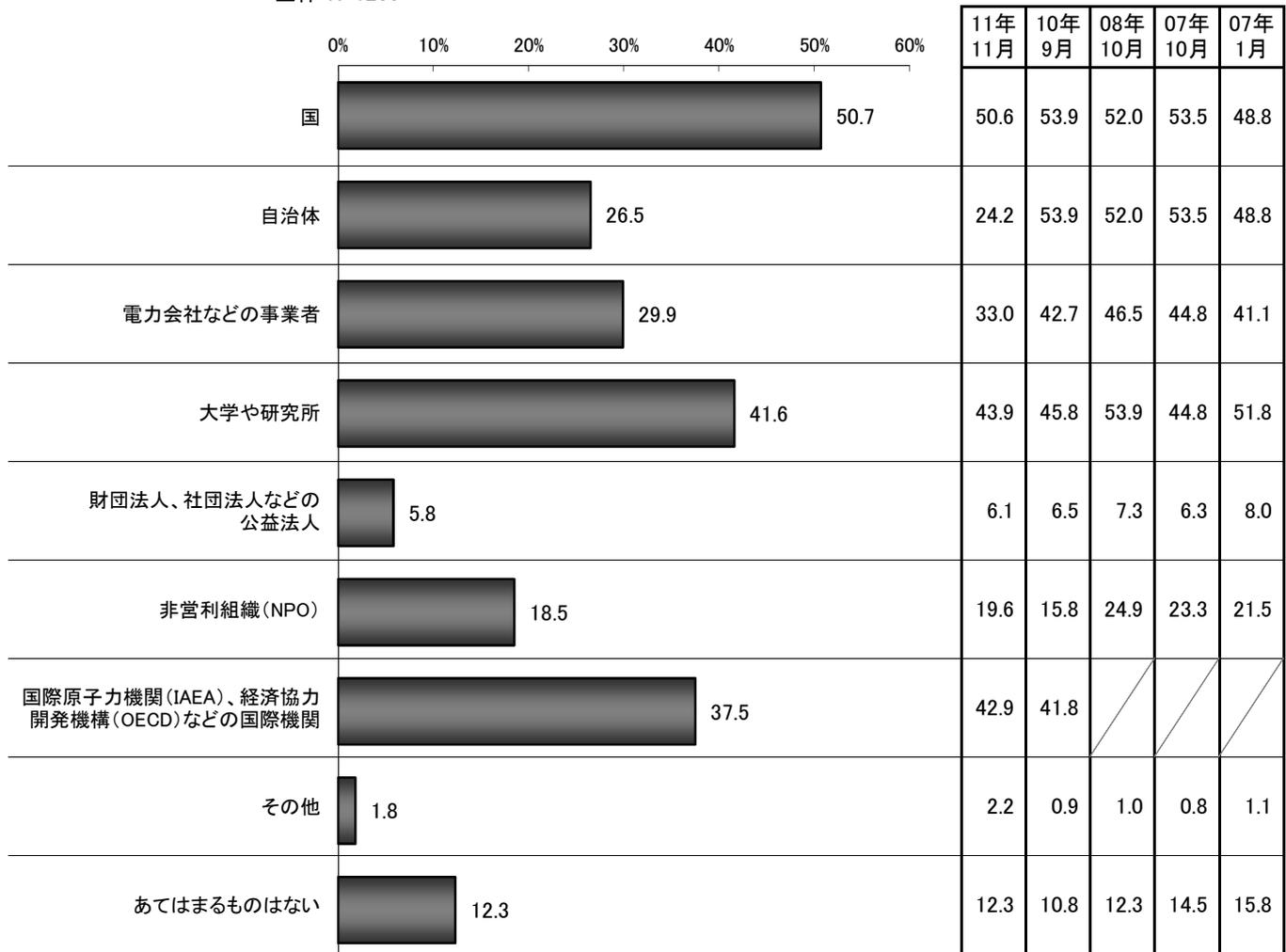
*「事故の経験を踏まえて安全対策を講じることができるから」「大きな事故が起きたから」は、11年11月から追加

●原子力に対する信頼～活躍を期待する人物

今後の安全な原子力の利用を続けていくために、どのような立場の人の活躍を期待するか尋ねた。「国」が50.7%と最も高く、次いで「大学や研究所」(41.6%)、「国際原子力機関(IAEA)、経済協力開発機構(OECD)などの国際機関」(37.5%)の順である。前回に比べて、「国際原子力機関、経済協力開発機構などの国際機関」に対する期待は約5ポイントダウンしている。

問12. 今後の安全な原子力の利用を続けていくために、どのような立場の人の活躍を期待しますか。次の中から、あなたが期待している人をすべてお選びください。(○はいくつでも)

全体 N=1200



* 08年10月までの選択肢は「公益法人(財団法人、社団法人)」、10年9月は「財団法人、社団法人などの公益法人」に変更

* 08年10月までの選択肢は「NPO(非営利組織)」、10年9月は「非営利組織(NPO)」に変更

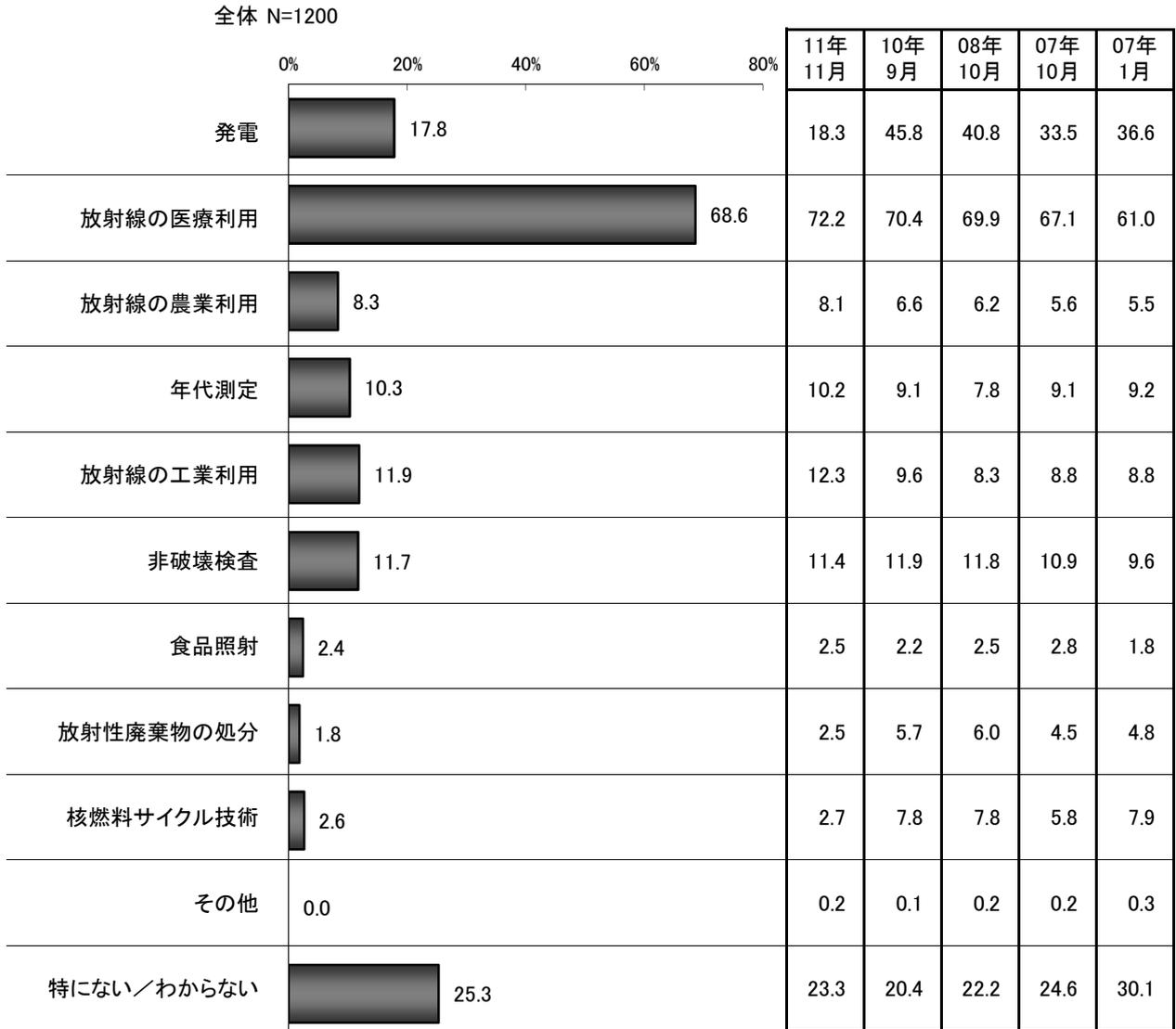
* 「国際原子力機関(IAEA)、経済協力開発機構(OECD)などの国際機関」は10年9月から追加

* 「国」「自治体」は、10年9月まで「国や自治体」として聴取。「国」「自治体」の10年9月までの数値は、参考として「国や自治体」の数値を掲載。

●原子力に対する信頼～信頼できる原子力技術

日本の原子力技術のうち信頼しているものを尋ねたところ、今回も「放射線の医療利用」が68.6%と突出。それ以外の項目は、低い水準にとどまっている。前回と比べてほぼ同様の傾向。

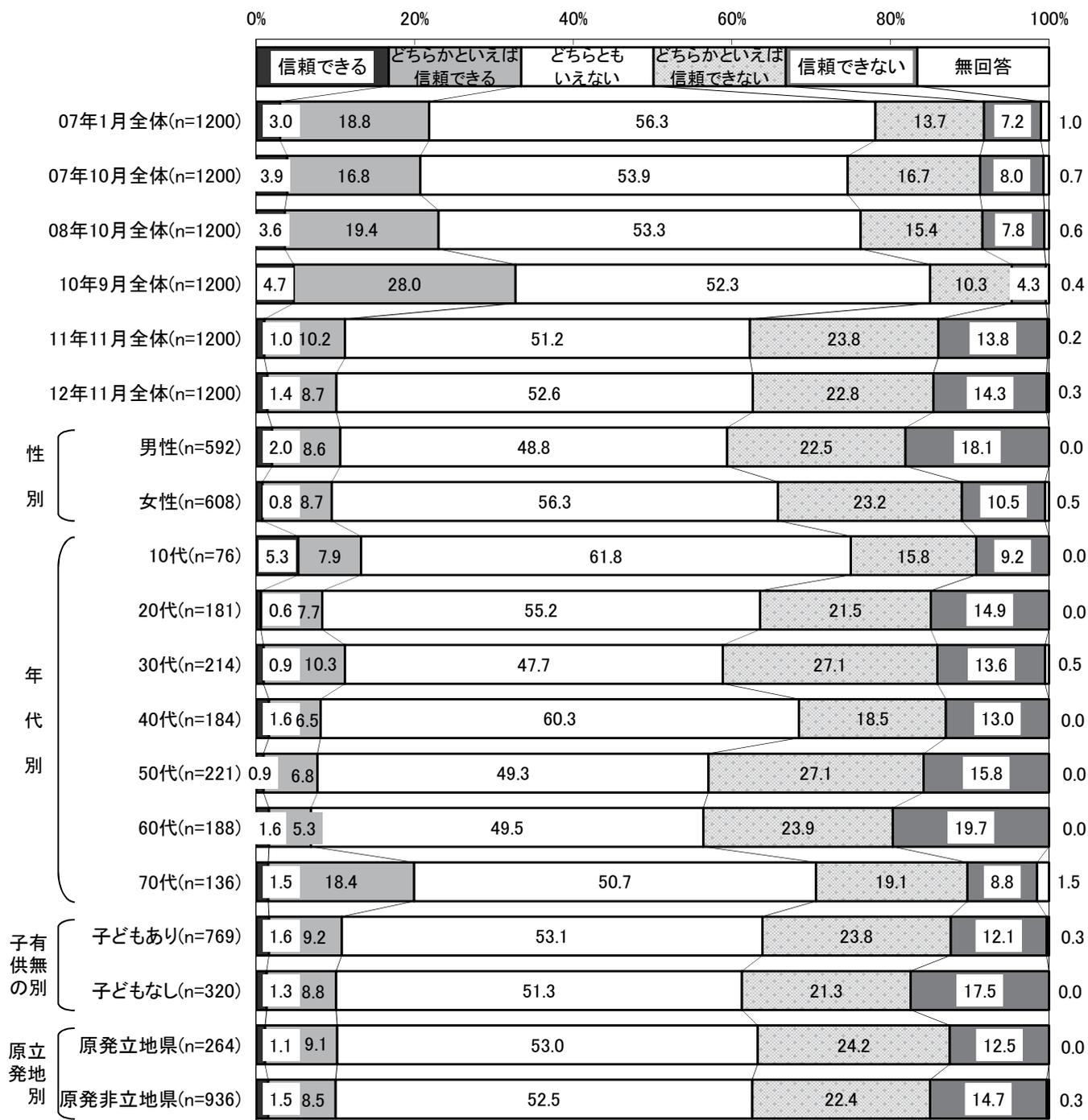
問16. 日本の原子力技術のうち、あなたが信頼しているものはどれですか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)



●原子力に対する信頼～国や自治体に対する信頼①

原子力の安全管理や規制を行なっている国や自治体を信頼できるか尋ねた。信頼できる(「信頼できる」(1.4%)+「どちらかといえば信頼できる」(8.7%))という回答は10.1%にであるのに対し、信頼できない(「信頼できない」(14.3%)+「どちらかといえば信頼できない」(22.8%))という回答は37.1%と高い。また、「どちらともいえない」という態度保留者が52.6%と多数を占める。前回と同水準のスコア。
性別で見ると、男性では否定派が約4割と多い。
年代別では、30代と50～60代では否定派の割合が4割を超える。一方70代では肯定派が約2割と、他の年代に比べて特に高くなっている。

問13-1. 原子力の安全管理や規制は国や自治体によって行なわれています。あなたは、国や自治体を信頼できると思いますか。(○は1つだけ)



●原子力に対する信頼～国や自治体に対する信頼②

原子力の安全管理や規制を行なう国や自治体を信頼できると思うか、についての回答理由を尋ねたところ、「信頼できる」と回答した主な理由は、「信頼したいから」(51.2%)、「事故の経験を踏まえて安全対策を講じることができるから」(38.8%)、「専門的な知識を持っている人だから」(34.7%)。「どちらともいえない」理由としては、「情報公開が十分されていないから」(55.6%)、「大きな事故が起きたから」(38.4%)「管理体制や安全対策が不十分だから」(37.7%)。「信頼できない」理由は、「情報公開が十分されていないから」(76.2%)、「管理体制や安全対策が不十分だから」(58.9%)、「信頼できないから」(51.2%)が5割を超えている。

問13-2. あなたが、問13-1でそう答えた理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選び下さい。(〇はいくつでも)

N→	全体 1200	国や自治体を信頼できるかどうか			11年 11月 1200	10年 9月 1200
		信頼 できる 121	どちらとも いえない 631	信頼 できない 445		
情報公開が十分されているから	2.2	14.0	1.1	0.4	2.5	6.9
情報公開が十分されていないから	58.1	5.8	55.6	76.2	59.8	40.0
事故の経験を踏まえて安全対策を講じることができるから	6.1	38.8	3.3	1.1	5.2	
大きな事故が起きたから	38.7	21.5	38.4	44.0	36.3	
管理体制や安全対策が十分だから	1.0	5.8	0.6	0.2	1.3	6.2
管理体制や安全対策が不十分だから	42.3	5.8	37.7	58.9	45.1	17.1
専門的な知識を持っている人だから	4.4	34.7	1.7	-	4.3	10.0
専門家にも間違いはあるから	22.1	9.9	22.0	25.6	20.8	17.6
信頼したいから	8.8	51.2	6.0	1.1	8.8	21.5
信頼できないから	27.7	-	16.5	51.2	27.0	13.3
国や公的機関は営利目的ではないから	3.6	14.0	2.9	1.8	3.4	7.5
自分達の利益優先に感じるから	25.9	3.3	17.0	44.9	30.3	14.1
その他	2.3	-	2.7	2.2	2.5	1.8

(%)

*「事故の経験を踏まえて安全対策を講じることができるから」「大きな事故が起きたから」は、11年11月から追加

●原子力に対する信頼～国や自治体に対する信頼③

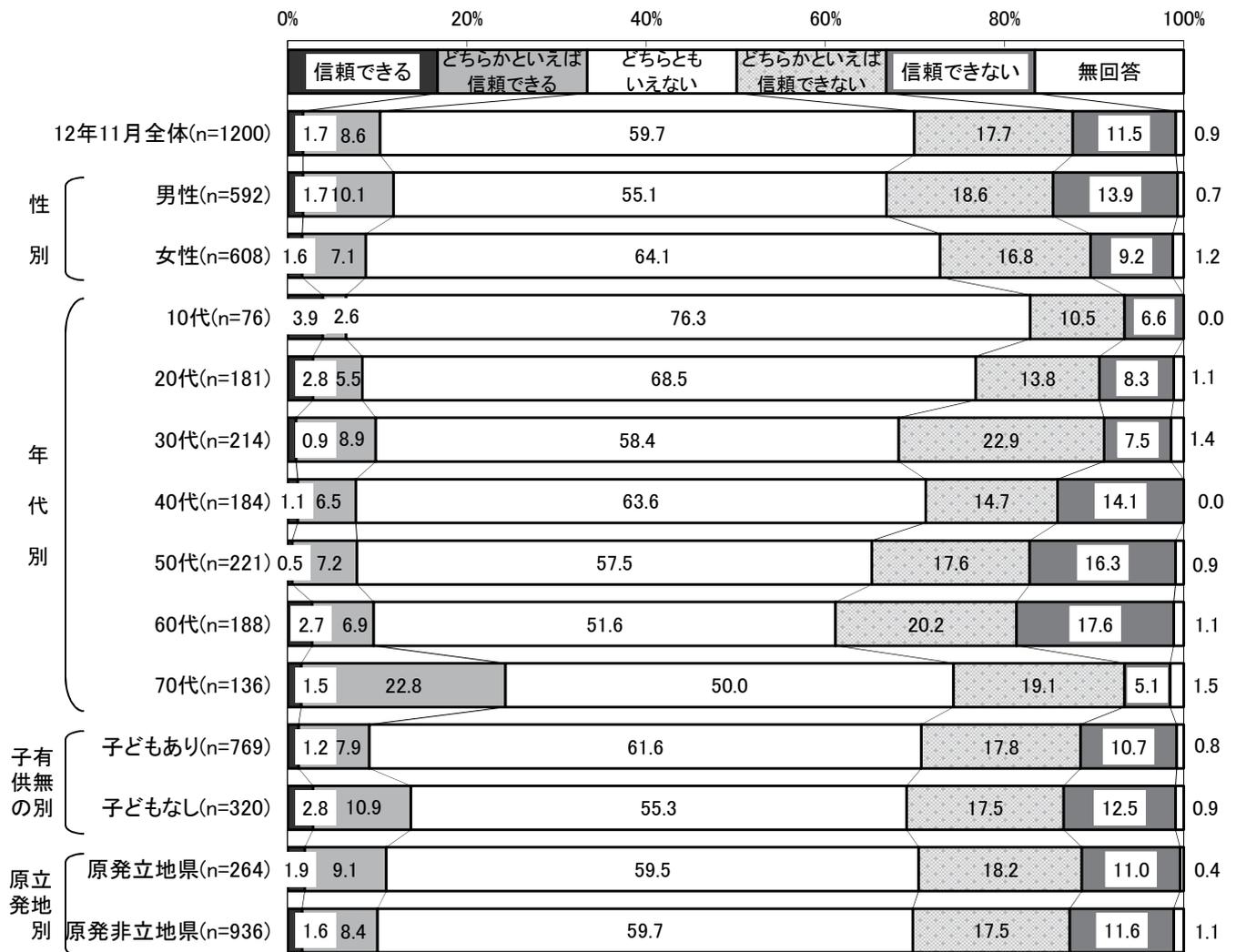
国のエネルギー政策の決め方について信頼できるか尋ねた。

信頼できる(「信頼できる」(1.7%)+「どちらかといえば信頼できる」(8.6%))という回答は10.3%にであるのに対し、信頼できない(「信頼できない」(11.5%)+「どちらかといえば信頼できない」(17.7%))という回答は29.2%と否定派が上回る。「どちらともいえない」という態度保留者が59.7%と多数を占めている。

年代別では、10代の「どちらともいえない」は7割半ばを超えており、特に高くなっている。否定派の割合が最も高いのは60代で37.8%、一方、肯定派の割合は70代で特に高く(24.3%)、全体を14ポイント上回っている。

問15. 日本のエネルギー政策は国で決められています。

あなたは、国のエネルギー政策の決め方について信頼できると思いますか。(○は1つだけ)

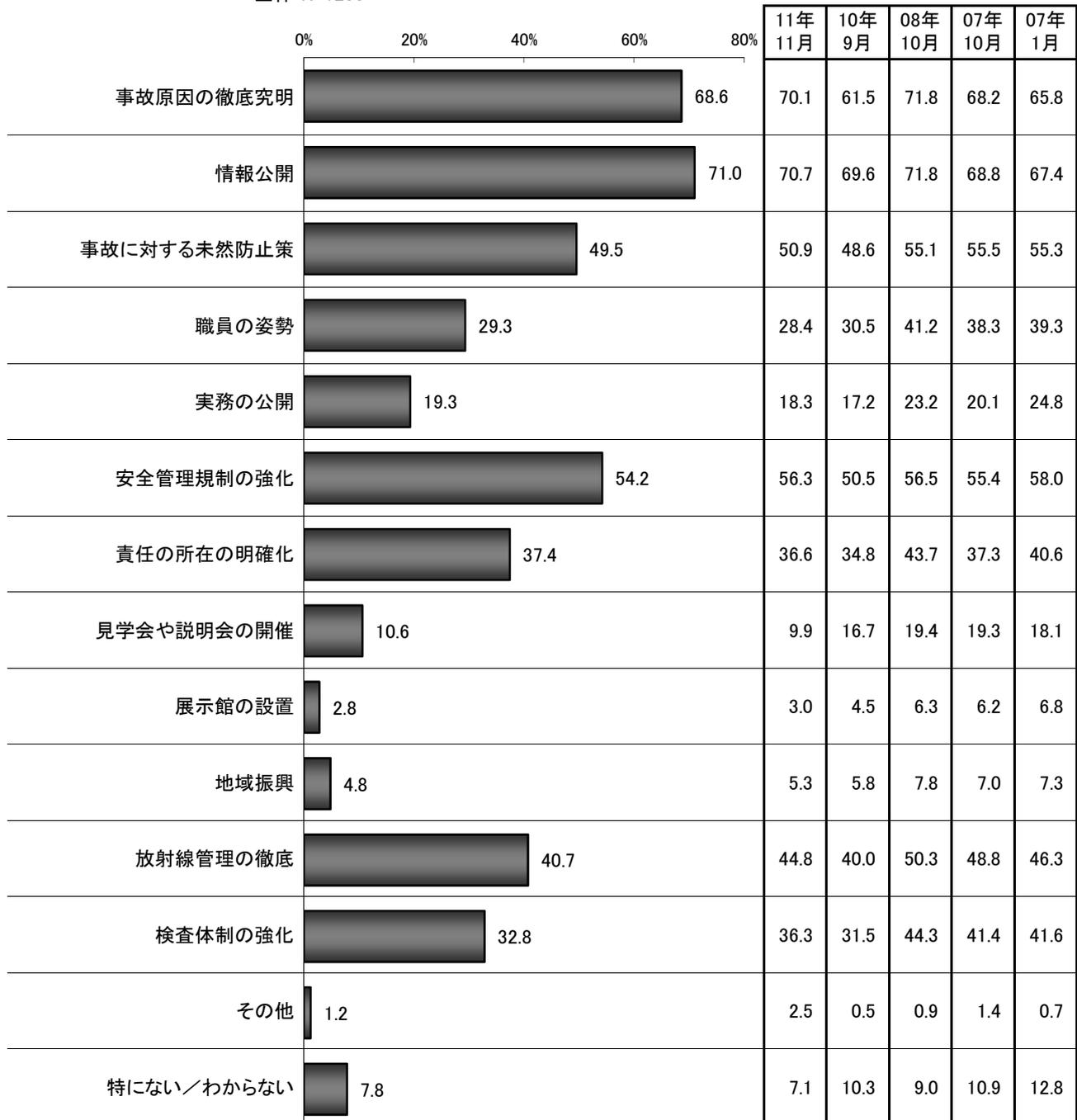


●原子力に対する信頼～原子力安全管理主体を国や自治体に任せるうえで配慮すべき点

原子力の安全管理を国や自治体に安心して任せるためには、こういった点が配慮されるべきだと思うか尋ねた。回答が5割を超える項目は、「情報公開」(71.0%)、「事故原因の徹底究明」(68.6%)、「安全管理規制の強化」(54.2%)。次いで「事故に対する未然防止策」(49.5%)、「放射線管理の徹底」(40.7%)が4割台。前回と比較して、ほぼ同様の傾向。

問14. 原子力の安全管理を国や自治体に安心して任せるためには、こういった点が配慮されるべきだと思いますか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

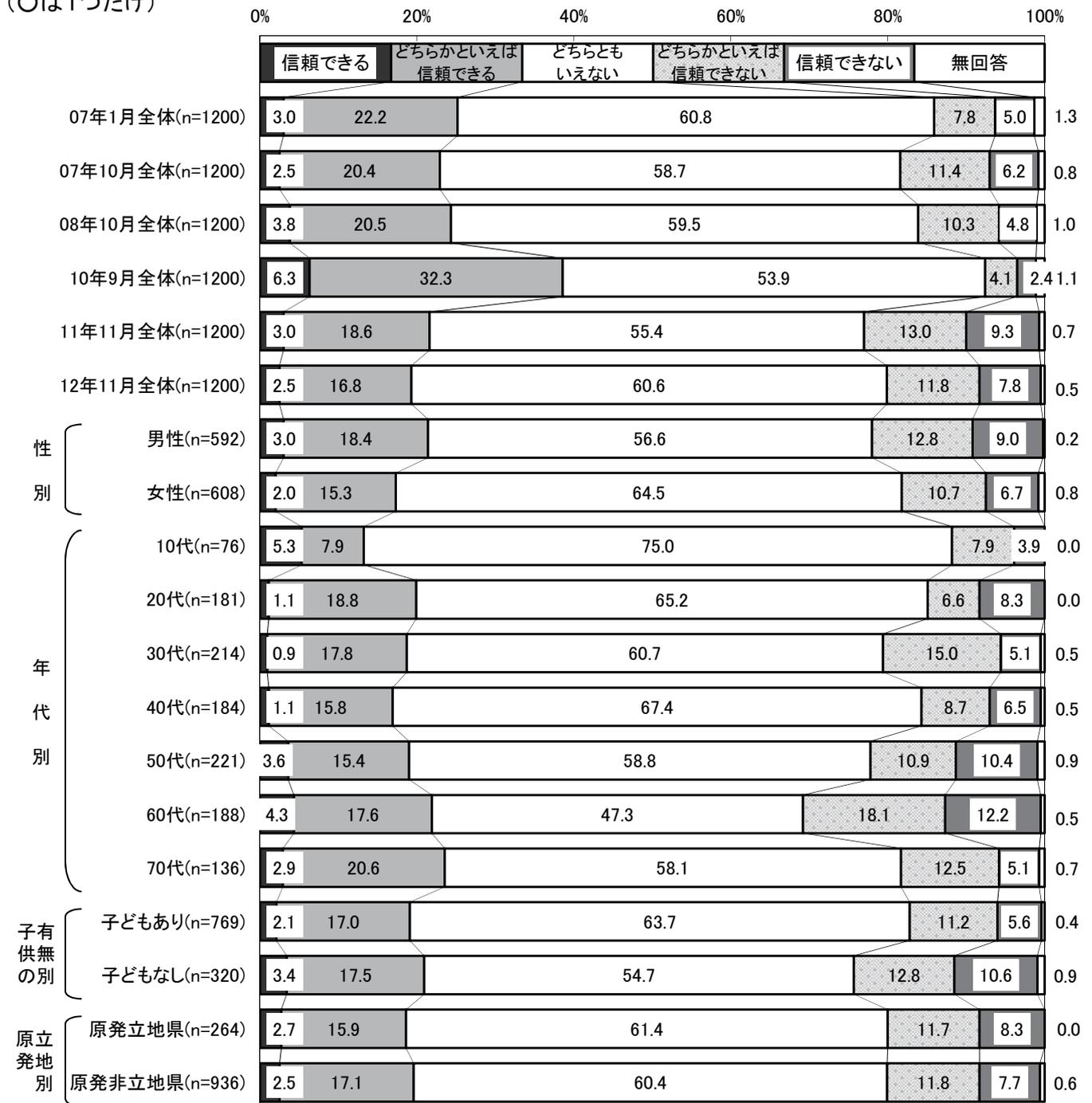
全体 N=1200



●原子力に対する信頼～原子力の平和利用に対する信頼

日本の原子力利用は、原子力発電や放射線利用等、平和利用の分野に限っており、これらを支えるための政策・規制・技術などのしくみについて、信頼できると思うか尋ねた。
 信頼できる(「信頼できる」(2.5%)+「どちらかといえば信頼できる」(16.8%))という回答は19.3%に対し、信頼できない(「信頼できない」(7.8%)+「どちらかといえば信頼できない」(11.8%))という回答は19.6%と、ほぼ同率。「どちらともいえない」という態度保留者が60.6%と多数を占める。前回とほぼ同水準のスコア。
 年代別でみると、肯定的な回答は60～70代で2割を超えているが、60代では否定的な回答も約3割と高い。また、10代では「どちらともいえない」とする割合が75.0%と顕著に高くなっている。

問22. 日本の原子力利用は、原子力発電や放射線利用等、平和利用の分野に限っており、これらを支えるために政策・規制・技術などのしくみがあります。あなたはこのしくみについて信頼できると思いますか。(○は1つだけ)



* 08年10月までの質問文は、「現在日本が進めている原子力発電、再処理、放射線利用などの原子力の平和利用について、あなたは信頼できると思いますか」で聴取
 * 10年9月までの質問文は、「日本の原子力利用は、原子力発電や放射線の平和利用の分野に限っており、これらは政策・規制・技術などのしくみで支えられています」で聴取

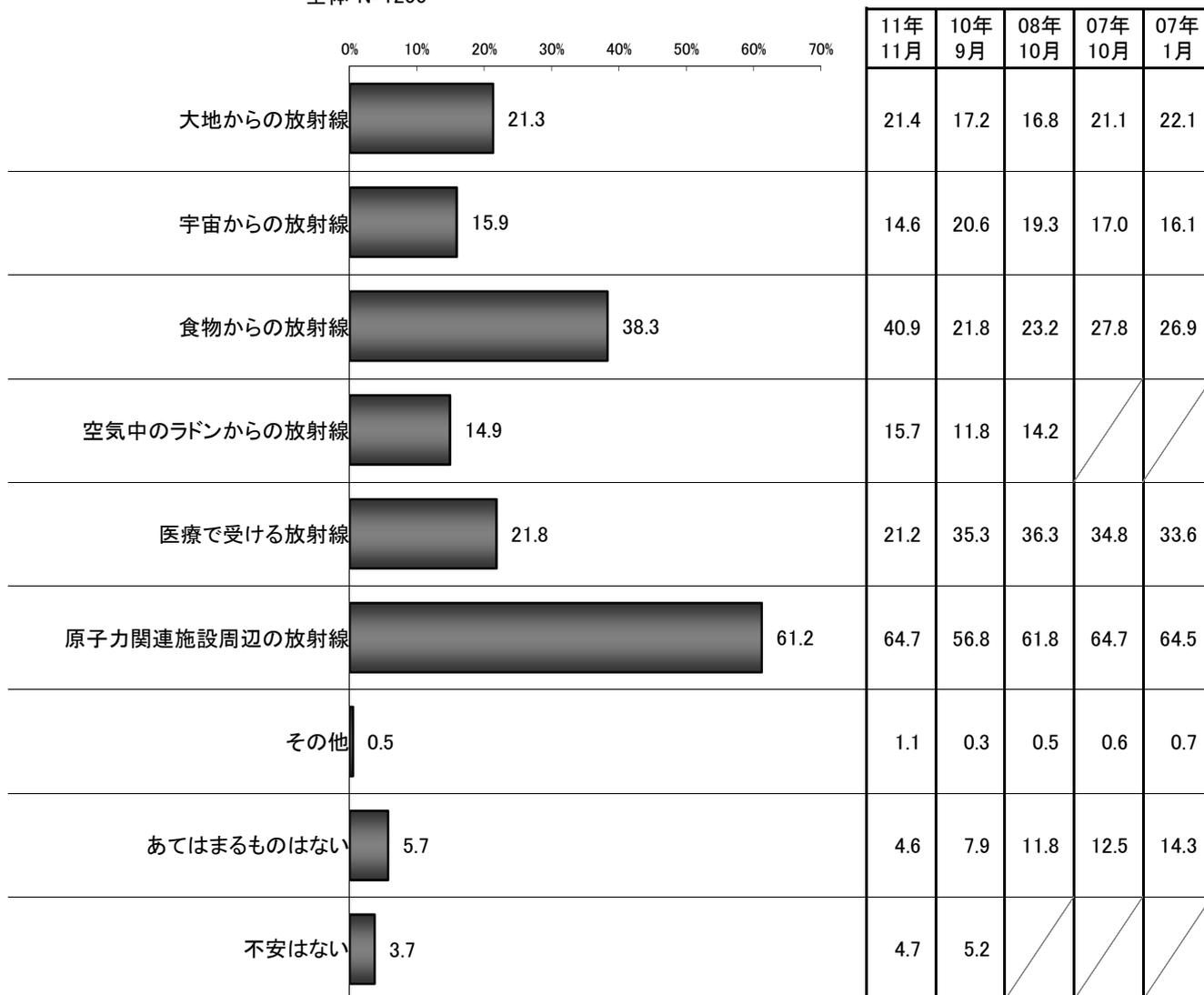
VI章 環境・原子力・放射線に対するリスク認知

●環境・原子力・放射線に関するリスク認知～放射線に対し不安に思う事柄

放射線に対して感じる不安について尋ねたところ、「原子力関連施設周辺の放射線」が61.2%と突出している。次いで「食物からの放射線」(38.3%)、「医療で受ける放射線」(21.8%)、「大地からの放射線」(21.3%)と続く。前回に比べて、ほぼ同様の傾向。

問17. あなたが、放射線に対し感じる不安についてお伺いします。
次の中から不安に思うものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

全体 N=1200



* 07年1月、07年10月の選択肢は「地上からの放射能」、08年10月は「大地からの放射能」に変更

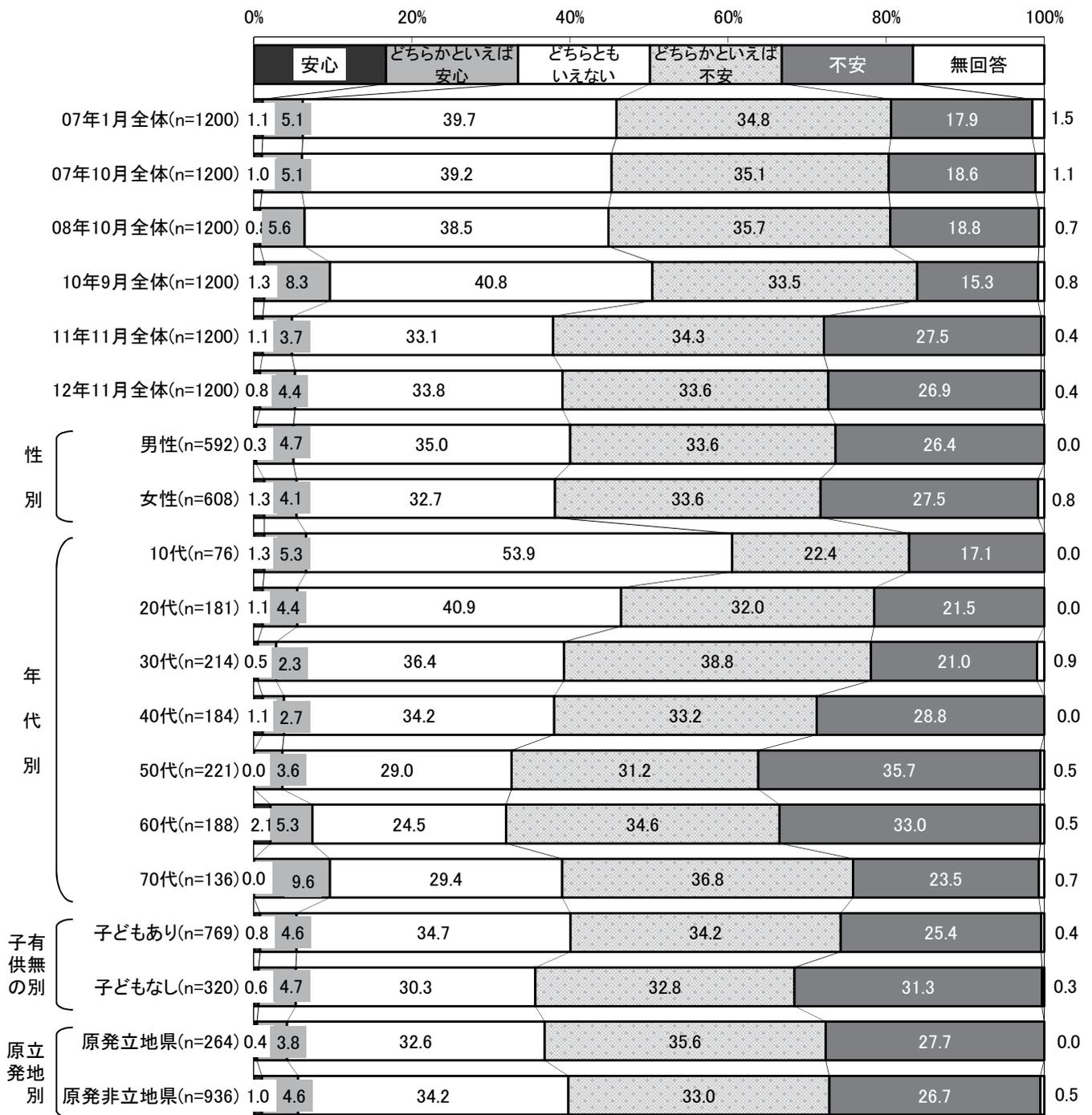
* 「空気中のラドンからの放射線」は08年10月から追加

* 「不安はない」は10年9月から追加

●環境・原子力・放射線に関するリスク認知～放射性廃棄物の処分に対する安心度

放射性廃棄物の処分について、どの程度安心(不安)に感じるか尋ねたところ、安心(「安心」(0.8%)+「どちらかといえば安心」(4.4%))という回答は5.2%であるのに対し、不安(「不安」(26.9%)+「どちらかといえば不安」(33.6%))という回答は60.5%と、不安層が圧倒的に高い。前回と比べて同水準のスコア。
 年代別にみると、10代では不安層が39.5%と低く、「どちらともいえない」が5割を超えているのが特徴的。また、50～60代では不安層の割合が高く、6割半ばを占めている。

問18. 現在、高レベル放射性廃棄物の処分について検討が行なわれています。あなたは、そのことについてどのように感じますか。(○は1つだけ)



* 11年11月までの質問文は、「放射性廃棄物」として聴取

Ⅶ章 原子力に対するベネフィット認知

●原子力に対するベネフィット認知～暮らしの中で活用する原子力の平和利用

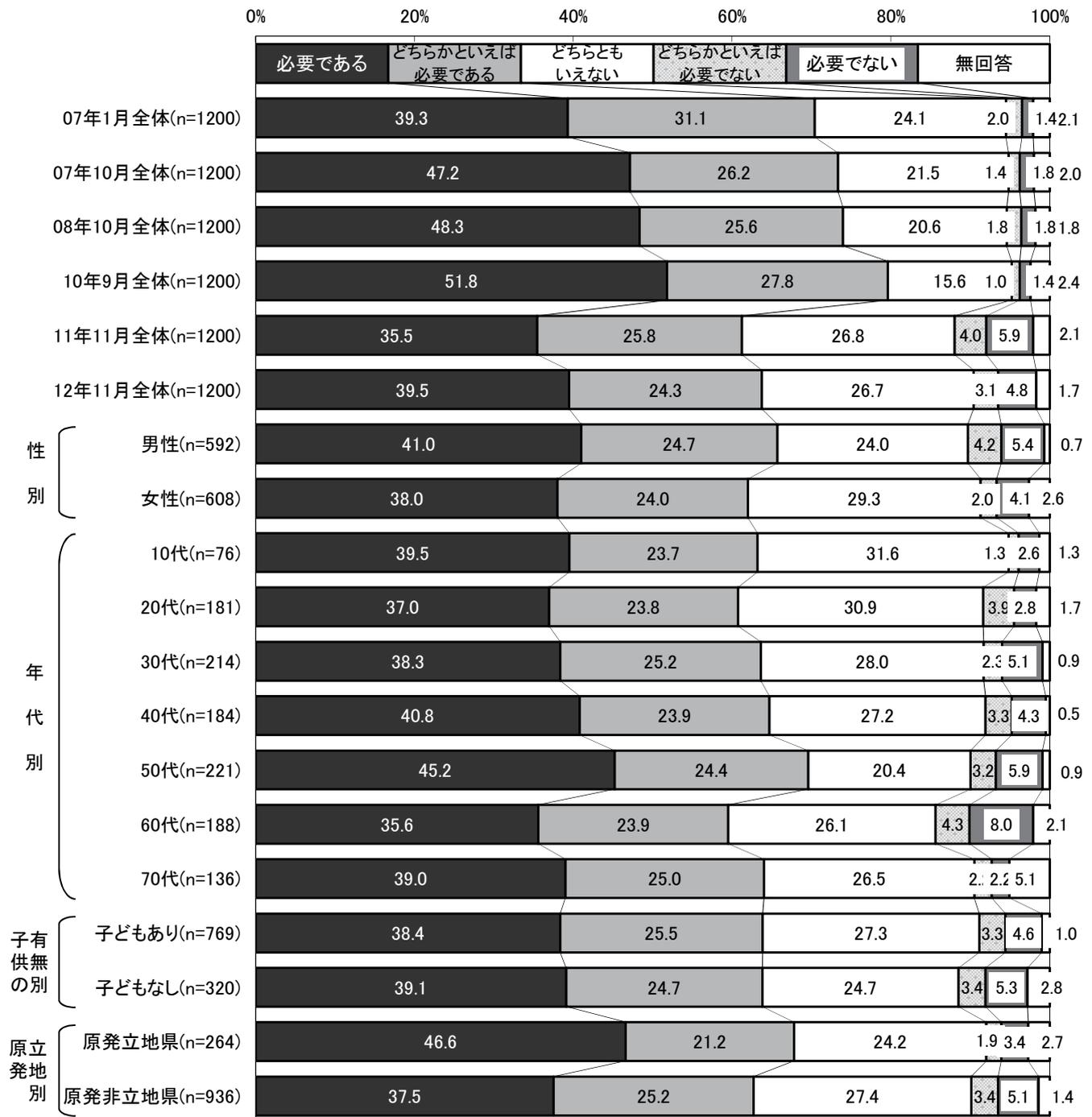
「暮らしの中で活用する原子力の平和利用」に対し、「必要である」という回答は39.5%、「どちらかといえば必要である」は24.3%。この考え方に肯定的な回答（「必要である」+「どちらかといえば必要である」）は63.8%で、前回とほぼ同水準。

年代別でみると、50代では「必要である」という回答が4割半ばと特に多い。

原発立地別では、「必要である」という回答は、非立地県（37.5%）より立地県（46.6%）の方が約9ポイント高い。

問10-I. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。（○はそれぞれ1つずつ）

【暮らしの中で活用する原子力の平和利用】



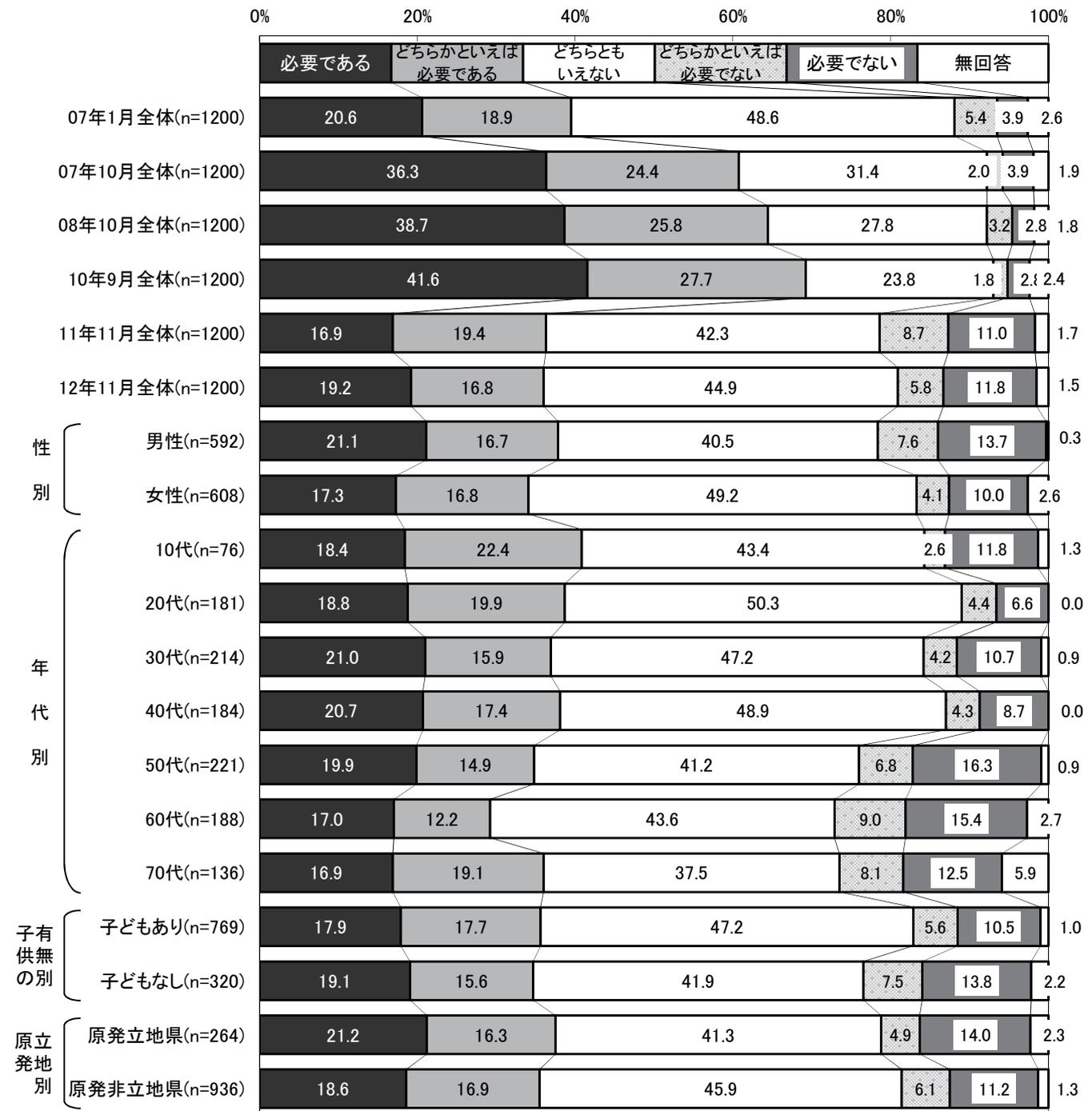
* 07年1月の選択肢は「そう思う／どちらかといえばそう思う」、07年10月は「必要である／どちらかといえば必要である」

●原子力に対するベネフィット認知～地球温暖化防止のために原子力発電を活用すること

「地球温暖化防止のために原子力発電を活用すること」に対し、「必要である」という回答は19.2%、「どちらかといえば必要である」は16.8%。この考え方に肯定的な回答（「必要である」+「どちらかといえば必要である」）は36.0%。一方、否定的な回答（「必要でない」(11.8%)+「どちらかといえば必要でない」(5.8%))は17.6%。前回とほぼ同様のスコア。性別では、否定的な回答は女性(14.1%)より男性(21.3%)で高くなっている。年代別にみると、20代で「どちらともいえない」が約5割と高い。また、50～60代では「必要でない」とする回答の割合が他の年代よりも高め。子供の有無別では、否定的な回答は子どもあり(16.1%)よりも子どもなし(21.3%)が多くなっている。

問10-m. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)

【地球温暖化防止のために原子力発電を活用すること】



* 07年1月の選択肢は「そう思う／どちらかといえばそう思う」、07年10月は「必要である／どちらかといえば必要である」

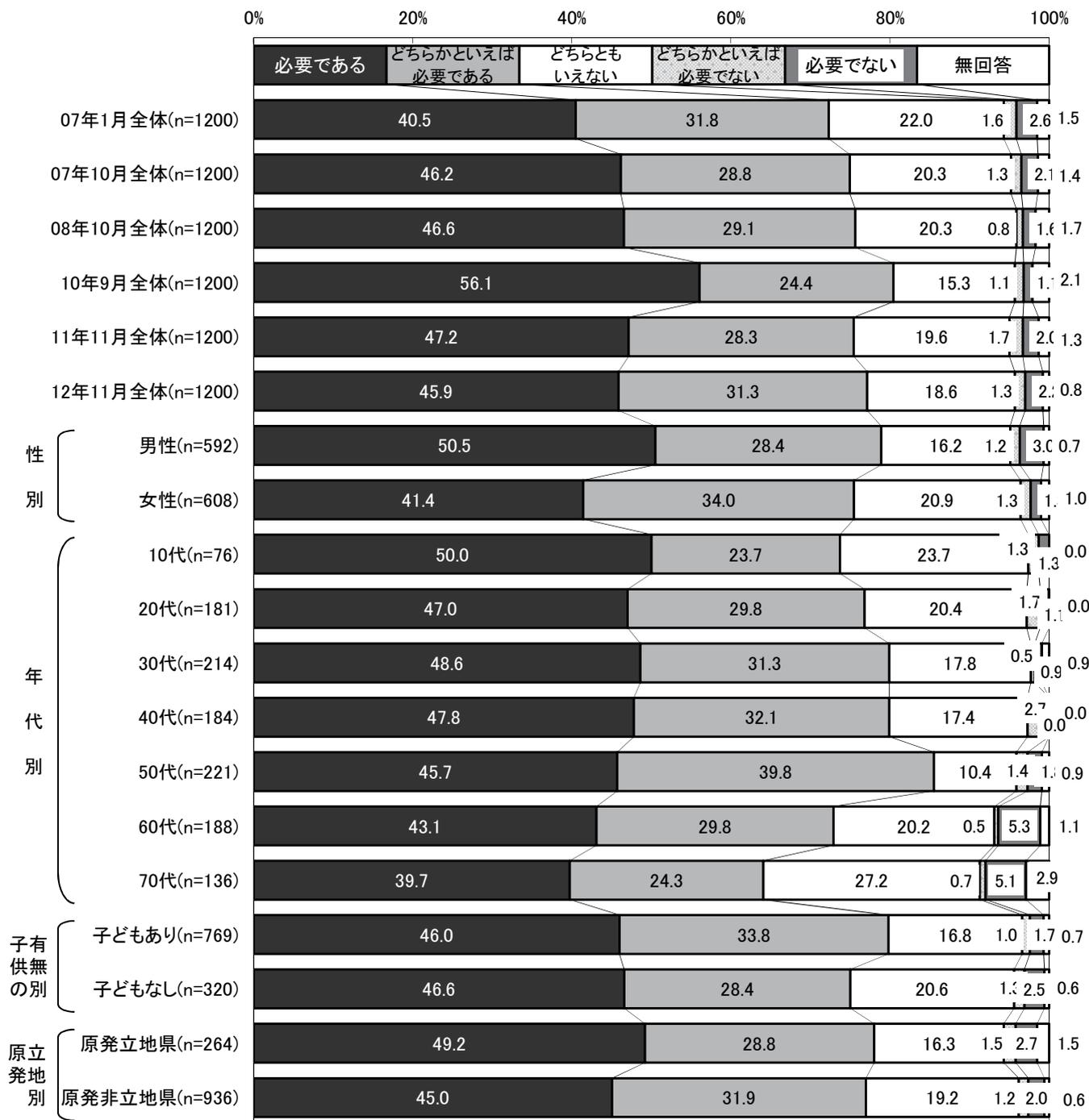
Ⅷ章 原子力に対する態度

●原子力に対する態度～医療、工業、農業等における放射線利用の必要性

「医療、工業、農業等における放射線利用」に対し、「必要である」という回答は45.9%、「どちらかといえば必要である」は31.3%。この考え方に肯定的な回答（「必要である」+「どちらかといえば必要である」）は77.2%で、前回と同水準。性別でみると、「必要である」という回答は女性（41.4%）よりも男性（50.5%）で高くなっている。年代別でみると、10代で「必要である」という回答が5割と高い。また、肯定的な回答が最も多いのは50代で8割半ばを占めている。一方、70代では「必要である」とする率が39.7%と、他の年代に比べて低くなっている。

問10-a. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。（○はそれぞれ1つずつ）

【医療、工業、農業等における放射線利用】



* 07年1月の選択肢は「そう思う／どちらかといえばそう思う」、07年10月は「必要である／どちらかといえば必要である」

●原子力に対する態度～原子力発電の必要性①

「原子力発電」に対し、「必要である」という回答は12.6%、「どちらかといえば必要である」は23.4%。この考え方に肯定的な回答（「必要である」+「どちらかといえば必要である」）は36.0%。一方、否定的な回答（「必要でない」+「どちらかといえば必要でない」）の割合は24.6%。前回とほぼ同様の傾向。

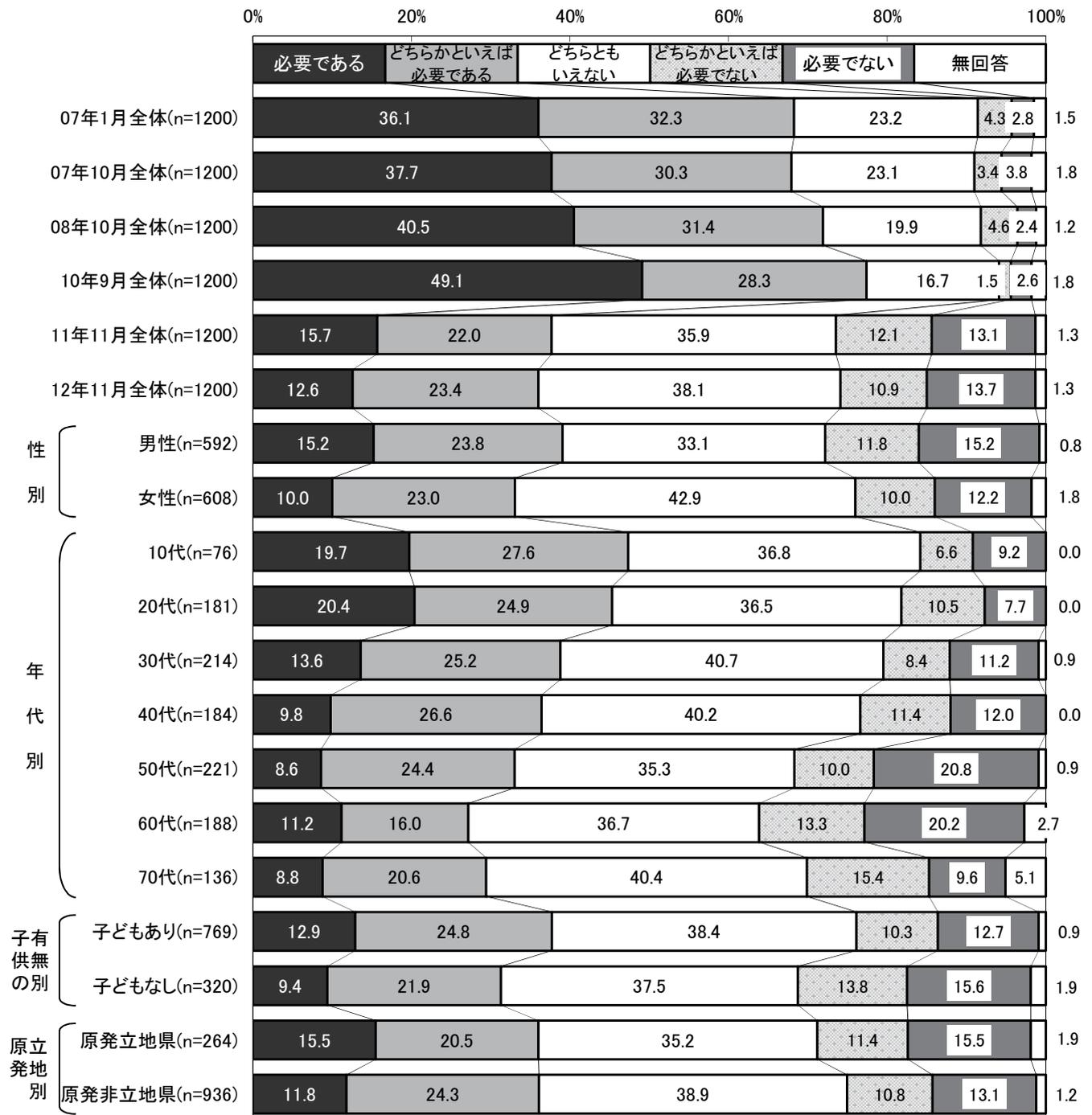
性別では、「必要である」という回答は女性（10.0%）よりも男性（15.2%）で高め。

年代別にみると、10～20代で「必要である」とする率が2割前後と高い。一方50～60代では「必要でない」が約2割を占める。

子供の有無別でみると、子どもなしの方が否定的な回答が高めになっている。

問10-b. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。（○はそれぞれ1つずつ）

【原子力発電】



* 07年1月の選択肢は「そう思う／どちらかといえばそう思う」、07年10月は「必要である／どちらかといえば必要である」

●原子力に対する態度～原子力発電の必要性②

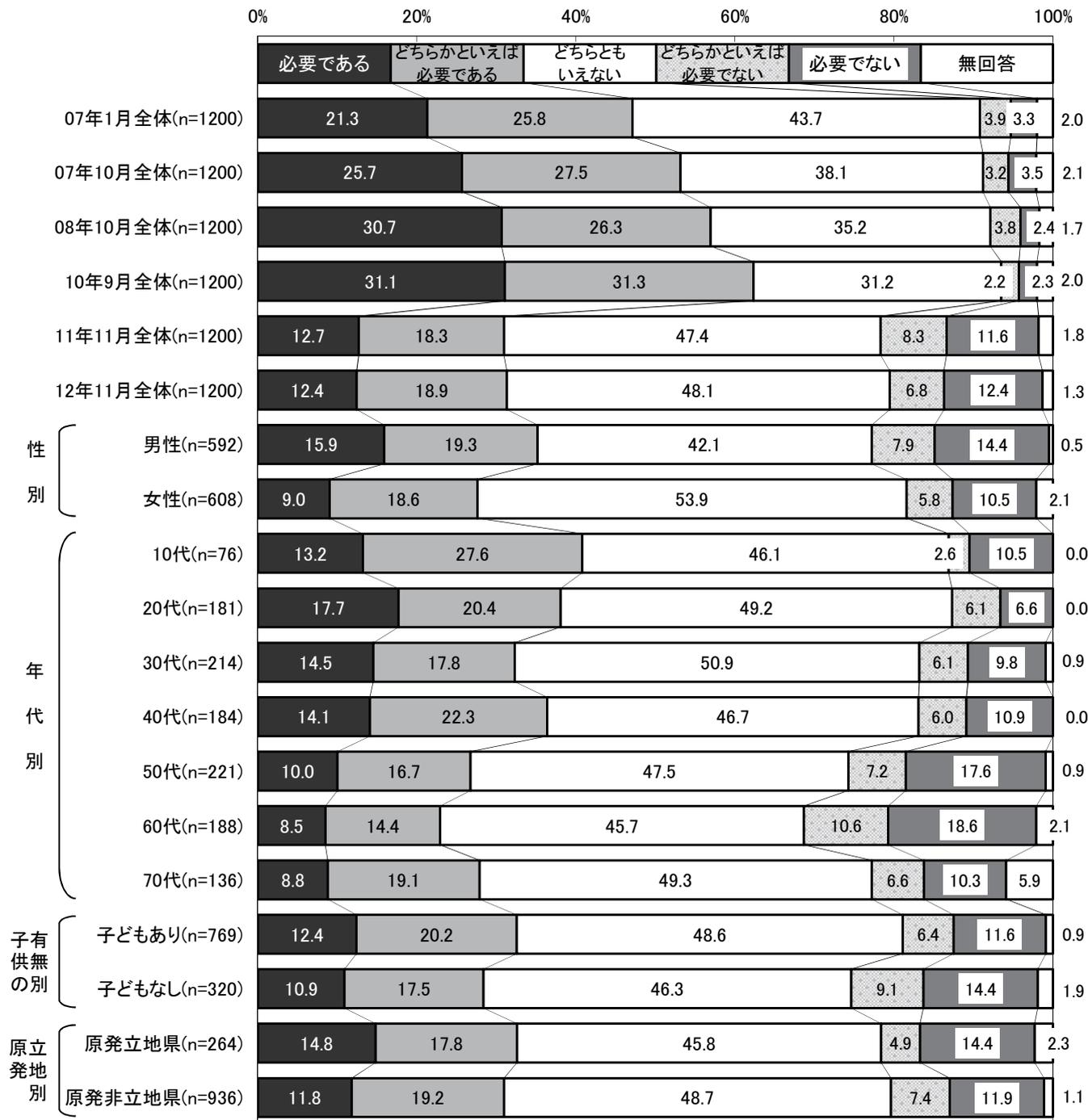
「化石資源を使い切ることやオイルショックに備え、原子力を活用すること」に対し、「必要である」という回答は12.4%、「どちらかといえば必要である」は18.9%で、この考え方に肯定的な回答(「必要である」+「どちらかといえば必要である」)は31.3%である。一方、否定的な回答(「必要でない」+「どちらかといえば必要でない」)の割合は19.2%。前回と同水準のスコア。

性別では、「必要である」という回答は女性(9.0%)よりも男性(15.9%)の方が高くなっている。

年代別で見ると、「必要である」という回答は20代で17.7%と最多。一方、50～60代では「必要でない」の割合が他の年代よりも高くなっている。

問10-n. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)

【化石資源を使い切ることやオイルショックに備え、原子力を活用すること】



* 07年1月の選択肢は「そう思う／どちらかといえばそう思う」、07年10月は「必要である／どちらかといえば必要である」

●原子力に対する態度～原子力発電の必要性③

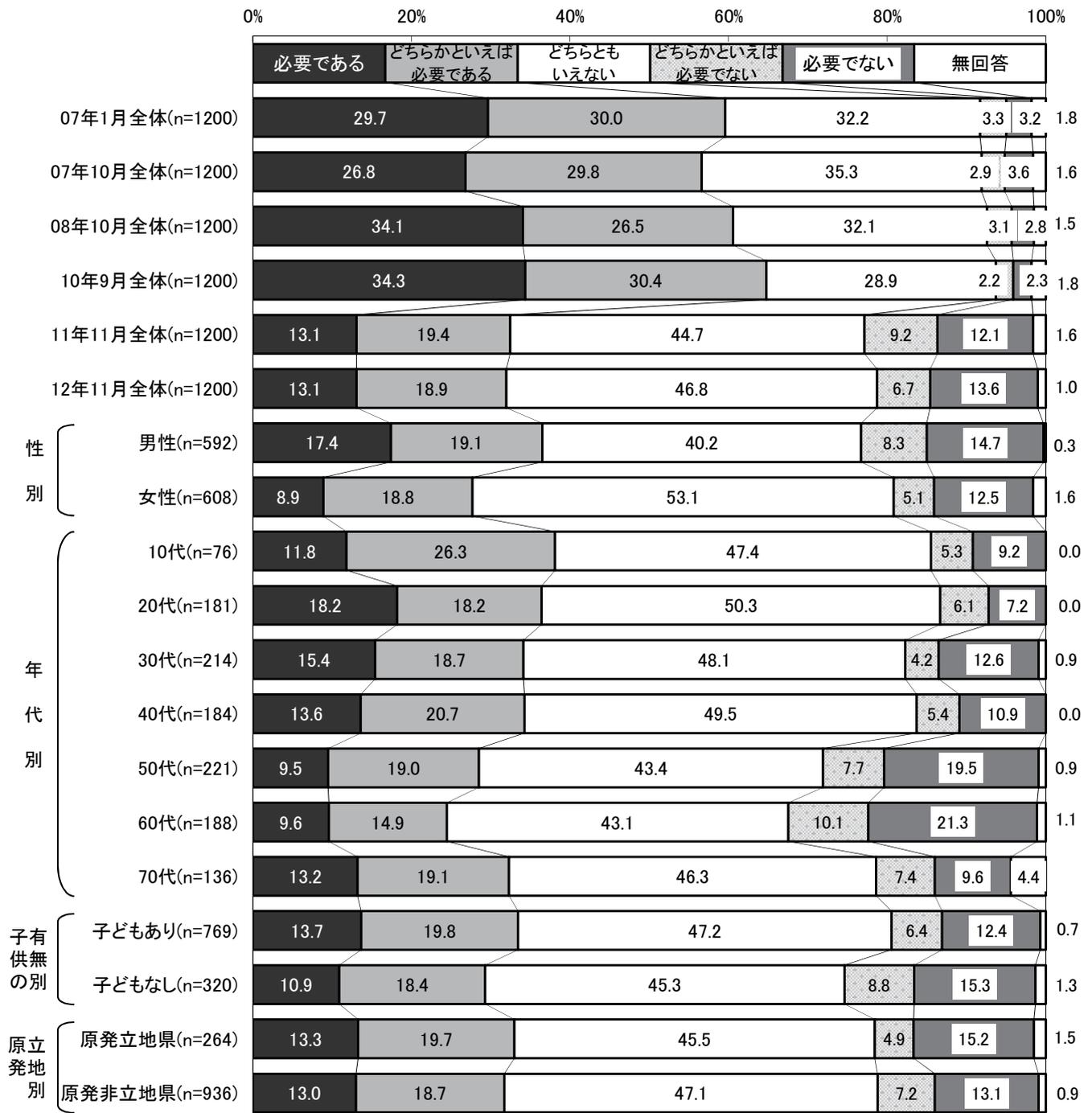
「エネルギー資源をほとんど持たない日本において原子力を活用すること」に対し、「必要である」という回答は13.1%、「どちらかといえば必要である」は18.9%で、この考え方に肯定的な回答（「必要である」+「どちらかといえば必要である」）は32.0%である。一方、否定的な回答（「必要でない」+「どちらかといえば必要でない」）は20.3%。前回と同様の傾向。

性別では、「必要である」という回答は女性（8.9%）よりも男性（17.4%）の方が高くなっている。

年代別で見ると、20代は「必要である」とする回答が18.2%と高い。一方、50～60代では「必要でない」が2割前後を占

問10-o. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。（○はそれぞれ1つずつ）

【エネルギー資源をほとんど持たない日本において原子力を活用すること】



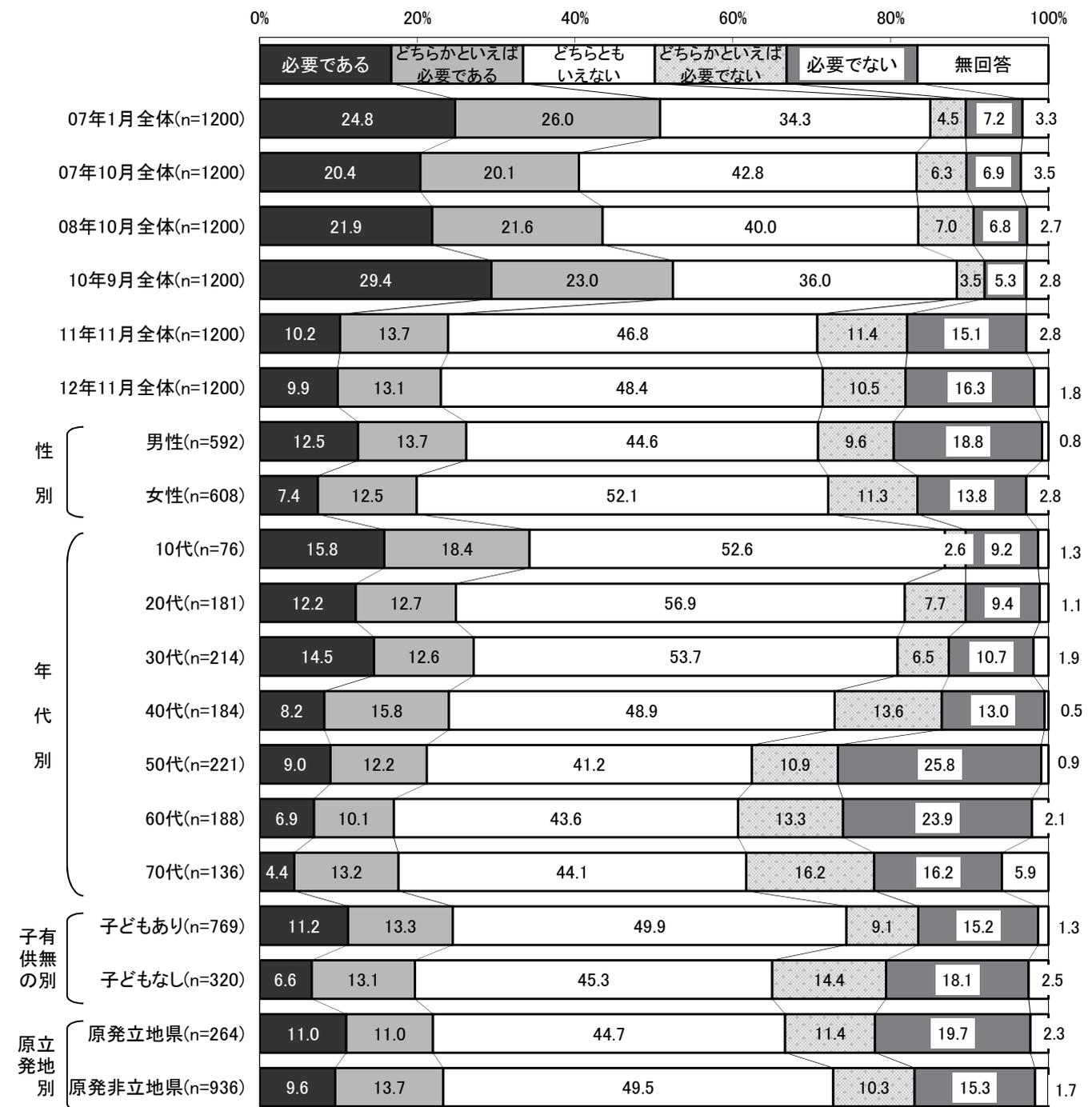
* 07年1月の選択肢は「そう思う／どちらかといえばそう思う」、07年10月は「必要である／どちらかといえば必要である」

●原子力に対する態度～核燃料サイクルの必要性

「核燃料サイクル」に対し、「必要である」という回答は9.9%、「どちらかといえば必要である」は13.1%で、この考え方に肯定的な回答（「必要である」+「どちらかといえば必要である」）は23.0%。一方で否定的な回答（「必要でない」+「どちらかといえば必要でない」）は26.8%。前回と比べて同様の傾向。
 年代別でみると、「必要である」とする割合は10～30代で高く、40～70代で低くなっている。特に50～60代では「必要でない」という割合が高く、2割を超えている。

問10-c. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
 あなたの考えに近いものをお選びください。（○はそれぞれ1つずつ）

【核燃料サイクル】



* 07年1月の選択肢は「そう思う／どちらかといえばそう思う」、07年10月は「必要である／どちらかといえば必要である」

●原子力に対する態度～プルサーマルの必要性

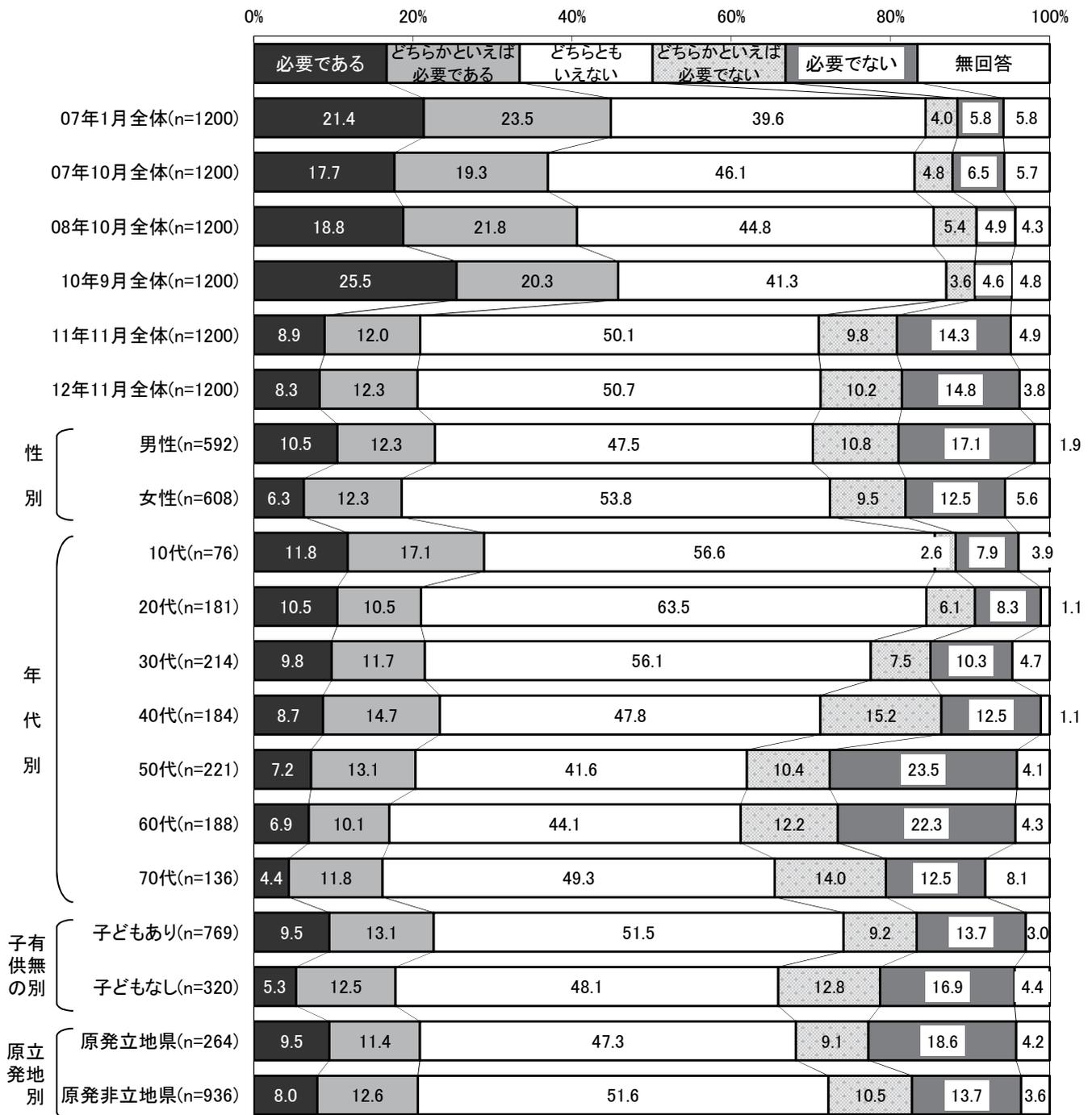
「プルサーマル」に対し、「必要である」という回答は8.3%、「どちらかといえば必要である」は12.3%で、この考え方に肯定的な回答(「必要である」+「どちらかといえば必要である」)は20.6%。一方、否定的な回答(「必要でない」+「どちらかといえば必要でない」)は25.0%。前回と比べて同様の傾向。

年代別にみると、年代が上がるにつれて「必要である」とする回答の割合も低くなっており、特に50～60代では「必要でない」の割合が2割を超えている。

原発立地別でみると、「必要でない」とする回答は非立地県(13.7%)より立地県(18.6%)の方が約5ポイント高くなっている。

問10-d. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)

【プルサーマル】

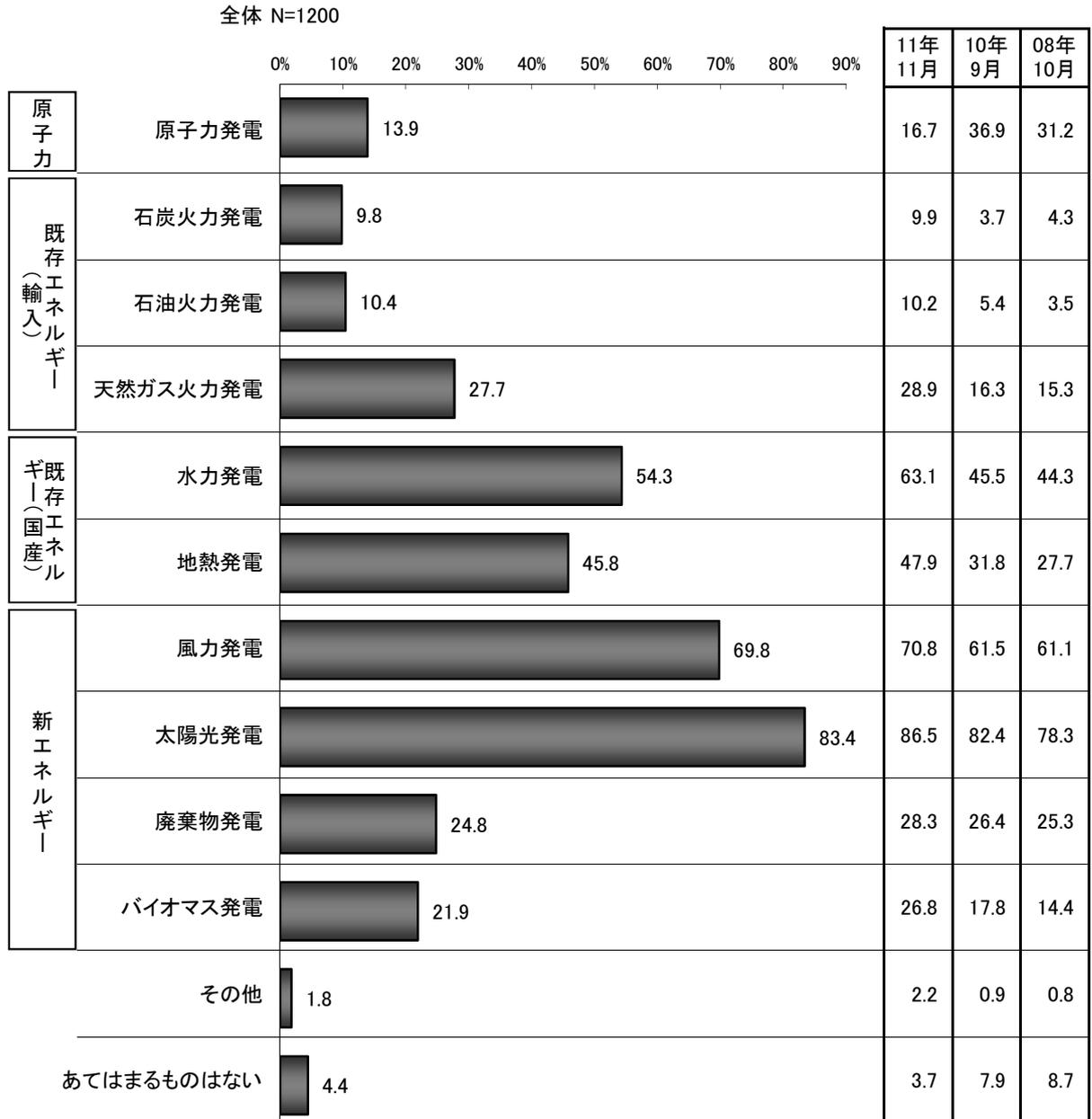


* 07年1月の選択肢は「そう思う／どちらかといえばそう思う」、07年10月は「必要である／どちらかといえば必要である」

●原子力に対する態度～今後日本が利用・活用していくべきと思うエネルギー①

今後わが国が利用・活用していくべきと思うエネルギーを尋ねたところ、5割以上の反応があったのは「太陽光発電」(83.4%)、「風力発電」(69.8%)、「水力発電」(54.3%)。前回に比べると、全体的にスコアは減少しており、特に「水力発電」は約9ポイント、「バイオマス発電」は約5ポイント減少している。

問21-1. 今後日本は、どのようなエネルギーを利用・活用していけばよいと思いますか。以下にあげているエネルギーの中から、お選びください。(○はいくつでも)



* 08年10月までの質問文は「今後わが国は～」、10年9月から「今後日本は～」に変更

●原子力に対する態度～今後日本が利用・活用していくべきと思うエネルギー②

今後わが国が利用・活用していくべきと思うエネルギーを選択した理由を尋ねた。
 選択エネルギートップ3(太陽光発電、風力発電、水力発電)の理由はいずれも、「自然の力を利用すべきだから」「自然エネルギーだから」が上位を占める。
 また、原子力発電を選んだ理由としては、「エネルギーの安定供給のために多様なエネルギー源が必要だから」「日本にはエネルギー資源が少ないから」「化石燃料には限りがあるから」が上位に挙がる。

問21-2. あなたが問21-1でそう答えた理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選び下さい。
 (○はいくつでも)

	全体	原子力	既存エネルギー (輸入)			既存エネルギー (国産)		新エネルギー				その他	11年 11月	10年 9月
		原子 力 発 電	石 炭 火 力 発 電	石 油 火 力 発 電	天 然 ガ ス 火 力 発 電	水 力 発 電	地 熱 発 電	風 力 発 電	太 陽 光 発 電	廃 棄 物 発 電	バ イ オ マ ス 発 電	そ の 他		
N→	1200	167	118	125	332	651	550	837	1001	297	263	22	1200	1200
エネルギーの安定供給のために多様なエネルギー源が必要だから	41.3	69.5	66.1	70.4	69.9	51.0	52.7	46.6	44.3	56.9	58.6	50.0	44.5	42.7
日本にはエネルギー資源が少ないから	46.3	65.3	50.8	52.0	56.3	51.9	52.4	50.9	49.4	57.6	53.2	63.6	51.7	52.5
化石燃料には限りがあるから	29.6	44.9	28.8	32.8	39.5	35.9	40.4	33.3	32.0	41.1	45.6	50.0	33.6	34.7
二酸化炭素を排出せず、温暖化防止に役立つから	29.3	31.7	27.1	26.4	34.6	33.8	37.6	32.7	32.5	35.4	40.3	31.8	33.5	39.4
発電価格(コスト)の面で有利だから	4.4	13.2	11.9	8.0	7.5	5.2	4.9	4.2	4.2	5.4	4.6	-	5.9	5.7
自然エネルギーだから	56.8	37.7	51.7	52.0	60.8	66.5	67.6	65.6	63.7	64.6	62.7	36.4	57.4	49.3
国産のエネルギーを増やすことは重要だから	20.8	31.7	35.6	39.2	35.8	25.3	29.3	24.6	22.5	34.3	35.4	36.4	21.5	20.3
安全そうだから	43.7	10.8	42.4	41.6	42.5	50.8	47.1	51.4	48.3	46.8	46.0	22.7	44.8	33.4
よく聞かから	8.2	6.0	7.6	10.4	9.6	8.6	7.5	7.6	8.6	8.4	8.4	4.5	7.7	8.5
自然の力を利用すべきだから	52.5	35.3	49.2	50.4	54.5	63.6	65.5	61.3	59.0	65.3	65.8	50.0	58.9	51.1
枯渇の心配がないから	15.6	15.6	19.5	15.2	17.5	19.4	22.4	17.6	17.4	24.9	25.5	18.2	16.3	13.0
その他	0.8	3.0	2.5	2.4	0.9	1.1	1.1	1.0	0.6	0.7	1.5	9.1	1.0	0.3
あてはまるものはない	6.6	2.4	0.8	1.6	2.1	2.3	2.2	2.2	1.8	1.7	1.9	18.2	5.7	9.4

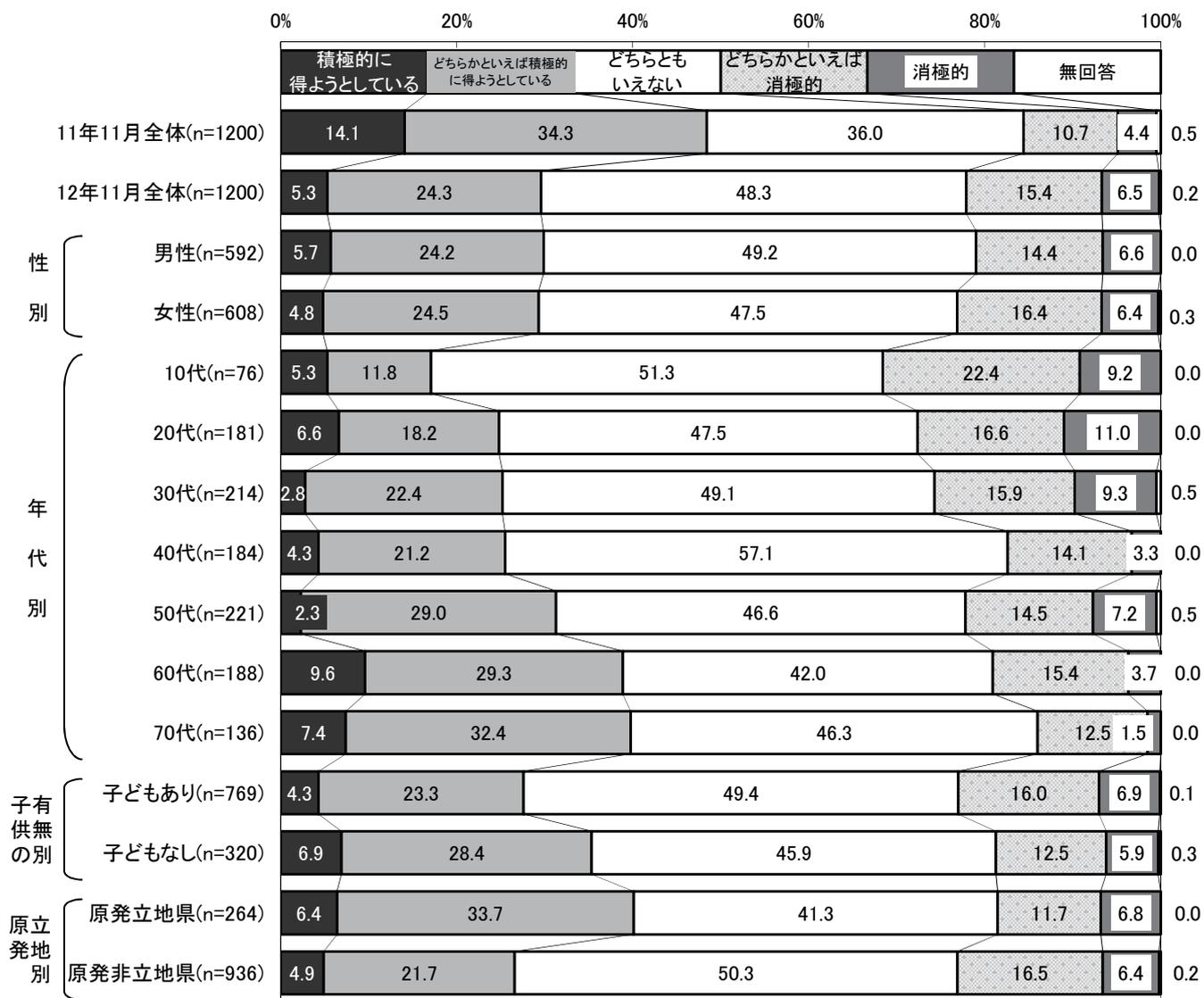
(%)

*「二酸化炭素を排出せず～」は、10年9月まで「CO₂を排出せず～」で聴取

●原子力に対する態度～事故や原子力・放射線についての情報収集態度

東京電力(株)福島第一原子力発電所事故や原子力・放射線についての情報を積極的に得ようとしているかを尋ねた。「積極的に得ようとしている」という回答は5.3%、「どちらかといえば積極的に得ようとしている」は24.3%で、積極的な回答(「積極的に得ようとしている」+「どちらかといえば積極的に得ようとしている」)は29.6%。
 前回と比べて、質問文を変更しているものの、「積極的に得ようとしている」は約9ポイント減少、積極的な回答も約19ポイント減少している。
 年代別でみると、年代が上がるにしたがって積極的な回答が増える傾向。
 子供の有無別では、子どもなしのほうが積極的な回答が多い。
 原発立地別では、積極的な回答は非立地県(26.6%)よりも立地県(40.1%)で高く、大きく差が開いている。

問23. あなたは、東京電力(株)福島第一原子力発電所事故や原子力・放射線についての情報を現在積極的に得ようとしていますか。(○は1つだけ)



* 11年11月の質問文は、「積極的に得ようとしたか」として聴取

●原子力に対する態度～現在心配していること

事故に関連して現在心配していることを尋ねた。

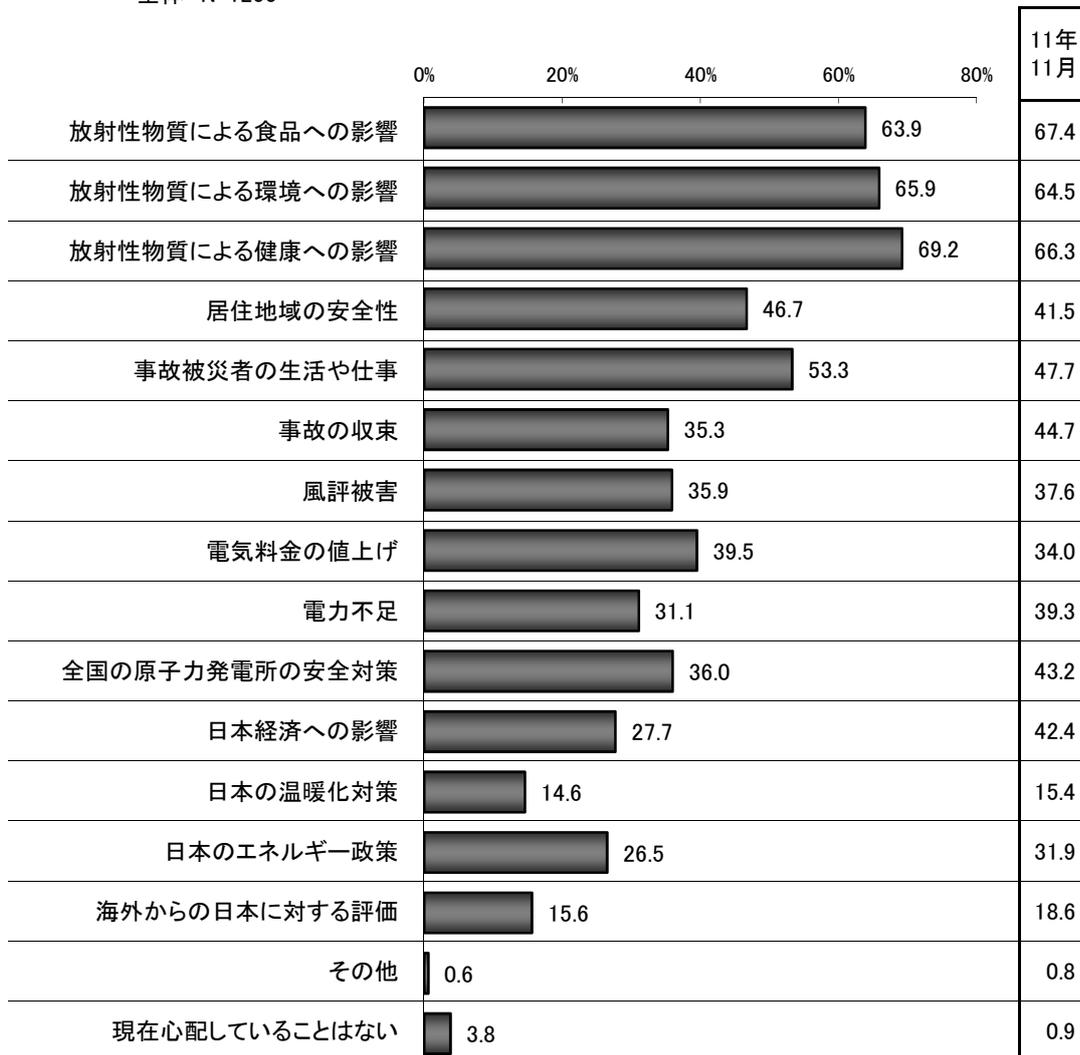
「放射性物質による健康への影響」「放射性物質による環境への影響」「放射性物質による食品への影響」といった、放射性物質に関する項目がそれぞれ6割台のスコアで、今回も上位に挙がっている。

前回に比べて、「事故被災者の生活や仕事」「電気料金の値上げ」「居住地域の安全性」は5ポイント以上増加。

一方、前回4割前後の反応があった「日本経済への影響」「事故の収束」「電力不足」「全国の原子力発電所の安全対策」は、今回減少が目立っている。

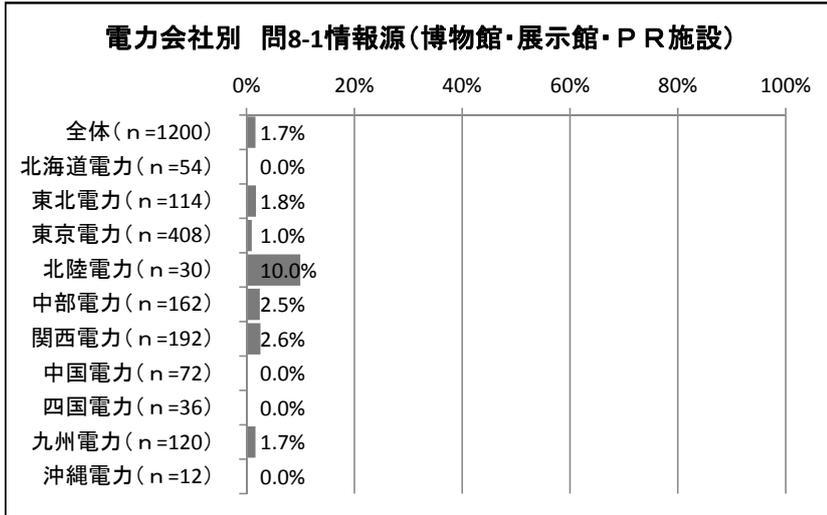
問24. 東京電力(株)福島第一原子力発電所事故に関連して、現在心配していることは何ですか。あてはまるものをすべてお選び下さい。(○はいくつでも)

全体 N=1200



区章 追加分析

電力会社の管轄地域別にみた問8-1参加してみたい情報源(博物館・展示館・PR施設)



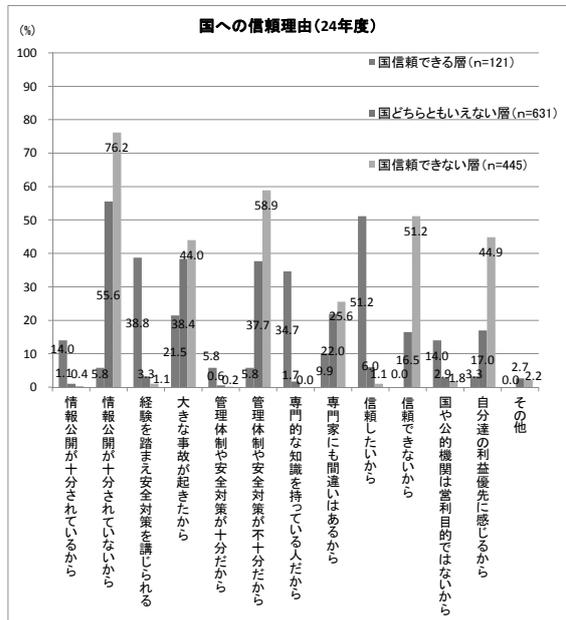
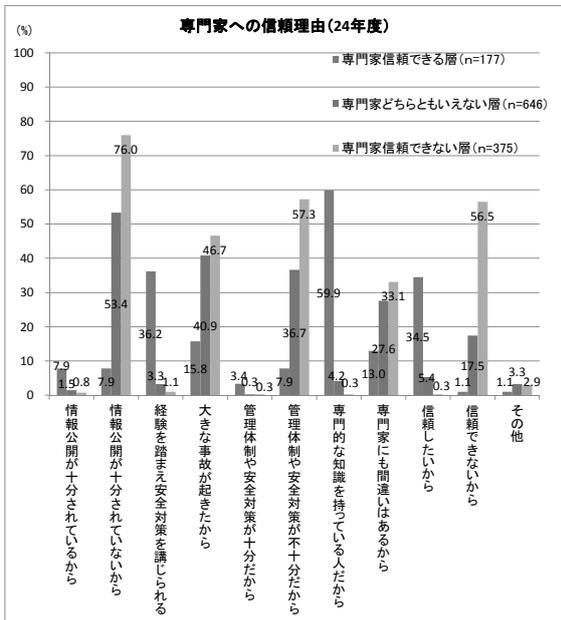
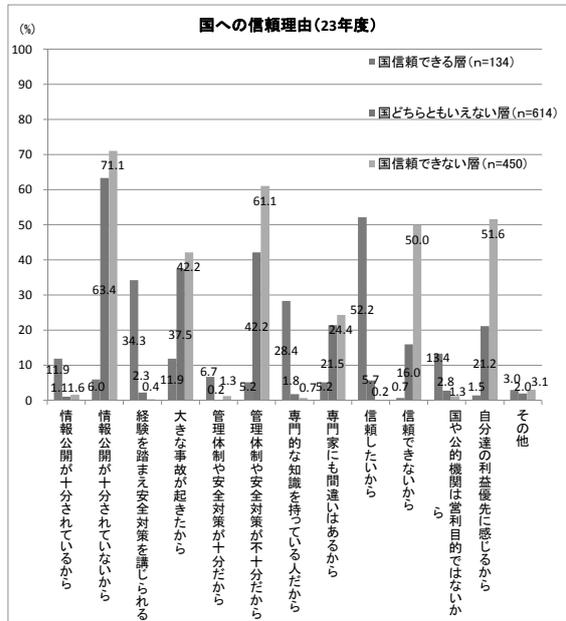
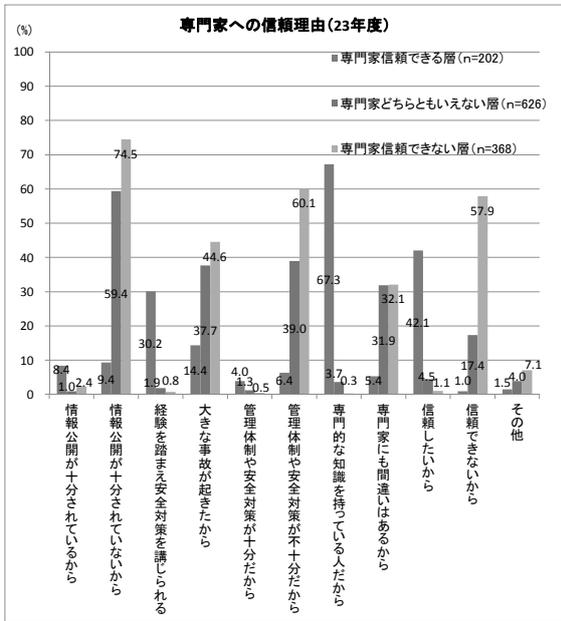
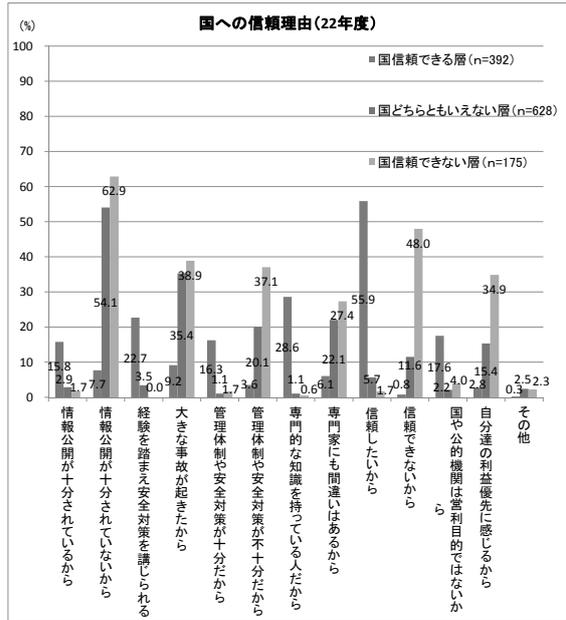
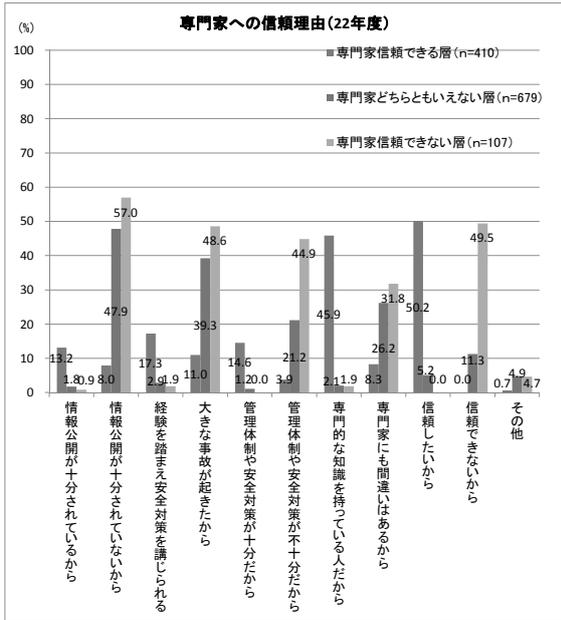
電力会社の管轄地域別にみた問24福島第一原子力発電所事故に関連した心配

電力会社別	全体	北海道	東北	東京	北陸	中部	関西	中国	四国	九州	沖縄
全体	n=1200	54	114	408	30	162	192	72	36	120	12
		4.5%	9.5%	34.0%	2.5%	13.5%	16.0%	6.0%	3.0%	10.0%	1.0%
1)放射性物質による食品への影響	63.9%	51.9%	67.5%	67.2%	50.0%	69.1%	65.1%	59.7%	61.1%	55.0%	41.7%
2)放射性物質による環境への影響	65.9%	51.9%	75.4%	66.2%	66.7%	69.8%	68.8%	59.7%	61.1%	59.2%	50.0%
3)放射性物質による健康への影響	69.2%	59.3%	73.7%	69.9%	63.3%	71.0%	68.8%	61.1%	72.2%	71.7%	58.3%
4)居住地域の安全性	46.7%	42.6%	50.9%	46.3%	56.7%	45.1%	46.4%	41.7%	38.9%	50.0%	58.3%
5)事故被災者の生活や仕事	53.3%	55.6%	43.9%	53.4%	63.3%	54.3%	56.8%	48.6%	47.2%	53.3%	75.0%
6)事故の収束	35.3%	38.9%	38.6%	36.3%	36.7%	38.9%	35.9%	27.8%	25.0%	29.2%	25.0%
7)風評被害	35.9%	35.2%	42.1%	37.3%	43.3%	38.9%	33.9%	30.6%	22.2%	30.0%	41.7%
8)電気料金の値上げ	39.5%	37.0%	32.5%	52.0%	23.3%	31.5%	34.4%	26.4%	36.1%	37.5%	33.3%
9)電力不足	31.1%	33.3%	31.6%	32.4%	26.7%	25.9%	34.9%	27.8%	25.0%	30.0%	41.7%
10)全国の原子力発電所の安全対策	36.0%	40.7%	31.6%	33.8%	26.7%	42.6%	38.5%	41.7%	41.7%	30.8%	25.0%
11)日本経済への影響	27.7%	27.8%	23.7%	28.2%	40.0%	27.2%	29.7%	26.4%	27.8%	25.0%	25.0%
12)日本の温暖化対策	14.6%	14.8%	15.8%	14.5%	10.0%	14.2%	16.7%	13.9%	19.4%	10.8%	16.7%
13)日本のエネルギー政策	26.5%	37.0%	27.2%	22.8%	33.3%	29.0%	26.6%	31.9%	33.3%	23.3%	25.0%
14)海外からの日本に対する評価	15.6%	16.7%	14.9%	15.4%	13.3%	14.2%	15.6%	16.7%	16.7%	15.8%	33.3%
15)その他	0.6%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.6%	1.0%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%
16)現在心配していることはない	3.8%	3.7%	5.3%	4.2%	6.7%	3.1%	2.6%	1.4%	2.8%	5.0%	8.3%

問3原子力発電の割合別にみた問21-1今後利用・活用すべきエネルギー源

	原子力	既存エネルギー (輸入)			既存エネルギー (国産)		新エネルギー				あてはまるものはない その他・無回答		
	原子力	石炭火力	石油火力	天然ガス	水力	地熱	風力	太陽光	廃棄物	バイオマス	その他	あてはまるものはない	無回答
全体(n=1200)	13.9%	9.8%	10.4%	27.7%	54.3%	45.8%	69.8%	83.4%	24.8%	21.9%	1.8%	4.4%	0.0%
約1割(n=20)	10.0%	10.0%	15.0%	30.0%	55.0%	60.0%	65.0%	80.0%	30.0%	10.0%	5.0%	5.0%	0.0%
約3割(n=442)	17.4%	13.1%	15.8%	33.5%	54.3%	51.4%	66.7%	83.0%	26.2%	28.5%	2.0%	4.3%	0.0%
約5割(n=343)	12.2%	9.3%	7.6%	23.6%	52.8%	41.4%	70.3%	81.9%	23.6%	17.5%	1.2%	5.2%	0.0%
約7割(n=376)	12.2%	6.4%	6.4%	24.7%	56.9%	43.9%	73.9%	86.4%	24.5%	19.9%	1.9%	2.9%	0.0%
無回答(n=19)	0.0%	10.5%	10.5%	21.1%	26.3%	21.1%	52.6%	63.2%	10.5%	0.0%	5.3%	21.1%	0.0%

問11-1専門家への信頼度、問13-1国や自治体に対する信頼度別にみた信頼理由



X章 自由回答集

問4 「原子力」のイメージ(その他)

性	年齢	内 容	都道府県
男	16	atomicという、英単語。	東 京
男	25	爆弾	福 島
男	25	必要	福 岡
男	26	発電	滋 賀
男	37	瞬間的な大エネルギー。	千 葉
男	37	うまく利用すると効率的。	千 葉
男	38	怖い	愛 知
男	40	怖い	岐 阜
男	43	低コスト	石 川
男	44	保守をしっかり行って欲しい。	東 京
男	49	戦争	埼 玉
男	60	絶対安全の研究。	埼 玉
男	62	使うべきではない。	神奈川
男	64	未知	静 岡
男	77	原子爆弾	広 島
女	23	チェルノブイリ	宮 城
女	27	新しい。	兵 庫
女	37	核	広 島
女	43	怖い	大 阪
女	48	滅亡、破壊	東 京
女	69	東日本大震災時のそれに携わった人達の後始末が悪いと思う。	大 阪
女	72	危険度が高い。	大 分

問5 「放射線」のイメージ(その他)

性	年齢	内 容	都道府県
男	16	radioactiveという英単語。	東 京
男	18	怖い。	山 梨
男	19	レントゲン	埼 玉
男	25	X線	福 島
男	25	誤解されやすそう。	福 岡
男	32	自然科学の1つ。	新 潟
男	37	レントゲン	沖 縄
男	37	医療	岡 山
男	38	広がる。	宮 崎
男	38	怖い	愛 知
男	38	目に見えない。	大 阪
男	40	医療	岐 阜
男	43	レントゲン	石 川
男	49	医療には必要。	埼 玉
男	51	死	東 京
男	60	自然界にも存在する。	埼 玉
男	64	使い方次第。	静 岡
男	64	計測	静 岡
男	68	目に見えないので不安です。	神奈川
男	68	医療には必要。	埼 玉
男	73	病院	大 阪
男	77	原子爆弾	広 島
女	19	程度によっては危険なもの！	熊 本
女	22	レントゲン	神奈川
女	23	ファット、マン	長 崎
女	35	病院	埼 玉
女	37	原爆	広 島
女	41	レントゲン検査	大 阪
女	43	怖い	大 阪
女	52	医療には必要。	滋 賀
女	64	こわい。	東 京
女	67	がん	兵 庫
女	69	必要だけど、少し不安。	大 阪

問7-1 原子力やエネルギーの分野で関心のあること(その他)

性	年齢	内 容	都道府県
男	25	原発の扱われ方（マスコミ）。	福 岡
男	44	メタンハイドレート	東 京
男	54	原発の廃止。	長 崎

問7-2 放射線利用の分野で関心のあること(その他)

性	年齢	内 容	都道府県
男	36	核分裂でなく、核融合。	埼 玉

問8-1 原子力やエネルギーに関する情報入手経路(その他)

性	年齢	内 容	都道府県
男	16	科学の教科書。	東 京
男	18	学校の授業。	大 阪
男	22	SNS	東 京
男	32	専門誌	新 潟
女	15	学校で	神奈川
女	15	授業	鹿 児 島
女	17	授業	三 重
女	17	学校	北 海 道
女	18	学校で。	愛 媛
女	19	教授の講義や授業の内容。	熊 本
女	20	授業	千 葉
女	31	主人の話。	愛 知
女	32	夫	奈 良

問8-2 この1年間に原子力に関する有益な情報を得た人(その他)

性	年齢	内 容	都道府県
男	22	SNS	東 京
男	49	医療機関	愛 知
女	27	メディアの中の政治専門家・自治体	栃 木
女	35	辛坊さん	大 阪
女	36	原子力館	滋 賀

問8-3 この1年間に原子力に関する事故等の情報を得た人(その他)

性	年齢	内 容	都道府県
男	22	SNS (すべてtwitter)。	東 京
男	41	ネット	三 重
男	64	海外の知人。	静 岡
女	27	メディア	栃 木

問9-1 参加してみたい「原子力等に関するイベント」(その他)

性	年齢	内 容	都道府県
女	31	テレビ	大 分
女	54	大学の授業。	千 葉

問9-2 原子力やエネルギーに関する理解に役立つサイト(その他)

性	年齢	内 容	都道府県
男	40	電力会社のホームページ。	千 葉
男	40	電力会社のホームページ。	岐 阜
男	49	東電のHP。	埼 玉
男	49	新聞社等のメルマガ。	埼 玉

問11-2 原子力に携わる専門家、関係者の信頼度理由(その他)

性	年齢	内 容	都道府県
男	21	どこまでが本当のことなのかわからない。	佐 賀
男	21	よくわからない。	群 馬
男	26	自分がそもそもよく知らないから。	青 森
男	32	それぞれのバックグラウンドが異なっているから。	新 潟
男	36	事業者と研究者(専門家)の関係がもたれ合いに思えるので。	埼 玉
男	38	危険が甚大なため。	宮 崎
男	40	信頼できる人と信頼できない人との差がとても大きい。	岐 阜
男	41	利権が絡んでいるから。	三 重
男	43	福島事故に対して、役に立たなかったから。	岡 山
男	47	あまり情報を見ていない。	大 阪
男	47	人による。	大 阪
男	49	わからない	岐 阜
男	55	どちらともいえないから。	福 岡
男	64	人によって意見が大きく異なる。誰の意見が正しいのかわからない。	兵 庫
男	64	嘘が多すぎる。	埼 玉
男	64	一般人に、わかる説明がされていない。完璧はないから。	静 岡
男	70	わからない。	東 京
女	23	わからないから。	宮 城
女	25	よくわからない	鹿 児 島
女	27	都合の良いことしか言わないから。	宮 城
女	27	信頼するしか。知識がない。	栃 木
女	27	わからない。	熊 本
女	32	よくわからない。	奈 良
女	37	今迄原子力に頼ってきた日本人々…という事実もあるから。	広 島
女	41	自分は何もわからないから信じるしかない。そうでなければ、混乱してしまう。	宮 城
女	41	嘘やごまかしが多いから。	大 阪
女	52	自分の利害に左右されていると思う。	東 京
女	72	難しい。利益優先に働く。	大 分
女	79	わからない	奈 良

問12 原子力の安全利用を続けるために活躍を期待する人(その他)

性	年齢	内 容	都道府県
男	21	民間企業	熊 本
男	36	期待する人はいないが、誰かにやってもらわなければならない。	愛 知
男	37	反対派の意見。	沖 縄
男	40	純粋な第三者機関。	千 葉
男	40	米国などの原子力関係者。	岐 阜
男	45	管理組織	奈 良
男	64	製造メーカー（各工程上の）	静 岡
女	27	全ての人	栃 木
女	32	マスコミ	東 京
女	33	専門家	長 野
女	39	利用しないで欲しい。	静 岡
女	53	原子力のことをよく知っていて利益を求めない人々。	大 阪

問13-2 原子力安全管理、規制における国の信頼度理由(その他)

性	年齢	内 容	都道府県
男	17	わからない。	熊 本
男	21	どこまでが本当のことなのかわからない	佐 賀
男	21	よくわからない。	群 馬
男	22	早期対応よりも、責任の所在を気にしてしまう体制。	東 京
男	26	自分がそもそもよく知らないから。	青 森
男	32	大きな組織は、その方向性を共有しにくいから。	新 潟
男	39	お役所仕事は事務的で他人事のようなだから。	千 葉
男	40	特に国には原子力の専門家が少ないから。	岐 阜
男	42	他にできそうな所がない。	広 島
男	43	責任所在が明確でないから。	岡 山
男	47	あまりわからない。	大 阪
男	62	自治体に専門的知識を持っている人がいると思えない。	大 阪
男	64	専門家に見えない担当と思えてしまう。	静 岡
女	27	わからない。	熊 本
女	32	よくわからない。	奈 良
女	36	国や自治体が管理しているのを知らなかったから。	東 京
女	44	よくわからない	東 京
女	45	わからない。	岡 山
女	52	お役所仕事の考え方から抜け出せないから。	東 京
女	54	知識や体制が不備だから。	千 葉
女	76	神仏の智慧を頂けば良い。	福 井

問14 原子力安全管理を国に任せるために配慮されるべき点(その他)

性	年齢	内 容	都道府県
男	16	スキルUP	三 重
男	25	独自の監視機関。	福 岡
男	28	お金の動き→補助金等。	愛 知
男	36	事故が人災であるなら、責任者には過去に逆のぼって罰を与える。	石 川
男	38	被害が甚大なため。	宮 崎
男	62	安心して任せ得る事項ではない。	静 岡
男	64	担当者の、経歴公開。	静 岡
女	36	原子力のゴミの捨て方を発明する。	静 岡
女	39	原子力にも安全はないと思います。	静 岡
女	54	勉強してください。	千 葉
女	58	自然の驚異にはなすすべなしだから。	広 島
女	62	実務担当者の教育。	岐 阜
女	65	原子力は元々反対。	京 都

問16 信頼している日本の原子力技術(その他)

書き抜き箇所なし

問17 放射線に対し不安を感じるもの(その他)

性	年齢	内 容	都道府県
男	16	見えない。	三 重
男	28	福島原発からの放射線。	山 形
男	38	事故が起こった時の放射線。	宮 崎
男	64	放射性廃棄物	静 岡

問19 科学技術、環境に対する考え(その他)

性	年齢	内 容	都道府県
男	22	無駄な技術はいらない。	東 京
男	64	科学の進歩は、必要悪。	静 岡

問21-1 今後、利用・活用すべきエネルギー(その他)

性	年齢	内 容	都道府県
男	22	海底油田、シェールガス。	東 京
男	22	メタンハイドレード	滋 賀
男	25	エコロジータ的なエネルギー。	福 島
男	36	宇宙太陽光発電	大 阪
男	45	宇宙発電	奈 良
男	56	メタンハイドレード	熊 本
男	58	メタンハイドレート	新 潟
男	59	レアメタル・シェールオイル	大 阪
男	64	海流、波濤他	静 岡
男	67	小型でも場所があつた発電所を作る。	東 京
男	67	電気に頼らない方法を。	島 根
女	41	新しいエネルギー開発に期待。	大 阪
女	56	海洋資産	兵 庫
女	67	節電	東 京
女	70	シェールオイル	広 島

問21-2 今後、利用・活用すべきエネルギー選択理由(その他)

性	年齢	内 容	都道府県
男	21	ある程度の安定供給は必要。	神奈川
男	22	火力発電等の主要割合を減らし、将来へのリスクを減らす。	東 京
男	25	化石燃料の輸入量が増え、ガソリン等のコストが上がる。	福 岡
男	26	どれを使うか使わないかではなく、使えるものは全て使えばいい。	東 京
男	40	自然エネルギーの発展が地方の経済発展に結びつく可能性があるから。	岐 阜
男	57	エネルギーの不足は、当然だから。	福 岡
女	23	エコだから安全。	宮 城

問24 福島第一原発事故に関して現在心配していること(その他)

性	年齢	内 容	都道府県
男	25	ガソリン代	福 岡
男	56	廃炉	千 葉

問25 原子力等に関する情報源、情報発信手段に対する考え

性	年齢	内 容	都道府県
男	16	物が便利になってくると、人の欲求が増えていくものです。だから、少しずつ日本全体が変わっていくことを願っています。殺人事件などが少しずつ無くなれないかぎり、日本は平和とは言えません。	宮 崎
男	17	わかりやすくして下さい。	福 島
男	18	わかりやすく報道してほしい。	神奈川
男	18	正確な情報を隠さず公開して欲しい。テレビも時間を使って放送して欲しい。	山 梨
男	18	政府はもっと情報を公開すべき。	兵 庫
男	20	隠ぺい体質が多い。	東 京
男	20	インターネットに発信する。	東 京
男	20	もっと公開すべき。	大 分
男	21	国で考えてやって下さい。	広 島
男	21	テレビなどの大手メディアはもっと多くの情報を公開すべきである。	熊 本
男	23	隠さず情報を流す。	千 葉
男	23	福島原発の事故が特別なものではなく、全国的にどこでも起こりうることを、日本国民が認識し、安全に関する国、自治体の適切な情報公開が望ましい。	神奈川
男	26	そもそもわからない人に話すなら、誰もがわかるように話すべき。	青 森
男	28	社会生活に伴う、放射線利用による受益とリスクに関する情報提供をもっと日常の中で、テレビやラジオ等で流すべき。	兵 庫
男	29	安全に関する情報が具体的でなく信用できない。	愛 知
男	29	原子力のエネルギーは、必要だと思う。そこで働く人もいる。	秋 田
男	29	原発はいらん。原発が存在すること自体が悪でしかない。いくら安全といっても本当に安全なものはない。国民のほとんどが原発はいらないと思っているのに、維持しようとする自治体、政治家はバカだ。	静 岡
男	30	地デジのデータの中にもりこむ。	福 井
男	30	安全を第一に考える。原子力発電は止める。	京 都
男	32	日本人はもっと自然科学全般について理解を深める必要がある。	新 潟
男	34	不用意に原子力など反対するメディアを良くないと思う。メリットをきちんと伝えていった方が良くと思う。	東 京
男	35	全ての情報を出す必要はないが、責任を持つ人がしっかり「責任」を果たして欲しい。	福 岡
男	35	食品だけでなく、被災地周辺や近県に関する風評被害を抑えることに、もっと力を尽くすべきだと思います。	山 形
男	36	東京電力は事故内容について全て情報公開すべき。	神奈川
男	36	女川原発で福島で起きた事故の放射能を確認したと聞きましたが、宮城県内の影響、本当のことを教えてほしい。国会は解散などでもりあがっているが、復興する気があるのか？大変な人たちはまだ沢山いる。あの震災も風化するのかと思う。	宮 城
男	36	情報が部分的だったり偏ったりするのは当たり前。個々人で情報を精査すべき。情報源、情報発信の手段に望むことは現状で特にない。エネルギー、原子力、現状で不備、不具合があるなら変えれば良い。利権がらみで現状を変えないのは良くない。	東 京
男	36	技術開発にお金がかかるが、自然エネルギー利用にこれからも取り組んでいくべき。	東 京
男	37	線量等は、デジタル放送でいつでもチェックできると便利（目安が良い）。	東 京
男	37	TVCM枠が短く、理解しやすい手段だと思われる。	千 葉
男	37	専門家、政治家など意見がわかれている。利益などを度外視して正確な情報を教えて欲しい。	兵 庫
男	37	地熱発電が、温泉地に影響が出るというテレビを見た。地熱発電は、ノーリスクだと思っていたのでビックリした。エネルギー開発はもっと地元の見解を聞くとともに、情報を発信して欲しい。	沖 縄
男	37	もっと、わかりやすい情報の公開。	愛 媛
男	37	より正確な情報を、公開して欲しい。	長 野
男	37	地域での、または自治体での講演会等を実施すべき。それも子供達や老人に分かりやすく。	新 潟
男	38	真実は組織以外には伝わらない。	東 京

問25 原子力等に関する情報源、情報発信手段に対する考え

性	年齢	内 容	都道府県
男	38	テレビからの正確な情報。	神奈川県
男	38	東京電力が情報をもっと早く出し、専門家が早くに一般市民にわかりやすくテレビ等で伝えるべき。	大阪
男	39	断片的でなく、総合的な見地で伝えてほしい。済んだことの反省は必要だが、それよりもこれからどうするのかに重きを置くべき。	千葉
男	39	フラットに情報を発信して欲しい。	岐阜
男	39	・事故当時のビデオなど、一部公開ではなく、全部公開し、それに対しそれぞれの専門家がそれぞれの見解を示して欲しい。判断はこちらである。 ・いろいろ発表されるが、原発に対し不信感しかなく、もっと正確な情報を開示していただきたい。	長野
男	39	全ての情報を国民に公開して欲しい。	神奈川県
男	39	国民に対して、すべてを公表した方が良いと思います。	東京
男	40	「3.11」の震災による原発事故直後、テレビなどで連日「大丈夫」「安全」「心配ない」と言い続けた専門家を見て、マスメディアに対する信頼もなくなった。自然に入ってくる情報より、自分で探し、調べて入手する情報のほうが信じられると思うようになった。	山口
男	40	政府、マスコミはウソつき過ぎ。	新潟
男	41	発電事故に関する情報公開。	愛知
男	42	情報公開は全てのことについて行ってほしい。	神奈川県
男	43	CMの量を多くする。テレビでも、もっと発信をする。	神奈川県
男	44	この現代に電力は必要不可欠。ただ今までのような無駄遣いはやはりよくない。家での節電は良い事だけれど店の照明が暗いのは正直購買意欲が沸かなかった。ある程度の電力は必要。でもCO2が増え、地球の温暖化は問題。自然エネルギーを利用しながらもどうしても原子力には頼らざるを得ないと思う。原子力反対とかデモをしている人達は代替案もなく偽善的に感じられる。またそれを偽善者ぶって放送するマスコミも問題！！	千葉
男	45	情報公開	東京
男	45	報道に関してオープンにして欲しい。	京都
男	45	日本だけは、こういう災害が起こった時に情報を隠蔽する国ではないと思っていたが、日本も、他の共産国と同様なんだと感じた。	千葉
男	46	テレビ、ラジオなどでもっとやって欲しい。	北海道
男	46	情報が正しく伝えられない。	静岡
男	48	国だけに任せるのではなく、専門家や第三者的な立場の人々の機関を作り、そこから、国民に情報を発し、もっと国民の意見を取り入れて問題を決めたり、解決してゆくべきでは。具体的には難しい事だが、今の政治家任せではどんどん先送りされてしまう（何事に対しても同じだから）。	兵庫
男	49	原発に関しては、東電は民間の一企業であり、収束に向けて力不足だと思う。不安。	埼玉
男	49	集会を沢山開く。	福井
男	50	全ての情報を公開し、テレビ等で詳しく報告する。	埼玉
男	50	政府は、都合のいいことしか公表しない。	新潟
男	52	放射能は、とても危険だと思っています。また、放射能廃棄物の処理方法も決まっていな中で、原発が稼働しているのはとても愚かな話に思えます。マスコミにはもっと原発の危険性を報道して欲しいと思います。	新潟
男	53	地元の復興支援が、あまりにも不備に思える。事業資金の件は、あまりにも不公平に思う。この頃、現地の様子情報が少ない。	兵庫
男	53	日常生活の中で一番、情報が入りやすいのはTVや新聞で、時間が経つと忘れてしまいます。特に見聞きするのは、マイナス面ばかり。もっと短時間でも、私達に関心を持つような情報を発信して下さい。私を含めて、無関心な人が多いので、わかりやすい情報が欲しいです。	兵庫
男	54	最近ニュースにもならない。忘れてはいけないと言いながらテレビから消えつつある。我々は問合せ先も知らずに一方的にテレビや新聞で見るだけになっている。これでは何も変わらないのではと思う。	山梨
男	54	わかりやすい説明。	千葉

問25 原子力等に関する情報源、情報発信手段に対する考え

性	年齢	内 容	都道府県
男	55	何か事故があった場合、国民にわかりやすく、情報をいち早く流してほしい。	埼 玉
男	55	あまった電力を蓄えることができる電池の必要性！	茨 城
男	55	十分に公開すること。	富 山
男	55	・関係機関（省庁）が多すぎて、やっていることがバラバラな気がする。 ・原子力はエネルギー政策をもう一度よく考え、決めて行って欲しい。すぐにゼロにすると言っても、実質問題として無理。我々国民も原子力をゼロにするのであれば、相応の不便さも覚悟しなくてはいけないと思います（生活を変えないで、安全だけ求めてもダメ）。	長 野
男	56	新聞、テレビ等のメディアは、正確な情報と、広告主に左右されない皆の意見を出してほしい。	北海道
男	56	わかりやすいTV番組の放送を流してもらいたい。	大 分
男	56	原子力発電は、全て無くすのが最良。	和歌山
男	56	事実の報道ができる機関を設置。解析力のある担当者をテレビに出していただき、国民に伝える。	山 形
男	56	原子力は上手にコントロールして利用すべきです。避難されている方たちの多くは自宅に帰れる程になっていると思います。いたずらに不自由を強いている行政、マスコミは、それこそ人権侵害に近いものがあります。ホルミシス効果もある位ですから。	熊 本
男	57	政府、自治体、公共機関が積極的に情報を公開し提供していくこと。	愛 知
男	57	電力、エネルギーの供給が今の半分になった時、日本経済が崩壊しても、人類は滅びない。今のままのエネルギー供給を続けたら、経済は保っていても、将来自然が壊れて、人類が滅びるかもしれない。	福 岡
男	58	日々の生活の中で耳、目からは情報が入るが、だからといって、どうしよう、こうしようといった具体的なことは現実無理である。ただ、見守るだけである。	東 京
男	58	小さなことでもテレビ、新聞で取り上げて欲しい。	大 阪
男	58	新聞、マスコミによる情報。	埼 玉
男	58	技術的には防げた人災事故と言われるに至っては、全市町村単位で、モニタリングポストと、食品検査機器の常設化で気象庁のアメダスくらいの観測体制が必要。事故が起こった時に、拡散予報がリアルタイムで次々に出てくれば、間違った方向へ避難しなくてもよくなる。	新 潟
男	58	TVなので定期的に特番として放送してもらいたい。	福 岡
男	58	メディアの活用は情報発信の手段として有効と考える。中でも空中戦ともいえる、ソーシャルメディアの活用、TVのコマーシャル活用（知名度の高いゲストを選ぶ）、E-mail等、同時に大勢の人に情報伝達できる。	熊 本
男	59	安全第一のエネルギー政策にして欲しいです。	東 京
男	60	日常的にテレビ、ラジオ、新聞等で、気軽に専門的なことでも国民一人ひとりに知らせてほしいです。	北海道
男	60	情報は隠さず知らせて欲しい。総理は自分が口を出すのではなく、専門の者に任せるべき。そして自分が責任を取るぐらいの気持ちが必要（村山総理のように）。	茨 城
男	60	原発は日本国にとって必要。	福 島
男	60	原発事故に対しては現政権の方が正直に思える。政権に入れない共産党や民社党はもっと正直とは思う。しかし、自民党はほとんどの方が信用できない。すぐ大企業側に寄っていく。独立した権限を持つ強力な機関を作るべき。	埼 玉
男	61	信頼できると思う情報源がないので、第三機関的情報発信源を作って欲しい。	北海道
男	61	マスコミの正確な報道。	東 京
男	62	人間の知識、能力で最終処理できないものを扱うべきではない。	神奈川
男	62	何を信じていいかわからない。	大 阪
男	62	共有する認識が必要では（国、企業、人）。	北海道
男	63	NHK、ニュース等において、放送して欲しい。	栃 木
男	63	今すぐに原発を止めること（全部なくすこと）はできないと思います。できる限り急ぐ必要はあると思いますけれど。	静 岡
男	64	情報公開が不明確。正確性がない。	三 重

問25 原子力等に関する情報源、情報発信手段に対する考え

性	年齢	内 容	都道府県
男	64	今回の事故のように、流出した放射性物質を完全に制御できる技術のない者が、原発を扱う資格があるのか？	静 岡
男	64	一定期間の秘密事項があっても、「〇〇年後の全面公開」を義務付けて、歴史的にも記録を抹消しないことを願う。科学のプラス/マイナスは常にあり、それを選択するのはその時代に生きた人間達が判断し、将来を決めて行けると良いのだがな。	静 岡
男	64	マスコミが騒ぎすぎ。	東 京
男	65	汚染された土地を何年経過すれば元通りになるのか？100年は必要だと思うが、それに対する東電、国の対応は…？国会で好き勝手を言っていないで、議員が現地でも半年くらい冬に生活してみればわかるはずだ！	埼 玉
男	65	新エネルギーや省エネ技術に関する啓蒙、助成。	兵 庫
男	67	電力会社正し、電力量をおいていないように感じる。	東 京
男	67	莫大な資金で運用されるテーマなだけに、あらゆる反対情報も全て公開し、誰人も自由にその情報が手に入れられるシステムを構築すべきである。特に、学術関係者や団体に於いては、正反対の意見や情報を発信する立場を閉ざしてはならないと思う。	大 分
男	67	原子力発電所内に国、自治体の方が、常時入って見守っていく（事務所を設ける）。	島 根
男	68	国民に対する安全策を実行して欲しい。	愛 知
男	68	原子力や、放射線については、単純でないだけにわかりにくく、理解できないことが多い。	埼 玉
男	69	乳児、幼児への放射線の影響。	徳 島
男	70	今後日本は自然エネルギー源を多く利用して、発電コストをできるだけ抑えて安全第一で原子力発電に変わる対策を考えてほしい。	福 井
男	71	国を信頼できるように、また信頼されるように全力で頑張ってもらいたい。	神奈川
男	72	専門用語が沢山あり理解が難しい時もあるので、もっとわかり易い説明がなされると良い。情報がバラバラな時もあるから、ただ民衆に不安を与えるような報道だけは避けていただきたい。	埼 玉
男	72	原子力を制御するのはとても難しい…廃棄物の問題もある…。	石 川
男	73	日本の専門家は知識がないように思う。米国や他国の専門家の意見を導入すべき。	兵 庫
男	74	NHKで一日数回毎日情報を発信するのはどうですか？色々なチャンネルだと、いつどこで発信しているかわからないから。	東 京
男	74	原発がなくとも電力は足りている。	愛 知
男	76	安全に関する情報は、すみやかに包み隠さず公表すべきである。	兵 庫
男	77	全面公開すること。	宮 城
男	77	TV、新聞等で情報を知る。	岩 手
男	77	餅屋は餅屋、お願い一番と思う。	愛 知
男	79	情報を正確に公開する事。	広 島
女	15	学校での授業で、もっと多く詳しくやってほしい。	神奈川
女	15	学生は、テレビを見る人も少ないし、新聞にも経済にも興味のない人が多いと思う。そういう人達に、どうやって情報を伝えていくかが大事だと思う。	鹿 児 島
女	15	自分達に不利な情報は、伝えないのではなく、全てをはっきりと国民に示して欲しい。	長 野
女	18	テレビのニュースでしつこいくらいに原発などのニュースをやり、情報をもっと公開すべき。	東 京
女	19	もっと正しい情報を正確に国民に届けるべきだと思う。	熊 本
女	22	不利な情報も公開してほしいと思う。	神奈川
女	25	テレビでよくやっているが難しく、あまりちゃんと見ようという気にはなれない。	鹿 児 島
女	26	海外からの見方も逆に取り込んでみたい。	埼 玉
女	26	情報を隠さずきちんと公開してほしい。	岩 手
女	27	様々な生活環境があるのでテレビやラジオ、新聞のような意識して見なきゃいけないものよりも、メール配信（携帯やパソコンなど）するとか、より身近なところからの発信があればと思う。	北海道
女	28	情報がほとんどない。	神奈川

問25 原子力等に関する情報源、情報発信手段に対する考え

性	年齢	内 容	都道府県
女	28	頭ごなしに原子力がダメと決めない方が良くと思う。放射線に対しても誤解が多く、パニックになったので知識をつけるべきだと思います。	神奈川
女	32	マスコミによる風評被害がすごく気になります。テレビで言うことにもっと責任を持って欲しい。専門の方がちゃんとした情報を訴え続けて欲しい。	大 阪
女	34	何かあれば柏市や携帯の防災速報というアプリから情報が届くので、とても便利になったと思う。	千 葉
女	34	あらゆる情報源から、わかりやすい情報をどんどん届けてほしいです。インターネットや携帯電話の普及で、新聞をとってない家庭もあるので、ネットや携帯ニュースでも詳しい情報を届けてほしいです。	神奈川
女	34	時の経過と共に報道などで目にする機会が減っているように感じます。もっと増やすべき。	東 京
女	35	スーパーで置いてある福島県産の野菜は、いまだに人気がないような気がします。もっともっと安全性を伝えていかないといけないなと思います。人気アイドルを広告に使ったりして…。	神奈川
女	35	後から後から今までの嘘が出てきてとても信用できない。福島出身の友達がいる、実家に戻りたいのに戻れない状態。早く安心して戻れるような環境が元に戻って欲しい。そして正確な情報が国民全員に伝わるようにして欲しい。	大 阪
女	35	たいいてい重要な情報はTVやネットではなく、口こみのように人から人へ伝わるのでそれをうまく活用できれば…。	奈 良
女	36	細かいこと等も、ネット等にすぐに書き込みをすれば、見た人は少しでも安心ができると思う。	東 京
女	36	原子力は、発電所を作っても、使わなくなった核の処理がしっかりと安全になくなるような処理を開発しないと（埋めるだけではだめ）、いけないと思う。作ったものは責任を持って安全に処理してもらいたい。	静 岡
女	37	マスコミは片寄った意見を言わず、公正な立場で物を言うべきだと思う。	福 岡
女	37	・現在、福島第一原発で、事故の収束に向けて体を張って活躍してくれている方達の声を、もっと聞くべきだと思う。 ・風評被害にあわれている方達の声も、どんな小さいことでもいいから、どんな被害にあっているのか、積極的に聞き、1人1人の人が“自分が同じ立場なら”と、考えるべきだと思う（実際、スポーツの遠征で来ていた、福島出身の人に“福島県民と言っただけで変な顔をされる”“避けられる”等、直接声を聞いた）。	広 島
女	38	私たちの生活をおびやかす事故などの情報は、正しく迅速に発信してほしい。	東 京
女	39	情報発信については、正しく確実に正確に、国民全員がわかるように伝えてほしい。	神奈川
女	40	よくわからない部分が多すぎるので他人事になってしまう。学校や地域で情報源になるような場を設けてもいいと思う。	大 阪
女	41	中立の立場の人の意見をわかりやすい言葉で発信して欲しい。	埼 玉
女	41	誰もが（子供からお年寄りまで）わかるような、原子力・原発についてわかる番組を、TVで放映して欲しい。順序を追って週刊子供ニュースの原子力特集・特番のように、CMでもいつやるかはっきり何度も放映し、人の目につくようにして、関心を持たせ、皆が正しい知識を身につけられると良いと思います。それによって、風評被害も和らぐでしょう。	埼 玉
女	41	子供達が大人になった時に、日本で安全で安心して暮らしていけるように、エネルギー開発をして欲しいです。	広 島
女	41	様々な人が自由に発言、報告ができる機関ができればいいと思う。大学や研究者、専門知識者が、直接政府に意見できるサイトを作り、政府はそれに対し誠実に対応、意見交換をしなくてはならない等。	大 阪
女	42	専門家、国、電力会社が一つになり、専門家を中心とする組織を確立する。情報は隠さず、わかりやすく、国民に伝えるべきだと思う。	東 京
女	42	防災無線のように一家に一台あったら良いと思う。	愛 知
女	42	こういう時でも電力会社の人達が、高給をもらっているのがおかしいと思う。結局、自分の利益が第一なんだと思う。	福 岡

問25 原子力等に関する情報源、情報発信手段に対する考え

性	年齢	内 容	都道府県
女	42	色々な考えや情報があり、正直どれが正しいのかよくわからない。信頼できる機関がない感じがする。	神奈川
女	43	マスコミの報道にも偏りがあるようなので、より正確な情報が伝わるように日頃から報道してもらいたい。	福 岡
女	44	エネルギー問題について…今、原発廃止の声が大きくなってきています。福島のことを考えると、当然のことなのかもしれません。原発がなくても大丈夫なのであれば、それに越したことはないでしょう。実際全ての原発が停止しても、どここの場所でも電気は需給できていました。電力が足りないと言われていた東京電力が、他の電力会社に電気を融通しているのもちょっと？不思議でした。私達にはわからない、テレビ等からの情報や、新聞の記事等も、正直難しく、よく理解できないまま終わりにしてしまうこともあります。現時点で原発を全て廃止した場合、国民の生活がどう変わるのか、その状態に対応して行けるのか、わかりやすい言葉できちんとした説明をしても良いのではないかと思います。不慣れた状態になるのも覚悟で、一度シミュレーションをしてみて国民一人一人に考えてもらい、答えを出してもらいたいのも良いのではないかと思います（くれぐれも、裏のない状態で）。	新 潟
女	45	くもりのないメディア情報。	東 京
女	46	状況を毎月テレビで発表。インターネットでいつでも検索できるようにする。	神奈川
女	46	テレビで嘘偽りなく情報公開をする。	東 京
女	47	専門的なことはわからないので、国民にわかりやすく説明してくれたらと思う。	青 森
女	47	原子力や放射線に詳しくないけど、テレビなどの情報で早く詳しく事故とか安全なのかわかりやすく発表して欲しい。	三 重
女	47	情報がたくさんありすぎ、どれが本当かよく分からない。	埼 玉
女	48	情報発信者または団体、国は国民に全ての情報を開示すべき。	千 葉
女	48	どんな情報でも隠さずすべてオープンに！	奈 良
女	49	地区の回覧板や情報（公報）に載せる。	福 岡
女	50	インターネット	神奈川
女	50	今休止している他の原子力発電所を使わないと今後電力不足になる。	岐 阜
女	51	ツイッターが普及してからデマが多くなったように感じる。ネットを利用するよりもテレビや動画サイトの方がわかりやすいし、信頼できる。	大 阪
女	51	情報公開をきちんとやって欲しい。放射能物質による健康への影響をもっと説明して欲しい。	東 京
女	51	月一回、施設の状態をコメントする。全施設。	山 形
女	52	NHKを使って天気予報のようにある程度決まった時間に情報を発信して欲しい。	大 阪
女	52	マスコミの発信する情報は公正であるとか限らないことを認識しながら見ていかななくてはならない。	東 京
女	53	我が家は今テレビがありません。3/11の時も3/13の時もよくわからず、母からや主人の電話でとても動揺しました。高齢者など、いろいろな人がいます。早く正しくわかり易い情報がすべての人に行きわたるような手段をお願いします。	神奈川
女	53	スピーディーの公表など国民のことを第一に考え、状況に応じた情報提供をするべきだと思う。	大 阪
女	53	・遠い将来、原子力というエネルギーが必要になる可能性があるかも知れないので、研究は続けていくべきと思うが、人の生活圏に近接していない所を限定して（地球規模－IAEAのような機関）行って欲しい。ただ、テロや国家間の力関係で優位性が決まる危険もあるので、難しいことは明らか！ ・現在、日本国内で原発がなくても何とかやっていけると思うし、CO2削減が本当にどうしても必要な事なのかが懐疑的と考えている。藻等を使ったバイオ燃料の研究に資金投入する事はできないのかと思う。ただ、環境を破壊しないよう、省エネを追求し、退廃的でない生き方をすべきと思う。	神奈川
女	54	あとになって報告されては不安が募ります。明確に報告してほしいです。	埼 玉

問25 原子力等に関する情報源、情報発信手段に対する考え

性	年齢	内 容	都道府県
女	54	これまでエネルギーを自由に使いすぎたので、できる限り節電していきたい。	東 京
女	54	ジャーナリスト(?)青山さんという方は実際に原発(福島)へ行かれて目で見て様々なことをテレビを通して情報をくださるのでとても信頼しています。政府の対応はスピーディーにしても早く公開して安全な場所へ避難できるようにして欲しかったです。政府にとって不利であっても国民に本当のことを伝えて欲しいです。	三 重
女	55	世界No.1(今はNo.2?)の、スーパーコンピューター“京”に、全て正しいデータを入力して、その結果を全て発表して欲しい(スピードも使うこと)。何の為に多額の税金を使って、“京”を作ったのか?こういう時に使わなくて、いつ使うつもりなのか?	東 京
女	56	原子力の情報が政治への情報に変化しつつある。もっと現地への詳細な情報発信を…。	東 京
女	56	福島で現場で働いている人の意見をもっと公開すべきだと思う。現地の人が一番よく知っているから。	栃 木
女	56	安全性や、色々な影響を、わかりやすく説明して欲しい。	広 島
女	56	原子力でなくなれば、近隣諸国との外交的な危機の可能性もあると聞いている(核の抑止力)。外交力の強化も合わせて必要かと思います。	兵 庫
女	57	専門家や学者や講師たちのいうことが信頼できない。	宮 城
女	57	原子力エネルギーは将来は封印されるべきと思いますが、それに代わるエネルギーの確保がまず必要な訳で、発電・蓄電の技術の発展がなければ、何も終わらないと思う。将来は各戸が自分の電力は自分で発電し、貯え、余ると他へ送電しという循環が成立していると思う。この方面の科学者、技術者のガンバリを希望します。	岡 山
女	60	高齢者や子供たちにも関心が向くように伝達手段を工夫して欲しい。	大 阪
女	60	私達がこの問題を知るのはテレビ、新聞がほとんどなので正確にできるだけ伝えて欲しい。	大 阪
女	60	・放射性廃棄物を深い地層に埋没することは、未来の日本に住む人々に絶対に悪影響ではないと言えるのか。 ・放射能の恐ろしさを世界で一番知っている日本が、想定外の津波と言いつつ、原子力発電所の事故を、仕方なかったように言っている責任は、非常に大きいと思う。 ・事故が起きれば、人類の存亡の危機!他のエネルギーを開発すべきだと思う。	山 口
女	62	生活が不便でも、原子力等はやめ、自然のものを使うべきだと思う。	神奈川
女	62	平和なことに使用されていけば賛成です。	京 都
女	62	信じられる情報を期待しています。	福 岡
女	62	今まで原子力発電は安全で事故なんて起きないと思っていましたが、福島の事故で恐ろしさを知りました。絶対安心と聞いていましたが、絶対はないのだと思いました。二度と事故がない事を祈るしかありません。	広 島
女	63	福島のことがあり、テレビ、新聞などを積極的に見るようになりました。今は大間が気になっています。30km圏内に入りますので。	北海道
女	63	使用済み核燃料の処分が確立されていない現在、原子力発電の稼働はすべきではない。	福 井
女	64	石炭は外国で(20年分位まだあると聞いた)。石炭火力発電をもっと増やせばよい。	長 崎
女	66	原子力、エネルギー、放射線など3.11がなければ何も考えられなかったことです。自分とは程遠いところに存在していた言葉のように思われます。テレビ、新聞などによって知り、改めて考えさせられました。	神奈川
女	66	きちんと専門の方がマスコミ等でははっきり説明してくれればいけど、テレビ等で見ているといろんな方が話している、どれが本当かなと戸惑いです。私たちは60代半ばですが、孫達を見てると、この子達の先を考えると不安。	岩 手
女	67	日本のような地震多発国では、原子力発電から徐々に脱却し自然エネルギーに変えていくべきである。	埼 玉
女	67	町会の回覧、広告板	東 京
女	67	生活が良くなると、エネルギー源が大量にいるので、原子力は必要だと思います。想定外の事故を予想して、安全対策を十分に行ってもらいたい。	鹿児島

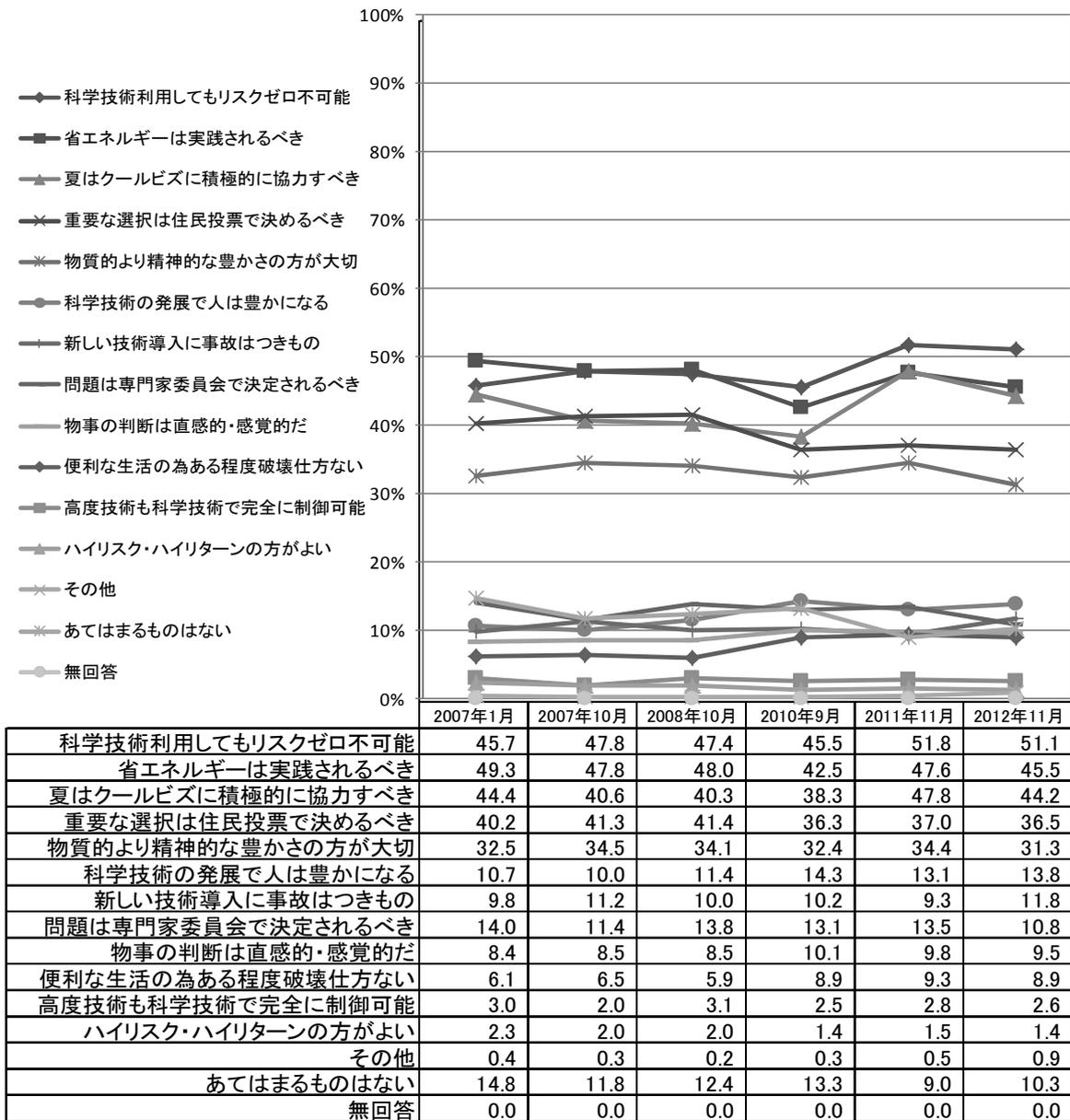
問25 原子力等に関する情報源、情報発信手段に対する考え

性	年齢	内 容	都道府県
女	68	情報の開示。しっかり調べる。	埼 玉
女	68	医療に利用されている放射線は、信頼というより、なくてはならないものだと思いますが、対 反して心配、不安も大です。	東 京
女	69	本題とは少々かけ離れるかもしれませんが、大地震がもとで起った、福島第一原子力発電所事故と、東京電力(株)からのその場限りのような単純な説明を鵜呑みにした政府官僚のいい加減な弁明の繰り返し、一日に何度となく連日のようにテレビで放映されるのを、うんざりする程見せられました。そして、農家の方々の中には、半信半疑の気持ちで、一生懸命野菜やお米を育てられました。…が、その結果、汚染されているから使用不可能…の一言で終わりました。きっと悔しさと恨めしさで逆に涙も出なかったかもしれませんね。 現在も、福島産米という名前だけで、消費者側に嫌がられると聞きました。はっきり言って、輸入されている米、野菜、魚、肉、粉類等にも、すごい農薬残留品が沢山あるのに、国内生産品をこれだけ拒否するのは不公平だと思いませんか。それもこれも全て、東電と政府に責任があることなのに、とても理解しかねます。	大 阪
女	70	原子力でのエネルギーが安いと言われているが、廃棄物の処分のコストが加算されていないのでは。すべてが解決してのコストだと思います。現在処分が完璧でない限りコストは不透明ではないでしょうか。	東 京
女	70	東電福島第一原発事故は、現在考えられる最悪のもので、全ての原発に当てはめるのはどうかと思う。マグニチュード9クラスの地震は、数百年に1度発生する位ではないか。現在の基準で、安全と思われる原発は、稼働すべきと思う。	広 島
女	70	テレビ、新聞等で詳しく説明して頂ければ、今後若い人達にも安心させられると思います。年配者には特にありがたいです。	福 岡
女	71	古い先短い我々の年代は何が起きようとかきらめがつくが、今後の若い世代の人々は大変だと思う。実情を自覚する若者が増えてほしい。	神奈川
女	71	安全に。	富 山
女	72	福島県に居住している者としてかつて原子力発電の安全性をうのみにしていました。安全神話が崩れた以上55基もの原発を設置してきた国のあり方に深い疑念を持ちました。再生エネルギーとして太陽光発電を取り入れてみました。総エネルギーに対して僅かではありますが、もっと利用すべきです。被爆の実態についてはあまり報道がありませんが私たちの子孫にその負荷を残すことはなりません。30年50年と不安が残ります。	福 島
女	72	・つつましい暮らしに心を入れ替える。エネルギーを大切に。 ・必要最低限。細めに電気のスイッチを切る習慣が大切。	大 分
女	73	原子力はいらないと思う。いろいろな手があると思うが(困難、不便 etc)。	千 葉
女	75	水や食物の汚染、健康被害、長期に残る環境汚染等。	兵 庫
女	76	冷静にお知らせください。	埼 玉
女	77	新聞、テレビが最も日常的です。庶民にわかりやすく反復して取り上げるのが良い。	徳 島
女	78	マスコミを通じて簡単なわかりやすい正確な情報提供が必要。	鳥 取
女	79	原子力発電の建設にかかる、直接建設費、設置地域に対する補償、使用済み燃料の廃棄処分費等にかかる、莫大な費用を、新しいエネルギーの開発費に廻すべきだと思います。	兵 庫

経年変化のとりまとめ

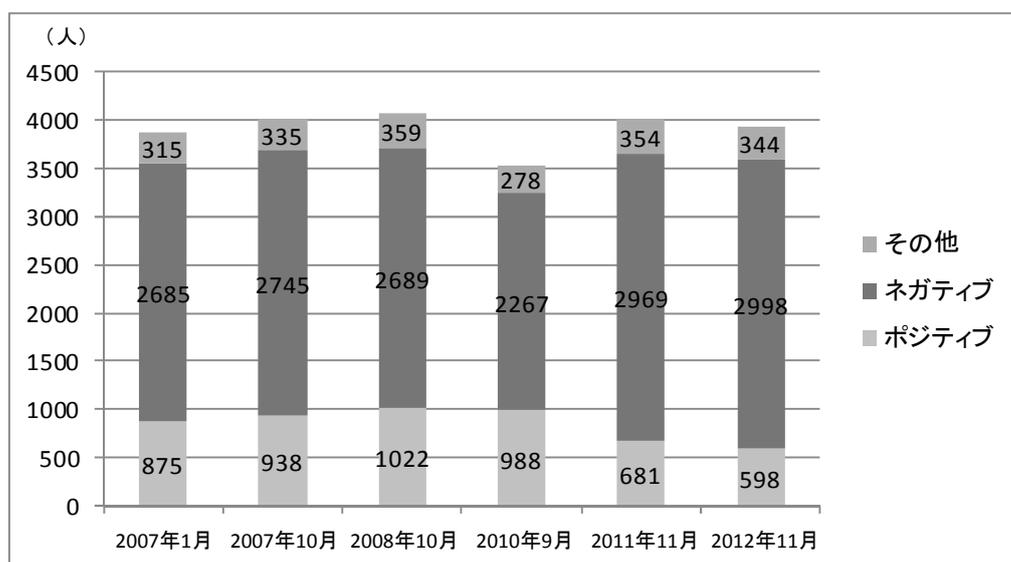
I 章 属性、社会的価値観など

問19 科学技術、環境などに対する、あなたご自身のお考えについてお伺いします。
次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)



Ⅱ章 原子力・放射線・エネルギーに対する イメージと知識

問4 あなたは「原子力」という言葉を聞いたときに、どのようなイメージを思い浮かべますか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)



注1)「ポジティブ」とした選択肢は「明るい」「おもしろい」「親しみやすい」「安全」

「必要」「わかりやすい」「よい」「単純」「信頼できる」「安心」「役に立つ」

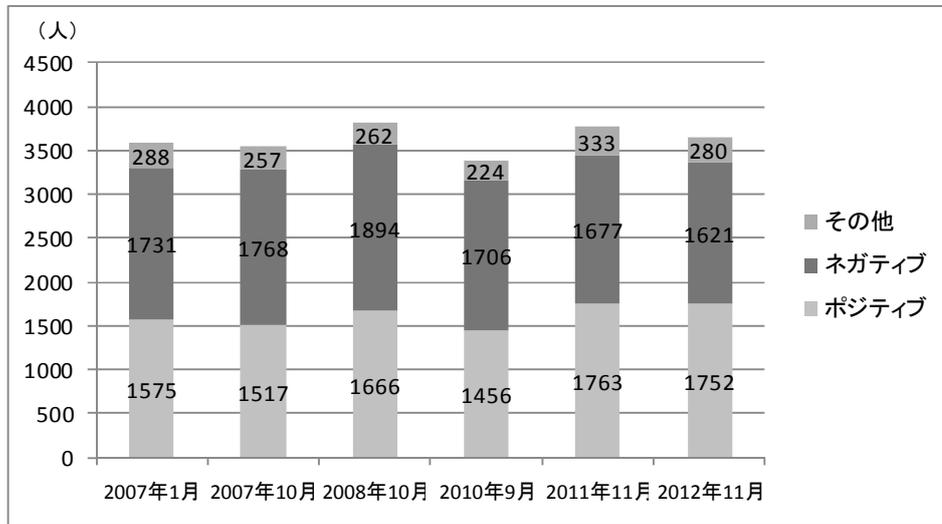
注2)「ネガティブ」とした選択肢は「悪い」「複雑」「信頼できない」「不安」

「役に立たない」「暗い」「つまらない」「親しみにくい」「危険」「不必要」「わかりにくい」

注3)「その他」とした選択肢は「気になる」「気にならない」「その他」

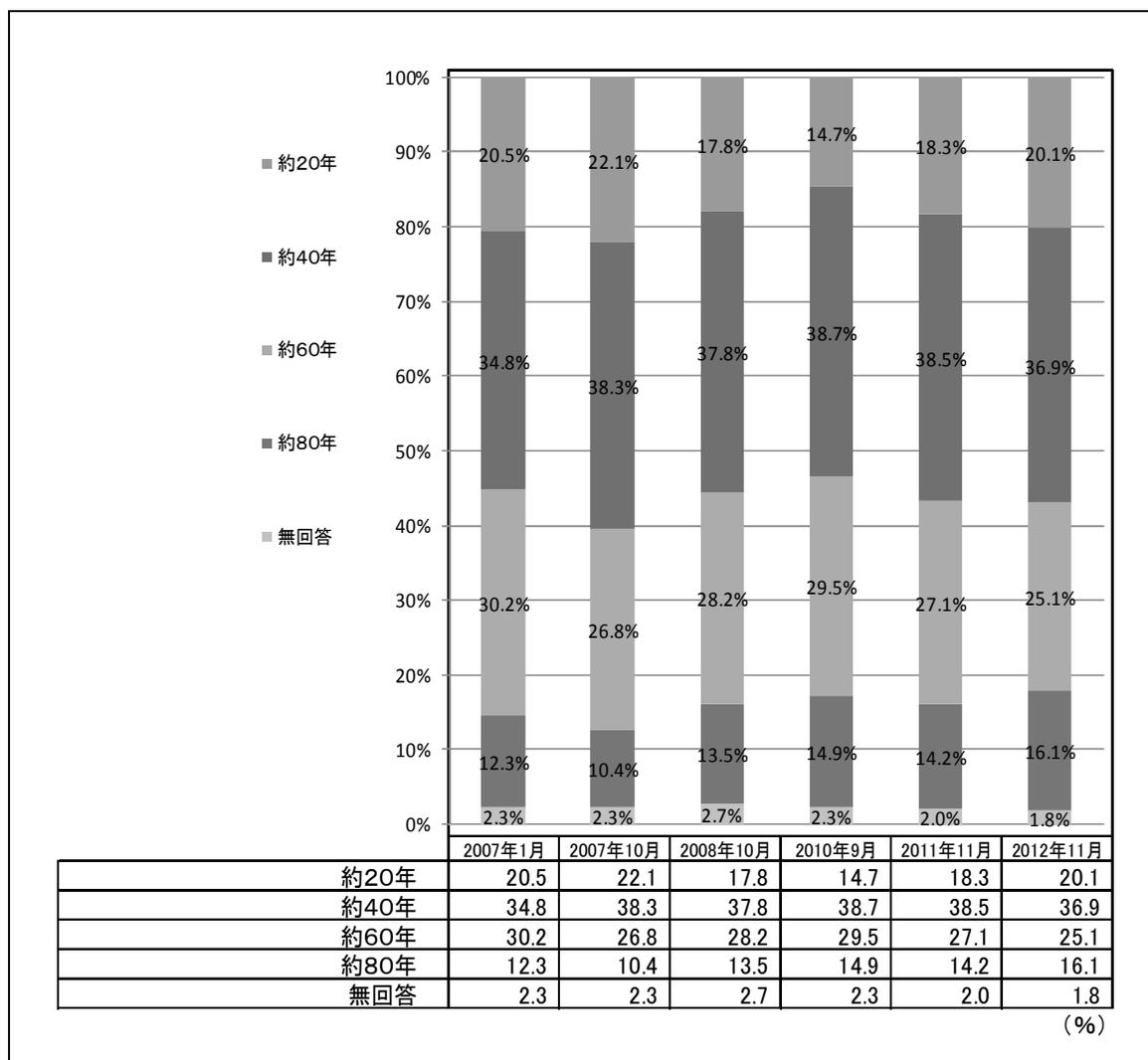
「あてはまるものはない」

問5 あなたは「放射線」という言葉を聞いたときに、どのようなイメージを思い浮かべますか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

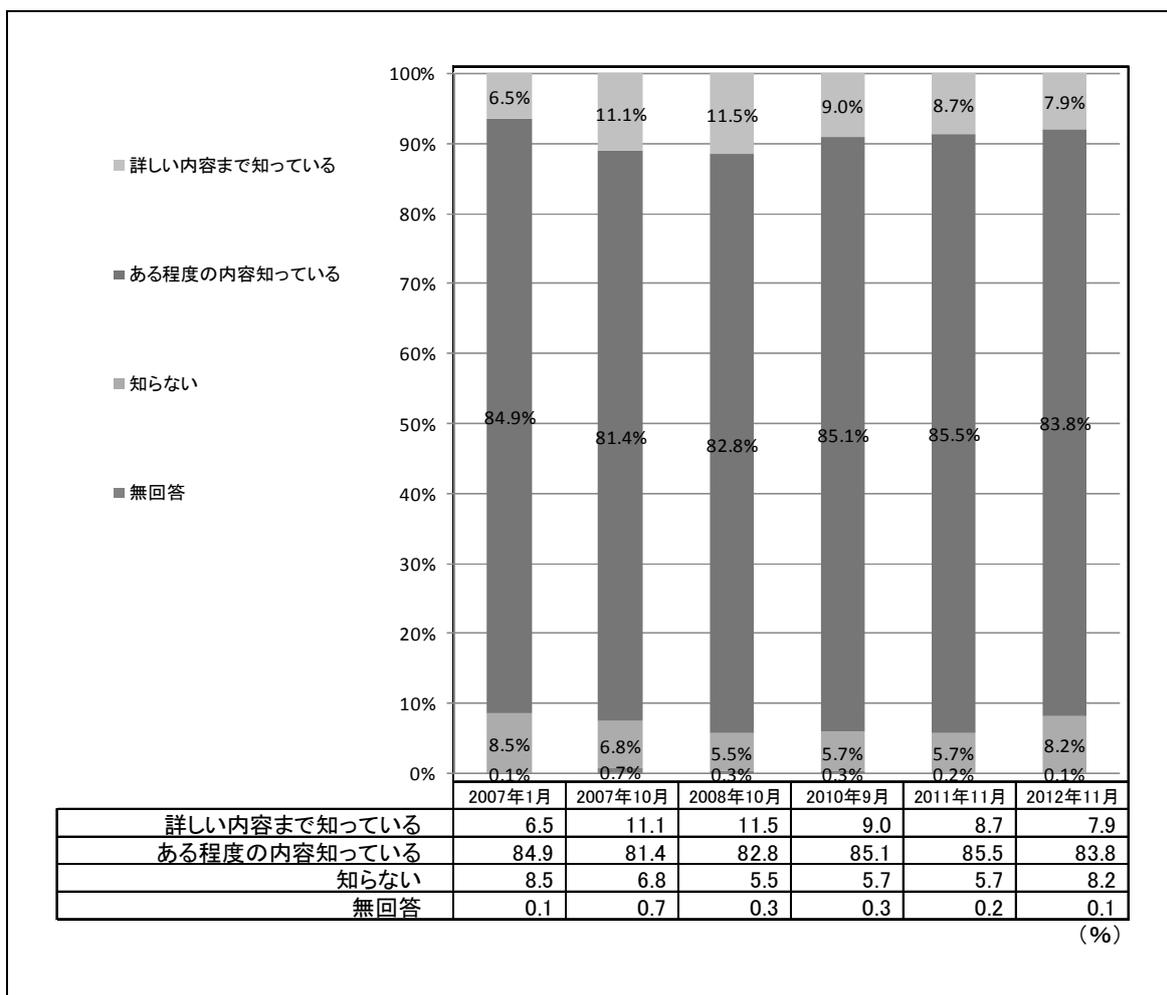


- 注1)「ポジティブ」とした選択肢は「明るい」「おもしろい」「親しみやすい」「安全」「必要」「わかりやすい」「よい」「単純」「信頼できる」「安心」「役に立つ」
 注2)「ネガティブ」とした選択肢は「悪い」「複雑」「信頼できない」「不安」「役に立たない」「暗い」「つまらない」「親しみにくい」「危険」「不必要」「わかりにくい」
 注3)「その他」とした選択肢は「気になる」「気にならない」「その他」「あてはまるものはない」

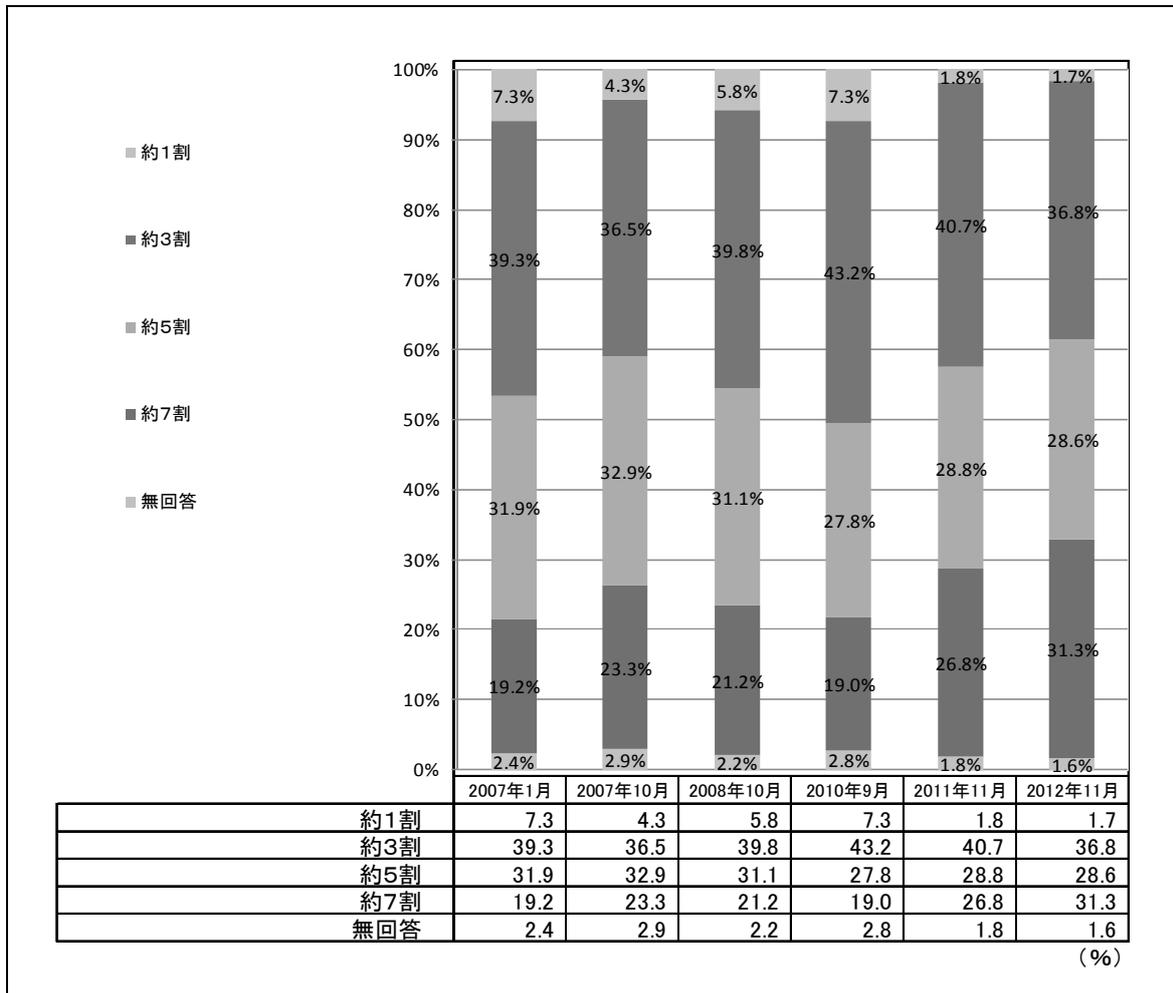
問1. あなたは石油の可採年数はどのくらいだと思いますか。(○は1つだけ)



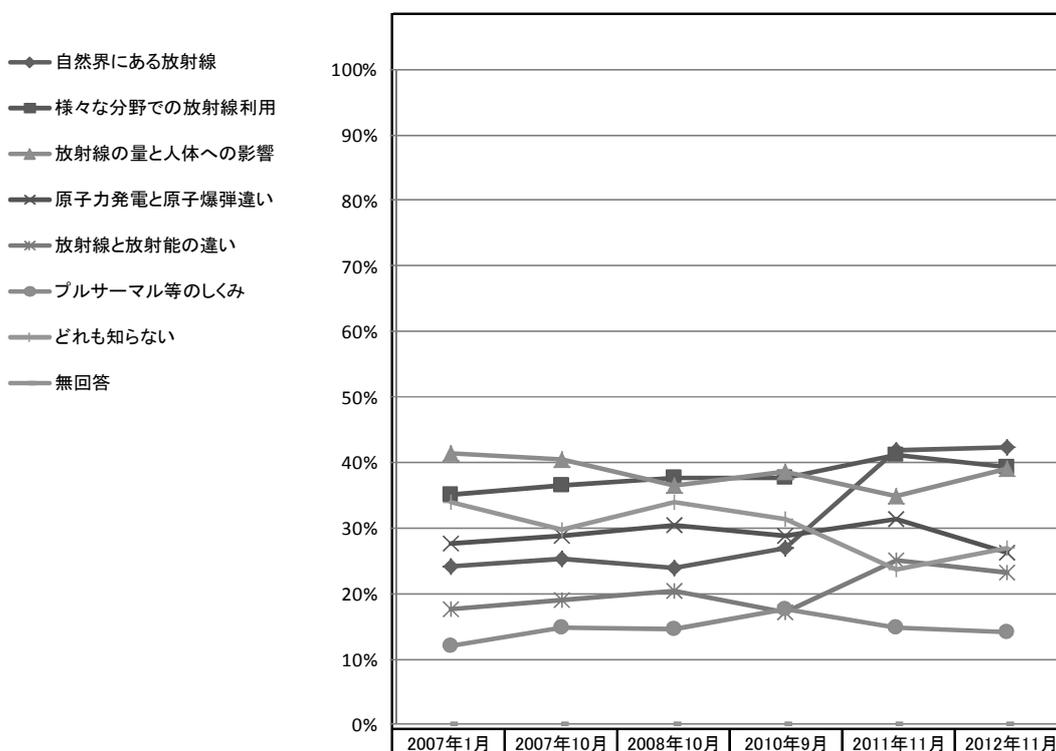
問2. あなたは二酸化炭素などのガスの増加によって地球温暖化が起きると言われていることをご存知ですか（○は1つだけ）



問3. あなたは東日本大震災以前に日本の発電電力量の約何割を原子力が担っていたと思いますか。(〇は1つだけ)



問6 以下にあげる事柄について、あなたをご存知のものはどれですか。ご存知のものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

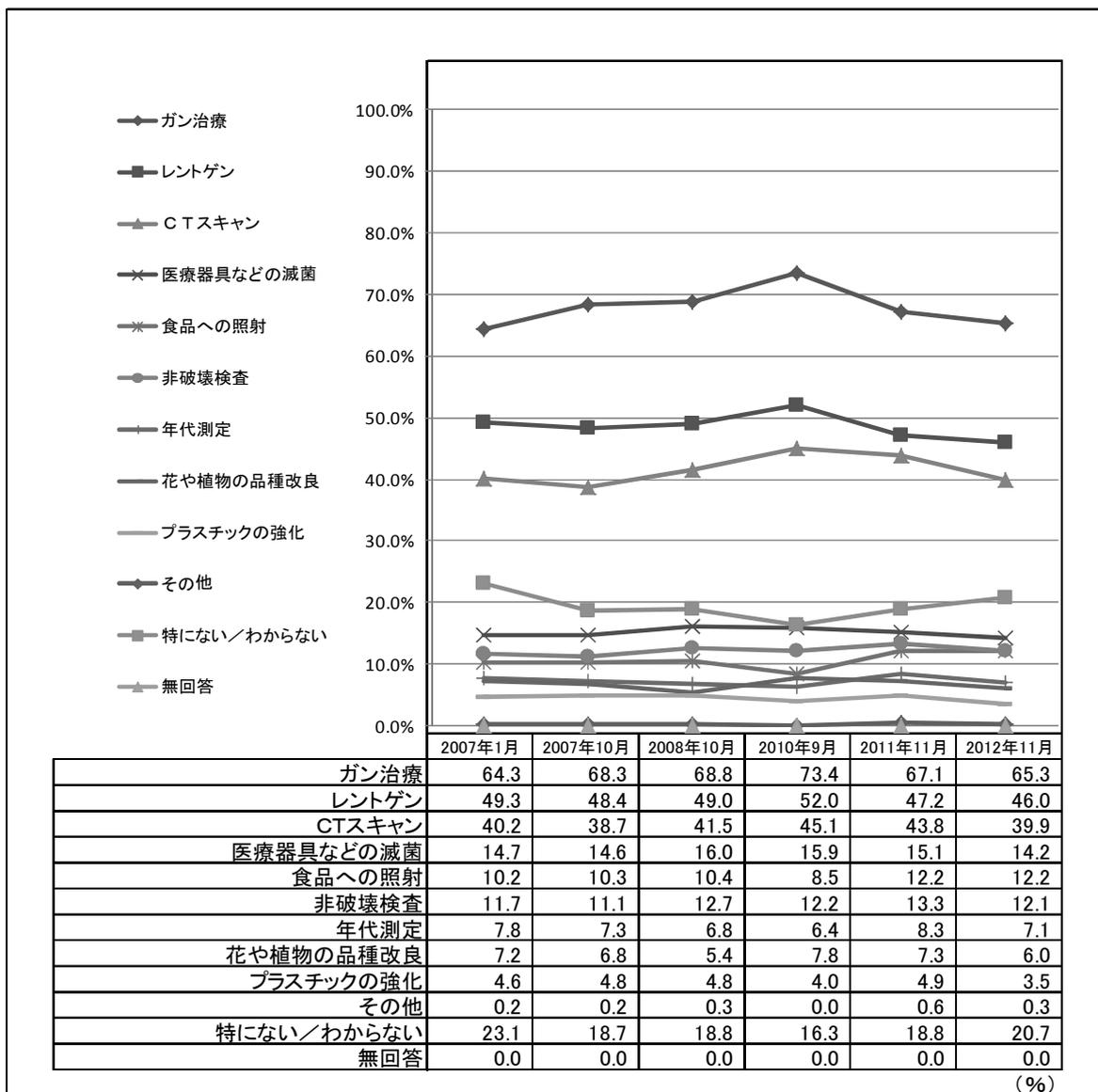


	2007年1月	2007年10月	2008年10月	2010年9月	2011年11月	2012年11月
自然界にある放射線	24.1	25.4	23.8	26.9	41.9	42.3
様々な分野での放射線利用	35.0	36.5	37.7	37.6	41.2	39.3
放射線の量と人体への影響	41.3	40.4	36.5	38.5	34.9	39.1
原子力発電と原子爆弾の違い	27.6	28.8	30.3	28.8	31.3	26.3
放射線と放射能の違い	17.5	19.0	20.3	17.2	25.1	23.3
プルサーマル等のしくみ	11.9	14.8	14.6	17.5	14.7	14.1
どれも知らない	33.8	29.7	33.9	31.3	23.7	26.9
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(%)

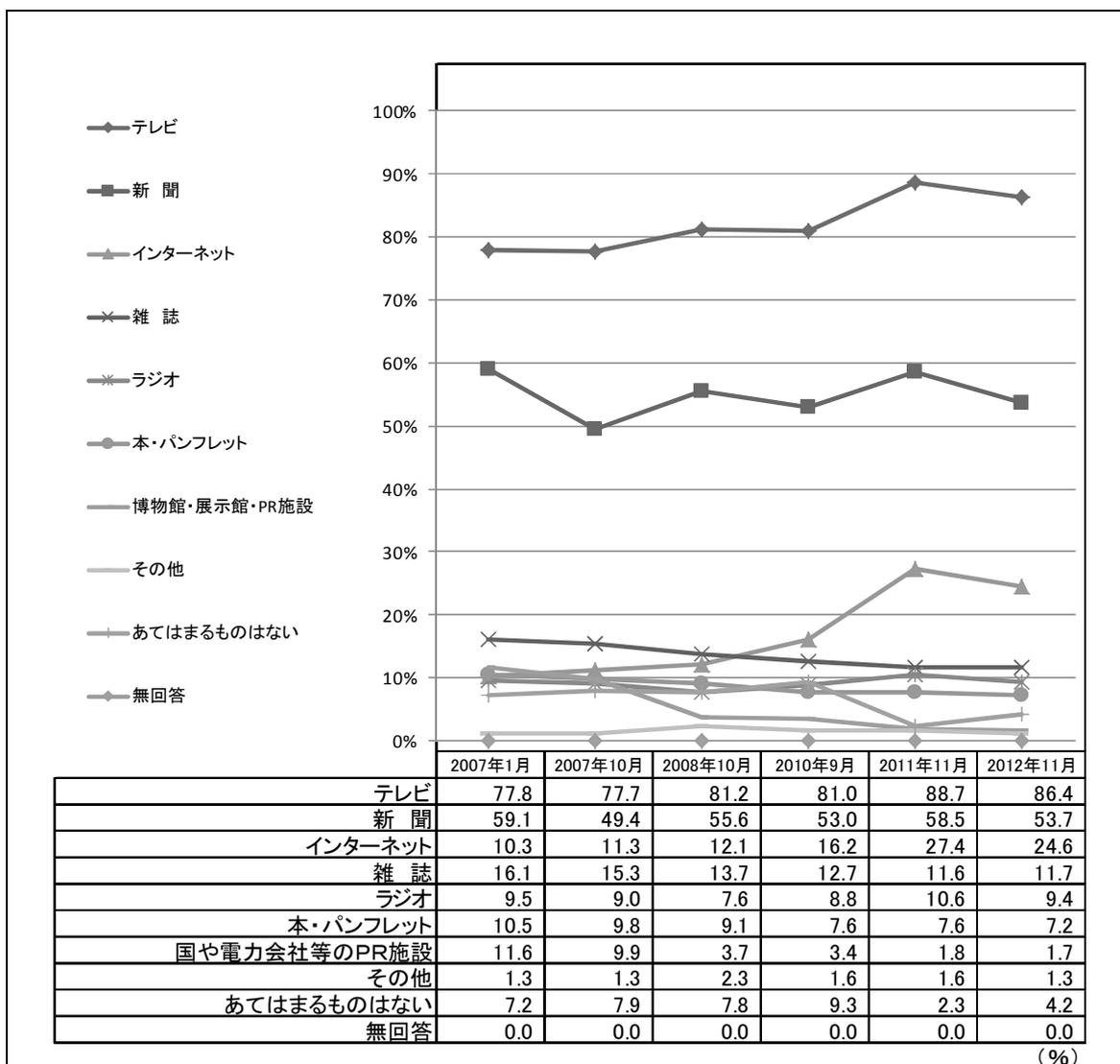
Ⅲ章 原子力・放射線・エネルギーについての関心

問7-2 放射線利用の分野において、あなたが関心のあることはどれですか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

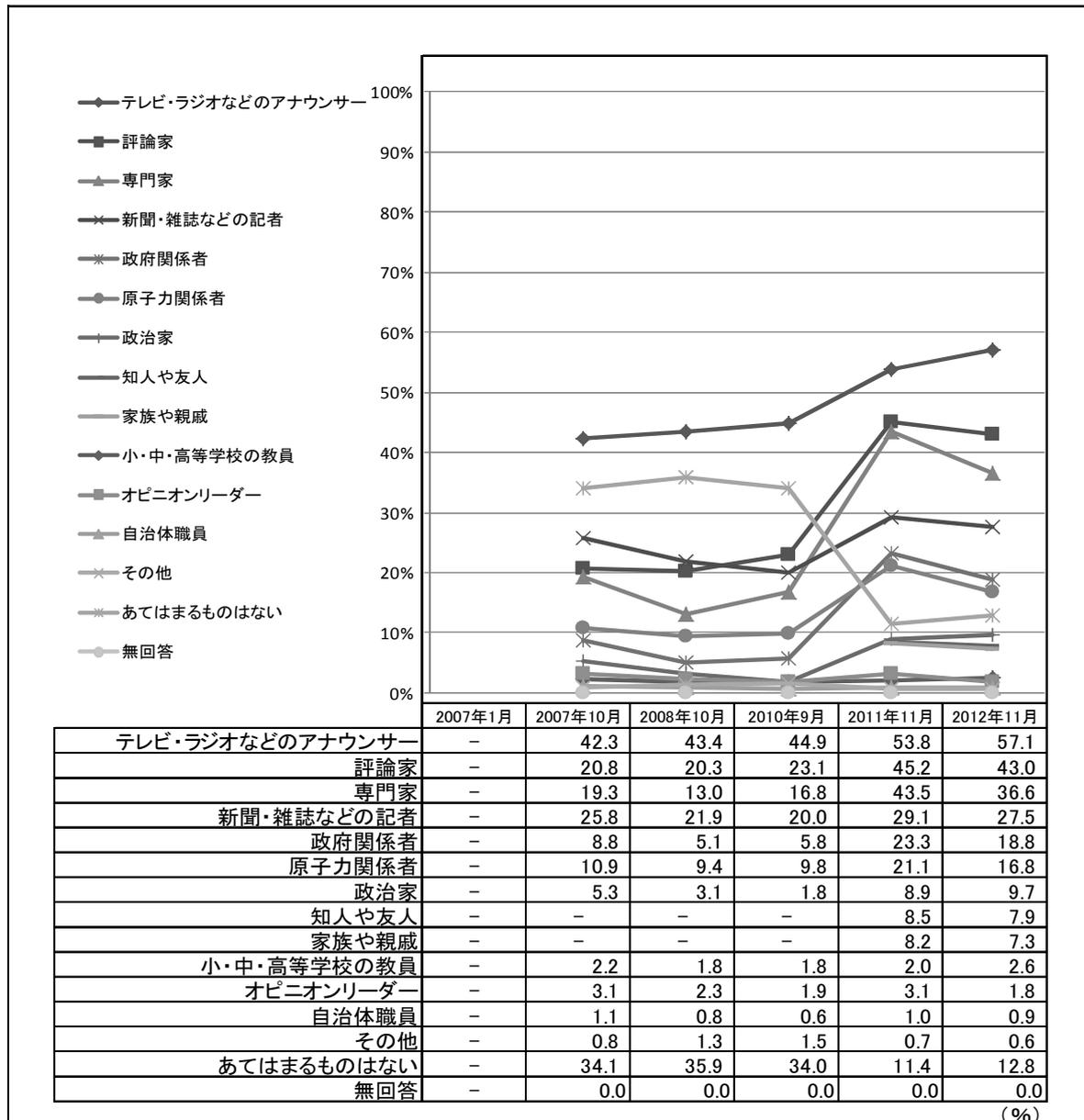


IV章 原子力広報評価

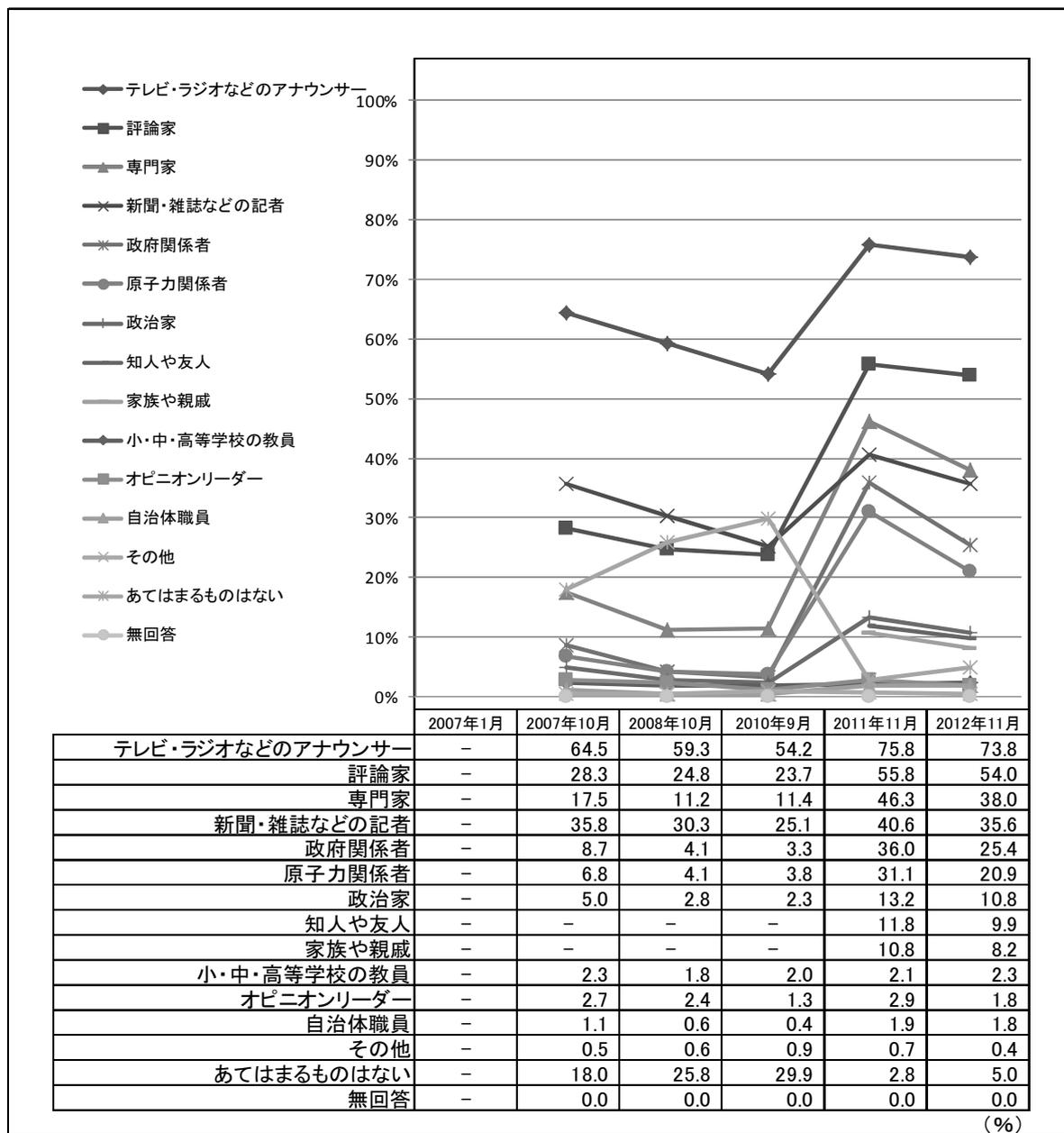
問8-1 あなたは、ふだん原子力やエネルギーに関する情報を何によって得ていますか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)



問8-2 あなたは、この1年間に原子力やエネルギーに関して「有益性に関する情報」をどのような人の発言から得ましたか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

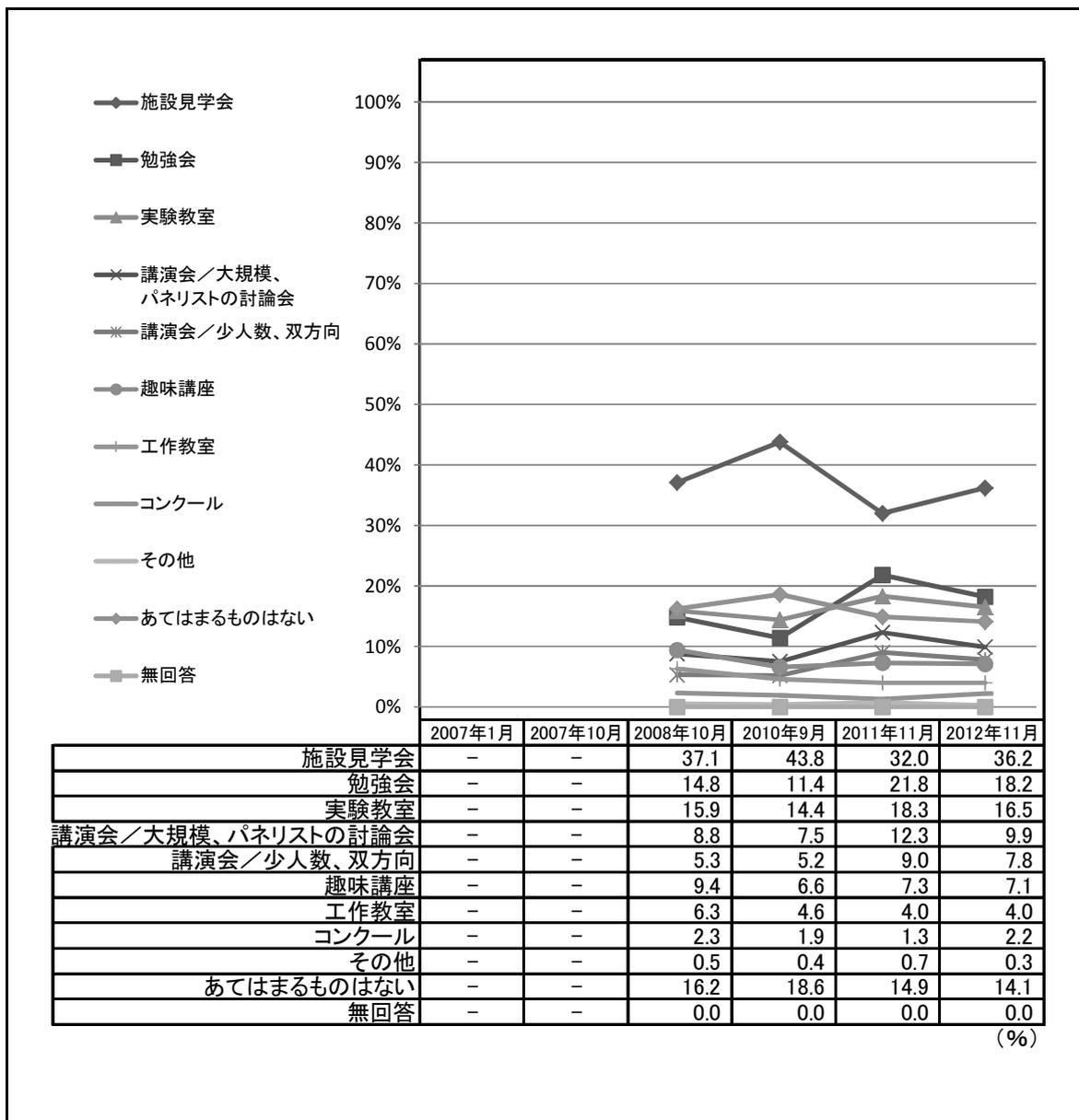


問8-3 あなたは、この1年間に原子力やエネルギーに関して「事故やトラブルなどに関する情報」をどのような人の発言から得ましたか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)



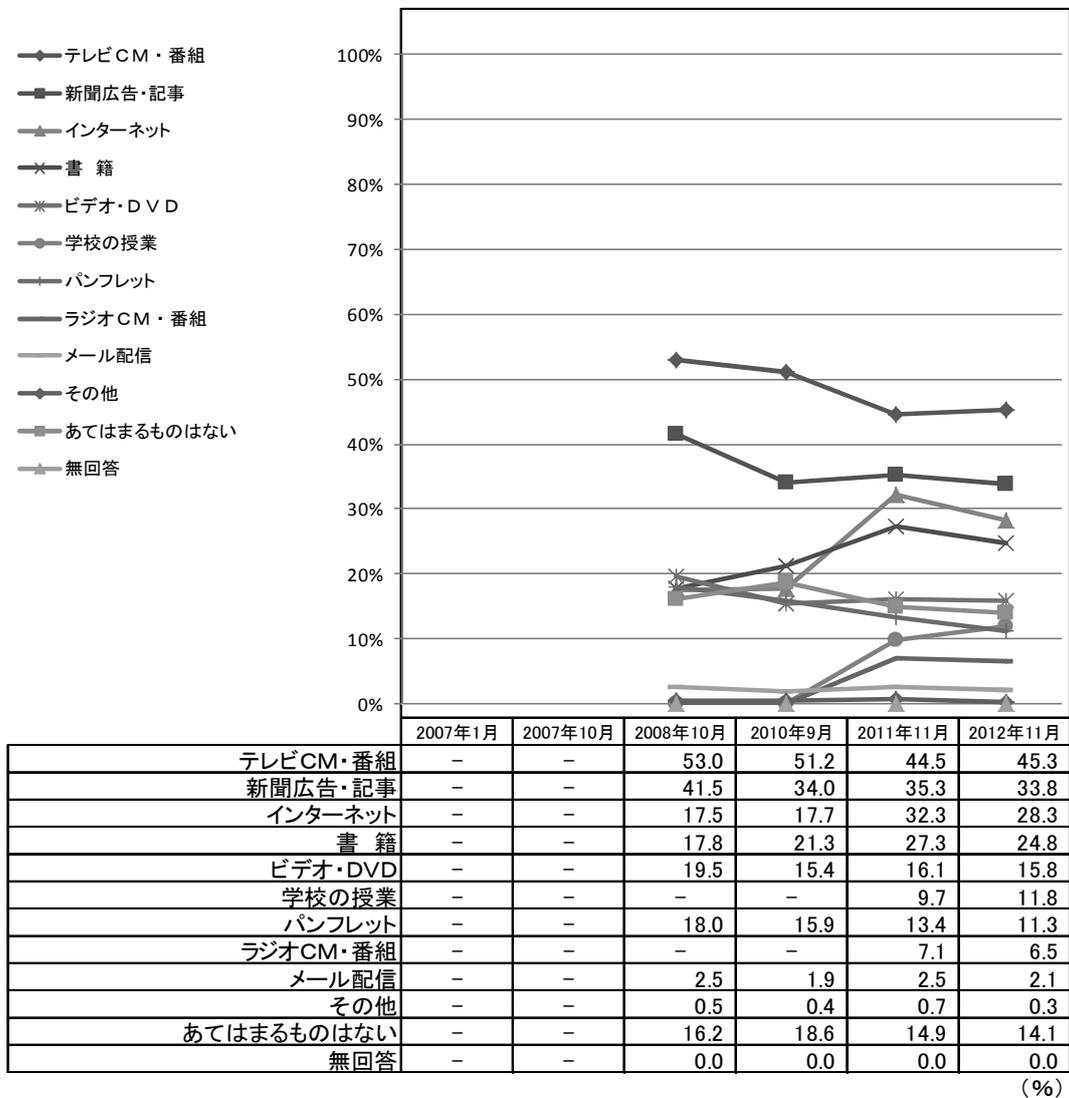
問9-1以下に挙げている「原子力やエネルギーに関するイベント・施設・情報源」の中で参加してみたいもの、理解に役立つものどれですか。あてはまるものをすべてお選びください。
(○はいくつでも)

(参加してみたいもの)



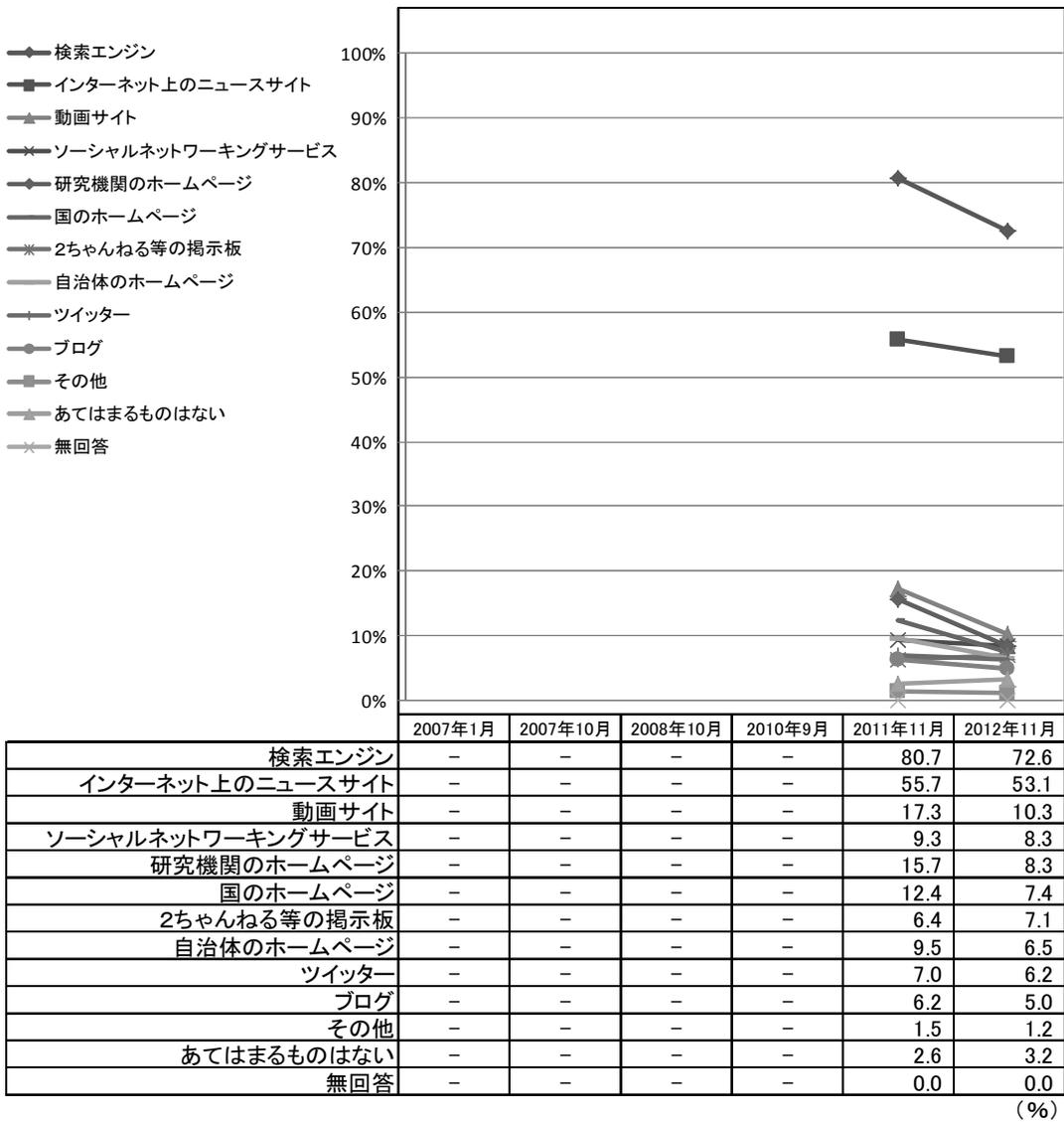
問9-1以下に挙げている「原子力やエネルギーに関するイベント・施設・情報源」の中で参加してみたいもの、理解に役立つものどれですか。あてはまるものをすべてお選びください。
(○はいくつでも)

(理解に役立つもの)

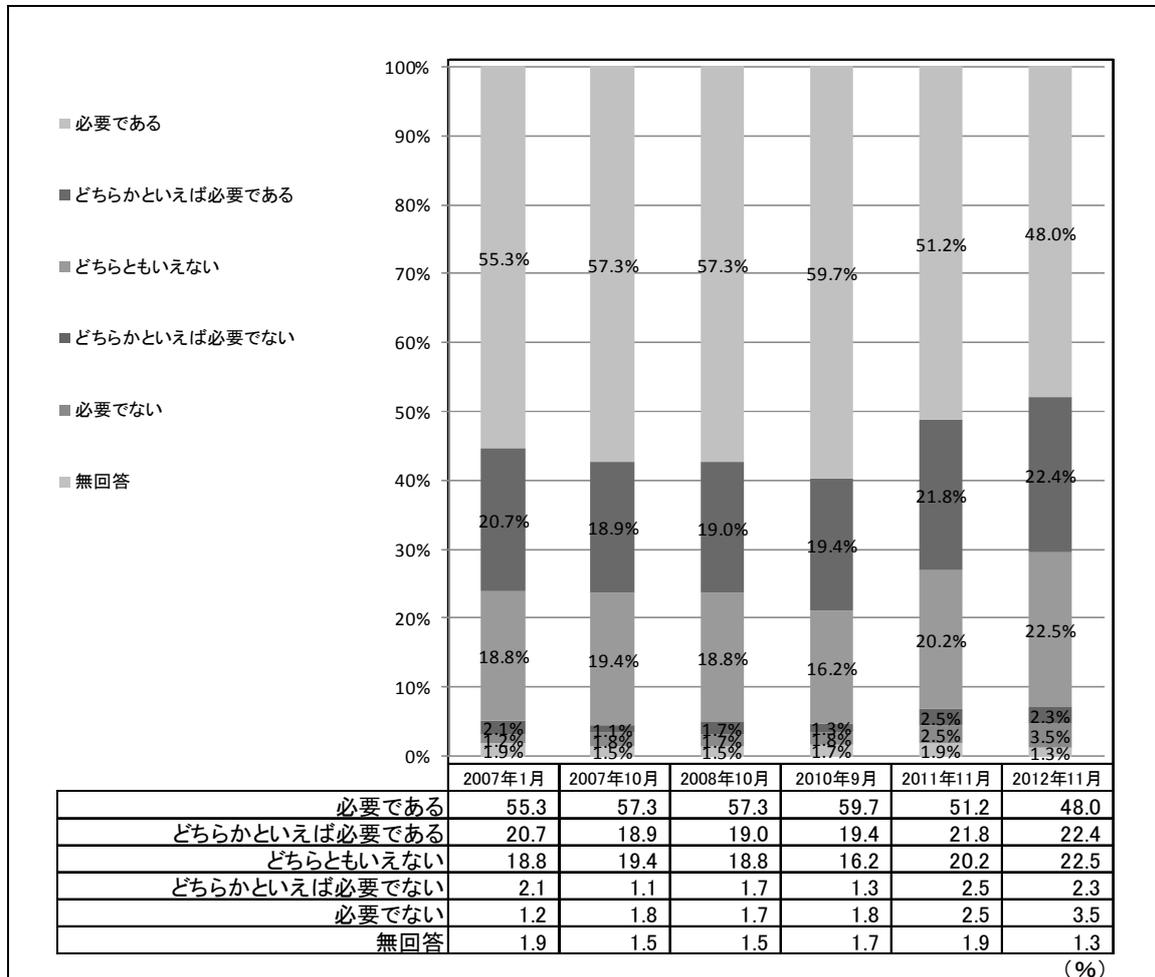


問9-2 【問9-1で「13インターネット」とお答えの方に】

原子力やエネルギーに関する理解に役立つ情報源として、具体的にどのサイトを閲覧していますか。あてはまるものをすべてお選びください。（〇はいくつでも）

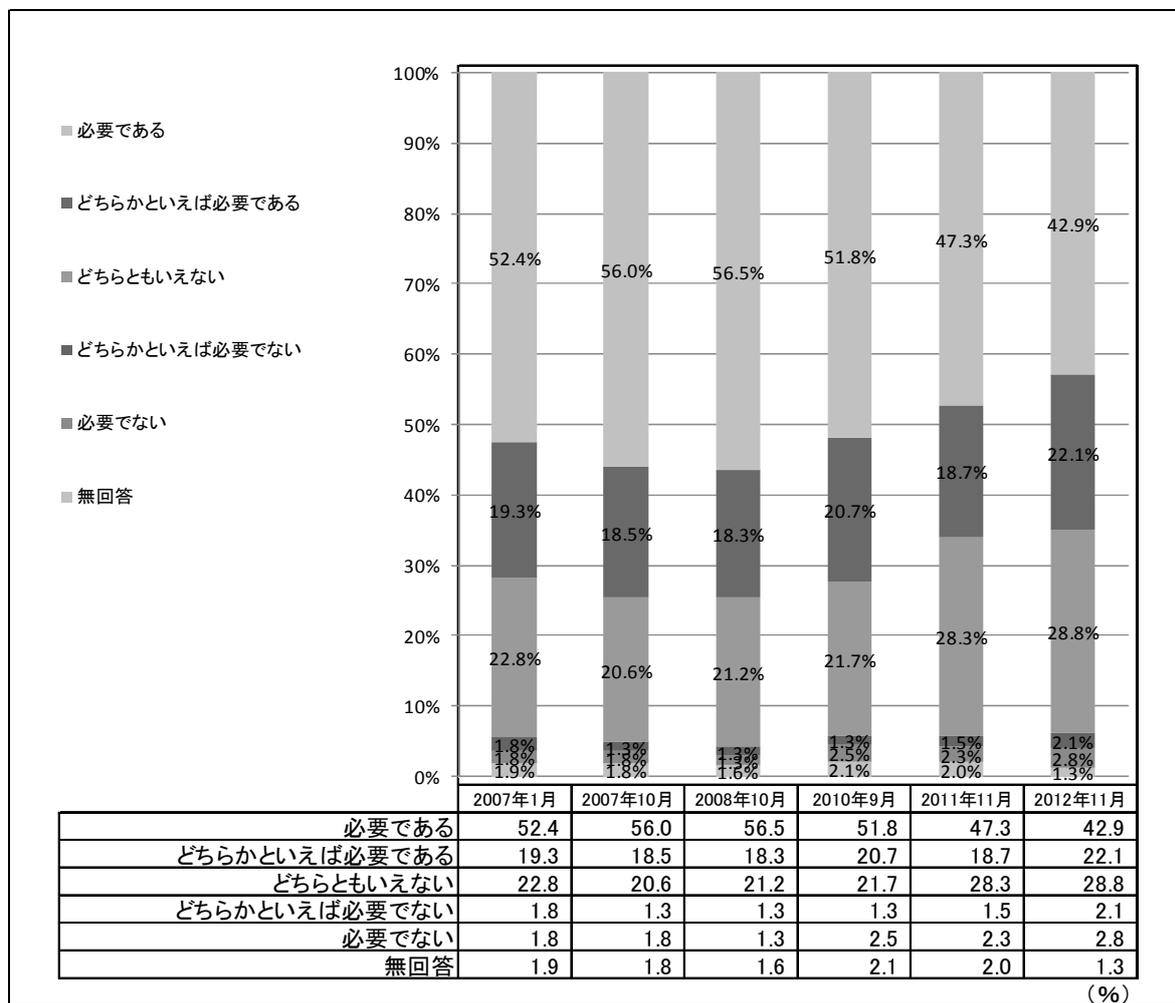


問10-e あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。あなたの考えに近いものをお選びください。(○は1つだけ)
 【世界唯一の被爆国として、原子力技術を平和利用に限ること、原子力利用の安全を確保することについて、もっと訴えていくこと】



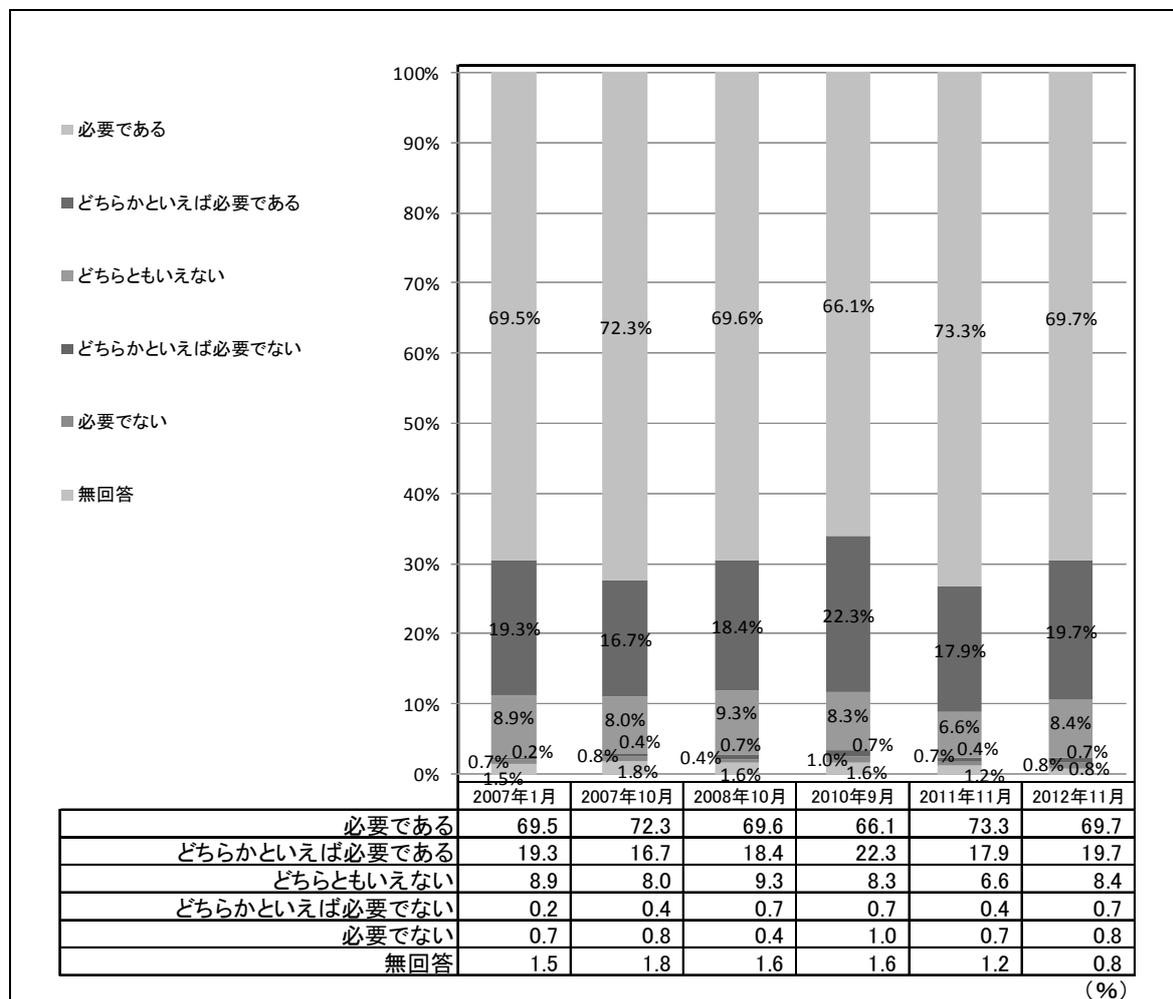
問10-f あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。あなたの考えに近いものをお選びください。(○は1つだけ)

【原子力の平和利用を広報する組織は、原子力の軍事利用の反対をもっと訴えていくこと】

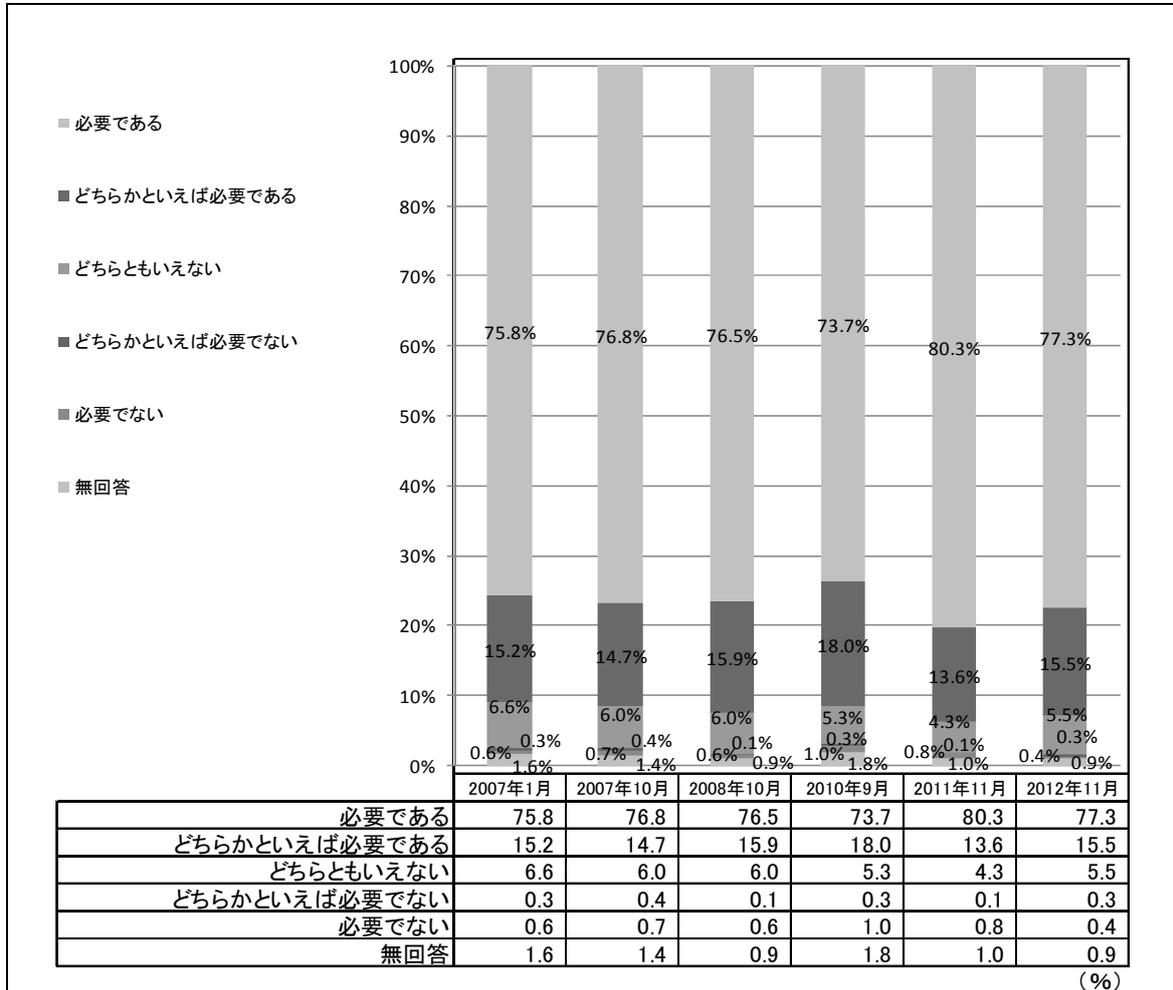


問10-g あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。あなたの考えに近いものをお選びください。(○は1つだけ)

【できるだけたくさんの情報が国民に届くようにすること】

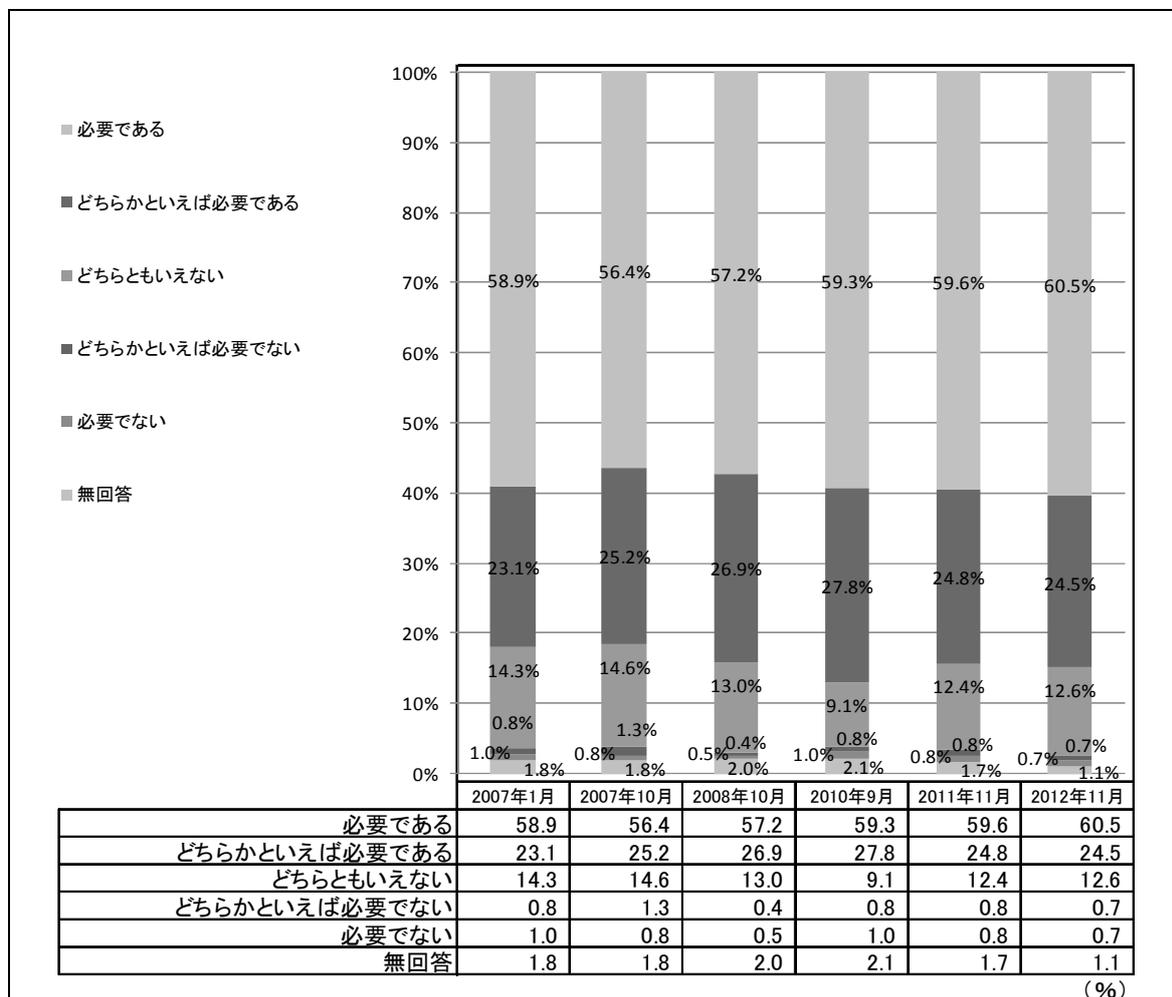


問10-h あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。あなたの考えに近いものをお選びください。(○は1つだけ)
【わかりやすく情報を伝えること】

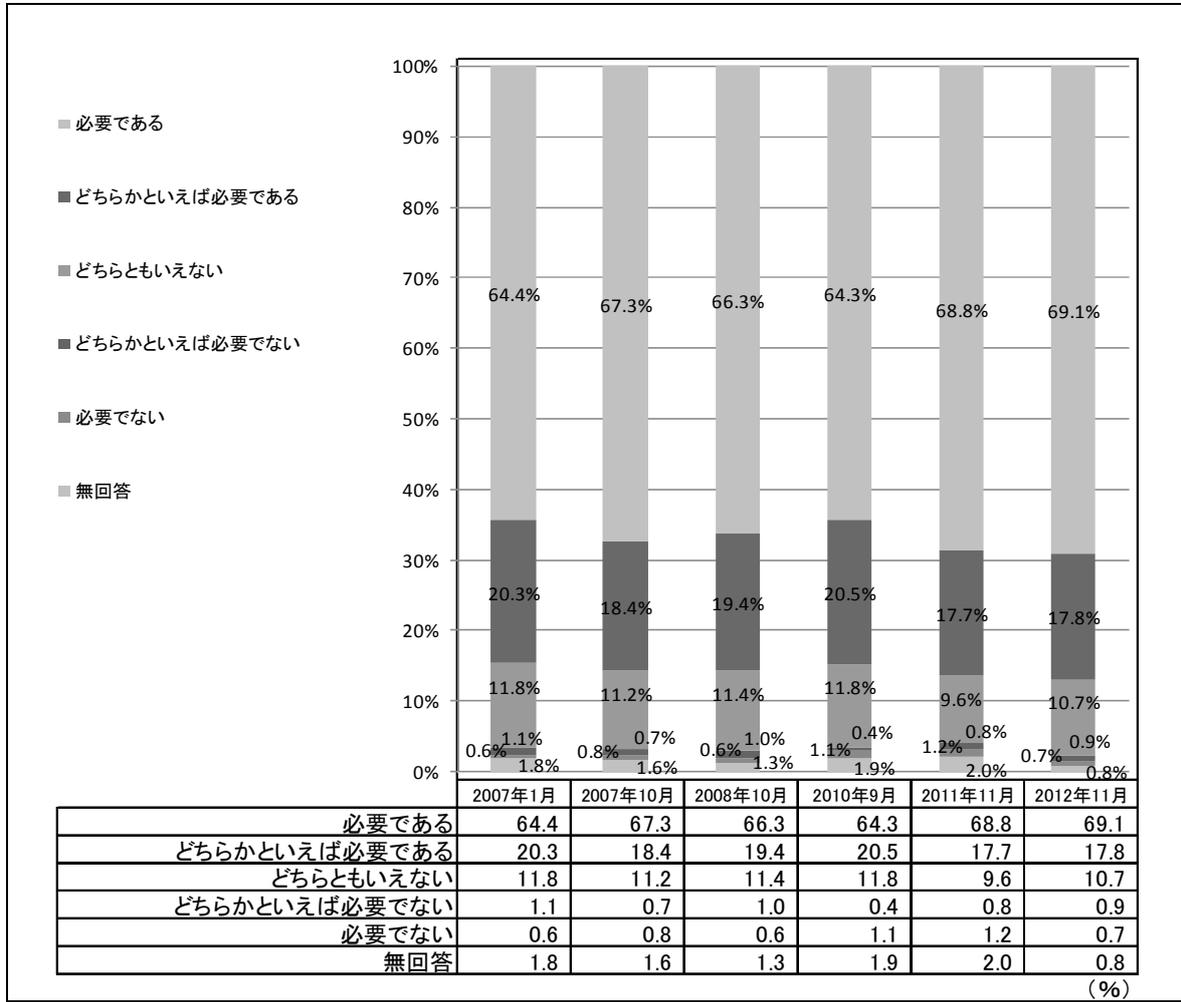


問10-i あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。あなたの考えに近いものをお選びください。(○は1つだけ)

【学校の授業で教えること】

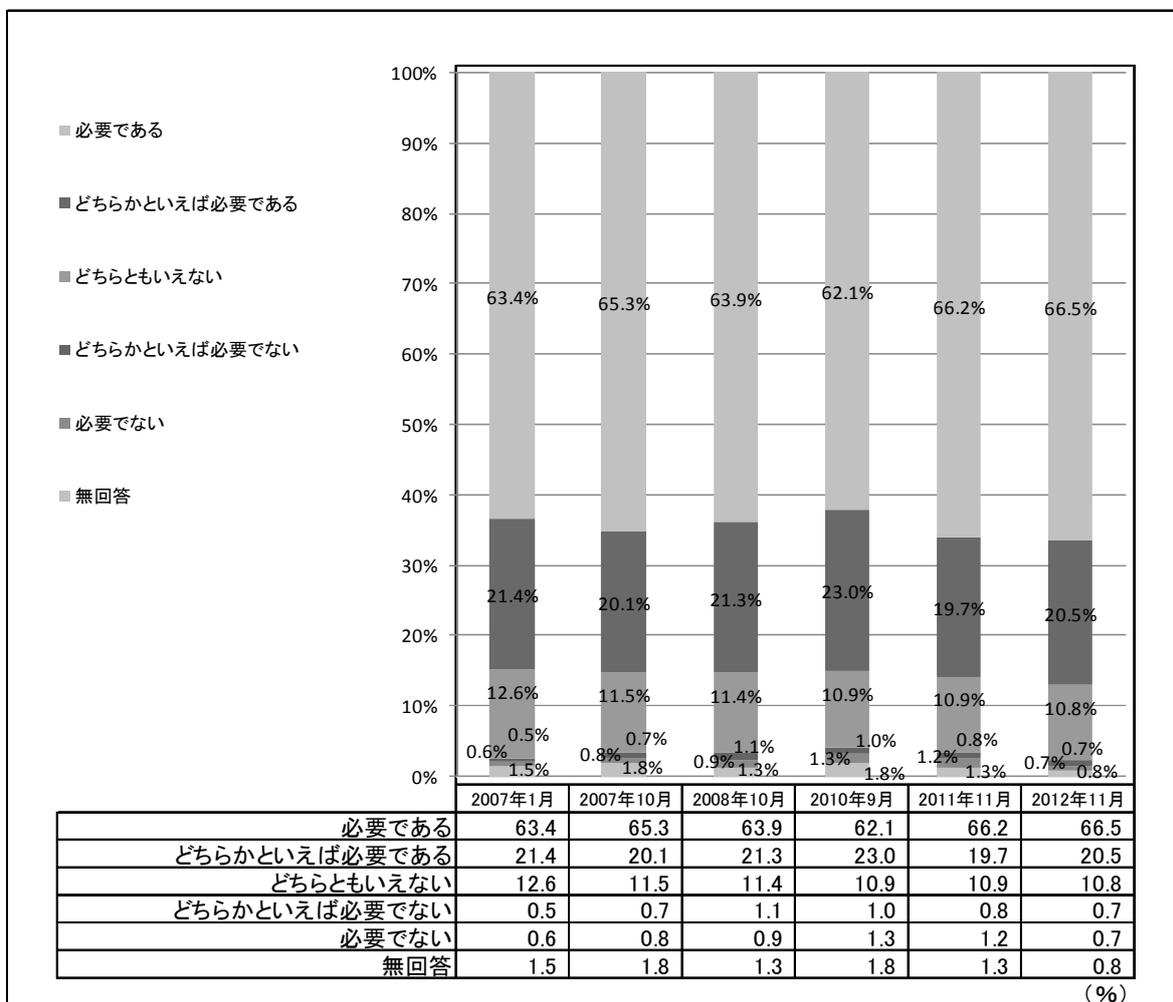


問10-j あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。あなたの考えに近いものをお選びください。(○は1つだけ)
 【些細なことでも隠さず伝えること】



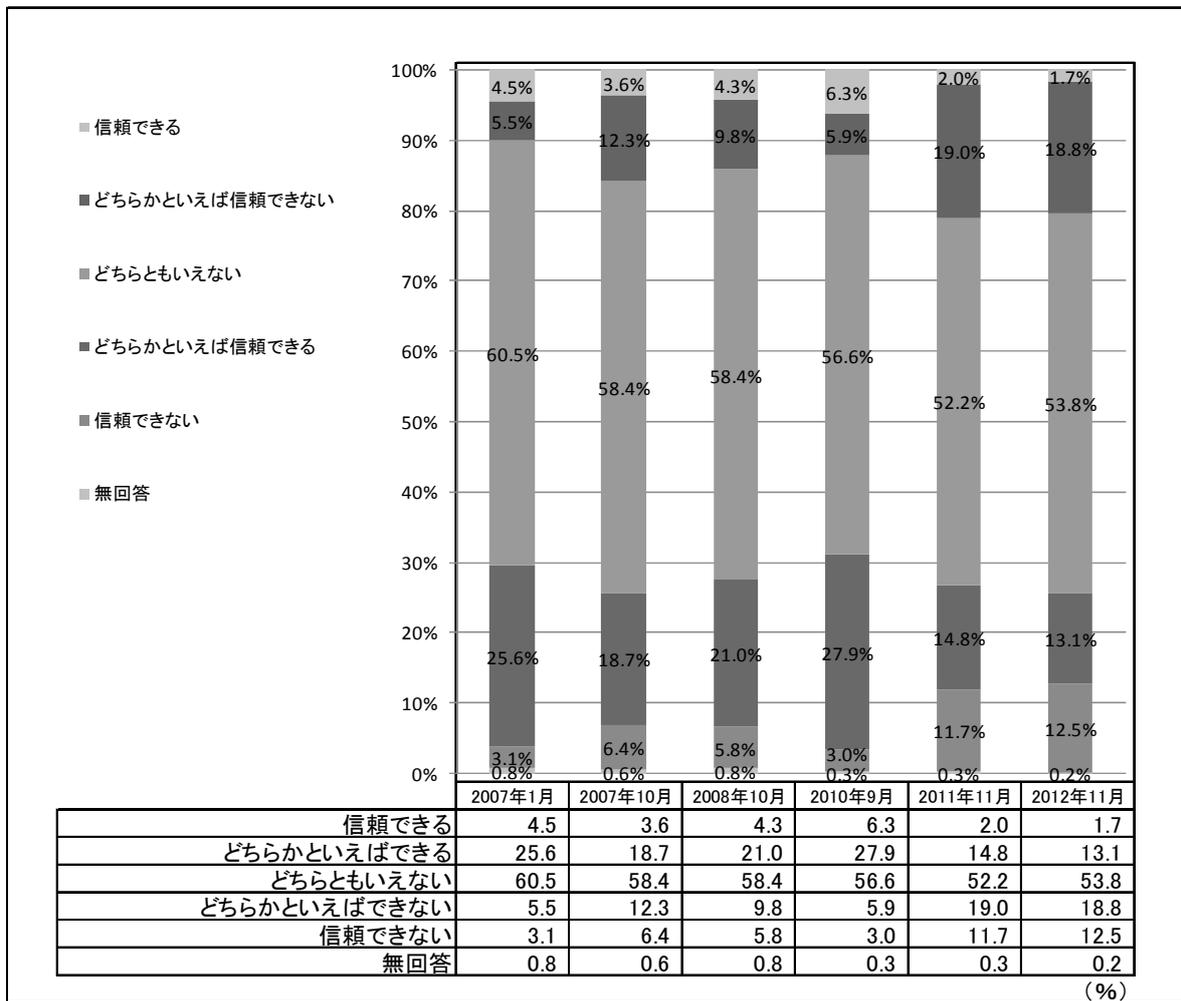
問10-k あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。あなたの考えに近いものをお選びください。(○は1つだけ)

【都合の悪いことでも情報を外部(マスコミや国民など)に伝えること】

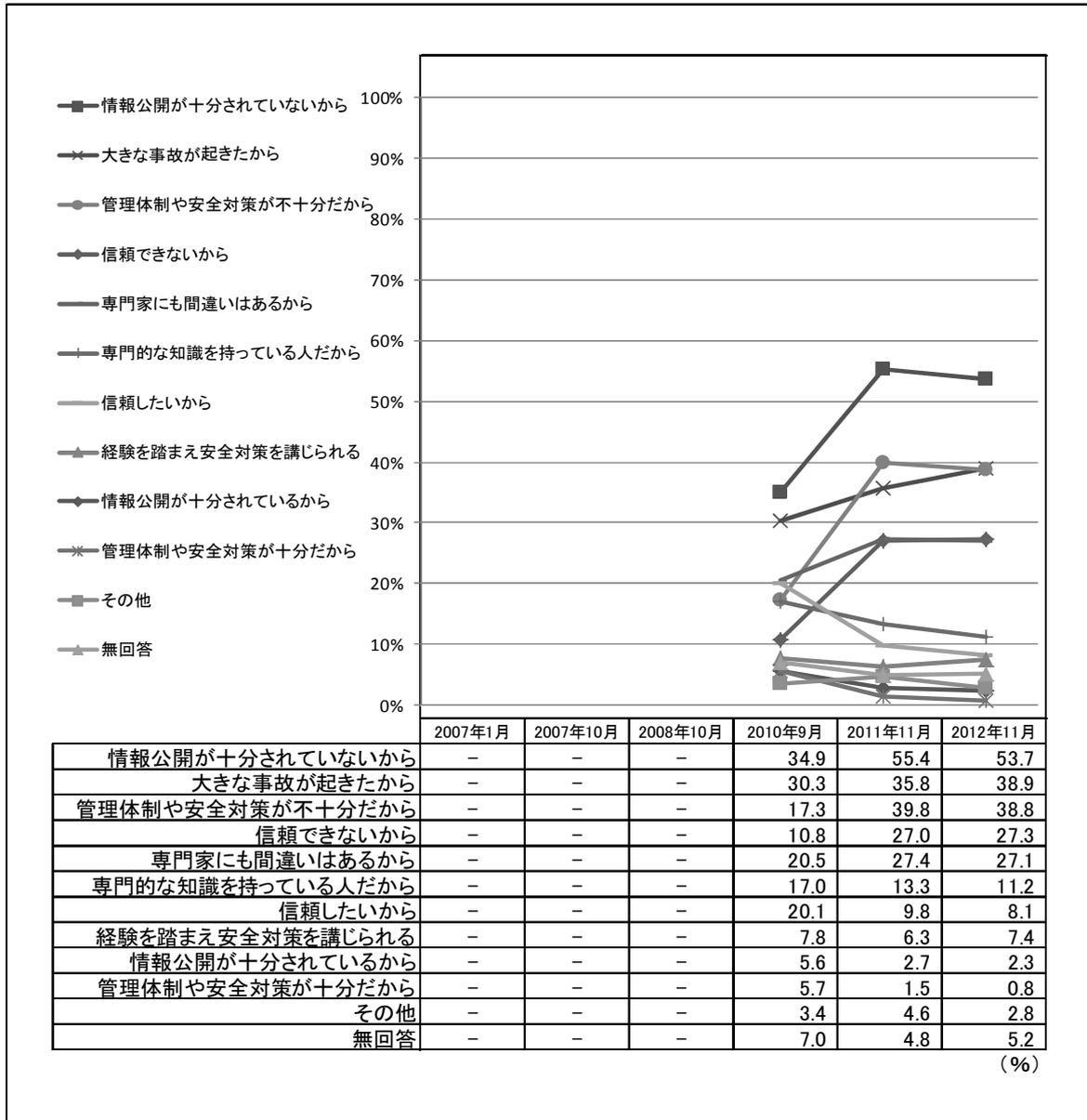


V章 原子力に対する信頼について

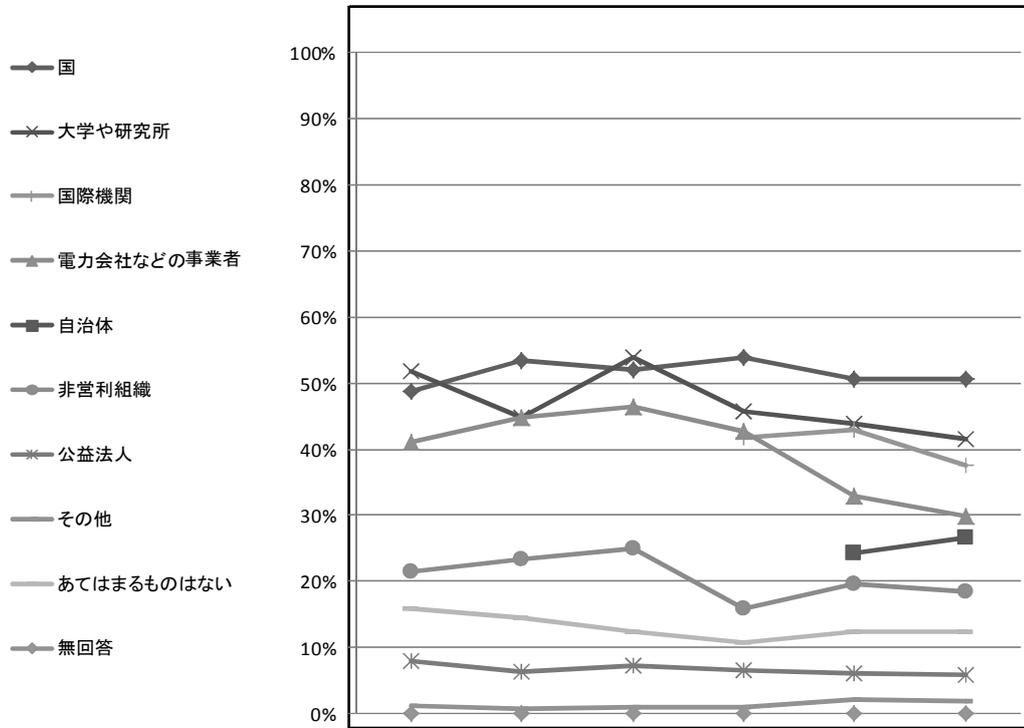
問11-1 あなたは、原子力に携わる専門家や原子力関係者を信頼できると思いますか。
 (○は1つだけ)



問11-2 あなたが、問11-1でそう答えた理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)



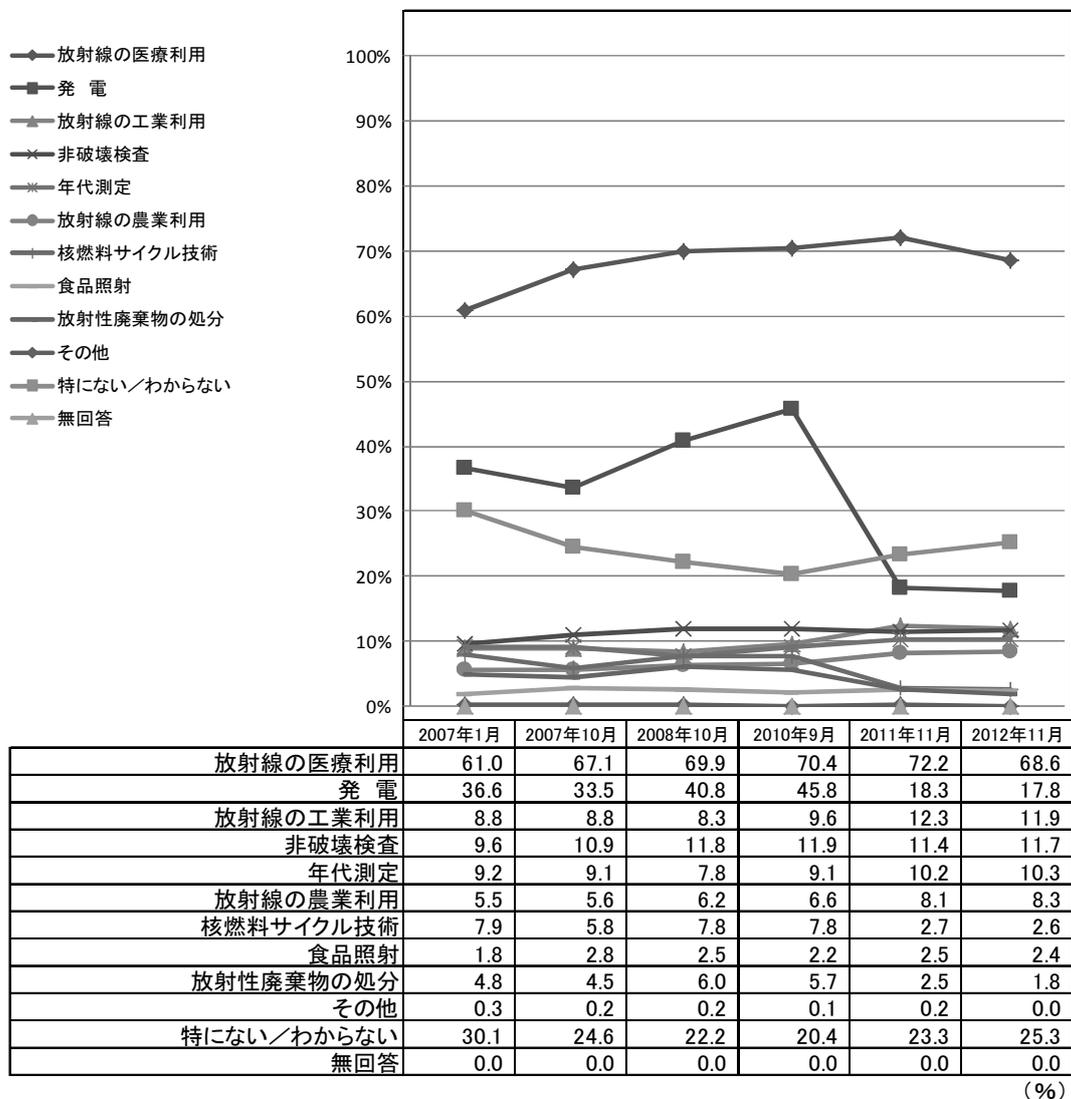
問12 今後の安全な原子力の利用を続けていくために、どのような立場の人の活躍を期待しますか。次の中から、あなたが期待している人をすべてお選びください。(〇はいくつでも)



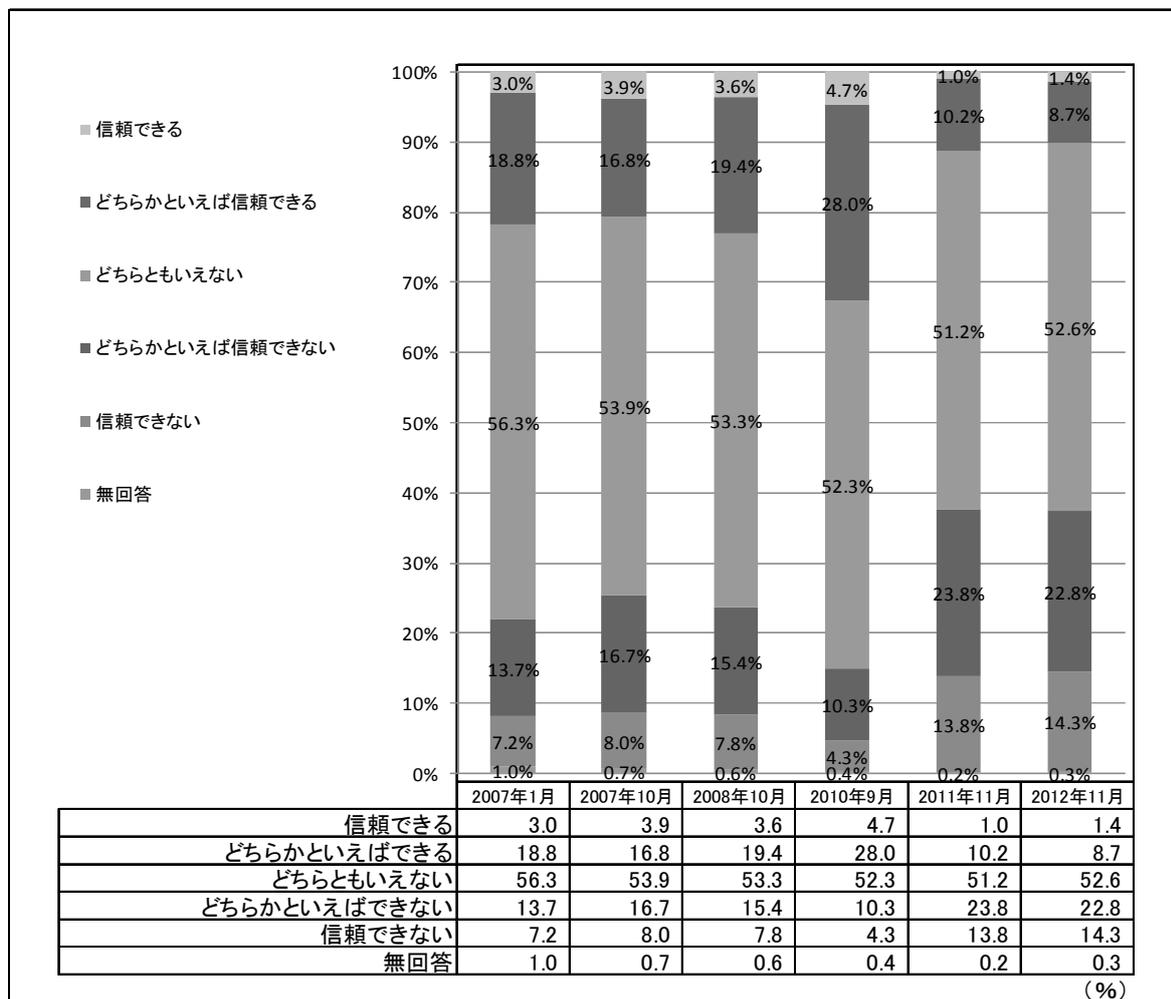
	2007年1月	2007年10月	2008年10月	2010年9月	2011年11月	2012年11月
国	48.8	53.5	52.0	53.9	50.6	50.7
大学や研究所	51.8	44.8	53.9	45.8	43.9	41.6
国際機関	-	-	-	41.8	42.9	37.5
電力会社などの事業者	41.1	44.8	46.5	42.7	33.0	29.9
自治体	-	-	-	-	24.2	26.5
非営利組織	21.5	23.3	24.9	15.8	19.6	18.5
公益法人	8.0	6.3	7.3	6.5	6.1	5.8
その他	1.1	0.8	1.0	0.9	2.2	1.8
あてはまるものはない	15.8	14.5	12.3	10.8	12.3	12.3
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(%)

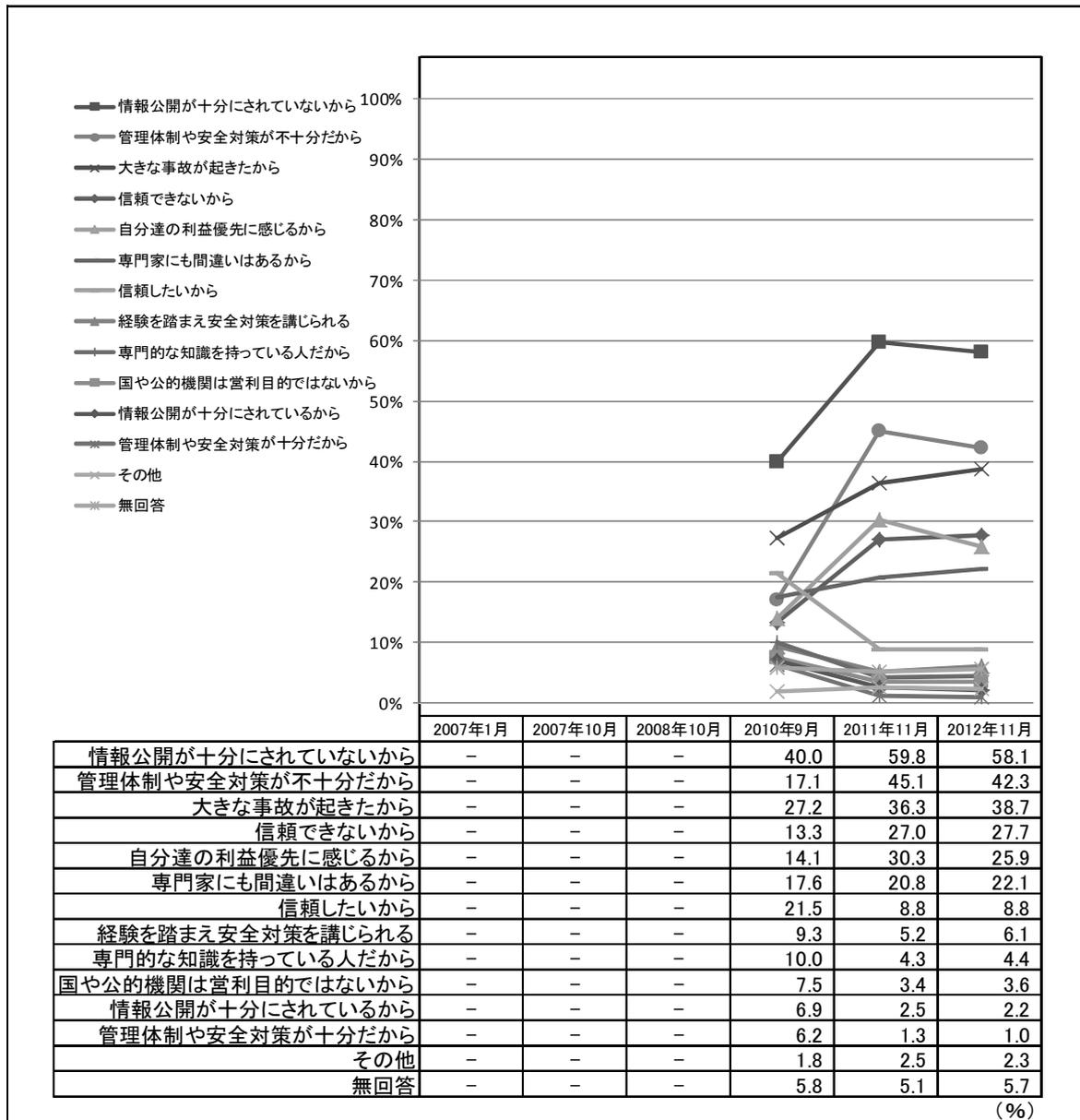
問16日本の原子力技術のうち、あなたが信頼しているものはどれですか。次の中から、あてはまるものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)



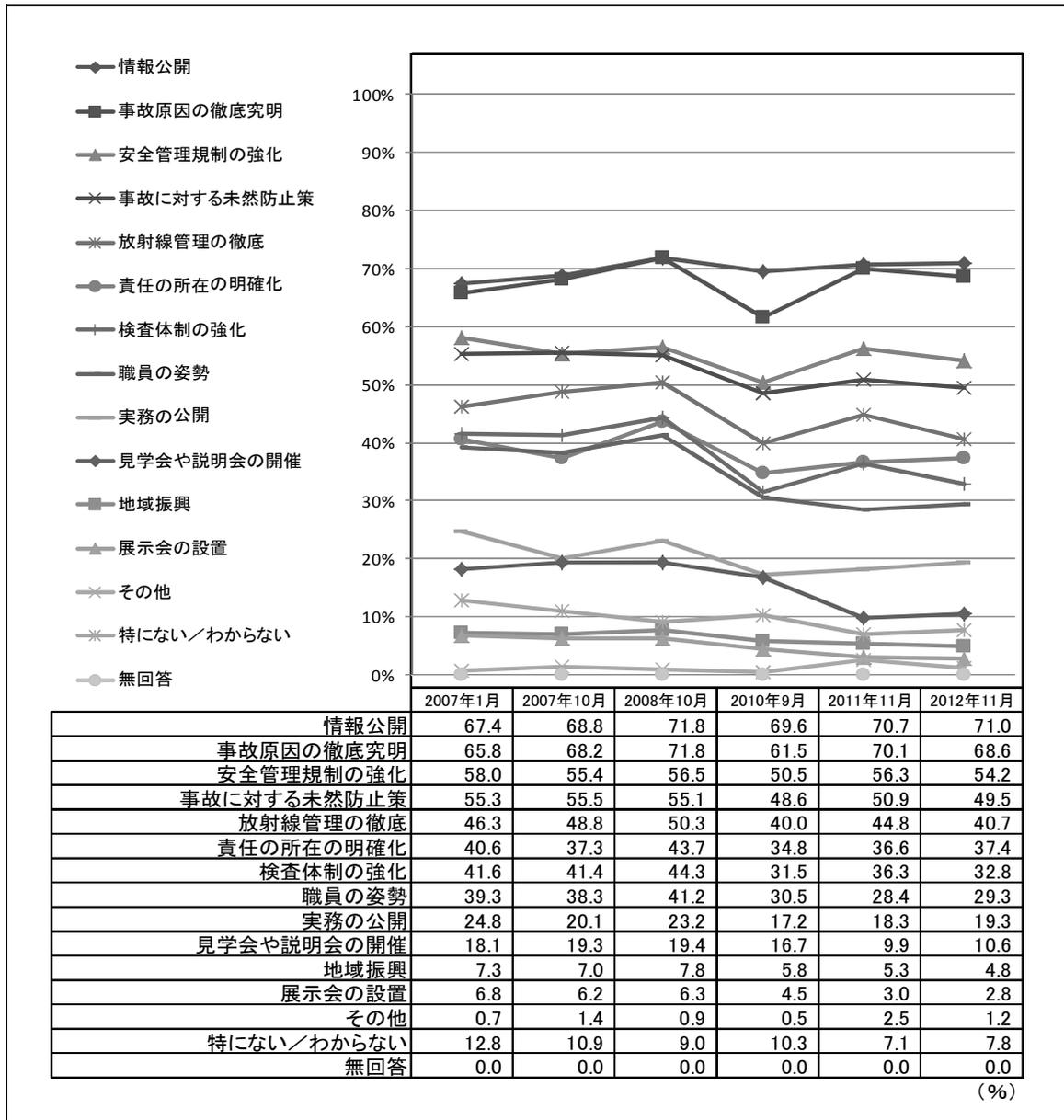
問13-1 原子力の安全管理や規制は国や自治体によって行なわれています。あなたは、国や自治体を信頼できると思いますか。(○は1つだけ)



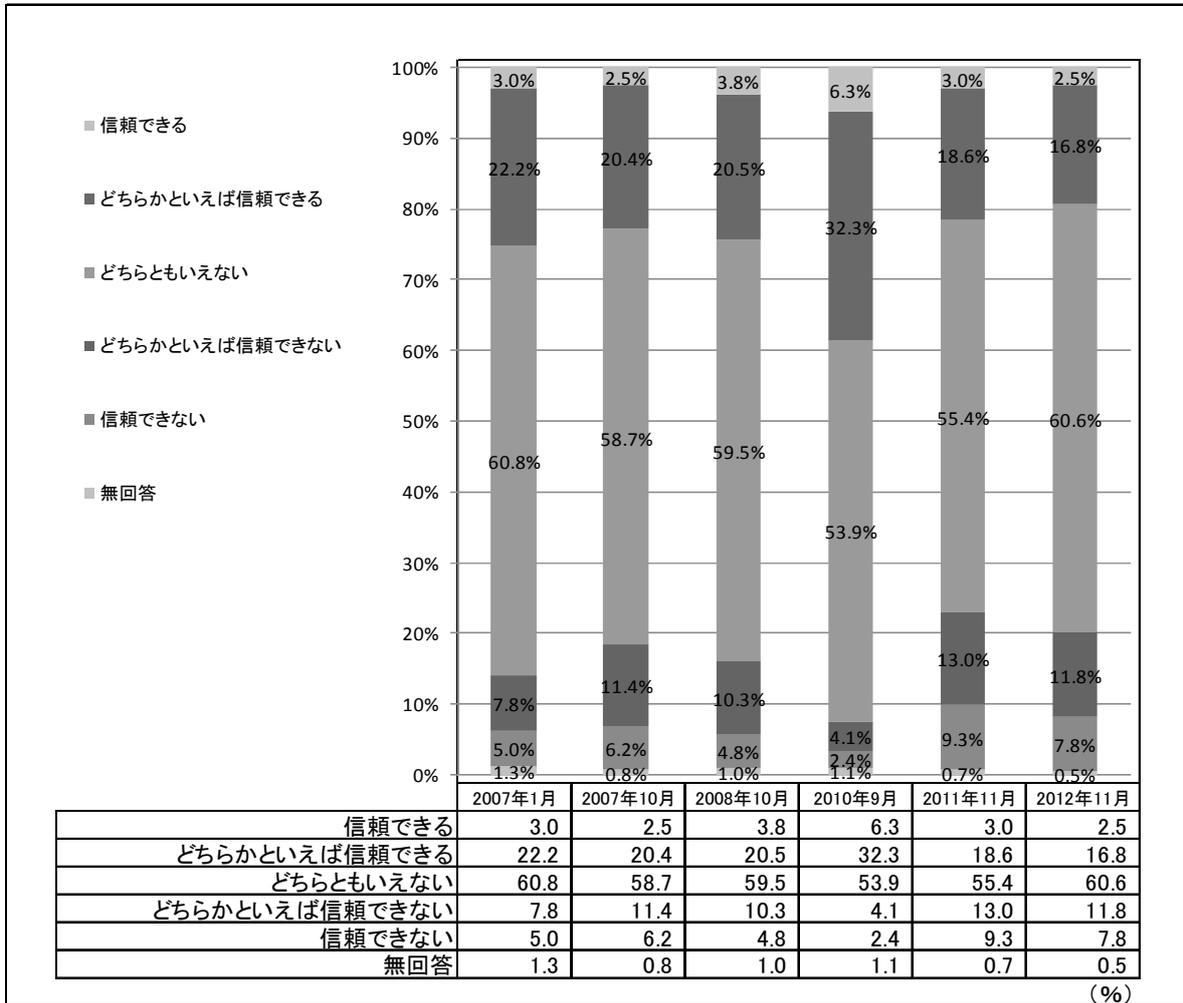
問13-2 あなたが、問13-1でそう答えた理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)



問14 原子力の安全管理を国や自治体に安心して任せるためには、こういった点が配慮されるべきだと思いますか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

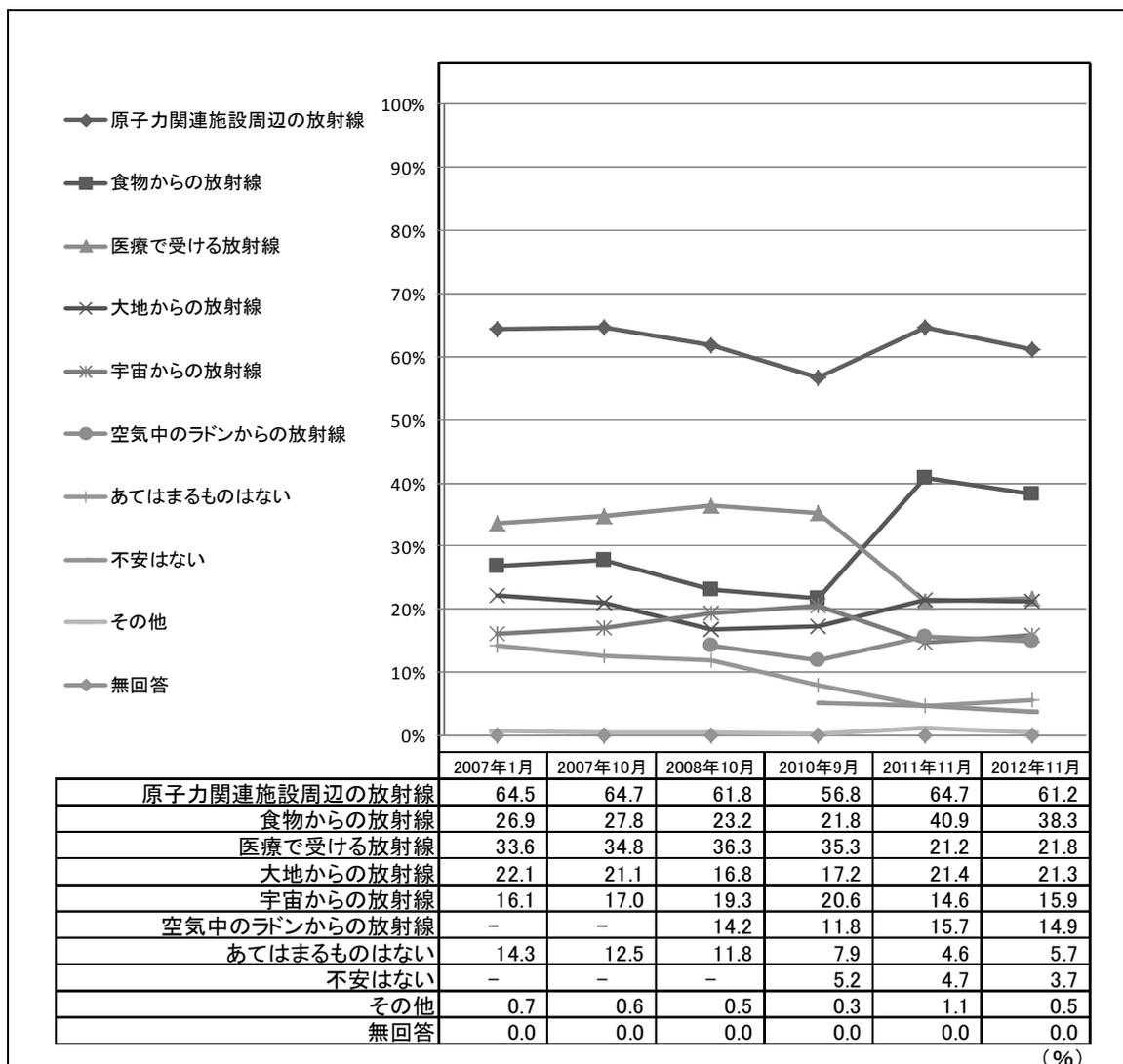


問22 日本の原子力利用は、原子力発電や放射線利用等、平和利用の分野に限っており、これらを支えるために政策・規制・技術などのしくみがあります。あなたは、このしくみについて信頼できると思いますか。(○は1つだけ)

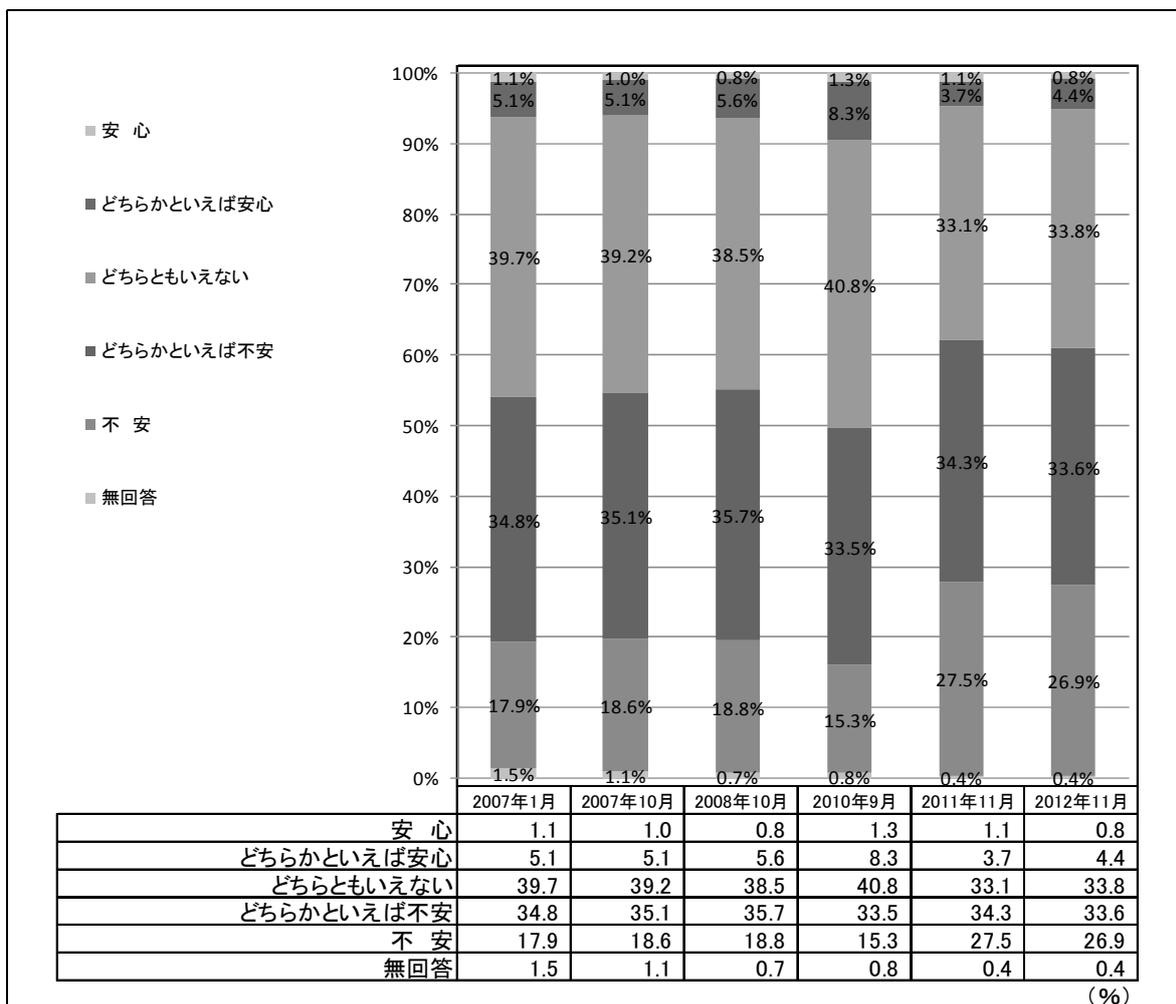


VI章 環境・原子力・放射線に対するリスク認知

問17 あなたが、放射線に対し感じる不安について伺います。次の中から不安に思うものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

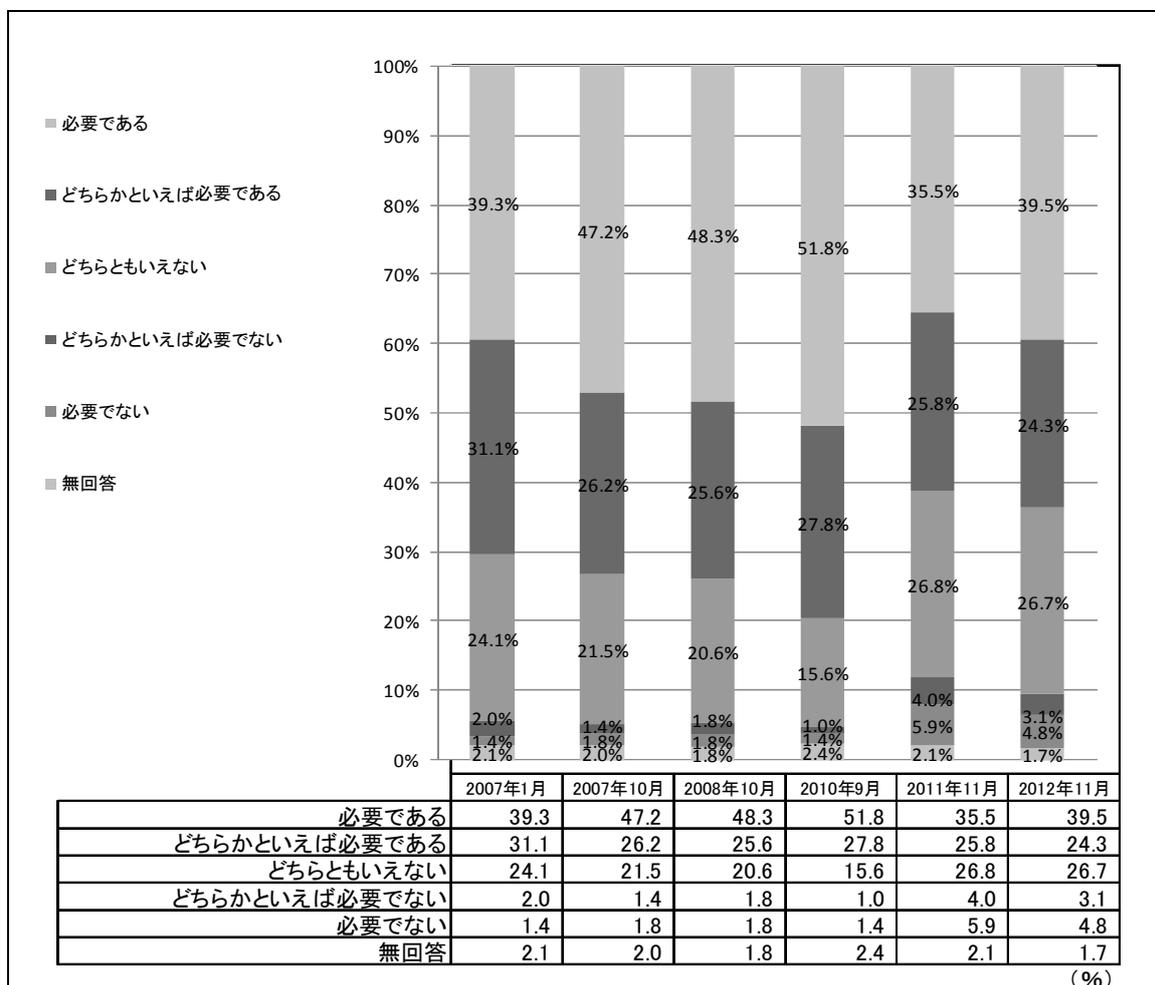


問17 現在、高レベル放射性廃棄物の処分について検討が行なわれています。あなたはそのことについてどのように感じますか。(○は1つだけ)

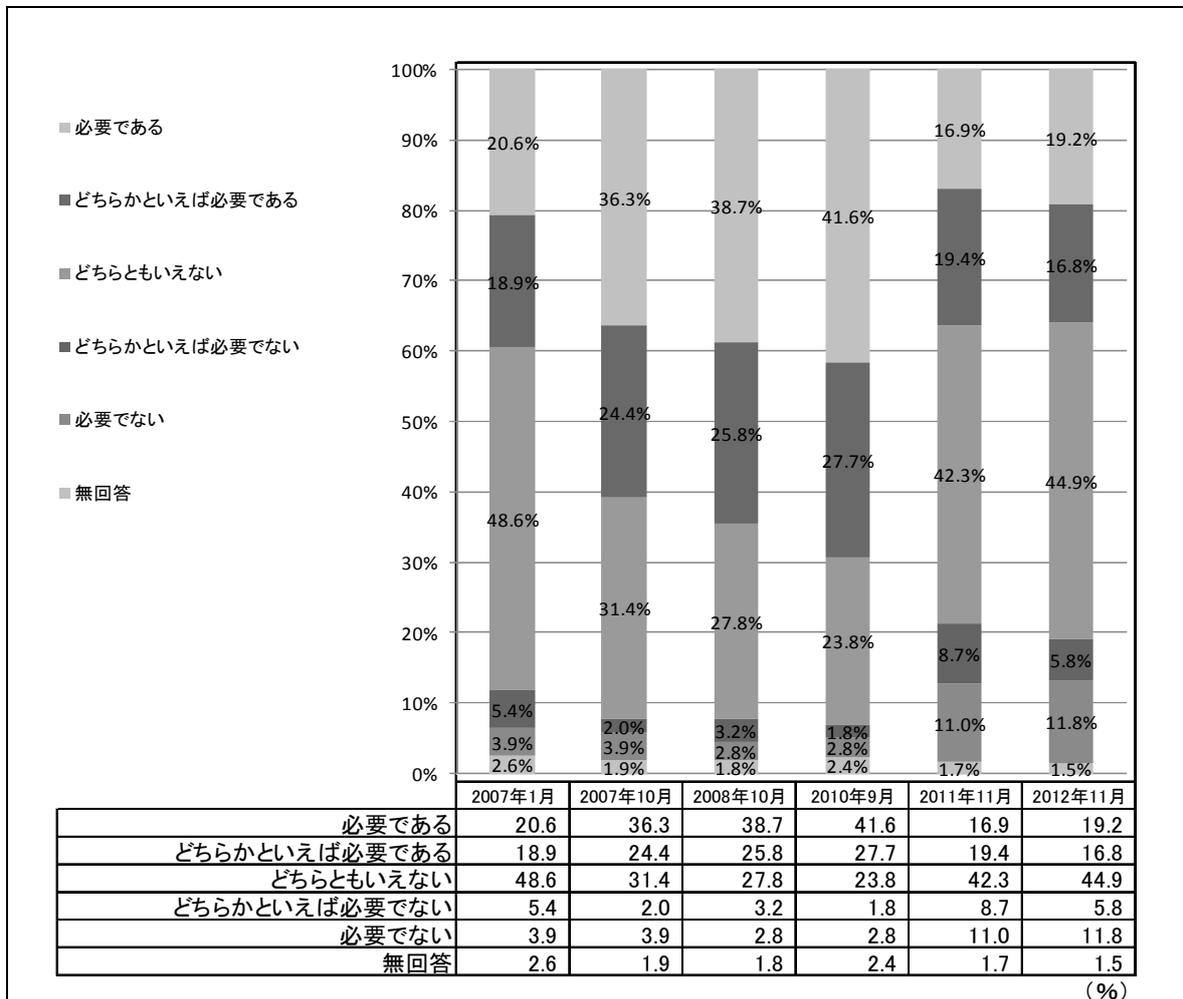


Ⅶ章 原子力に対するベネフィット認知

問10-I あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。あなたの考えに近いものをお選びください。(○は1つだけ)
【暮らしの中で活用する原子力の平和利用】



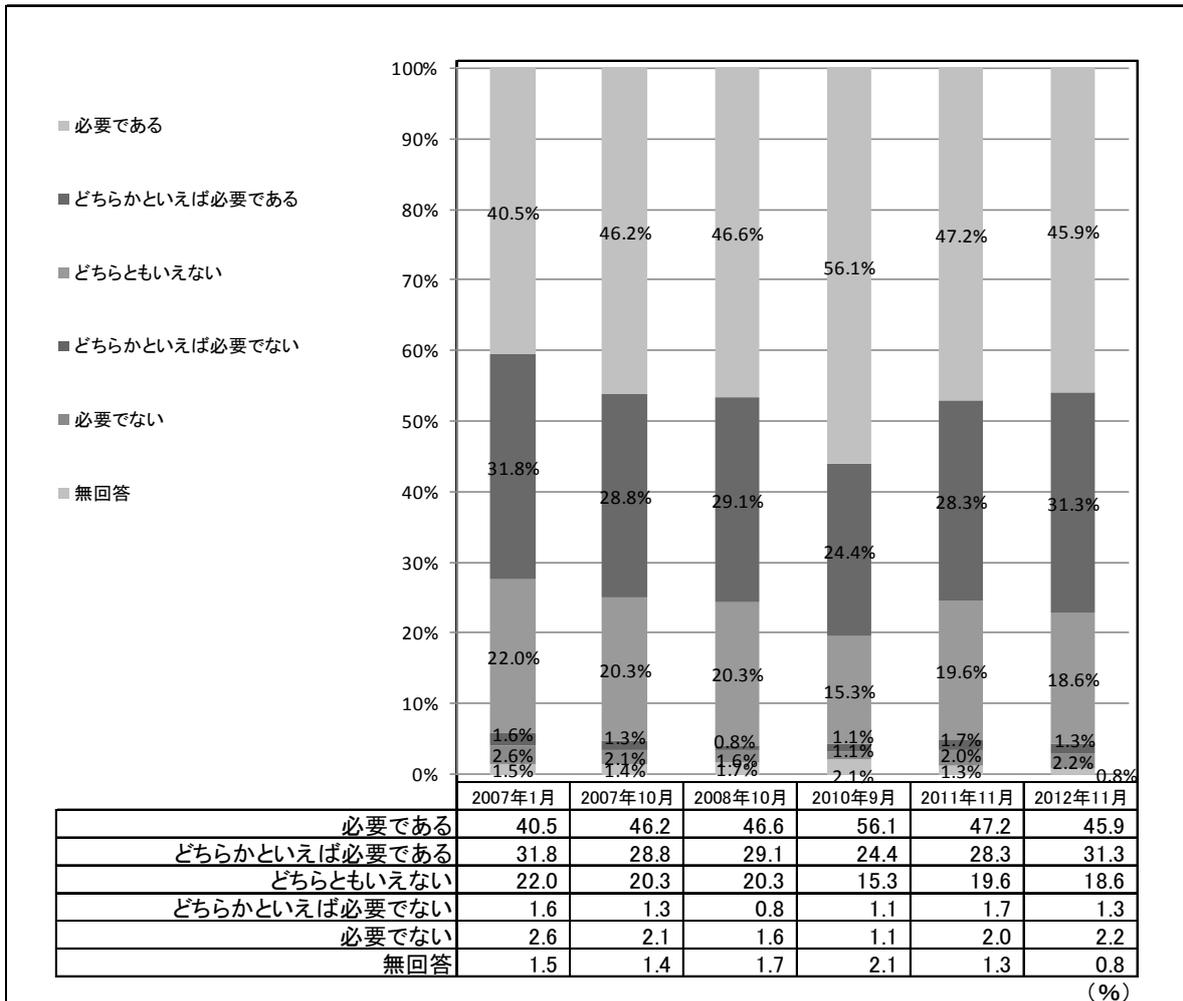
問10-m あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。あなたの考えに近いものをお選びください。(○は1つだけ)
【地球温暖化防止のために原子力発電を活用すること】



Ⅷ章 原子力に対する態度

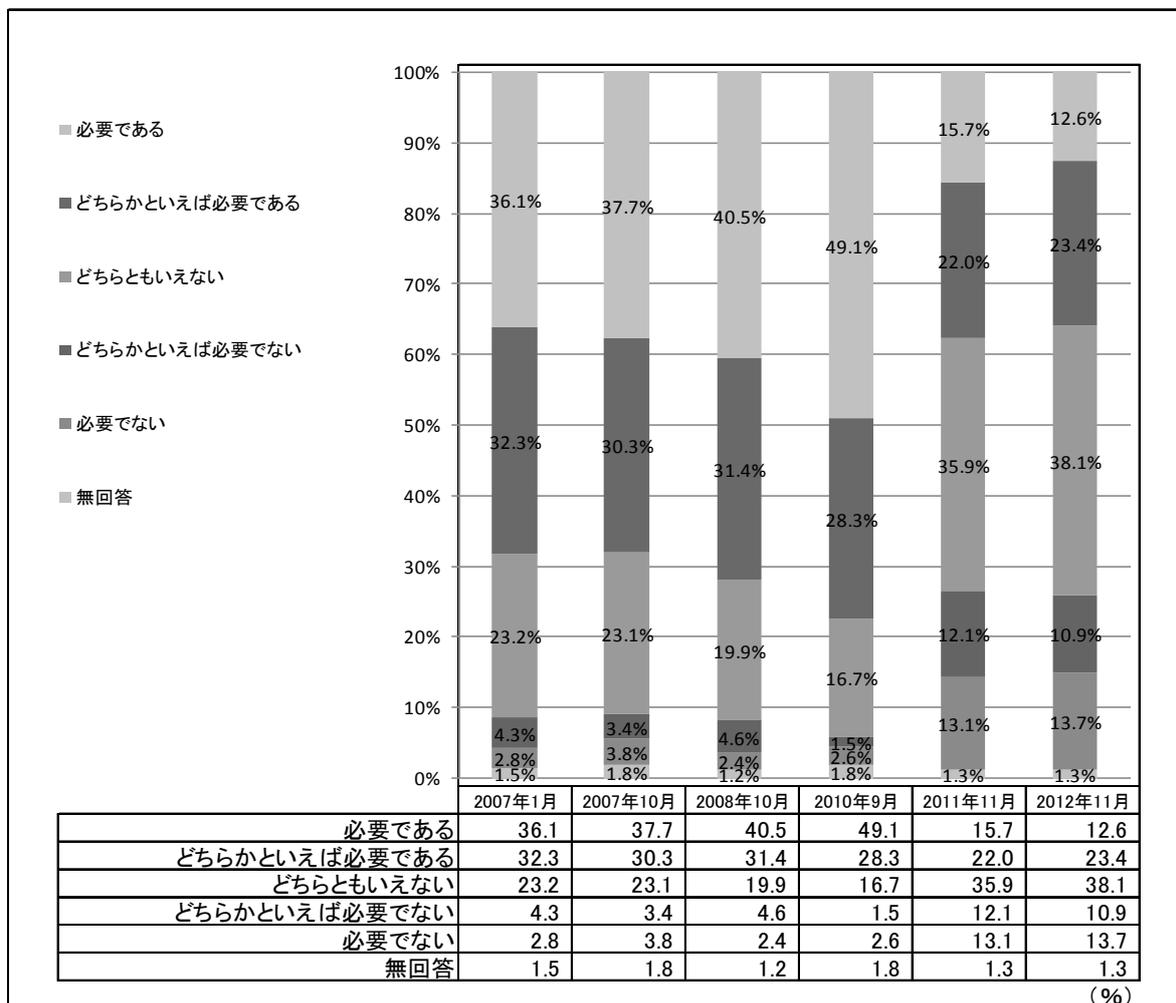
問10-a あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。あなたの考えに近いものをお選びください。(○は1つだけ)

【医療、工業、農業等における放射線利用】



問10-b あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。あなたの考えに近いものをお選びください。(○は1つだけ)

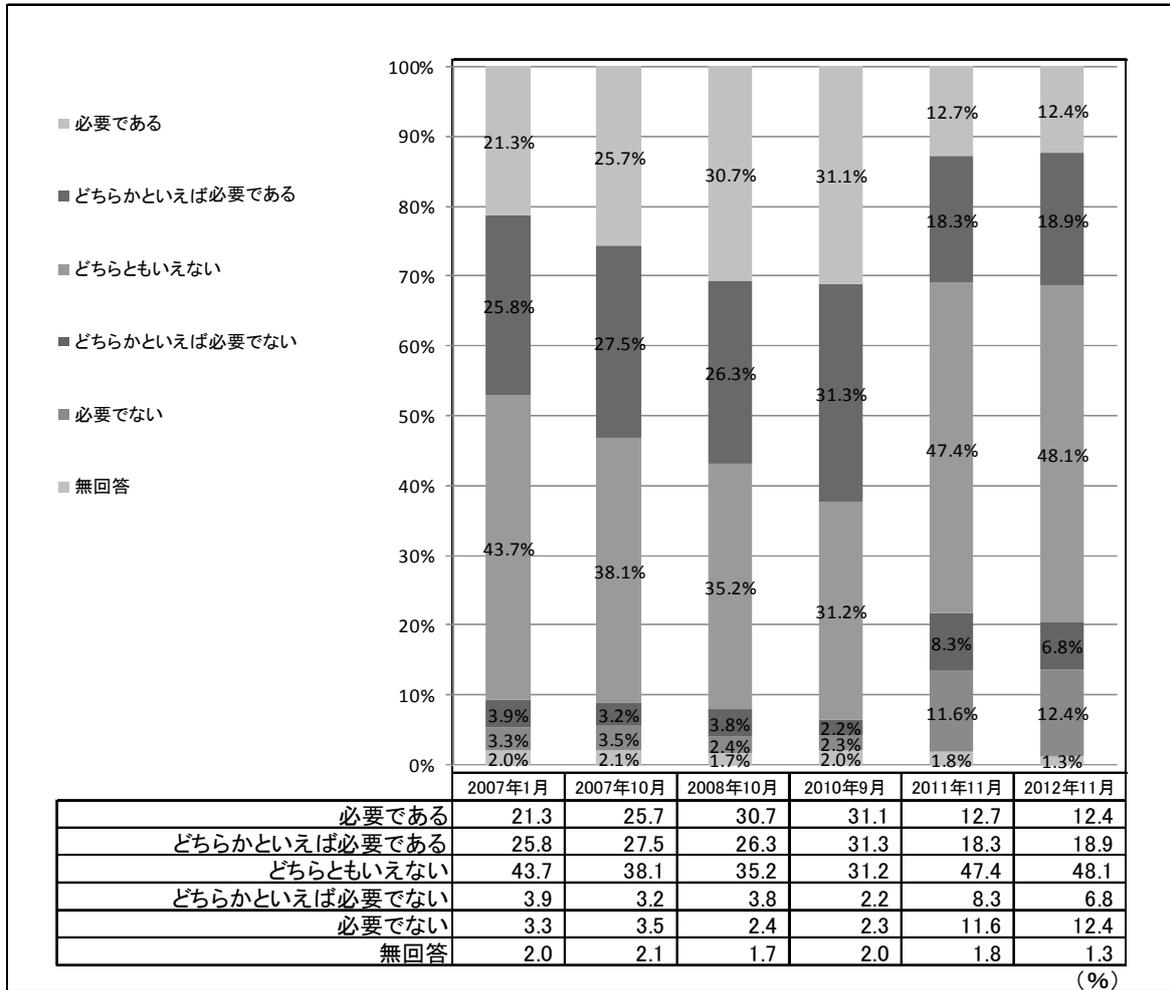
【原子力発電】



(%)

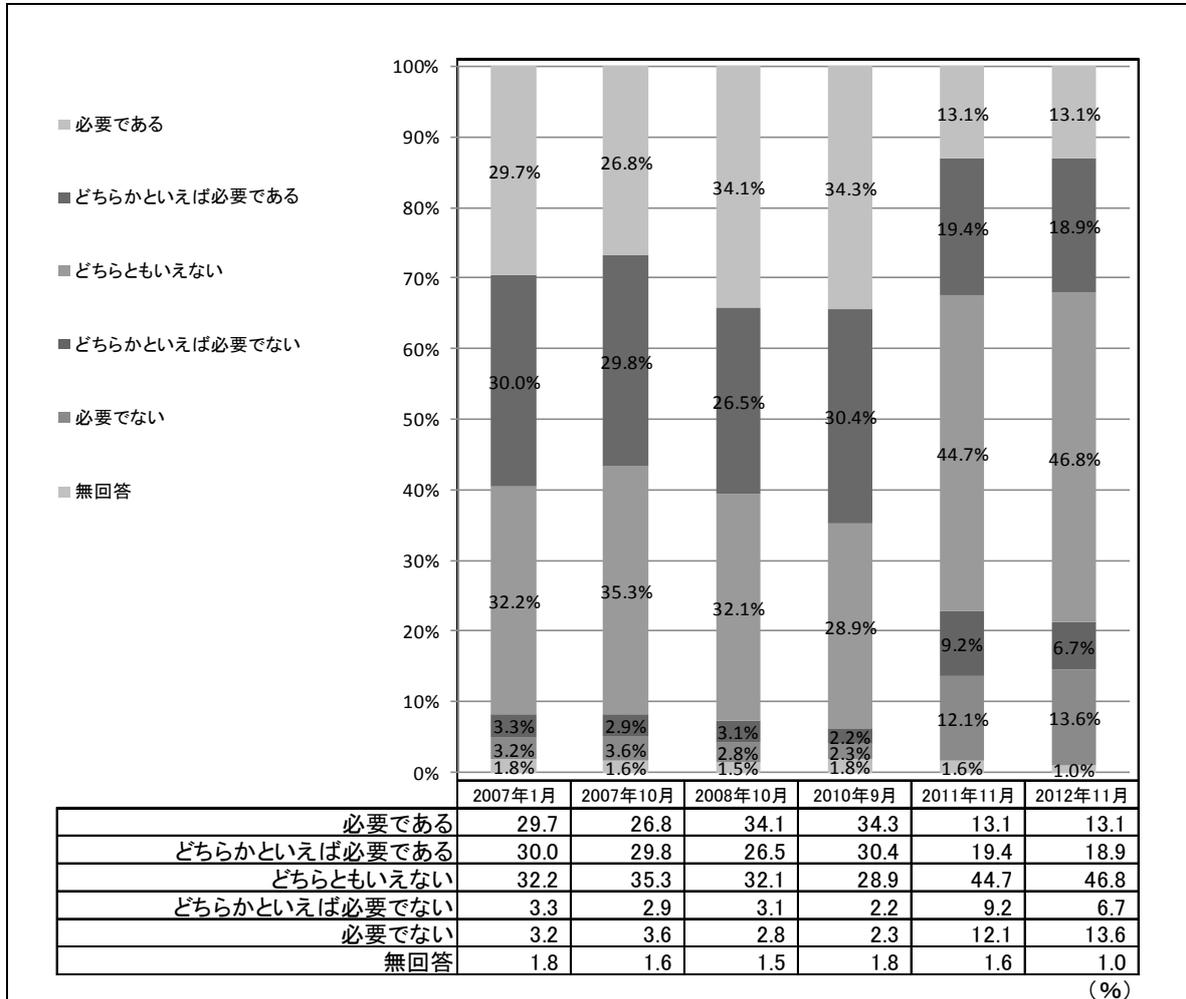
問10-n あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。あなたの考えに近いものをお選びください。(○は1つだけ)

【化石資源を使い切ることやオイルショックに備え、原子力を活用すること】



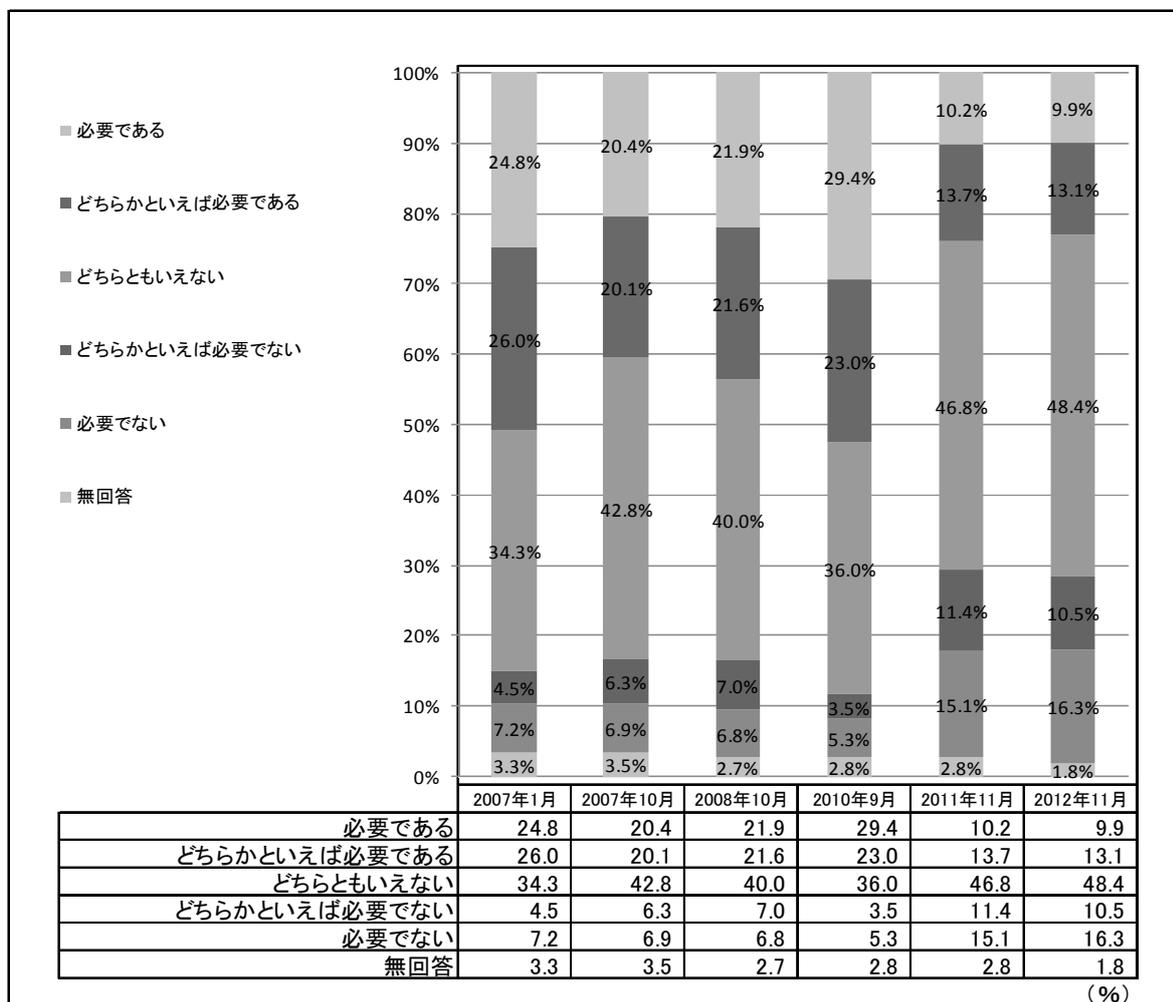
問10-ο あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。あなたの考えに近いものをお選びください。(○は1つだけ)

【エネルギー資源をほとんど持たない日本において原子力を活用すること】



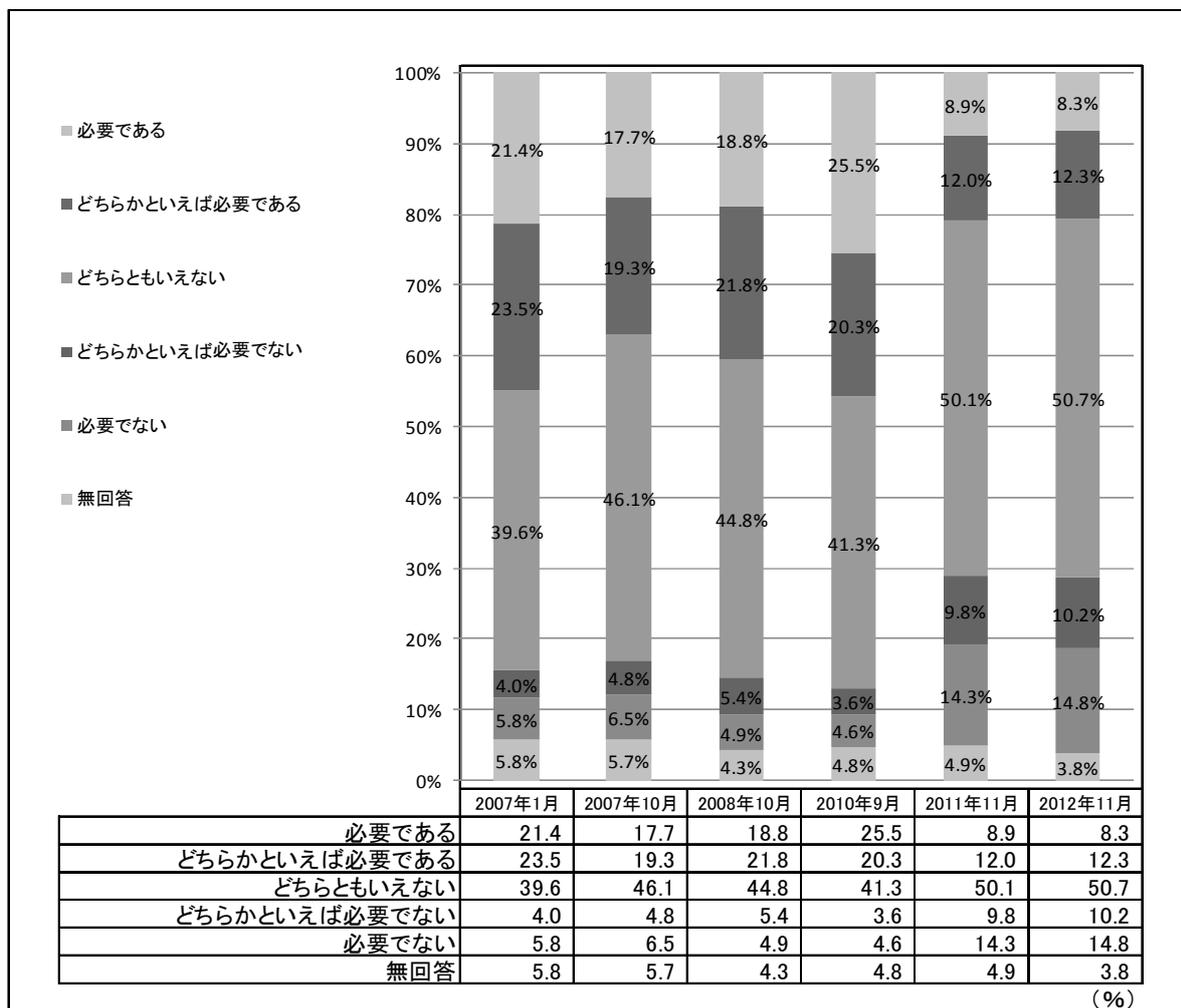
問10-c あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。あなたの考えに近いものをお選びください。(○は1つだけ)

【核燃料サイクル】

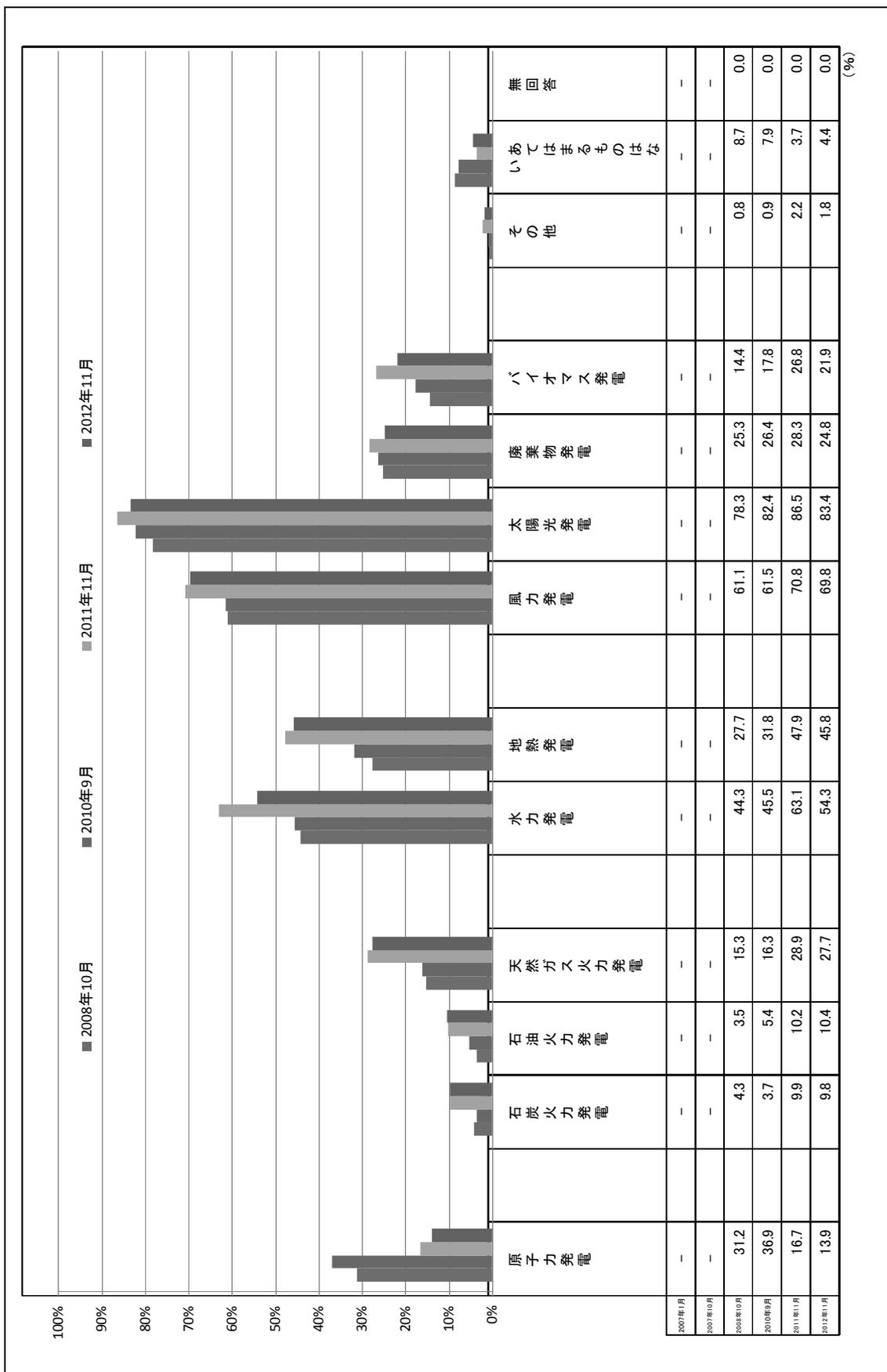


問10-d あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。あなたの考えに近いものをお選びください。(○は1つだけ)

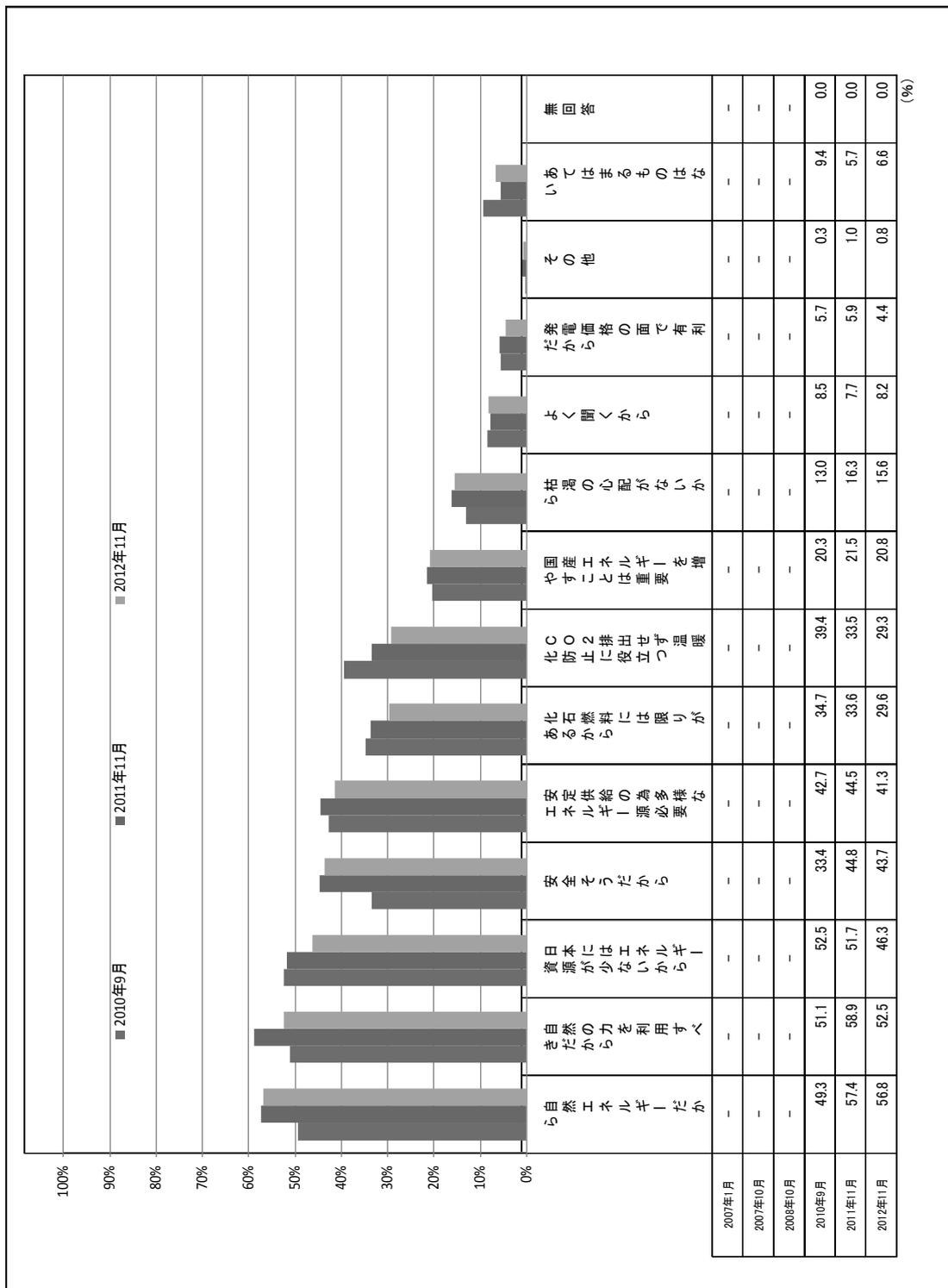
【プルサーマル】



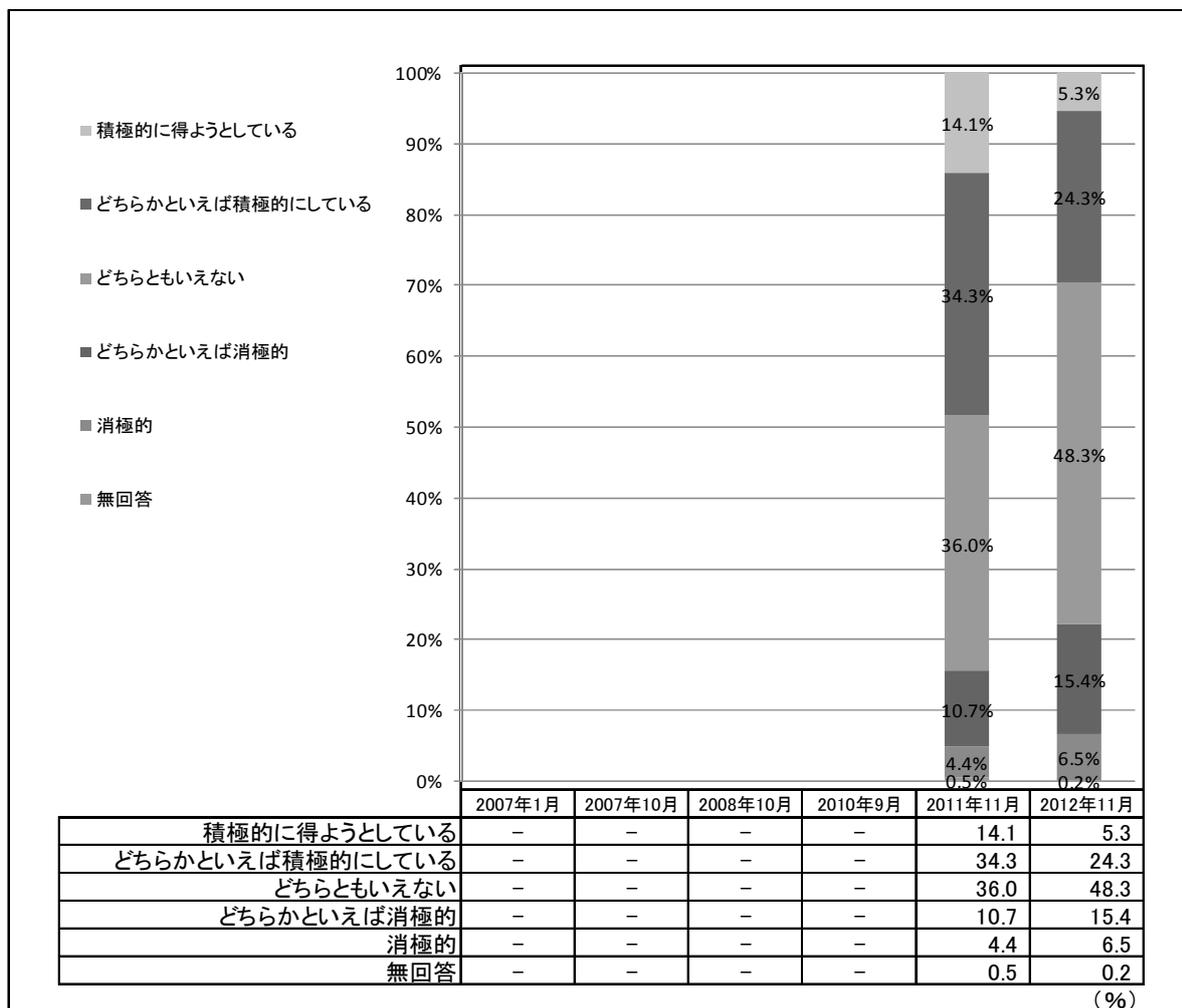
問21-1 今後日本は、どのようなエネルギーを利用・活用していけばよいと思いますか。以下にあげているエネルギーの中から、お選びください。
 (〇はいくつでも)



問21-2 あなたが問21-1でそう答えた理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)



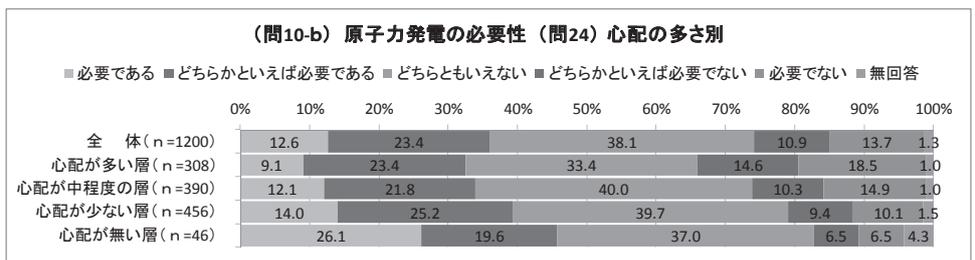
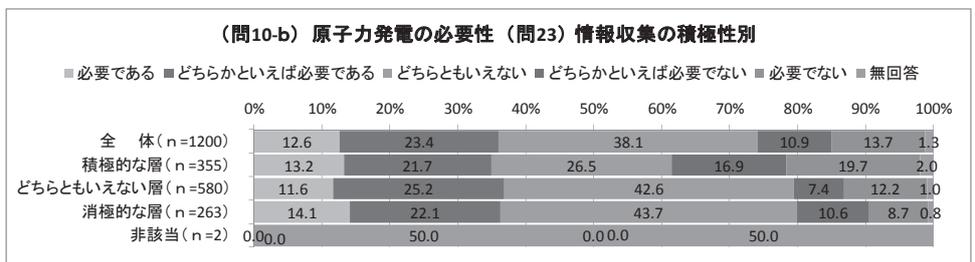
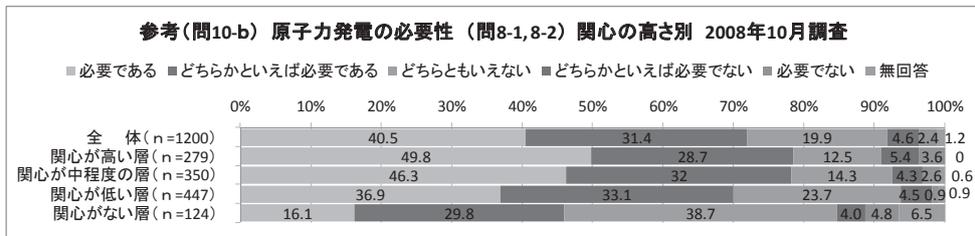
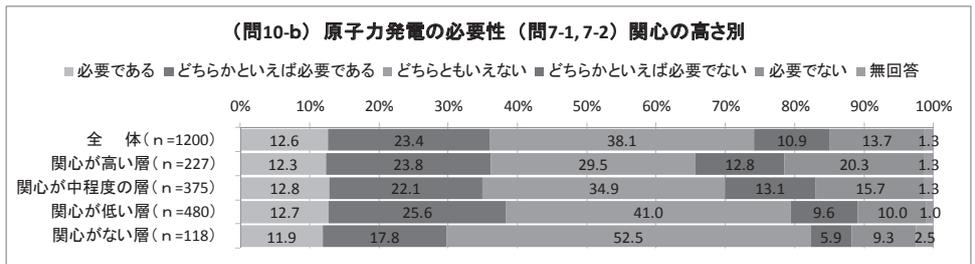
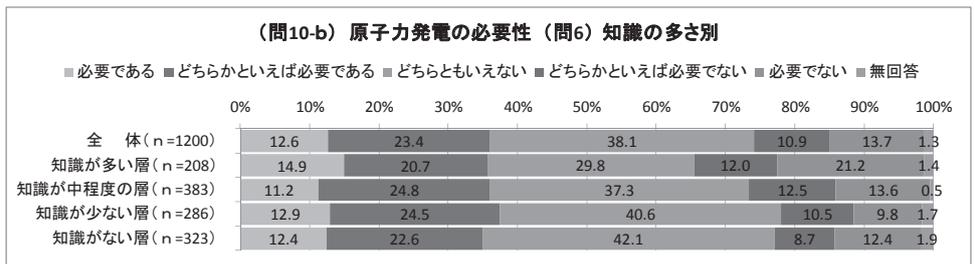
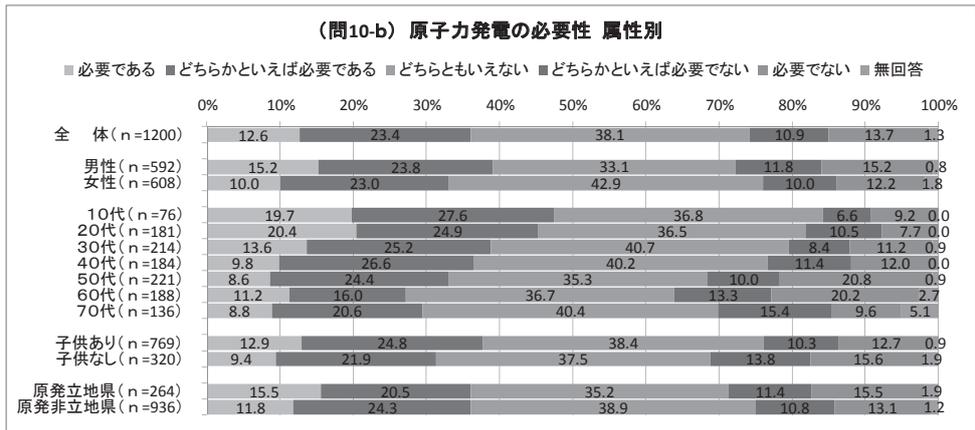
問23 あなたは、東京電力(株)福島第一原子力発電所事故や原子力・放射線についての情報を積極的に得ようとしていますか。(○は1つだけ)



4. 2 分析の重点項目

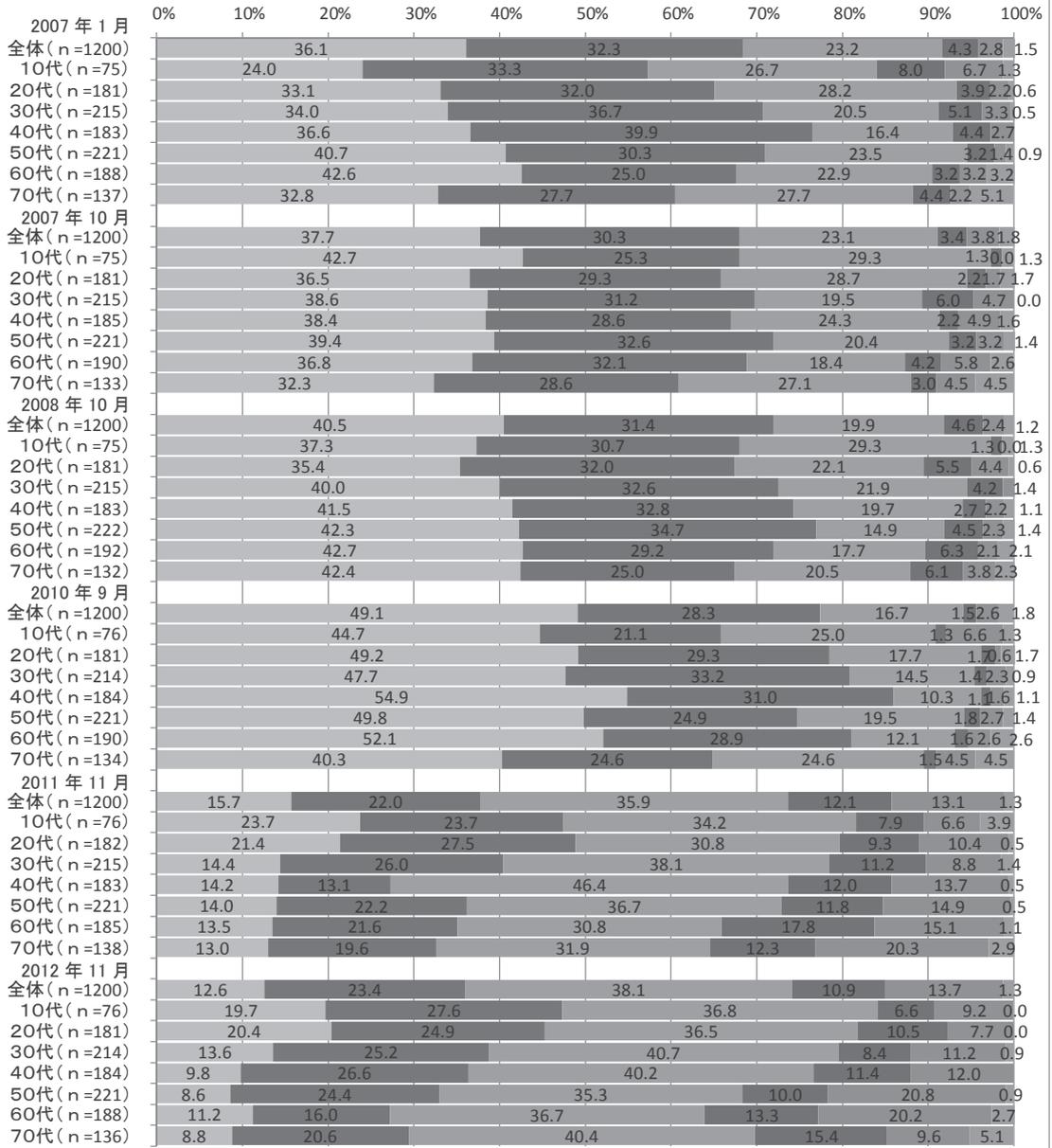
分析の重点項目として、基本集計分析と経年変化の分析に加え、国や自治体、専門家に対する信頼、原子力発電に対する態度に関するクロス集計分析を行うとともに、相関についても分析した。(p.193～p.202)

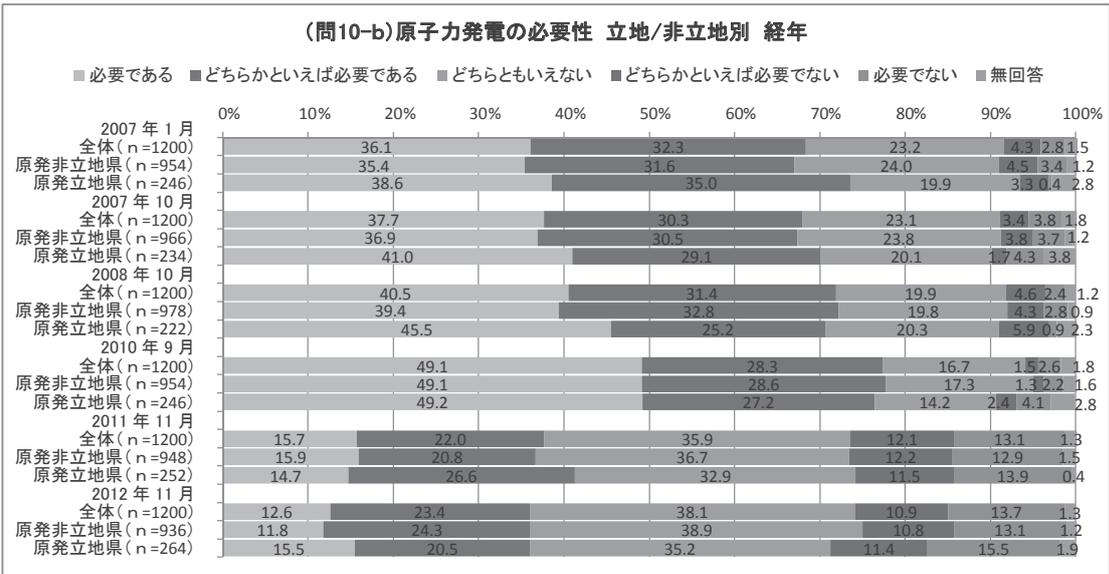
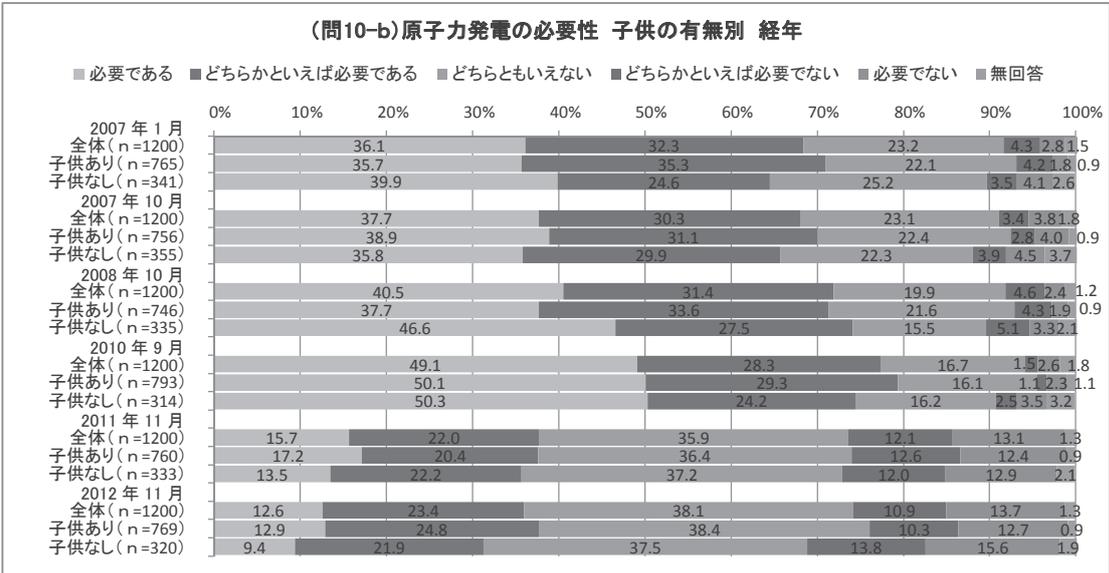
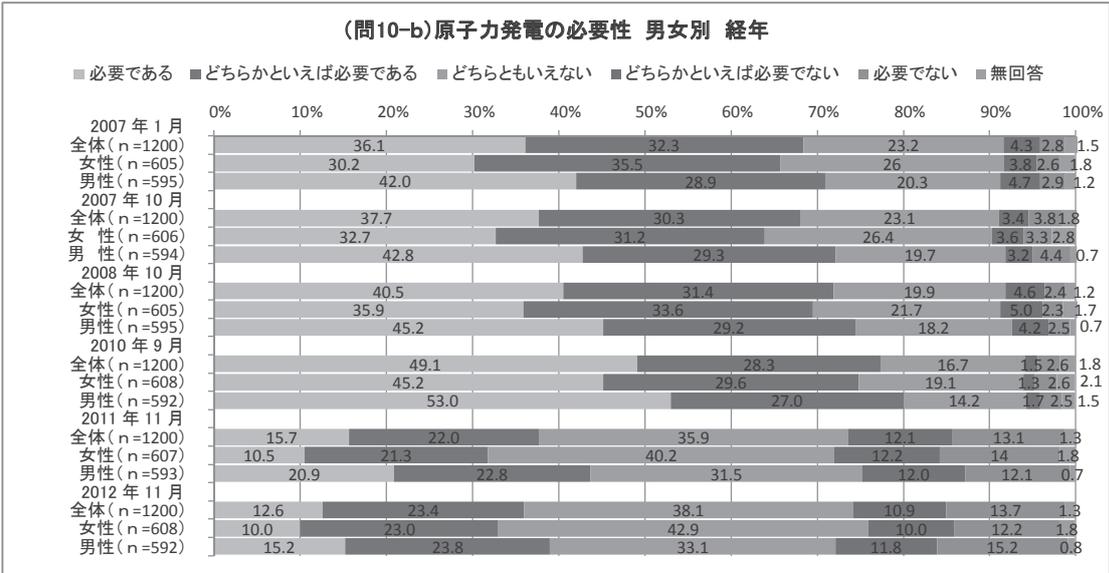
原子力発電の必要性(問10-b)に関するクロス集計結果



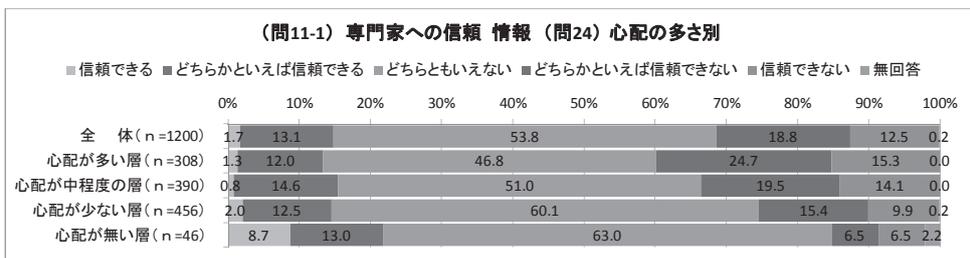
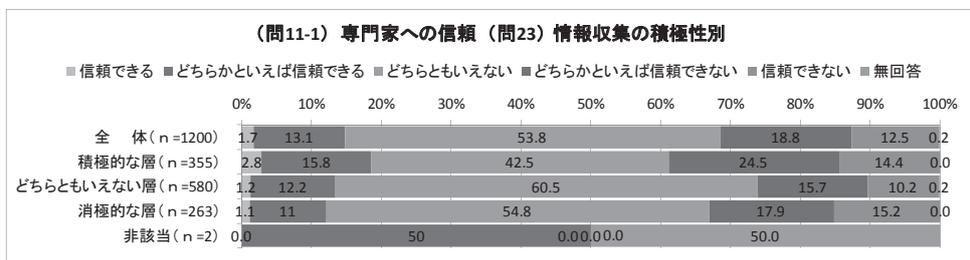
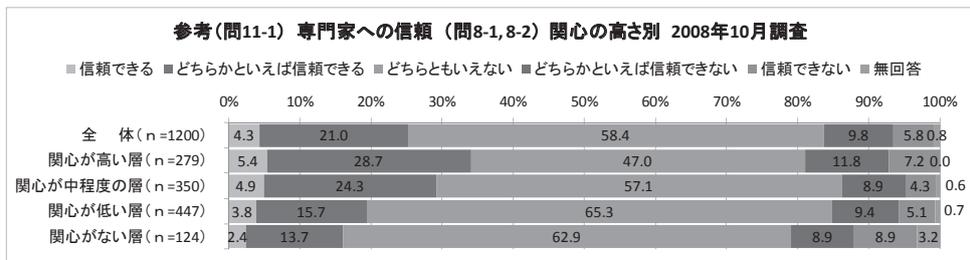
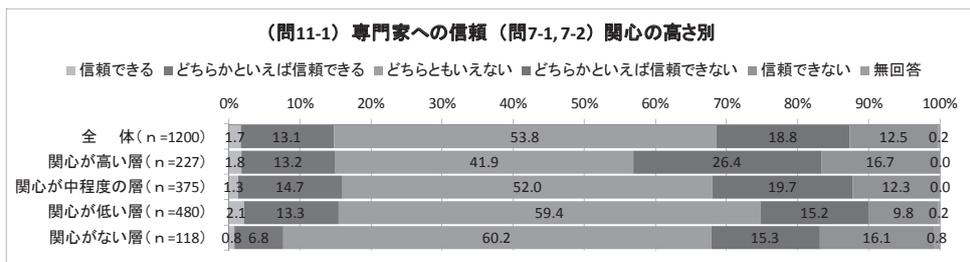
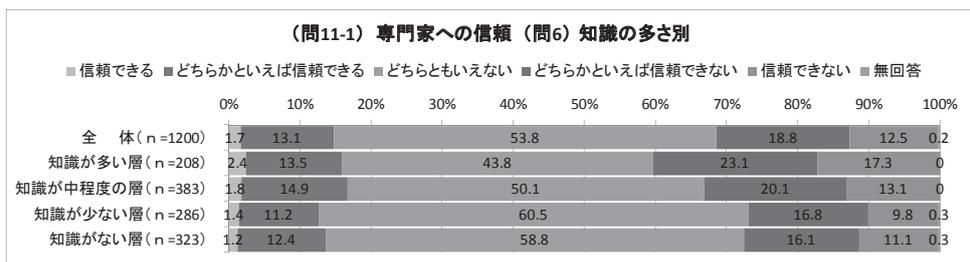
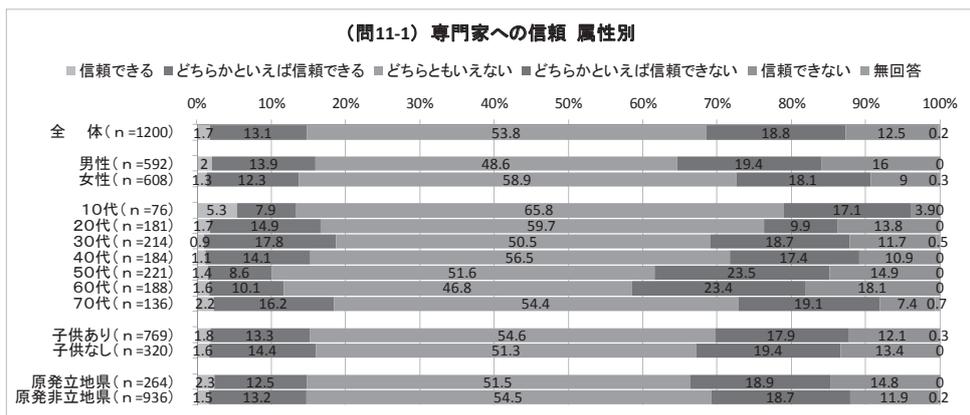
(問10-b)原子力発電の必要性 年代別 経年

■ 必要である ■ どちらかといえば必要である ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば必要でない ■ 必要でない ■ 無回答

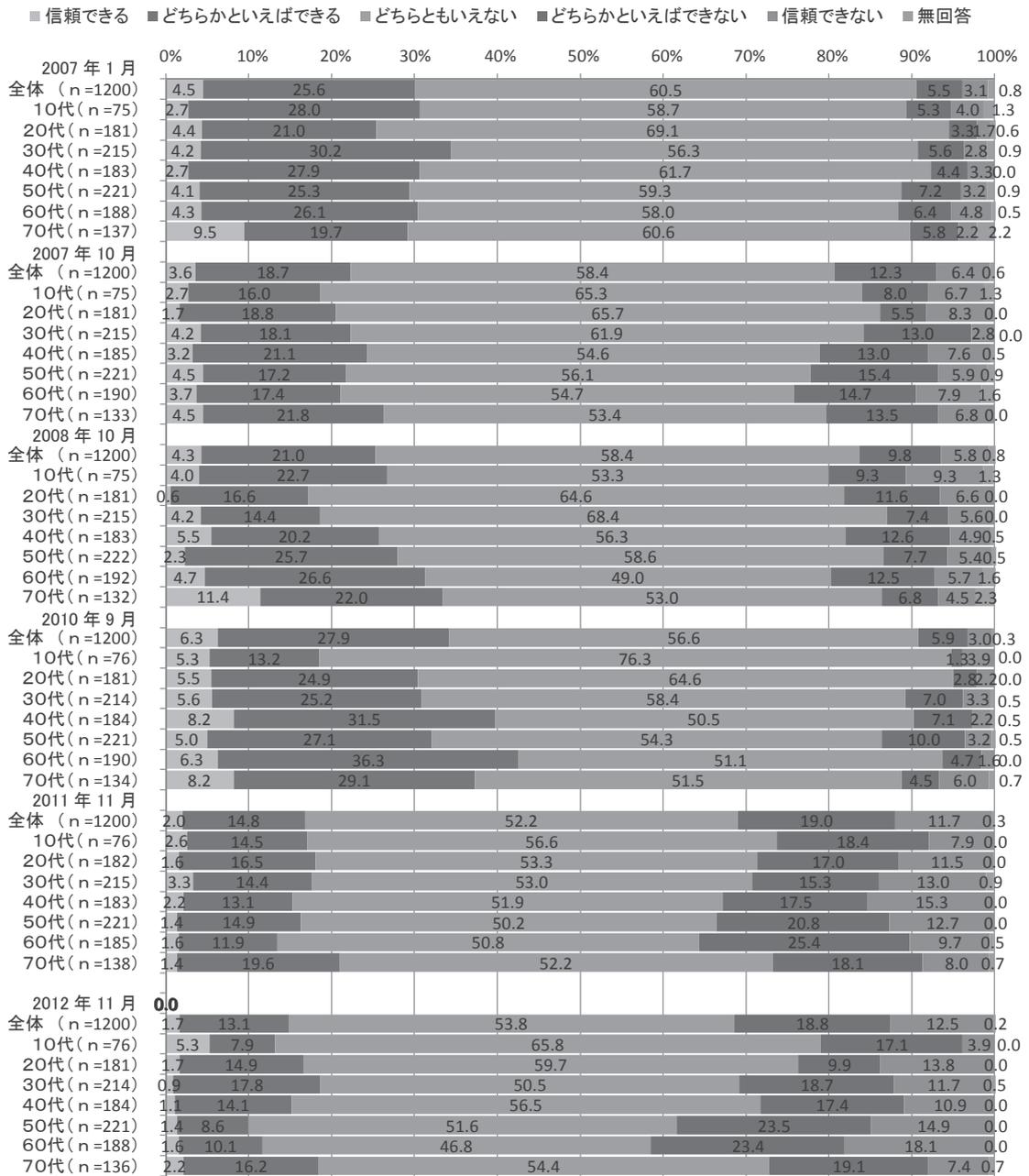


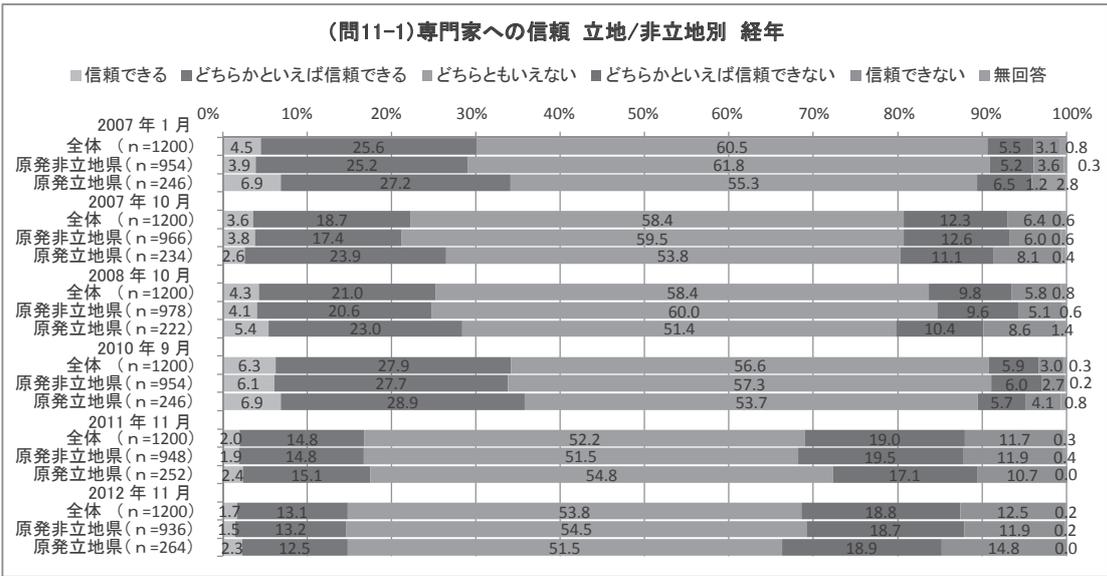
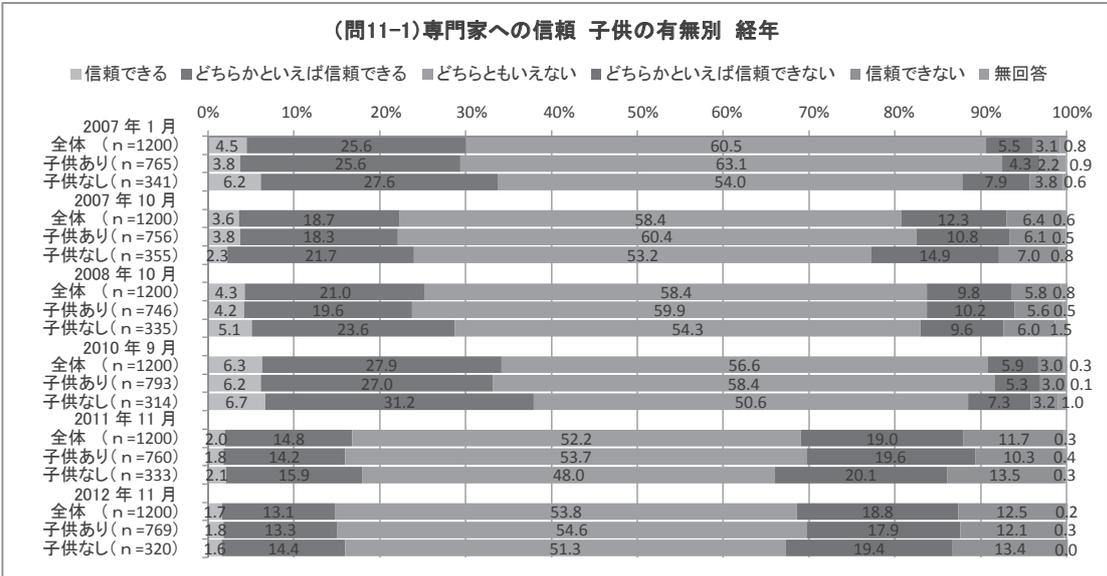
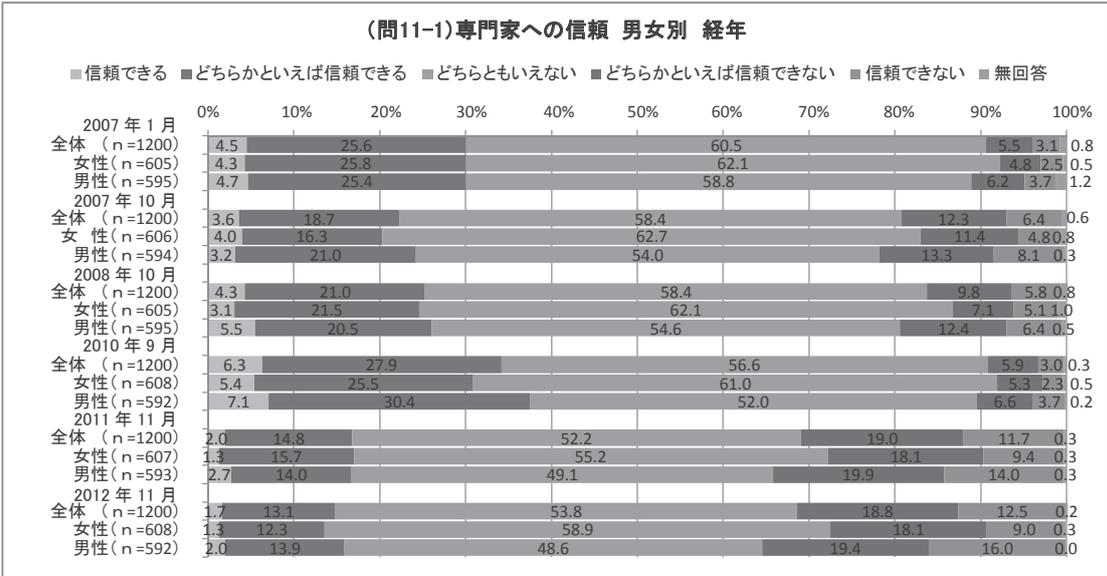


専門家への信頼(問11-1)に関するクロス集計結果

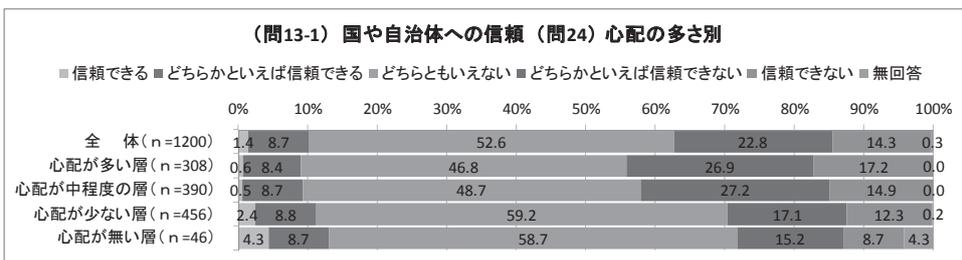
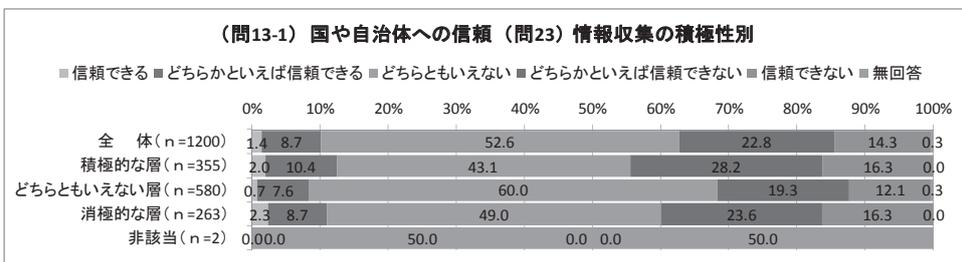
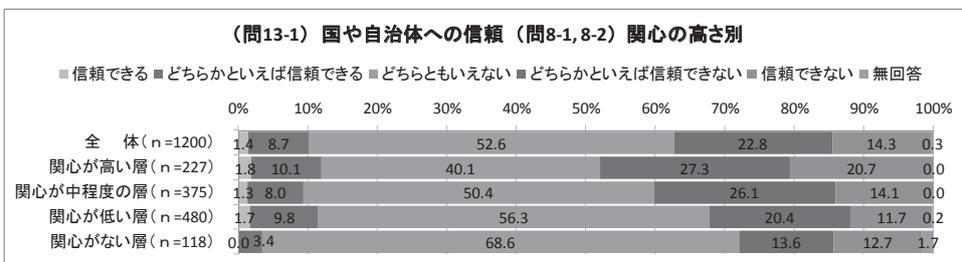
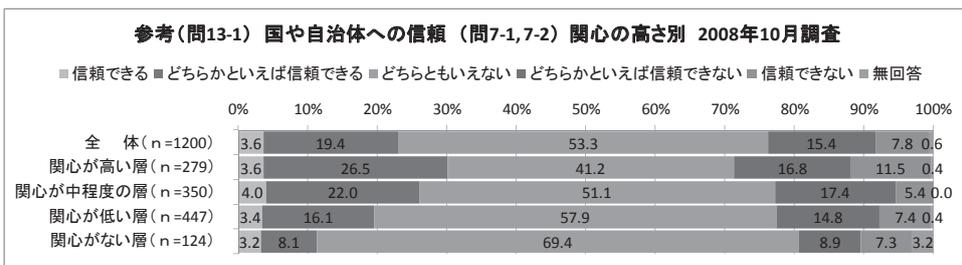
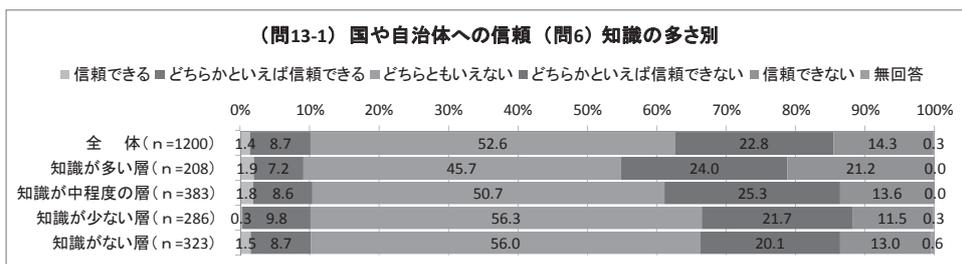
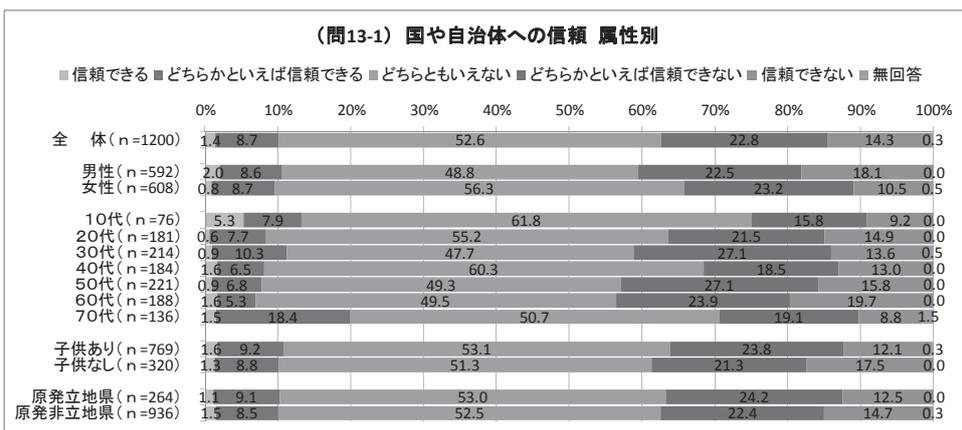


(問11-1)専門家への信頼 年代別 経年



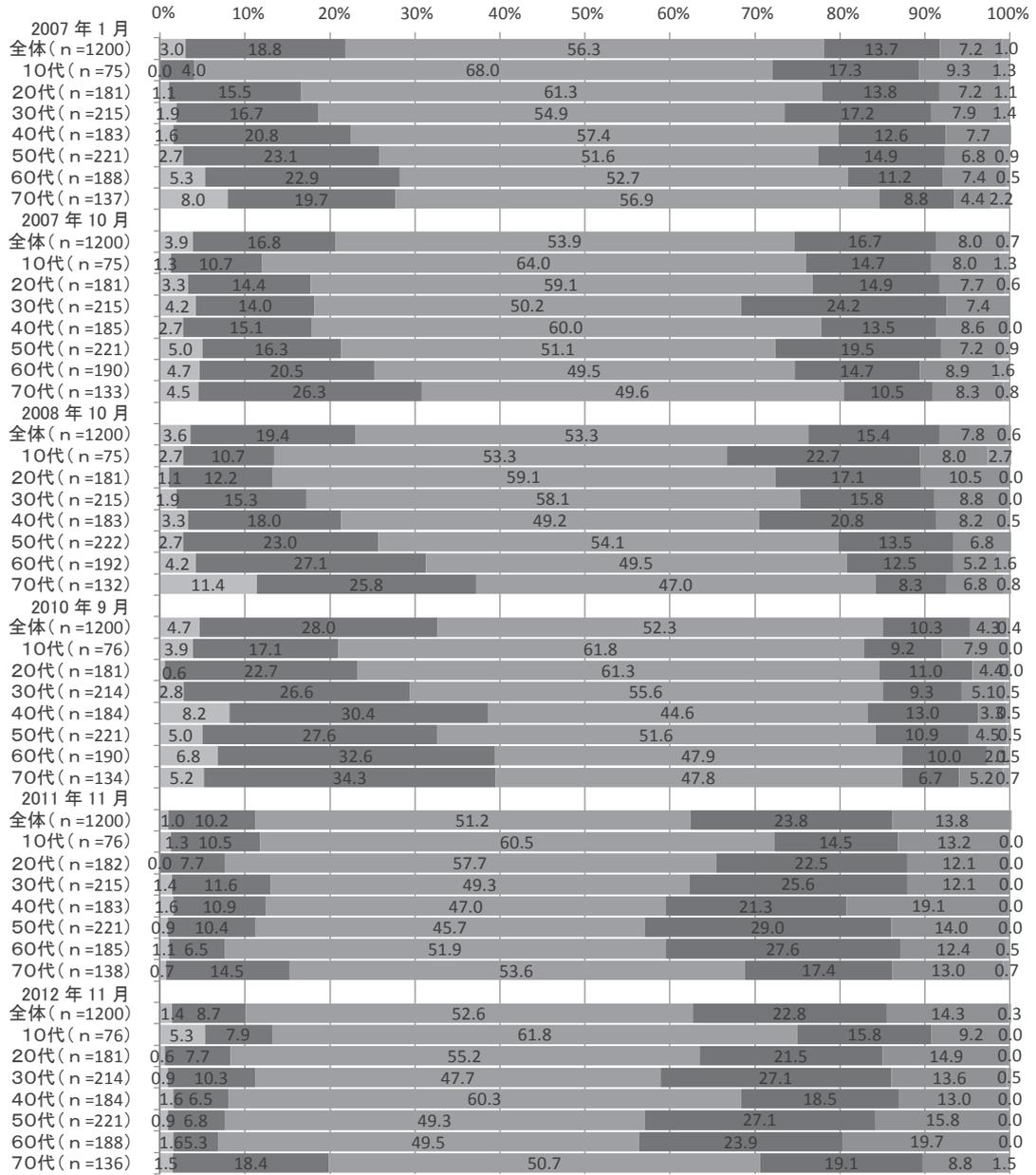


国や自治体への信頼(問13-1)に関するクロス集計結果

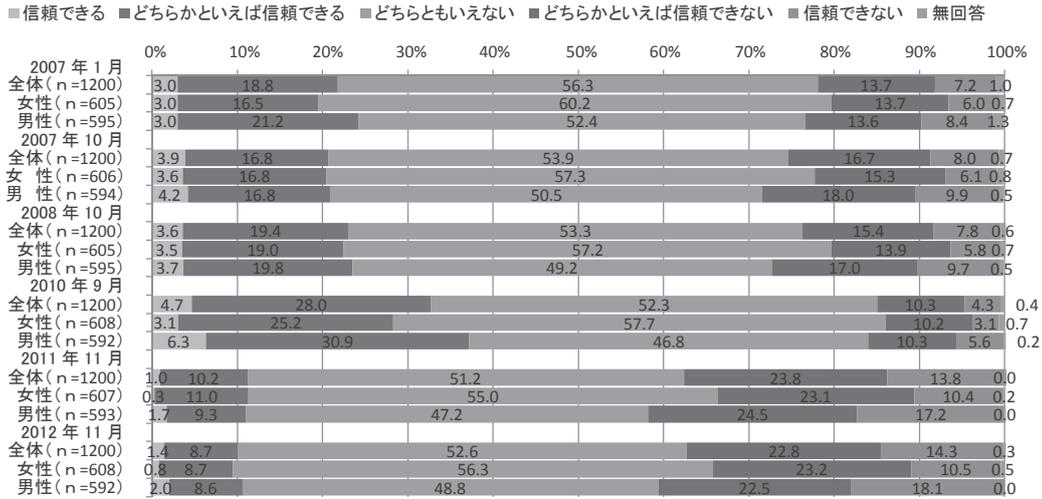


(問13-1)国や自治体への信頼 年代別 経年

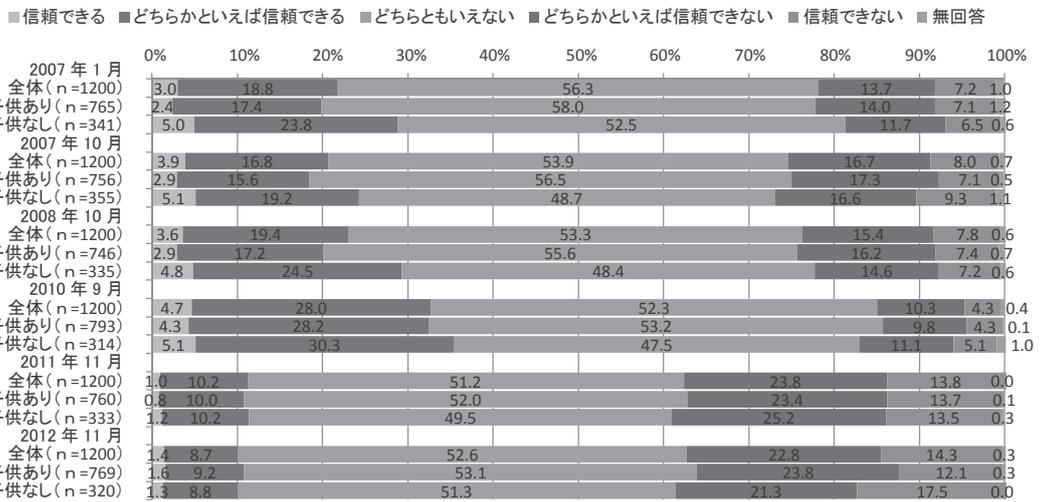
■信頼できる ■どちらかといえば信頼できる ■どちらともいえない ■どちらかといえば信頼できない ■信頼できない ■無回答



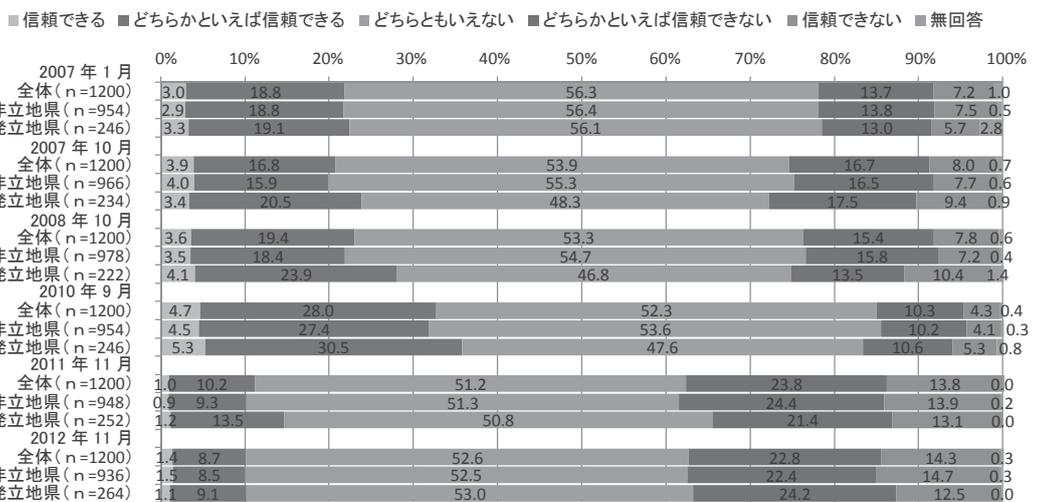
(問13-1)国や自治体への信頼 子供の有無別 経年



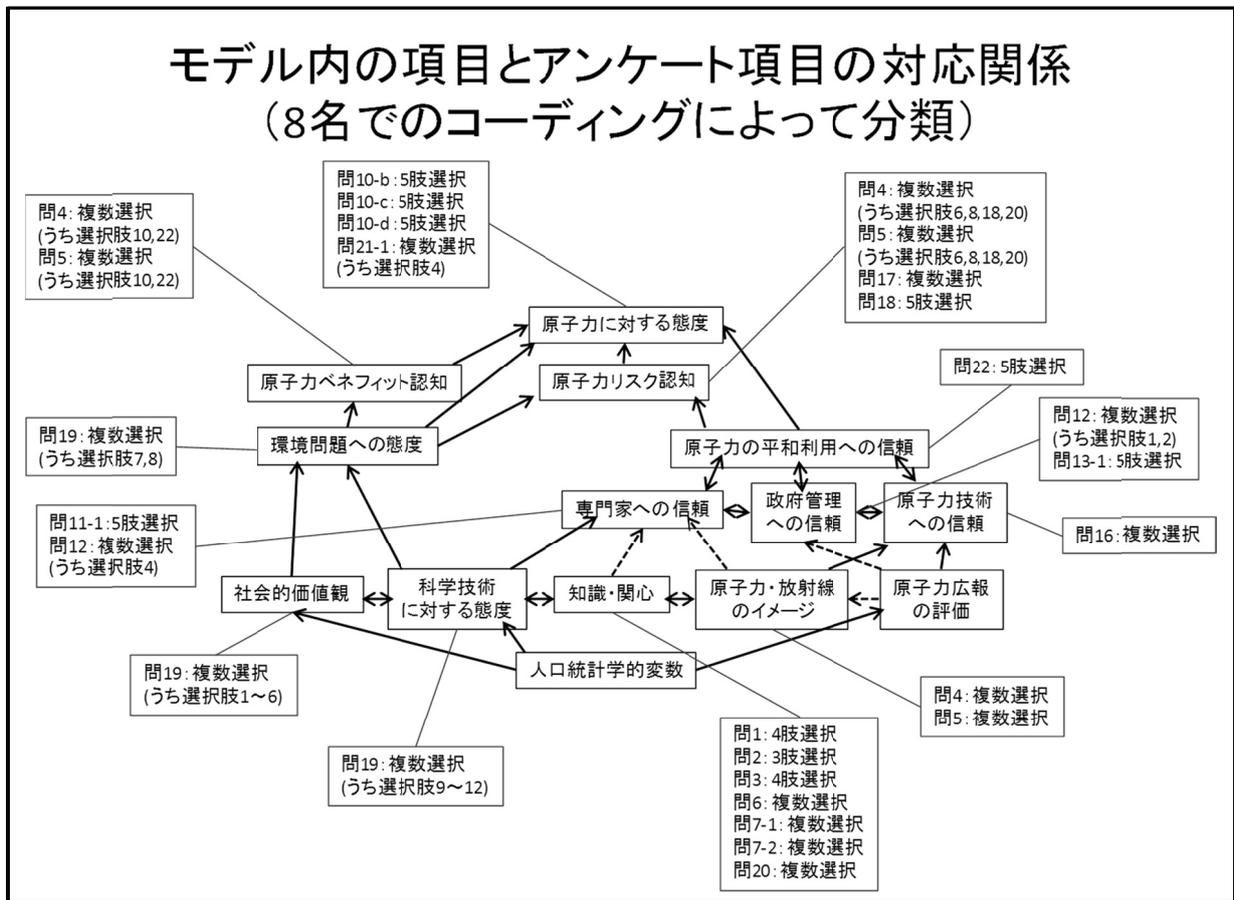
(問13-1)国や自治体への信頼 子供の有無別 経年



(問13-1)国や自治体への信頼 立地/非立地別 経年



【表 1】



【表 2】

